

名窯

土と火の恵み
VOL.22

2024年1月21日改訂版

既報(23AW時点):青文字
今回改訂:赤文字

Tohsai

真心かけは 陶彩

「いい日本食」 「和食の日」



和食文化国民会議

一般社団法人和食文化国民会議は「和食」文化の保護・継承プロジェクト(Washoku JAPAN)を展開。日本陶彩も会員として参加しています。

11月24日

「海の恵み、山の豊かな日本の食の源流」

「世の中が動く、工芸も新しく」と、主に陶芸家であって、東京芸術大学でのご研究、ご教鞭もおとりになった、その底流には、「なぜ、私たちが日本食と日本の器にこだわるのか？」が陶器を作るうえで、その根本としているそうです。

出典：浅野陽著「食と器と日本人」群羊社(19971005)(引用紹介)



本の紹介

「陶(すえ)ながく美味しさを彩る食卓を提案(「陶彩の日」)」

日本陶彩株式会社は、色鮮やかな日本の自然のなか、豊かな食卓を「器(うつわ)」で彩りよく演出し、より美味しく食して欲しいという願いを込めて、10月31日を「陶彩の日」(「10(とう)」「31(サイ)」の日)としました。「日本記念日協会認定」



日本陶彩

10月31日

「やきもの談義」



加藤「山の神にね、正月の二日に馬を作って供えるんですよ。沙器馬(さきま)って朝鮮ではいうとるんです。これは陶器の馬ちゅうことですよ。朝鮮には「白洲」その馬は何で作ってあるの。」加藤「うん、陶器で作って、僕ら子供の頃までやっつたんです。」……
出典：白洲正子・加藤唐九郎著「やきもの談義」風媒社(199709)(引用紹介)

本の紹介

Nipponの Precious 歴史と文化に旅、そして器

ヒツミ候也 ヘウケモノ也



元屋敷窯跡(L316 No.10 Xperia)

いわゆる「茶碗ヒツミ(歪み)候也。ヘウケモノ(割げ物)也(宗湛日記(慶長4年))」と言われる沓形茶碗は朝鮮出兵時の御所丸手の高麗茶碗や萩高麗左衛門の割高台などが本歌といわれています(桑田忠親著「茶道の歴史」講談社(19871210))。

菓子は数寄屋で出でてならず、鏡の間とか書院といった広間で出すと元禄時代の大名茶湯書の一つに「古田織部正殿開書」にはあります(熊倉功夫著「日本料理文化史」人文書院(20020620))。このことは利休後の武家系茶の湯においては次第に豪華になった懐石を利休をも上回るわび懐石を主張していた(美方浩信著「茶碗」朱鳥社(20100201))と見えるそうです。

「和食：日本人の伝統的な食文化」が無形文化遺産となりました。その提案書には、「和食」の特徴として「栄養バランスに優れた健康的な食生活……汁三菜を基本とする日本の食事スタイル」「食事の場で、自然の美しさや四季の移ろいを表現、季節の花や葉などで料理を飾りつけたり、季節に合った調成品や器を利用したりして、季節感を楽しみます」とアピール。この無形文化遺産保護に関する条約に規定する無形文化遺産の代表的な一覧表に記載された「和食-日本人の伝統的な食文化」(「和食」)を適切に保護し、その継承を推進することを目的とした一般社団法人和食文化国民会議(略称「和食会議」)に入会し、その活動を応援しております。

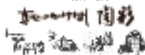


和食文化国民会議

http://washokujapan.jp/

伝えよう、和食文化を。

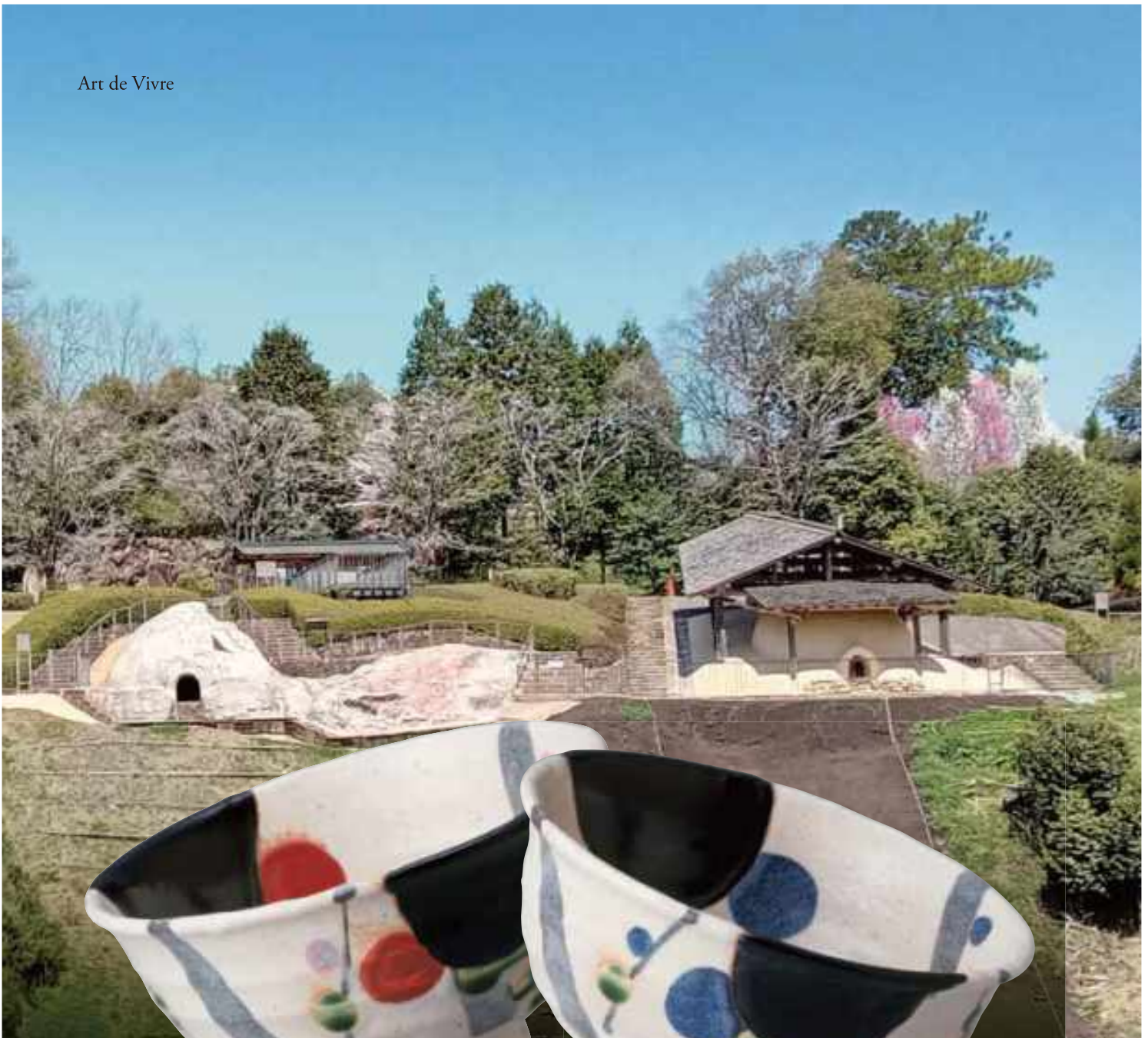
日本陶彩は「陶(すえ)ながく美味しさを彩る食卓を提案」紹介も活動しております。



M54643700-801853
玉山窯 黒織部 組湯呑
7,700円(本体価格7,000円)
(美濃焼) (0202) ●

●価格は2019年10月01日時の消費税を含む総額にて表示しております。

■「食」と「器」の関係は密接不可分です。和食とその器にまつわる「ちょっとした」情報を、作者の思いをそのままに改変、要約せず、その出典と共にご紹介いたします。「和食」文化の保護・継承プロジェクトをおこなっている一般社団法人和食文化国民会議(略称「和食会議」)の日本陶彩株式会社は発足からの会員です。



織部司(おりのつかさ)とは古代律令制大蔵省にある機関で、錦・綾・紬・羅など高級絹織物の織成・染色をつかさどる官司で古田重然(ふるたしげなり)は天正13(1585)年に従五位下織部助に任ぜられました(久野治著「古田織部の世界」鳥影社(1989)128)。織部好みの焼き物は「慶長末年より寛永にかけて美濃の久尻を中心とする地方で盛んに焼かれたらしい(塩田力蔵著「織部焼(陶器講座10) 徳間書店(19360505)」)とか、「自分は久尻元屋敷窯(写真)で焼かれて居る陶器こそ織部焼である」とことを考えて志野と区別(高木康一・一瀬武著「美濃焼の歴史」郷土文化研究会(19660301)」と言われるほどにあります。



M54642700-802⁸⁵³
玉山窯 黒織部 相飯碗 **Hi!**
7,700円(本体価格7,000円)
 (美濃焼) (0202) ●

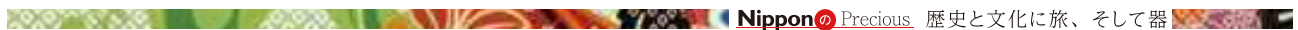


M50265500-802⁸⁵³
玉山窯 織部ぶどう 菓子鉢
5,500円(本体価格5,000円)
 (美濃焼) (0202)

元屋敷陶器窯跡は岐阜県土岐市久尻にある岐阜県内最古の連房式登窯がある窯跡で国の史跡に指定されています。右側から東1号窯(大窯)、東3号窯(大窯)、東2号窯(大窯)、元屋敷窯(登窯)です。焼成室が地上に露出し階段状に連なるこの窯の構造は「連房式登窯」と呼ばれ、慶長年間に美濃陶祖と仰がれる加藤景延が朝鮮半島由来の肥前唐津にて学び築いたものであると伝われます。全長約24m、幅約2.2m 燃焼室 焼成室14房、青織部・赤織部・黒織部・鳴海織部・志野織部・総織部・美濃伊賀等の意匠を凝らした高級施釉陶器が出土しています。東1号窯では16世紀後半から天目茶碗、灰釉皿、すり鉢などが生産。次に築かれた東2号窯では新しい意匠の瀬戸黒、黄瀬戸、灰志野が登場しました。東3号窯は発掘調査された姿を型どりして露出展示しており、ここでは多器種にわたる志野の量産を行っていたようです(L316-No10)。



降り脚籠の織部灯籠(京都興聖寺)(L311 No.18)



●和菓子等は撮影用備品です。

2月28日は、「織部の日」です。岐阜県土岐市が制定。



歴史と文化に旅、そして器

風土記…各地に風土があるように、それぞれ違った風合いの器があり、その伝統と文化は引き継がれています。その歴史と文化にふれつつ、各地を旅するように器にふれると、心地良い風が吹きます。

百岐年 三野之國之 高北之 八十一隣之宮尔 日向尔 行靡闕矣 有登聞而



S38679300-803⁸⁵³
玉山窯 鼠志野ぶどう 飯碗 ●
S38681300-803⁸⁵³
玉山窯 鼠志野ぶどう 湯呑

各 3,300円(本体価格3,000円)
(美濃焼) (0202)



S38680300-803⁸⁵³ 玉山窯 織部ぶどう 飯碗 ●
S38682300-803⁸⁵³ 玉山窯 織部ぶどう 湯呑
各 3,300円(本体価格3,000円) (美濃焼) (0202)



萬葉集 第十三卷(三二四二)
「美濃の国の北方高くにある
“くり”の宮から東北方に背
後に日を抱く山があると聞いた。
私が行く道の先にある御
嶽山は美濃の山。それをなら
そうと人が踏みつけようと、あ
ちらに寄せようと突き押しそ
うと、びくともしない無措の山よ。
御嶽山は美濃の山」(詠宮古
蹟→可見市郷土歴史館・萬
葉歌碑(L316-No17b))



美濃焼
玉山窯
NihonTohsai



陶祖碑「牟田洞古窯跡 加藤源十郎景成」(荒川豊蔵資料館(L316-No17a))



① S38305300-803⁸²¹ 春草(東窯 中島満久) 志野 ぐい呑
② S38306300-803⁸²¹ 春草(東窯 中島満久) 紅志野 ぐい呑
各 3,300円(本体価格3,000円)
(瀬戸焼) (1112)

カット



瀬戸焼
東窯 中島春草
NihonTohsai



可見久々に古くから語り継がれてきた泳宮(史跡)があります。日本書紀の景行天皇四年春二月甲子條に、景行天皇が美濃に行幸して滞在した際、八坂入彦命の娘で美人の弟姫(おとひめ)を見初め、池を造り、鯉(恋)を放って弟姫を呼び寄せたとのこと。弟姫は自分より気立ての良い姉の入姫(いりひめ)がふさわしいと肩の座を譲った…とあります。(宮崎修二郎著「やまきの旅」保育社(19740405)、泳宮古蹟L316-No17c Xperia)

●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。



名城公園御深井池 (Pixta)

御深井は狭義には尾張徳川家の御庭焼で名古屋城内の御深井丸に窯が築かれたところからこの名があります。開窯については初代藩主徳川義直の寛永年間とする説や2代藩主光友の時代とする説など。瀬戸・美濃地方で灰釉(かいゆう)系の透明度の高い、いわゆる御深井釉を使って焼いたもの。明の扁化人陳元賛も参与したといわれ、ベトナムの染付写しが流行したのも特色の一つ。御深井窯は格の高さを誇り、材料や陶工にも吟味を尽くしたといわれています。現在ではそういった狭義の御深井焼に似た長石を加えた灰釉を施し型打ちをしたり摺絵などを施文した焼き物一般にまで呼称としてひろがり、定着しています。



M55370230-804⁸⁴⁴
秀峰窯 御深井十草 多用皿
2,530円(本体価格2,300円)
(瀬戸焼) (1112)

赤津焼のご紹介

愛知県産業振興課
あいちの地場産業



御深井池・御深井焼窯跡
(名城公園 L311-No.10)



瀬戸焼のご紹介

愛知県産業振興課
あいちの地場産業

弁玉集(べんぎょくしゅう)
全五巻 編者不詳
1672(寛文12)年

絲切之次第
是は右廻也瀬戸焼の
絲切は如此の造万物也。
唐物絲切、是は左廻也。

陶彩文庫蔵(L344)

食卓ルネッサンス

「卓育」という考え方を、社会にわかりやすく伝え、「共食」への場を開いていくこと、それが「いっしょに食べよう」活動。2011年11月21日、NPO法人食空間コーディネート協会は、フォーラム参加一同で「いっしょに食べよう」宣言をしました。

日本陶彩株式会社は、TALKの考え方を引き継ぎ、経済産業省のご協力のもとに、わが国の心豊かな食空間と生活文化の向上のための幅広い活動をおこなっている内閣府認証NPO法人「食空間コーディネート協会」の活動に賛同し、企業会員として活動いたしております。

食空間コーディネート協会 TEL:052-743-7023 <http://talk-tcs.jp/>

(L303)

M54196280-804⁸⁵⁷(V)
秀峰窯 御深井藍染 組飯碗
3,080円(本体価格2,800円)
(瀬戸焼) (1112)

食は人を笑顔にする文化だ

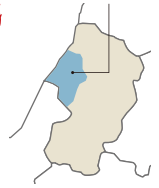
Gastronomy is Happiness

食は命の源。生涯を通じて心身の健康を享受するには生活その中でも“食育”の重要性は高い。そして社会・環境・文化の視点から持続可能な食を支える食育との連携が今、必要とされている(食育推進基本計画)。SDGs、持続可能な開発の目標を達成するため、持続可能な食文化への人々の意識を高めることを目的として2016年(平成28年)国連総会で「持続可能な食文化の日“Sustainable Gastronomy Day”(6月18日 記念日)」が制定された。



食文化創造都市
鶴岡
City of Gastronomy
TSURUOKA

山形県
鶴岡市



食の風土記を味わおう

臼杵市は、地質と地形に恵まれ、きめ細やかで、まろやかな柔らかい水に恵まれています。この水が重要となる醸造業が1600年頃から始まり、人々が伝統を守りつつ、改良を加えてきた味噌・醤油・酒造りや、質素倹約の中で知恵を絞って生まれた郷土料理など、多様な食文化が発展してきました。食の多様性・持続性を高めるこうした臼杵の活動は、SDGsの目標と合致し、持続可能な都市づくりにつながるものと考えているとのことです。

【ひな菓子】

ひな祭りを鶴岡では旧暦に祝われることが多く、いたるところで雛街道がで賑わいます。雛人形と共にするのが鶴岡独特の愛らしいひな菓子。主に地元特産物を模ったもので、子供の健やかな成長への願いがこめられています。



【麦きり】

ひな菓子庄内人であれば夏になると食べなくなる、そんな季節の食の一つが麦きりです。小麦でつくった麺を生のまま茹で、冷やして食べるのが一般的。のど越しが自慢の麺。うどんのことを「ムギ」と呼んでいたという説があるよう。



M55414600-805⁸⁵⁷(V)
秀峰窯 御深井藍染 平皿揃
6,600円(本体価格6,000円)
(瀬戸焼) 楕12入 (1112) 土

S38920120-805⁸⁵⁷(V)
秀峰窯 御深井藍染 平皿
1,320円(本体価格1,200円)
(瀬戸焼) ① (1112) 土

T93896025-805¹⁹⁹
竹スダレ 丸16.5cm
275円(本体価格250円)
(中国製) ⑤ (3303)

カット

M55219300-805⁸⁵²
鴻窯 みやび 盛鉢
3,300円(本体価格3,000円)
(波佐見焼) ① (2203)



【笹巻】

日本各地の端午の行事食に笹でまかれたもち米を煮たものがあるが、南庄内では灰を混ぜて煮たあく水にもち米を浸しておき、笹で三角形に包みます。黄色く餡色でプルプルとした食感。黒みつきなこや砂糖きなこをつけて食べます。



M50293900-805⁸⁵⁵
快山窯 輪花牡丹 銘々皿
9,900円(本体価格9,000円)
(美濃焼) ① (0107)



【孟宗汁】

堀たて旬の孟宗筍を味噌と酒粕仕立てでじっくり煮込みます。サクサクした歯応えと素朴な風味が人気。鶴岡の人は孟宗筍が大好きで、シーズン中は毎日のように食べるという強者もいるくらい、愛してやまない食材とのことです。



M55416500-805⁸⁵⁶(V)
秀峰窯 御深井藍染 平鉢揃
5,500円(本体価格5,000円)
(瀬戸焼) 楕12入 (1112) 土

S38922100-805⁸⁵⁶(V)
秀峰窯 御深井藍染 平鉢
1,100円(本体価格1,000円)
(瀬戸焼) ① (1112) 土



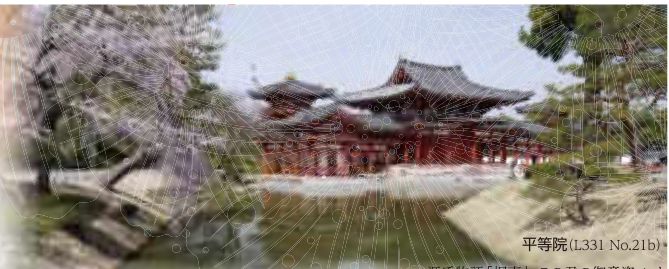
国連は6月18日を
“ Sustainable Gastronomy Day ”としています。
持続可能な美食の日、若しくは
持続可能な食文化の日と訳されています。

日本陶器(株)はこの「06月18日「持続可能な食文化」の日」に自国・世界の食文化に思いをよせ、健康と福祉の確保を目指し、食育等の機会にユネスコ無形文化遺産である“和食”の文化を届けたい、伝えたい。ユネスコ「食文化」創造都市である山形鶴岡市・大分臼杵市の活動に学び、美食倶楽部の北大路魯山人「食器は料理の着物」のように料理全般、食文化から食器を語りたいと思います。



●撮影に使用したお料理は食器の産地、郷土で味わえる伝統食をイメージしたものです(店名は購入店を備忘するため、その器をお薦めいただいたものではなく、また販売期間等限られたものもあります)。

元服(げんぶく、げんぶく)とは、奈良時代以降の日本で成人を示すものとして行われた儀式。通過儀礼の一つ。「元」は首(=頭)、「服」は着用を表すので、「頭に冠をつける」という意味。加冠とも初冠(ういこうぶり)とも言われました。書冊に見えるのは「聖徳太子伝暦(延喜17(917)年)」に太子が十九歳にして崇峻天皇の朝に冠給うとありますが、天武朝に「結髪加冠の制」が定められてのち、「続日本紀」によると、元明天皇の和銅7(714)年に聖武天皇が「皇太子にして元服を加え給ひし」とあるのが始であるとされています。以後、武家では戦国時代、江戸時代ずっとその儀式は執り行われ、江戸中期ごろには一般民まで広がり、大げさな儀式とまではしなくとも「元服」の意義をとり入れ、子供から大人への社会参加への境界日とされました。武家では明治維新まで正式に続きました。



平等院(L331 No.21b)

源氏物語「桐壺」、この君の御童姿、いと変へまうと思せど、十二にて御元服したまふ。居起ち思ひいとなみて、限りある事に事を添へさせたまふ。一年の春宮の御元服、南殿にてありし儀式、よそほかりし御響きに落とさせたまはず。所々の響など、内蔵寮、穀倉院など、公事に仕まつれる、おろそかなることとぞと、とりわき仰せ言りて、清らるを尽して仕まつつれり。



聖武天皇像(鎌倉時代、作者不詳)

維新後、徴兵検査が実質の通過儀礼との認識があったようですが、前述のとおり、昭和23(1948)年祝日法で「成人の日」制定から、集団での成人式がおこなわれてきました。生後100日目に健やかな成長を祈念した「お食い初め」、そのときの「お食い初め膳」を20年(18年)目に出して、この間の様々な事柄と共に、家族(親族)とお祝い、共食するは如何でしょうか?

20年目、再び「お食い初め膳」で祝う



M55370230-806844
秀峰窯 御深井十草 多用皿
2,530円(本体価格2,300円)
(瀬戸焼) (1112) 土

M54362380-806865
光抱窯 すこやか(女の子)
お食い初めセット
41,800円(本体価格38,000円)
(京焼・清水焼) (◆3105)



M54451800-806871
山近齋 さくら 7寸平皿
8,800円(本体価格8,000円)
(九谷焼) (3201)

M54361380-806865
光抱窯 すこやか(男の子)
お食い初めセット
41,800円(本体価格38,000円)
(京焼・清水焼) (◆3105)



M55374600-806872
古九谷花鳥 9号皿
6,600円(本体価格6,000円)
(九谷焼) (3216)



② 市松たまご (めでたい伝統柄) ④ 海老(腰が曲がるまで長生きすることを願って)



⑥ 酢だこ(赤色 祝色) ⑤ 厚焼き玉子(黄色 金運)



⑩ 伊達巻き玉子(金運、子孫繁栄) ⑨ 筑前煮(子孫繁栄)



M55374600-806872
古九谷花鳥 9号皿
6,600円(本体価格6,000円)
(九谷焼) (3216)

- ① M55373550-806812 青郊窯 縁起絵入り 豆皿揃 6,050円(税込価格) (九谷焼) (3202)
- ② M54150500-806843 秀窯 黒三島 銘々皿 5,500円(税込価格) (美濃焼) (0202) **カット**
- ③ M50293900-806855 快山窯 輪花牡丹 銘々皿 9,900円(税込価格) (美濃焼) (0107)
- ④ M54817120-806855 春山窯 縁起花形 銘々皿 13,200円(税込価格) (美濃焼) (0107)
- ⑤ M54201100-806857(V) 春草 織部ひさご紋 角銘々皿揃 11,000円(税込価格) (瀬戸焼) (1112) **カット**
- ⑥ M54689130-806856 陶房淳 織部 八角銘々皿 14,300円(税込価格) (瀬戸焼) (1112) ●
- ⑦ M55295550-806812 青郊窯 縁変わり 色絵豆皿揃 6,050円(税込価格) (九谷焼) ▲ (3202) ●
- ⑧ M55303380-806874 山源窯 小皿揃 トルコ青 4,180円(税込価格) (常滑焼) (3603)
- ⑨ S38730550-806887 陶楽窯 紫彩華紋 銘々皿 6,050円(税込価格) (京焼・清水焼) (◆3105)
- ⑩ M54871550-806862(V) リファイン 蒼輪たつみ 豆皿揃 6,050円(税込価格) (萩焼) (3805)
- ⑪ M54926100-806850 青花 絵入り 八角割小皿揃 11,000円(税込価格) (有田焼) ● (2101)
- ⑫ M54664130-806852 幸祥窯 色絵花唐草 銘々皿揃 14,300円(税込価格) (波佐見焼) (2203)



長谷寺 春夏(牡丹) (L331 No.5)



⑬ 三重県:おしもん(いせや) ⑭ 京都府:ぶづれ(萬亀楼) ⑮ 岐阜県:へろ(美鈴食品) ⑯ 滋賀県:びわます水産(福井養殖場) ⑰ 滋賀県:鮎煮(木村水産)



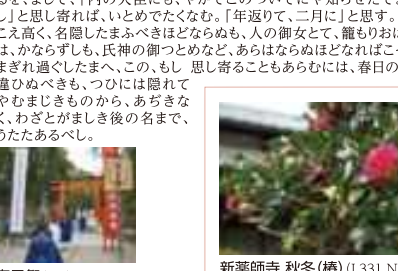
⑱ 岡山県:牡蠣の佃煮(しおかぜ) ⑲ 滋賀県:びわます水産(福井養殖場) ⑳ 京都府:はもの皮(丸常備餅店) ㉑ 佐賀県:そめんコロッケ(まんえい堂)



㉒ 福島県:こづゆ(オノノ食品) ㉓ 佐賀県:そめんコロッケ(まんえい堂) ㉔ 富山県:白えび(こん六水産)



春日大社(若草山) (L331 No.2a)



春日祭(3月)



新薬師寺 秋冬(椿) (L331 No.4)



安藤嘉規 備前金彩 小鉢揃 6,600円(税込価格) (萬古焼) (3305) **復活**

もともと「おせち料理(元旦・正月料理)」に食される縁起良い由来がありますし、各郷土で「お祝い」のときにや「病氣治療や滋養強壮」に食される幸があります。郷土の幸は食と器、まさに「器は料理の着物」で食するのはお祝いを一層、響くものになりそうです。

●撮影に使用したお料理は食器の産地、郷土で味わえる伝統食をイメージしたものです(店名は購入店を掲載するため、その器をお薦めいただいたものではなく、また販売期間等限られたものもあります)。

5月1日は、「日本赤十字社設立」の日です。日本陶彩は日本赤十字社(社員)として活動資金の支援をしております。



桜、川、餅、山から湧き出て川となり、野をうるおす

桜は穀物の神が宿るとも、稲作神事に関連していたともされ、農業にとり昔から非常に大切なものでした。また、桜の開花は、他の自然現象と並び、農業開始の指標とされた場合もあり、各地に「田植え桜」や「種まき桜」と呼ばれる木があったといわれています。

『日本書紀』卷十二「履中紀」、「三年の冬十一月の丙寅の朔辛未(40年)に、天皇、磐余市磯池に兩枝船を泛べたまふ。皇妃と各分れて乗りて遊宴びたまふ。膳臣余磯、獻酒。時に櫻の花、御蓋に落ちいれり。」が日本最古の桜花の記事。同じく「允恭紀」に、「花細し 桜の愛で 同愛でば 早くは愛でず 我が愛づる子ら(なんと繊細な桜の美しさよ。同じように愛でるなら、桜のように美しい我が姫を なぞもっと早くから愛さなかったのだろうか…)」と允恭天皇が皇妃への愛を詠った一首があります。中国文化の影響が強かった奈良時代は和歌などで単に「花」といえば梅を指していて、万葉集においては梅の歌118首に対し桜の歌は44首に過ぎませんでした。その後平安時代に国風文化が育つに連れて徐々に桜の人気が高まり、「花」とは桜を指すようになります。

桜餅(さくらもち)は、桜になんだ和菓子であり、桜の葉で餅菓子を包んだもの。雑菓子の一つでもあり、春の季語です。桜餅は、地方によって形状や製法が異なり、一般に、「関西風(道明寺餅)」と「関東風(長明寺餅)」と大きくわかれます。関西風は、道明寺餅または略して道明寺(どうみょうじ)ともいう。関西では関東風の桜餅を見ることはほとんどなく、桜餅といえば関西風の道明寺餅のことを指します。その昔、乾飯や煎り種の一種で、大阪府藤井寺市の道明寺で最初に作られ、保存食として使われたのが起源の道明寺粉で、水に浸し蒸したもち米を干して粗めにひいて作ります。主に関西風桜餅、おはぎ、椿餅に用いられます。関東で作られている桜餅は、関東以外では長明寺餅とも呼ばれることが多いようです。関東では関東風の桜餅のことを長明寺餅と呼ぶことは少なく、「長明寺の桜餅」と称した場合、向島の「長明寺桜もち」製の桜餅を意味しています。

うちのぼる佐保の川原の青柳は今春べとなりけるかも
(萬葉集 卷八(一四三三)大伴版上郎女)



大和川

③ 岐阜県(恵那寿や)

⑤ 岐阜県(西田屋製菓舗)

⑦ 愛知県(花桔梗)

⑨ 愛知県(魚屋芳広)

② 石川県(森八)

④ 岐阜県(梅園菓子舗)

⑥ 岐阜県(陶師軒)

⑧ 愛知県(両口屋是清)

⑩ 愛知県(美濃忠)

⑫ 愛知県(大蔵家)

⑭ 京都府(虎屋)

⑮ 京都府(鶴屋寿)

① 大阪府(梅屋)

⑪ 三重県(桔梗屋)

⑬ 三重県(桔梗屋)

⑯ 京都府(宿屋湖月)

⑰ 京都府(鶴屋寿)

道明寺は、允恭天皇陵のそばにあり、大和川と石川との合流に位置します。道明寺周辺は、菅原道真の祖先にあたる豪族、土師(はじ)氏の根拠地で、土師氏の氏寺土師寺として建立され、今の道明寺天満宮の前にあり、当時は七堂伽藍や五重塔のある大規模なものだったそうです。



道明寺

土師窯跡
(道明寺天満宮)
(L338 No.3b)

① 大阪府(梅屋)



※陶器…名窯カタログ
巻末P82-R539を
ご参考まで



陶荒田神社(和泉) 陶器窯跡群(和泉)

「貞観元年四月癸 廿一日丙午 河内・和泉兩國相争焼陶伐新之山 依朝使左衛門少尉紀今影等勘定為和泉國之地」、和泉・河内貞観(859年)、陶器山の新争いの訴訟が持ち上がり、4月21日に陶器山が和泉の国の地だと裁定された、とあります。(L338 No.2)

- ① H16638450-807^{181(V)} 陶彩「白雲」ざくら花びら銘々皿 4,950円(税込価格) (美濃焼) (0107)
- ② M55373⁵⁵⁰807⁸¹² 青郊窯 縁起絵塗り 豆皿揃 6,050円(税込価格) (九谷焼) (3202)
- ③ M54150500-807⁸⁴³ 秀窯 黒三島 銘々皿 5,500円(税込価格) (美濃焼) (0202) **カット**
- ④ M50293⁹⁰⁰807⁸⁵⁵ 快山窯 輪花牡丹 銘々皿 9,900円(税込価格) (美濃焼) (0107)
- ⑤ M50265500-807⁸⁵³ 玉山窯 織部ぶどう 菓子鉢 5,500円(税込価格) (美濃焼) (0202)
- ⑥ M54817120-807⁸⁵⁵ 春山窯 緑彩花形 銘々皿 13,200円(税込価格) (美濃焼) (0107)
- ⑦ M54201100-807^{857(V)} 春草 織部ひさご紋 角銘々皿揃 11,000円(税込価格) (瀬戸焼) (1112) **カット**
- ⑧ M54689130-807⁸⁵⁶ 陶房淳 織部 八角銘々皿 14,300円(税込価格) (瀬戸焼) (1112) ●
- ⑨ M55257750-807^{856(V)} 芝苑 黒釉白ながし 小丸皿揃 8,250円(税込価格) (瀬戸焼) (1112) 土
- ⑩ M55379130-807^{856(V)} 梅村知弘 織部花紋 小長角皿揃 14,300円(税込価格) (美濃焼) (1112)
- ⑪ M54982¹²⁰807⁸⁴¹ 山本英之 黒吹金彩 6号皿揃 13,200円(税込価格) (萬古焼) (3305) 土 復活
- ⑫ M55303380-807⁸⁷⁴ 山源窯 小皿揃トルコ青 4,180円(税込価格) (常滑焼) (3603)
- ⑬ M54981⁶⁰⁰807⁸⁴¹ 安藤嘉規 備前金彩 小鉢揃 6,600円(税込価格) (萬古焼) (3305) 復活
- ⑭ S38701¹⁰⁰807⁸⁸⁷ 昭阿弥窯 祥瑞山水 四寸皿 11,000円(税込価格) (京焼・清水焼) (◆3105)
- ⑮ S38773³⁰⁰807⁸⁸⁷ 陶葺窯 花結晶(茶) 銘々皿 3,300円(税込価格) (京焼・清水焼) (◆3105)
- ⑯ S38206³⁵⁰807⁸¹⁵ 陶葺窯 染付草花(桜) 四寸丸皿 3,850円(税込価格) (京焼・清水焼) (◆3105)

※こちらの商品は、1つで販売と、数個での揃えでの販売(主に「揃」と表記)とが混載しております。

●撮影に使用したお料理は食器の産地、郷土で味わえる伝統食をイメージしたものです(店名は購入店を偽装するため、その器をお薦めいただいたものではなく、また販売期間等限られたものもあります)。

花見(はなみ)は、主に桜の花を鑑賞し、春の訪れを寿ぐ日本古来の風習です。「日本後紀(承和7(840)年)」には、嵯峨天皇が弘仁3(812)年に神泉苑にて「花宴の節(せち)」を催したとあり、定期的に花は桜が主役であったと思われ、これが記録に残る花見の初出と考えられています。前年に嵯峨天皇は地主神社の桜を非常に気に入り、以降神社から毎年桜を献上させたといい、当時、桜の花見は貴族の間で急速に広まり、これが日本人の桜好きの原点のようです。天長8(831)年からは宮中で天皇主催の定例行事として取り入れられ、その様子は「源氏物語“花宴”」にも描かれています。



胡蝶の舞(萬葉雅楽会)

③1 長崎県(千寿庵)



③0 長崎県(宝軒屋) カット



春日大社(L331 No.2a)



春日祭(3月)



②9 佐賀県(まんえい堂)

②8 佐賀県(村岡屋)



②6 岡山県(小池菓子舗)



②4 滋賀県(たねや)



佐保川

奈良市を代表する河川であり、萬葉集などの歌枕としても有名な佐保川一帯には、奈良市内中央部を南北に貫く形で約5キロに渡り、途切れることのない壮大な桜並木が広がっています。佐保川の桜は、奈良市内の桜の名所としては他の追随を許さない最大の規模を誇り、県内でも有数の桜の名所として知られ、桜のシーズンには大勢の花見客が集まり、5キロに渡る並木道は人が絶えることがありません。



法隆寺

②1 京都府(鶴屋吉信)



①9 京都府(仙太郎)



②3 滋賀県(大瀬)



①8 京都府(老松)



②2 滋賀県(叶匠寿庵)

②0 京都府(表屋吉富)



②5 山口県(梅寿軒)



②7 山口県(本多屋)



③2 大分県(茶郎)



桜 (英中韓語)

- ①7 S38709300-808887 喜信窯 志野十草 五寸皿 3,300円(税込価格)(京焼・清水焼) (◆3105)▼
- ①8 S38712220-808887 匠窯 粉引 五寸丸皿 2,420円(税込価格)(京焼・清水焼) (◆3105)
- ①9 S38715300-808887 大日窯 灰釉三彩 五寸皿 3,300円(税込価格)(京焼・清水焼) (◆3105)
- ②0 M55034150-808847 大日窯 灰釉三彩 五寸皿揃 16,500円(税込価格)(京焼・清水焼) (◆3105)
- ②1 S38718300-808887 陶舞窯 花結晶(緑) 銘々皿 3,300円(税込価格)(京焼・清水焼) (◆3105)
- ②2 M55006130-808873 古谷製陶所 荒洲粉引 銘々皿揃 14,300円(税込価格)(信楽焼) (3402)
- ②3 M54988800-808873 和be Angel 取分け皿揃 8,800円(税込価格)(信楽焼) (3405)
- ②4 M55008100-808873 遊楽窯 青彩釉 銘々皿揃 11,000円(税込価格)(信楽焼) (3402)
- ②5 M55342300-808864 天龍窯ガラス釉 モイロロベア小鉢 3,300円(税込価格)(萩焼) (3806) 土 ▲
- ②6 M54949100-808858 夢幻工房 片口小鉢5客揃 11,000円(税込価格)(備前焼) (3807)
- ②7 M54871550-808862(V) 陶彩リファイン 香箱わつつみ 豆皿揃 6,050円(税込価格)(萩焼) (3805)
- ②8 M54926100-808850 青花 絵変り 八方割小皿揃 11,000円(税込価格)(有田焼) (2101)
- ②9 M50482700-808850 陶悦窯 結晶金彩 小鉢揃 7,700円(税込価格)(有田焼) ●(2205)
- ③0 M55221350-808852 鴻窯 みやび 取皿揃 3,850円(税込価格)(波佐見焼) ●(2203)カッタ
- ③1 M54664130-808852 幸祥窯 色絵花唐草 銘々皿 14,300円(税込価格)(波佐見焼) (2203)
- ③2 T91239180-8081141 柳瀬本業元 飛びカンナ 4寸皿 1,980円(税込価格)(小石原焼) (2215) 土 ▲

※こちらの商品は、1つで販売と、数個での揃えでの販売(主に「揃」と表記)とが混載しております。



隅田川

長命寺



① 東京都(山本や)

長命寺桜もちの由来:私どもの祖先に、長命寺の門番をしていた山本新六という者がおりました。この人、桜の季節は落ち葉の掃除に手を焼いたそう、ふと思いついて桜の葉を垣掛けにいたしまして、薄い皮で餡を包んだものに巻いて売ったところ、大変な売れ行きだった。(長命寺 桜もち 山本や(東京・向島)と)のこと。

器は食を盛る、食は器に盛られる Hygge

「楽しい器」…「齊藤光治」氏は「浅野陽やきもの塾(講談社)」で、次のようにおっしゃっています。

豊かな器を作りたい、楽しい器を作りたい。例えば、「粋(いき)」ということばがあって、これは説明が難しい観念とかいわれるけど、そうじゃないんですね。庶民がごく日常で体験する中に、キラキラ輝いているものと語ります。 出典:浅野陽/齊藤光治著「浅野陽やきもの塾」講談社(引用紹介)

参考資料



一般社団法人日本エシカル推進協議会、地球の環境と社会のあり方を新しい概念であり、価値観でもある「エシカル」を推進する趣旨に、日本陶彩株式会社は団体会員として賛同しています。

陶磁器のしおり



(英中韓語)

●手作りものは、サイズや風合いに違いがある場合があります(納期には一ヶ月程かかる場合がありますので、ご注文の際には必ず納期確認をお願い致します)。●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。

5月8日は、「世界赤十字デー」です。国際赤十字の創始者アン・デュナン誕生の日です。



いつまでも雅な京の香り

「源氏物語」のなかに、秘色(ひそく)という描写があり、これは中国の越州窯で作られた青磁を指します。平安時代とえば、中国からの影響が薄れ「国風文化」が開花したと理解されていますが、遣唐使という公式の朝貢がなくとも、大陸から文物も情報も得られていたことを示すものです(=参考: 家塚智子著「源氏物語の時代背景」、納屋嘉人編「茶の湯と物語」淡交社(20170605))。

お茶は奈良・平安時代に、遣唐使や留学僧によってもたらされたと推定されます。平安初期、「日本後記(承和7(840)年)」には、「嵯峨天皇に大僧都(だいそうず)永忠が近江の梵釈寺において茶を煎じて奉った」と記述されています。当時中国茶は現代の烏龍茶に似ただんご状の微発酵茶と考えられ、この茶の色こそが現代日本人のいうところの茶色。当時の日本人は、茶を嗜好品としてよりも薬としてとらえており、必要量のみを煎じて飲み、この飲茶習慣は根付かず廃れてしまったと考えられていましたが、最近では貴族や僧の間で継続的に愛好されていたと考えられています。

鎌倉時代に日本に禅宗を伝えた栄西は、中国から持ち帰った茶を九州(背振山)に植えます。また、宇治の明恵上人にも茶の種を送り、それが宇治茶の起源とも言われています。そして、「椿餅」は日本最古の餅菓子といわれ、「源氏物語第34帖若菜上」に、「椿い餅、梨、柑子やうのものども、様々に筥の蓋どもにとりませつつあるを、若きひとびと、そばれとり食ふ」と若い人々が蹴鞠のあとの宴で食べる場面が登場します。



平等院(L331 No.21b)



桐壺(源氏1-12歳): 帝(桐壺帝)はそれほど身分が高くない桐壺更衣を寵愛し皇子を儲けるが、更衣はやがて病死してしまふ。これを深く嘆く帝を慰めるために亡き更衣に生き写しの藤壺が入内し、新たな寵愛を得る。一方で皇子は帝の元で育てられ、亡き母・桐壺更衣に似るといふ藤壺をことに慕うようになる。帝は元服した皇子を臣籍降下させて源姓を与える。彼はその光り輝くような美貌から光源氏と呼ばれるようになり、左大臣家娘葵の上の婿に迎えられる。

- ① S38699200-809 陵泉窯 彫赤絵花鳥 急須(小) 22,000円(本体価格20,000円)
- ② S38700200-809 鳳山窯 染花紋 お茶呑茶碗 2,200円(本体価格2,000円)
- ③ S38701100-809 昭阿弥窯 祥瑞山水 四寸皿 11,000円(本体価格10,000円)
- ④ S38846120-809 陶薺窯 花結晶(緑) 急須 13,200円(本体価格12,000円)
- ⑤ S38847400-809 陶薺窯 花結晶(黄) お茶呑茶碗 4,400円(本体価格4,000円)
- ⑥ S38773300-809 陶薺窯 花結晶(茶) 銘々皿 3,300円(本体価格3,000円)



紅梅(薫24歳春): 柏木没後の頭中將家の物語。致仕太政大臣(頭中將)の孫娘・中の君と匂宮との結婚が画策されるが、真木柱の姫君と蛭兵衛卿宮の娘に心惹かれる匂宮は相手にしない。

- ⑦ S38705300-809 陶薺窯 白掛桜 急須 33,000円(本体価格30,000円)
- ⑧ S38706800-809 陶薺窯 花揃え(桜) お茶呑茶碗 8,800円(本体価格8,000円)
- ⑨ S38206350-809 陶薺窯 染付草花(桜) 四寸丸皿 3,850円(本体価格3,500円)
- ⑩ S38901120-809 清泉窯 四季印華 急須 13,200円(本体価格12,000円)
- ⑪ S38900300-809 花月窯 白印華 お茶呑茶碗 3,300円(本体価格3,000円)
- ⑫ S38709300-809 喜信窯 志野十草 五寸皿 3,300円(本体価格3,000円)▼



花散里(源氏25歳5月): 五月雨の晴れ間、源氏は故桐壺院の女御の一人・麗景殿女御の元を訪れる。ひっそりと物静かな、昔語りのゆかしい風情に住み込んでいる人のもとで、源氏は父帝在世の頃をしのぶ。後に妻の一人となる女御の妹・花散里との出会いは作中に記述されておらず、この巻で久々の再会と言う形をとる。

- ⑬ S38903250-809 壹楽窯 ヒワ花雲 急須 27,500円(本体価格25,000円)
- ⑭ S38902110-809 壹楽窯 ヒワ花雲 お茶呑茶碗 12,100円(本体価格11,000円)
- ⑮ S38712220-809 匠窯 粉引 五寸丸皿 2,420円(本体価格2,200円)
- ⑯ S38905400-809 陶薺窯 白掛彩草花 急須 44,000円(本体価格40,000円)
- ⑰ S38904800-809 陶薺窯 花揃え(すみれ) お茶呑茶碗 8,800円(本体価格8,000円)
- ⑱ S38715300-809 大日窯 灰軸三彩 五寸皿 3,300円(本体価格3,000円)



八坂神社(L331 No.24a)



祇園祭(7月)(L331 No.24b)

※商品は名窯カタログ P87~88 をご覧くださいませ。P9で使用する器(京焼・清水焼) (◆3105)

宇治に焼き物の里があります。平等院を宇治川をはさんで向かい側、興福寺の後背高峰山方向に北東約4キロほど離れたの山あいには、炭山(すみやま)があり、緑豊かな山あいの地域で、伝統的な京焼・清水焼の陶房を数多く抱える静かな里です。逆に宇治川の宇治橋の北東約1.5kmに位置には、単上り瓦葺跡(京都府宇治市菟道)は7世紀前半の瓦葺跡で、瓦と須恵器とともに焼造していた窯で、明日香村にある豊浦寺跡から出土した瓦と同型でした。

●撮影に使用したお料理は食器の良さを引き出すイメージのために使用したものです(店名は購入店を備忘するため、その器をお薦めいただいたものではなく、また販売期間等限られたものもあります)。●すべて 一客箱入、1客ずつお箱入りです。



賀茂別雷神社(L331 No.23a)上賀茂神社

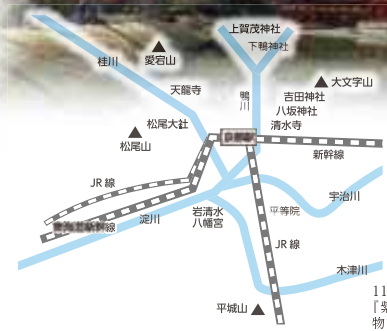


賀茂御祖神社(L331 No.23b)下鴨神社



葵祭(5月)(L331 No.23c)

松風(源氏31歳秋): 源氏は明石の御方に上洛をうながすが、身分を恥じる彼女はなかなか肯んじえない。入道の薦めによりやっと大堰川あたりの別邸へ忍んで上京した彼女は源氏は喜び迎え、姫君とも親子の対面を果たす。源氏に事情を聞いた紫の上はみずからに子のないことに引きくらへ嫉妬を感じるが、ゆくゆくは姫君を紫の上の養女としようという源氏の言葉に喜ぶ。



平等院(L331 No.21c)



11月1日は「古典の日」
 『祭式部日記』に、世界に誇る古典文学「源氏物語」の存在が記録のうえで確認できるもっとも古い日付が1008年(寛弘5年)11月1日であることから、11月1日を「古典の日」とした所以です。古典の日推進委員会は、2008年、古典を日本の誇りとして後世に伝えるため「古典の日」宣言を行い、毎年継続して「古典の日」の推進活動を行っています。2012(平成24)年9月には、広く国民全体が古典に親しむ日とすることを目的に「古典の日に関する法律」が公布・施行されました。



古典の日



時代祭(10月)(L331 No.27)



平安神宮(L331 No.27)

椎本(薫23歳2月-24歳夏): 春、匂宮は宇治に立寄り、次女・中君と歌の贈答をする。秋、八の宮が薨去。二人の姫君たちは薫に托された。薫は中君と匂宮の結婚を計画し、自らは大君に想いを告げるが彼女の返答はつれない。しかし薫の慕情はいつそうつの。



7月

8月

- ①9 S38716100-810 花月窯 白印華 急須 11,000円(本体価格10,000円)
- ②0 S38717240-810 柳葉 本粉引 お茶呑茶碗 2,640円(本体価格2,400円)
- ②1 S38718300-810 陶舜窯 花結晶(緑) 銘々皿 3,300円(本体価格3,000円)
- ②2 S38719120-810 陶舜窯 花結晶(白) 急須 13,200円(本体価格12,000円)
- ②3 S38720400-810 陶舜窯 花結晶(白) お茶呑茶碗 4,400円(本体価格4,000円)
- ②4 S38721300-810 陶舜窯 花結晶(青) 銘々皿 3,300円(本体価格3,000円)

若菜・下(源氏41歳3月から47歳12月): 朱雀院五十の賀に際して女楽が催され、源氏は女三の宮に琴を教える。女楽の直後、紫の上が病に臥し、源氏はその看護に余念がない。その間に柏木はかねてよりの想いを遂げ、女三宮を懐妊させてしまう。柏木が女三宮に送った手紙を手にして事情を知った源氏は、懊悩する。一方で源氏の遠まわしな諷諭に、柏木は恐怖のあまり病を発し、そのまま重態に陥る。



11月

12月



9月

10月

- ②5 S38140850-810⁸³⁵ 清泉窯 萩がさね 急須 9,350円(本体価格8,500円)
- ②6 S38191375-810⁸⁶⁶ 清泉窯 萩がさね 湯呑(小) 4,125円(本体価格3,750円)
- ②7 S38722300-810 大日窯 鮎釉 五寸皿 3,300円(本体価格3,000円)
- ②8 S38843440-810 浩三窯 わら釉 急須 4,840円(本体価格4,400円)
- ②9 S38844350-810 譲司窯 黒柿釉 湯呑 3,850円(本体価格3,500円)
- ③0 S38940280-810 匠窯 黒釉金彩 五寸丸皿 3,080円(本体価格2,800円)

- ③1 S38147470-810⁸³⁵ 浩三窯 花透し 急須 5,170円(本体価格4,700円)
- ③2 S38726300-810 花月窯 釉彩点紋 タル型湯呑 3,300円(本体価格3,000円)
- ③3 S38727280-810 匠窯 黒釉銀彩 五寸丸皿 3,080円(本体価格2,800円)
- ③4 S38728160-810 陶楽窯 紫彩華紋 急須 17,600円(本体価格16,000円)
- ③5 S38729500-810 陶楽窯 紫彩華紋 お茶呑茶碗 5,500円(本体価格5,000円) ●
- ③6 S38730550-810 陶楽窯 紫彩華紋 銘々皿 6,050円(本体価格5,500円)

- ③7 T93684145-810¹¹⁶⁰ スクエアトレイ-25 パームウッド 1,595円(本体価格1,450円) (木地中国・日本再加工(山中)) ノンスリップ 25×25×2cm ③ (3221)
- ③8 T93683145-810¹¹⁶⁰ スクエアトレイ-25 マホガニー 1,595円(本体価格1,450円) (木地中国・日本再加工(山中)) ノンスリップ 25×25×2cm ③ (3221)

P10で使用する器(京焼・清水焼) (◆3105)

※商品は名窯カタログ P87~88 をご覧くださいませ。

京都三大祭りとは京都府京都市内で行われる3つの祭りのこと。これらの祭りは成立の時期、事情、行事の内容などがそれぞれ大きく異なり、祭り文化の3つのタイプを示していることとされています(参考: 所功著「京都の三大祭」角川選書(19960108))。葵祭(5月)、賀茂御祖神社(下鴨神社)と賀茂別雷神社(上賀茂神社)で行われる祭りで、牛車・浅敷の御簾などを葵がすずらで飾ったことが名前の由来と言われている。祇園祭(7月)、八坂神社で行われる祭り、山鉾巡行や青山が中心となっている。時代祭(10月)、平安神宮で行われる祭り。

●手作りものは、サイズや風合いに違いがある場合があります(納期には一ヶ月程かかる場合がありますので、ご注文の際には必ず納期確認をお願い致します)。 ●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。 ●すべて 一客箱入、1客ずつお箱入りです。

7月2日は1951年、日本が「ユネスコ」に加盟した日です。日本陶器は無形文化遺産「和食:日本人の伝統的な食文化」のユネスコへの提案同意団体です。



濃茶、薄茶と菓子

利休百首「濃茶には点前を捨て一筋に服の加減と息を散らすな」でいう「濃茶」はお茶事を中心。濃茶は「おこい」ということもあり、「点てる」とは言わず、「練る」といいます。濃茶は基本的に、茶事などで客の人数分の濃茶をひとつの碗で主客より順に飲みまわすもので、「吸い茶」と言って、利休が始めたものとのこと。そして、供される菓子は生菓子で、「主菓子(おもがし)」と呼ばれます。また、「点前こそ薄茶ににあれと聞くものを粗相になせし人はあやまり」の「薄茶」は、手頃で飲みやすさから薄茶用抹茶が愛飲されるようになり、茶の湯が一般に定着しました。一人のお客様に、一碗ずつのお茶が点てられますから、お茶をいただいた後は、器をすぐに亭主にもどさずに、器の中、側面、裏面など、ゆっくりと拝見することができます。薄茶では「干菓子(ひがし)、落雁(らくがん)や有平糖(ありへいとう)」が出ますが、濃茶を出さない茶会では生菓子を出すことも多いようです。

これら和菓子は、味覚はもとより美的鑑賞にも堪えることを期待されて発達しました。昭和25年に「業界の振興発展のために協力することが必要」として、全国和菓子協会設立されます。「和菓子の日」を制定するなど、和菓子の健康性や文化性を訴えるための積極的な活動をおこなっています。

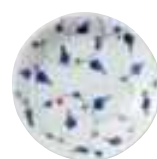
そのなかで、「和菓子製造技術の素晴らしさを知って頂き、一層和菓子の味わいを深めていただく」「和菓子職の優れた技術を伝承し和菓子振興に役立てる」ことを目指し、その伝統的な和菓子の製法を守り、優れた技術を有する技術者を認定する制度「選・和菓子職 伝統和菓子職部門」があります。

平成24(2012)年第1回では、「落雁諸江屋“加賀宝生(押物)”」「玉嶋屋“本煉羊羹(羊羹)”」「虎屋“夜の梅(羊羹)”」「七富久“鉢の木(半生菓子)”」「塩五“村雨(蒸菓子)”」が伝統和菓子職に認定され、以降、毎年夏に審査をしています(器には第1回認定の和菓子を盛ってみました)。

ちなみに、西暦848年(承和15年・嘉祥元年)の夏、仁明天皇が御神託に基づいて、6月16日に16の数にちなんだ菓子、餅などを神前に供えて、疫病を除け健康招福を祈誓し、「嘉祥」と改元したという古例にちなみ「和菓子の日」を制定したそうです。



〈そうた窯〉 惣太窯は、平成9年に200年以上つづく貞山窯から分家して開窯。常に新鮮なデザインを追求し、伝統とモダンテイストが融合された現代の有田焼で日々の生活の中で豊かに演出してくれる器を提案いたします。普段使いの器を中心に手描きの磁器に温まりをあわせ持つ器づくりを目指しています。



S38510230-811
そうた窯 染付花卉紋丸小皿
2,530円(本体価格2,300円)
(有田焼) 径11×2.5cm
紙箱 (11.5×12×3.5cm) ① (2104)



S38509140-811
そうた窯 カーネーション小皿
1,540円(本体価格1,400円)
(有田焼) 径10.3×2.2cm
紙箱 (11.5×12×3.5cm) ① (2104)



S38508230-811
そうた窯 染錦唐草つなぎ小皿
2,530円(本体価格2,300円)
(有田焼) 径11×2.5cm
紙箱 (11.5×12×3.5cm) ① (2104)

Recommend
菓子の三要素
名菓カタログ巻末P78-R404参照

〈陶葵窯〉



S38748200-811⁸¹³
陶葵窯 染付牡丹 三寸皿
2,200円(本体価格2,000円)
(京焼・清水焼) 径9.5×1cm
化粧箱 (10.3×10.3×3.8cm)
① (◆3105)



S38528150-811⁸¹³
陶葵窯 花結晶(白) 三寸皿
1,650円(本体価格1,500円)
(京焼・清水焼) 径9.5×1cm
化粧箱 (10.3×10.3×3.8cm)
① (◆3105)



S38526300-811⁸¹³
陶葵窯 四季の花(桜) 三寸皿
3,300円(本体価格3,000円)
(京焼・清水焼) 径9.5×1cm
化粧箱 (10.3×10.3×3.8cm) ① (◆3105)

食卓ルネサンスプロジェクト

協賛: NPO法人 食空間コーディネート協会 (L.303) ART&DESIGN

日本陶彩は、食空間コーディネート協会会員として本プロジェクトを応援しています。

日本の食卓ルネサンス UTSUNIA & SHIPPON A THOLA

宇治茶と焼き物


日本のお茶の歴史に必ず出てくるのが、建仁寺「榮西禪師」と高山寺「明恵上人」。榮西禪師は建仁寺を建立し臨済布教とともに、茶を佐賀背振山に植えたり、「喫茶養生記」を残すことで、開山堂近くに「茶碑」が建てられています。その建仁寺に榮西禪師を訪ね、宋から持ち帰った種を贈られたのが、高山寺を中興した華嚴宗の明恵上人です。明恵上人はこれを京都梅ノ尾の「鳥獣人物戯画」で有名な高山寺に植える(境内に「日本最古の茶園」として、石碑とともに残っています)とともに、喫茶の効能を認めて、さらに宇治に移し植えました。お茶の植え方を知らない村人に、馬を歩かせ、その蹄跡に茶を植えるように教えたことから、「駒蹄影(こまのあしかげ)」の名が残りました。ここからお茶の興隆、さらに今に続く宇治茶の歴史が始まります。従って、梅ノ尾は宇治茶発祥の地ともいえるのです。

その後、急速に栽培が拡大。14世紀半ばには喫茶の習慣が広がり、宇治茶は一級品とされ、茶の産地を飲み当てる「闘茶」も行われました。「茶の湯」の登場で、15世紀には、宇治は京都の梅ノ尾と並び第一の産地と呼ばれるようになります。16世紀後半、宇治で「覆い下栽培」と呼ばれる栽培法が開発され、鮮やかで、濃緑色のあるうまみの強い茶が生まれ、日本随一の評価を得ます。日本特有の抹茶です。千利休が大成した

「茶の湯」は、この抹茶を第一とします。江戸時代、17世紀初めに宇治萬福寺の隠元隆琦が釜炒りの煎じ茶(揉み製)を日本に伝えます。そして18世紀中頃、宇治田原湯屋谷の永谷宗圓により、蒸した茶の新芽を焙炉の上で揉み乾燥させる。「宇治製法(青製煎茶法)」が生み出されます。永谷宗圓と売茶翁は親交があったようです(=現在の茶器で他国ではあまり見られない横手急須はこの煎茶を気軽に飲むところから広まったようです)。さらに、江戸時代後期に、覆い下栽培の茶葉を宇治製法で仕上げる「玉露」が生み出されるなど、地形を生かした「山なり開墾」と呼ばれる優れた茶園と茶畑景観が形成されました。

この「約800年間にわたり最高級の多種多様なお茶を作り続け、日本の特徴的文化である茶道など、我が国の喫茶文化の展開を生産、製茶面からリードし、発展をとげてきた歴史と、その発展段階毎の景観を残しつつ今に伝える独特で美しい茶畑、茶問屋、茶まつりなどの代表例が優良な状態で揃って残っている唯一の場所」として、2015年、日本遺産に登録されました。

このようなお茶の発展、お茶の種類に工夫されていく度、焼き物も発展してきました。



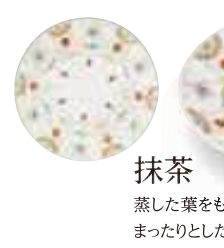
玉露
あざやかな緑色をしたで、まろやかでコクのある味わいが、舌に残ります。



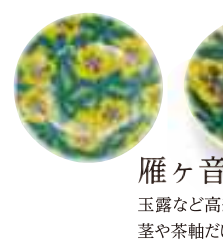
煎茶
さわやかな香りと上品な渋み。しかも、飲んだ後に清涼感があります。



釜入り
蒸さずに釜で炒り、強く揉まずに曲がった形に仕上げます。茶葉本来の風味や旨味が引き出されています。



抹茶
蒸した葉をもまずに乾燥し、石臼で粉に。まったりとした甘みのある味わい。



雁ヶ音
玉露など高級茶の製造途中に除かれた茎や茶軸だけで作られ、独特。



M55373550-812
青郊窯 縁起絵変り 豆皿揃
6,050円(本体価格5,500円)
(九谷焼) 径9.5×1.8cm
化粧箱 (22.5×22.5×4cm)
① 梱20入 ▲(3202)



玄米茶
宇治茶に炒った玄米を加え、芳ばしい香りとさっぱりとした味が楽しい。



粉茶
仕上げ加工する際に取り除かれた粉を使用し粉状のため、濃厚です。



川柳
茶摘みの際に煎茶などよりも大きく成長した茶葉で熱湯で淹れる。さっぱりとした風味が特長。



かぶせ
玉露と煎茶の中間。玉露のうまみと煎茶のさわやかさを合わせもちます。



ほうじ茶
香ばしくて軽い味わいは、刺激分が少なく、やさしいのどごしです。



M55295550-812
青郊窯 絵変わり 色絵豆皿揃
6,050円(本体価格5,500円)
(九谷焼) 径9.5×1.8cm
化粧箱 (22.5×22.5×4cm) **新品**
① 梱20入 ▲(3202)●

京都宇治茶 一番茶専門店
ほっこり庵
「心を注ぐ急須の日」
いつもお世話になっているお父さん、お母さん、子供たちに急須で美味しいお茶を注いであげてください。急須から注がれるあなたの「愛情」が家族の幸せを、絆を深めるのです。いつも元気で、笑顔のある健康な家族を願って。「ほっこり庵」が制定。
(L354) **09月04日**



金沢ひがし茶屋街 (photolibrary)

Recommend
秘色
名窯カタクロ巻末P82-R536参照



京都宇治:萬福寺(L310)

宇治茶初園故社(L336)



日本遺産認定
「日本茶800年の歴史散歩」(L339)
<http://www.pref.kyoto.jp/kyotoyamashiro/history.html>

●手作りものですので、サイズや風合いに違いがでる場合があります(納期に1ヶ月程かかる場合があります)。●すべて 一客箱入 1客ずつお箱入りです。

7月10日は、京都千本釈迦堂で、日常の必需品である茶わんなどの「せともの」類に感謝のまこと捧げ供養会を修されます。

こよなく白い飯

一汁一菜は、元々は鎌倉時代に禅寺で採られていた、質素儉約を重視した食事の形式を指す言葉でした。よっておかずも野菜を用いた極めて質素なもの(ただし、特別な日や来客時には「一汁三菜」としたようです)。この食事形式が一般の人々にも広まり、やがて一汁一菜・一汁三菜が日本の伝統的な日常の食事形態として定着するに至ります。

飯味



万葉歌碑 (L331 No.8)

ただし、鎌倉期以前の律令時代の下級官人と庶民の食事形態も実質的には一汁一菜であったのです。

主食(白米や玄米や雑穀米)に、汁もの(味噌汁等)一品と、菜(おかず、惣菜)一品を添えた日本における献立の構成の一つであり、粗食を指す。「一汁一菜」と言っても、汁と菜にさらに「香の物」(=漬物類)を少量添えることはしばしばあります。おかずが一品のみしかない「質素な食事(粗食)」の意味で用いられた言葉であったが、食生活の欧米化や食べすぎ(栄養過多)、肥満傾向、生活習慣病、「飽食」が日本人の健康を害しているという事実が明らかになってきた近年は、むしろ良い意味の言葉とされ、(食べ過ぎを防止)健康に良い食事・献立、として着目されるようになってきました。ここでは、「汁」はありませんが、二十四節気の頃に旬を迎える食材(野菜)のお菜と、京漬物で食してみます。

<p>立春 正月節 (二月四日頃)</p> <p>① あらたまの 年行き返り 春立たばまづ吾が宿に 鶯は鳴け(20-4490)</p>	<p>雨水 正月 中 (二月十九日頃)</p> <p>① S38731100-813 陶葺窯 紅白梅 飯碗(小) 11,000円(本体価格10,000円)</p> <p>② S38906300-813 陶葺窯 花結晶(黄) 銘々皿 3,300円(本体価格3,000円)</p> <p>③ S38733300-813 陶葺窯 四季の花(紅白梅) 三寸皿 3,300円(本体価格3,000円)</p>	<p>④ 石ばしる 垂水の上の 早蕨の 萌え出づる春に なりにけるかも(8-1418)</p>	<p>④ S38734310-813 喜信窯 志野印華 飯碗(小) 3,410円(本体価格3,100円)</p> <p>⑤ S38718300-813 陶葺窯 花結晶(緑) 銘々皿 3,300円(本体価格3,000円)</p> <p>⑥ S38736150-813 陶葺窯 花結晶(茶) 三寸皿 1,650円(本体価格1,500円)</p>
<p>啓蟄 二月節 (三月五日頃)</p> <p>⑦ 我が壘 三重の河原の 磯の裏に かくしももと 鳴くかはづかも(9-1735)</p>	<p>春分 二月 中 (三月二十一日頃)</p> <p>⑦ S38907360-813 嘉峰窯 花おしどり 飯碗(大) 3,960円(本体価格3,600円)</p> <p>⑧ S38701100-887 昭阿弥窯 祥瑞山水 四寸皿 11,000円(税込価格)</p> <p>⑨ S38738150-813 匠窯 粉引 丸小皿 1,650円(本体価格1,500円)</p>	<p>⑩ 春雨の ししく降るに 高円の 山の桜は いかにかあるらむ(8-1440)</p>	<p>⑩ S38739350-813 俊山窯 彩さくら 飯碗(小) 3,850円(本体価格3,500円)</p> <p>⑪ S38740350-813 幹窯 吉祥桜 五寸角皿 3,850円(本体価格3,500円)</p> <p>⑫ S38526300-813 陶葺窯 四季の花(桜) 三寸皿 3,300円(本体価格3,000円)</p>
<p>清明 三月節 (四月五日頃)</p> <p>⑬ 渡津海の 豊狭雲に 入日さし 今夜の月夜 清明こそ(1-0015)</p>	<p>穀雨 三月 中 (四月二十日頃)</p> <p>⑬ S38741250-813 カット 嘉峰窯 フローパー 飯碗(小) 2,750円(本体価格2,500円)</p> <p>⑭ S38206350-813 陶葺窯 染付草花(桜) 四寸丸皿 3,850円(本体価格3,500円)</p> <p>⑮ S38743200-813 陶葺窯 染付桜 三寸皿 2,200円(本体価格2,000円)</p>	<p>⑯ 葦辺より 満ち来る潮の いや増しに 思へか君が 忘れかねつる(4-0617)</p>	<p>⑯ S38744140-813 陶葺窯 白掛紫草花 飯碗(大) 15,400円(本体価格14,000円)</p> <p>⑰ S38715300-813 大日窯 灰釉三彩 五寸皿 3,300円(本体価格3,000円)</p> <p>⑱ S38745150-813 陶葺窯 花結晶(緑) 三寸皿 1,650円(本体価格1,500円)</p>
<p>立夏 四月節 (五月五日頃)</p> <p>⑲ 卯の花も 咲く月には 月立ちぬ ほととぎす来鳴き響めよ 含みたりとも(19-4066)</p>	<p>小満 四月 中 (五月二十一日頃)</p> <p>⑲ S38746700-813 陶葺窯 交趾唐草 飯碗(大) 7,700円(本体価格7,000円)</p> <p>⑳ S38747240-813 匠窯 粉引 五寸角皿 2,640円(本体価格2,400円)</p> <p>㉑ S38748200-813 陶葺窯 染付牡丹 三寸皿 2,200円(本体価格2,000円)</p>	<p>㉒ 暇無み 五月をすらに 我妹子が 花橋を 見ずか過ぎなむ(8-1504)</p>	<p>㉒ S38749450-813 陶楽窯 舞い唐草 飯碗(小) 4,950円(本体価格4,500円)</p> <p>㉓ S38730550-813 陶楽窯 紫彩華紋 銘々皿 6,050円(本体価格5,500円)</p> <p>㉔ S38750150-813 陶葺窯 花結晶(黄) 三寸皿 1,650円(本体価格1,500円)</p>
<p>芒種 五月節 (六月六日頃)</p> <p>㉕ あぢさゐの 八重咲くごとく 八つ代にを いませわが背子 みつづ偲はむ(20-4448)</p>	<p>夏至 五月 中 (六月二十一日頃)</p> <p>㉕ S38908350-813 喜信窯 鉄絵三島 飯碗(大) 3,850円(本体価格3,500円)</p> <p>㉖ S38752600-813 陶楽窯 紫翠紋 銘々皿 6,600円(本体価格6,000円)</p> <p>㉗ S38528150-813 陶葺窯 花結晶(白) 三寸皿 1,650円(本体価格1,500円)</p>	<p>㉘ 月草に衣は摺らむ 朝露に 濡れてのち はうつろひぬとも(7-1351)</p>	<p>㉘ S38753600-813 昇峰窯 涼 飯碗(大) 6,600円(本体価格6,000円)</p> <p>㉙ S38754300-813 陶葺窯 花結晶(白) 銘々皿 3,300円(本体価格3,000円)</p> <p>㉚ S38755300-813 陶葺窯 四季の花(紫陽花) 三寸皿 3,300円(本体価格3,000円)</p>
<p>小暑 六月節 (七月七日頃)</p> <p>⑳ 御側を 剣の池の 蓮葉に 溜まれる水の ゆくへなみ 我がする時に 逢ふべしと(13-3289)</p>	<p>大暑 六月 中 (七月二十三日頃)</p> <p>⑳ S38756120-813 陶葺窯 織部芙蓉 飯碗(小) 13,200円(本体価格12,000円)</p> <p>㉑ S38757400-813 大日窯 碧彩 五寸皿 4,400円(本体価格4,000円)</p> <p>㉒ S38758200-813 陶葺窯 染付鉄線 三寸皿 2,200円(本体価格2,000円)</p>	<p>㉓ 夏麻引く 海上瀟の 沖つ洲に 船は留めむ さ夜更けにけり(14-3348)</p>	<p>㉓ S38759350-813 大日窯 碧彩 飯碗(大) 3,850円(本体価格3,500円)</p> <p>㉔ S38721300-813 陶葺窯 花結晶(青) 銘々皿 3,300円(本体価格3,000円)</p> <p>㉕ S38761300-813 陶葺窯 四季の花(鉄線) 三寸皿 3,300円(本体価格3,000円)</p>

P13で使用する器(京焼・清水焼) (◆3105) ※商品は名窯カタログ P87~88 をご覧くださいませ。

条坊制とは中国・朝鮮半島・日本の宮城都市に見られる都市プランで、南北中央に朱雀大路を配し、南北の大路(坊)と東西の大路(条)を基盤の目状に組み合わせた左右対称で方形の都市プラン。四神相応(しんそうおう)は、東アジア・中華文明圏において、大地の四方の角角を司る「四神」の存在に最もふさわしいと伝統的に信じられてきた地勢や地相のこと。なお四神の中央に黄竜や麒麟を加えたものが「五神」と呼ばれています。

旧暦では節気が月の頭にきて、前半の半月間の季節感を示し、中気は月のなかばに訪れ、後半の半月間の季節感を示していました(出典:藤巻王彦著「五節供・二十四節気・年中行事のしきたりと祝い方」日本実業出版社(19860705))。

本の紹介

●撮影に使用したお料理は食器の良さを引き出すイメージのために使用したものです(店名は購入店を偽装するため、その器をお薦めいただいたものではなく、また販売期間等限られたものもあります) ●すべて 一各箱入、1客ずつお箱入りです。

【和食の心とカタチ】
 和食は、自然の恵みを大切にし、季節の移り変わりに合わせて、食材の味を活かすことで、心と体を守り、健康を維持する文化です。古くは「和食の心とカタチ」として知られ、その奥深い文化と歴史を伝えるために、この冊子を作成しました。和食の心とカタチを、ぜひご覧ください。

「和食の心とカタチ」

washoku-katachi



飛鳥寺 (L331 No.1)

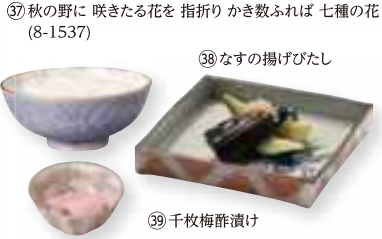
高松塚古墳 (L331 No.1)



飛鳥文化、白鳳文化、天平文化と外国からの輸入を独自に固有の文化と融合していった時代、政治も「形」づくられていきました。それは「宮」から「京」への展開という構造で「目に見える」形で進んでいきました。
 藤原京は日本史上で最初の条坊制を布いた本格的な唐風都城でもあり、それは風水説(四神相応)が盛り込まれた地域でもありました。のちの平城京や平安京にも、この四神な「山」「川(池)」などの自然・風土なり神社仏閣を配置を見ることが出来ますが、何よりも高松塚古墳やキトラ古墳に、その美しい壁画には魅了されます。

萬葉集、巻一にある「やすみし わご大王(おほきみ) 高照らす 日の皇子 荒樟(たへ)の 藤原がうへに食(を)す国を見(め)し給はむと 都宮(みあらか)は 高知らさむと 神ながら 思はずなへに 天地(あめつち)も 寄りてあれこそ 石走(いはし)る 淡海(あふみ)の國の 衣手(ころも)の 田上(たのな)ま(なま)の 真木(まき)さく 楢(の)の 櫛(ひ)の 櫛手(つまで)を もののふの 八十氏河(やそぢがわ)に 玉藻(たまも)なす 浮かべ流せれ 其(そ)を取ると さわか御(み)たみも 家宅(いえ) 身もた知らず 鴨(か)の 水に浮きあむ わが作る 日の御門(みかど)に 知らぬ國 寄(よ)し巨勢道(こせち)より わが國は 常世(とこよ)にならむ 因(ふみ)負(お)る 神(くす)しきも 新代(あらたよ) 泉(い)の 河(か)に 持ち越(こ)せる 真木(まき)の 櫛手(ひ)を 百足(ももも)もたらず 夜(よ)に作り 涙(なみだ)の(ほ)すらむ 動(い)そはく見れば 神(かみ)ながらし(巻一五〇))は いかにも...

立秋
七月節(八月八日頃)



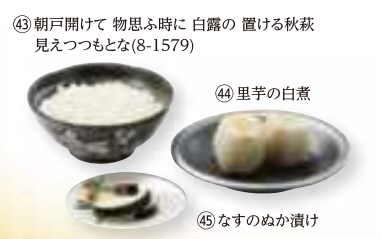
- ③⑦ S38762600-814 昇峰窯 紫野 飯碗(大) 6,600円(本体価格6,000円)
- ③⑧ S38763350-814 幹窯 吉祥秋草 五寸角皿 3,850円(本体価格3,500円)
- ③⑨ S38945660-814 陶楽窯 紫彩三島 盃 7,260円(本体価格6,600円)

処暑
七月中(八月二十三日頃)



- ④① S38909375-814 北哉窯 花六瓢 飯碗(小) 4,125円(本体価格3,750円)
- ④② S38765400-814 陶算窯 花結晶(銀線) 楕円鉢(小) 4,400円(本体価格4,000円)
- ④③ S38766200-814 陶算窯 染付山葡萄 三寸皿 2,200円(本体価格2,000円)

白露
八月節(九月八日頃)



- ④④ S38767400-814⁸⁶² 清泉窯 萩がさね 飯碗(大) 4,400円(本体価格4,000円)
- ④⑤ S38727280-814 匠窯 黒釉銀彩 五寸丸皿 3,080円(本体価格2,800円)
- ④⑥ S38768300-814 陶算窯 四季の花(山葡萄) 三寸皿 3,300円(本体価格3,000円)

秋分
八月中(九月二十三日頃)



- ④⑦ S38848350-814 俊山窯 京の秋 飯碗(大) 3,850円(本体価格3,500円)
- ④⑧ S38712220-814⁸⁸⁷ 匠窯 粉引 5寸丸皿 2,420円(本体価格2,200円)
- ④⑨ S38944150-814 陶算窯 花結晶(青) 三寸皿 1,650円(本体価格1,500円)

寒露
九月節(十月八日頃)



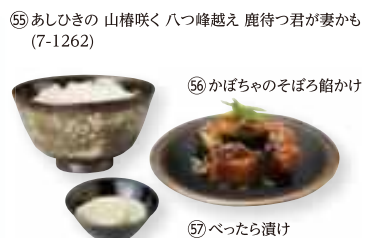
- ④⑩ S38770380-814 大日窯 釉彩 飯碗 4,180円(本体価格3,800円)
- ④⑪ S38771320-814 嘉郎窯 灰緑丸 五寸皿 3,520円(本体価格3,200円)
- ④⑫ S38942200-814 匠窯 黒釉金彩 丸小皿 2,200円(本体価格2,000円)

霜降
九月中(十月二十四日頃)



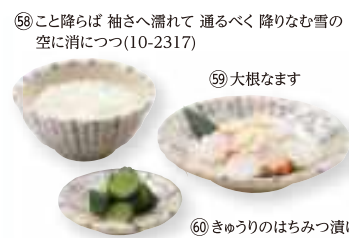
- ④⑬ S38772360-814 花月窯 黒輪線紋 飯碗 3,960円(本体価格3,600円)
- ④⑭ S38773300-814 陶算窯 花結晶(茶) 銘々皿 3,300円(本体価格3,000円)
- ④⑮ S38774200-814 匠窯 黒釉銀彩 丸小皿 2,200円(本体価格2,000円)

立冬
十月節(十一月七日頃)



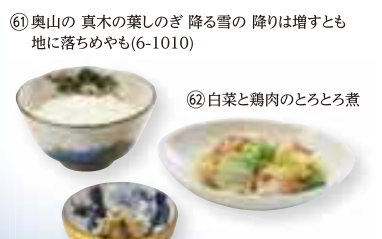
- ④⑯ S38650375-814 ^{Hit} 花月窯 櫛目印華 飯碗(大) ● 4,125円(本体価格3,750円)
- ④⑰ S38940280-814 匠窯 黒釉金彩 五寸丸皿 3,080円(本体価格2,800円)
- ④⑱ S38947500-814 陶算窯 黒耀虹彩 盃 5,500円(本体価格5,000円)

小雪
十月中(十一月二十二日頃)



- ④⑲ S38775350-814 喜信窯 志野十草 飯碗(小) 3,850円(本体価格3,500円)
- ④⑳ S38709300-814 喜信窯 志野十草 五寸皿 3,300円(本体価格3,000円) ▼
- ⑤① S38776160-814 喜信窯 志野十草 三寸皿 1,760円(本体価格1,600円) ▼

大雪
十一月節(十二月七日頃)



- ⑤② S38777325-814 俊山窯 吉祥富士 飯碗(大) 3,575円(本体価格3,250円)
- ⑤③ S38778400-814 陶算窯 花結晶(白) 楕円鉢(小) 4,400円(本体価格4,000円)
- ⑤④ S38946400-814⁸²³ 陶算窯 花交趾(椿) 盃 4,400円(本体価格4,000円)

冬至
十月中(十二月二十二日頃)



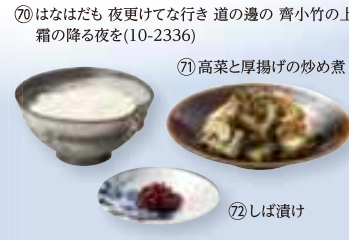
- ⑤⑤ S38845360-814 花月窯 釉彩点紋 飯碗 3,960円(本体価格3,600円)
- ⑤⑥ S38771320-814 嘉郎窯 灰緑丸 五寸皿 3,520円(本体価格3,200円)
- ⑤⑦ S38899400-814⁸²³ 陶算窯 花交趾(牡丹) 盃 4,400円(本体価格4,000円)

小寒
十二月節(一月五日頃)



- ⑤⑧ S38910400-814 北哉窯 鶴松竹梅 飯碗(大) 4,400円(本体価格4,000円)
- ⑤⑨ S38781360-814 幹窯 めでたい(赤) 中皿 3,960円(本体価格3,600円)
- ⑤⑩ S38943400-814 陶算窯 花結晶(白) 盃 4,400円(本体価格4,000円)

大寒
十二月(一月二十二日頃)



- ⑤⑪ S38911250-814 昌久窯 粉引鶴亀 飯碗(大) 2,750円(本体価格2,500円)
- ⑤⑫ S38722300-814 大日窯 釉軸 五寸皿 3,300円(本体価格3,000円)
- ⑤⑬ S38783200-814 陶算窯 染付椿 三寸皿 2,200円(本体価格2,000円)

P14で使用の器(京焼・清水焼)(◆3105) ※商品は名窯カタログ P87~88 をご覧くださいませ。

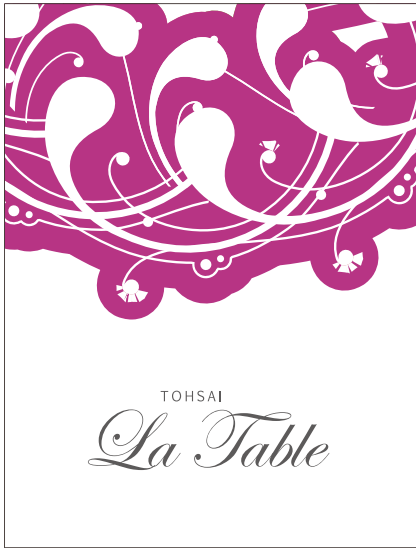
坐と日本文化: 畳の上に悠然と坐っていると、かつての日本人がどのように世界を眺め、人と人との関係をどのように和ませ、身の回りの諸々の事柄を愛おむように秩序立ててきたかが、自分のからだでも感じ取ることができるような気がする(出典: 矢田部英正著「日本人の坐り方」集英社(20110222))。畳は、世界に類がない日本固有の文化になったそう。畳の原点は古代からあり、その畳は、蓮(むしろ)・葵(ごさ)・菰(こも)などの薄いやぶ物の総称でした。使用しないときは畳で部屋の隅に置いたことことから、動詞である「タタム」が名詞化して「タタミ」になったのが畳の語源とされています。「古事記」には皮畳、絹畳(きぬだたみ)、菅畳(すがだたみ)、「万葉集」には木綿畳(ゆうだたみ)、八重畳(やえだたみ)といった文字が見られます。平安時代には畳は極めて質素な品物になり、源氏物語のいくつかの場面を絵画化した「源氏物語絵巻」には、板張りの上に畳が置かれ、座具と寝具を兼ね備えていたことがわかります。

●料理等は撮影用備品です。 ●すべて 一客箱入 1客ずつお箱入りです。

7月20日は、信楽町「愛宕神社(陶器神社)」にて日常生活に欠かせない「火」への感謝を込めて「火まつり」が行われます。

「温故の成長」。

日本には豊かな四季の中で育まれた多くの「節句」があります。この節句は、もともと中国から奈良時代頃に伝えられた風習、それを稲作を中心とした日本人の生活のリズムにうまく適合させ日本の季節行事として深く根を降ろし、現代に至っています。日本の宮廷で節日(祝の日)などに天皇のもとに群臣を集めて行われた公式行事(饗宴を伴う)を節会(せちえ、節供)といい、平安時代には元日・白馬・踏歌・端午・豊明が五節会として、江戸時代には人日・上巳・端午・七夕・重陽を幕府が式日として定め、五節供として重視されました。それは自然への畏怖と生命力・成長力への願いや感謝のあらわれです。節句は日本の暦のひとつで、1月- 睦月、2月- 如月などの月の別名や、二十四節気、七十二候、六曜などがあり、干支もそのひとつ。日本ではさまざまな事柄や自然を行事にして記憶に留め、長きに渡って文化・伝統をつないできました。現代の「クール・ジャパン」政策も、「面影日本Roots of Japan(s)」をエポックに「JapanThankYou」としてのビジネス・ジャパンが推進されるなか外国からも羨望の、2013年12月に「和食」がユネスコの無形文化遺産に登録されました。そして、17の大きな目標(それらを達成するための具体的な169のターゲット)の「Sustainable Development Goals(SDGs; 持続可能な開発目標)」が2015年9月国連で採択。その具体的なアクションとして2016年12月「Sustainable Gastronomy Day(持続可能な食文化の日(毎年6月18日))」も採択されます。この国際デーは、このSDGsの達成に、持続可能な食文化への人々の意識を高めることが目的。地元生産者とのつながりを作り、貧困の削減や資源の効率的な使用、環境保護、文化的な価値や多様性の保護に貢献する。何よりもまずは「自国・地域の郷土料理、食文化に目を向けていく」。そのために国連教育科学文化機関(UNESCO)や国連食糧農業機関(FAO)などとも連携、推進されます。NPO法人食空間コーディネーター協会では、卓育®の一環から「いっしょに食べよう」を推進、また「イェナカ」ブームの昨今、温故知新。古来より節目ときには集まって共食する伝統、風俗があったわけで、和風な節供料理をモダンな器(うつわ)で、伝統的な器(うつわ)で今風な節句料理もあり?。Hyggeに通じる五節供料理での共食は絆を高め、季節の旬を頂く風情と健康のデュアル・メリットの享受はいかがでしょうか。また、6月は食育、11月は家族をテーマのキャンペーンが目白押し。五節供など特別な料理と食器で食卓を囲めば、私たちへの「日本再認識・再発見」へ良い機会となりますね。



五節供を愉しみながら。

1/7 人日

七草で知られている1月7日が人日(じんじつ)。6世紀ごろの中国の地方風習を記した「前楚(まいそ)歳時記」に「正月七日を人日となす。七種の葉を持って羹(あつもの)を為(つく)ると」とあり、この日に七草の若葉を熱い吸い物にして食べると無病息災という風習で、日本では若葉節会の行事と人日が合わさり、現代の七草粥の行事となりました。

【古事記】酒染(さけくら)の歌 是に還り上り坐しし時に、其の御祖(みおや)、息長帯日賣の命、待酒(まちざけ)を醸(か)みて以て獻(たま)てまつりき。爾(その)くして其の御祖の御歌に曰く 許能美岐波 和賀美岐那良久志能加美 登許余連伊麻須 伊波多須須 須久那美迦能 加牟昔本 本岐玖瑞本 登余本岐 本岐母登本斯 麻都理許斯 美岐結 阿佐受勢 佐佐(この御酒はわが御酒ならず 酒の司常世に坐す 立たす 少御神の 神壽き 壽き狂し 豊壽き 壽き廻し 奉り来し 御酒ぞ 飽さず食さざ) 如此(かく)歌いて木御酒(おのみき)獻りき。 爾(その)くして建内宿禰の命、御子の眞に答えて歌いて曰く 許能美岐波 美岐那良久志能加美 登許余連伊麻須 伊波多須須 須久那美迦能 加牟昔本 本岐玖瑞本 登余本岐 本岐母登本斯 麻都理許斯 美岐結 阿佐受勢 佐佐(この御酒を 醸(か)みければ 其の 白に立てて 歌ひつづ 醸(か)みければ 舞(ま)ひつづ 醸(か)みければ 此の御酒の 御酒の あやにうたふ 楽しさ) 此は酒染(さけくら)の歌なり。



わたの原 八十島かけて 漕ぎ出でぬと 人には告げよ あまの釣船 (小倉百人一首 小野篁)

須原陶磁工房 須はら飾り
 ① CGT8619-815 羽子板(赤)
 ② CGT8620-815 羽子板(白)
 各 5,500円(本体価格5,000円)
 (瀬戸焼) 25×9.5cm 紙箱
 ① (◆1113)

SZK-40-815
 西野美香 ほしの子 花瓶
 242,000円 受注生産(現品販売)
 (本体価格220,000円)
 (丸谷焼) 径13.5×29.2cm 桐箱 カット
 ① ▲(◆3202)▼

現代の視点から見れば、「もったいない」に通じるものの、律令体制が整い、特に平安期以降において、「穢(けが)れてない、すなわち「清(きよ)浄(じやう)」なものを使うことが重要視されました。特に宴会のような「おもてなし」を尽くす場合には清くないとならない。それは「未使用」であること。よって、既に釉薬技術での陶器なり、漆塗りの技術は持っていないながらも、器は土器(かわらけ)であり、箸も食器は一度きりのものとされました。いわば使い捨てです。その「かわらけ」について清少納言は次のように書いています。「清しと見ゆるもの 土器(かわらけ) 新しき鏡(かなまり) 置に刺す簾(こも) 水にもものを入る透影(すきかげ) (清少納言「枕草子」141段)」とあります。そして、平安京跡、上流貴族の館からはその器や箸が多く出土します。また、割り箸は江戸時代後期以降のものですが、発想としては「ワレナイ事は未使用」であることを端的に示すものとして一度きりの使い捨て。神社では、今でも「かわらけ」に神饌の各種供物を盛ることが行われています。正月おせち料理に利用する白木箸、割り箸はその意味合いを残しています。明治維新以降の獣肉食解禁まで、このような風習は残り、平安期以降の、禅宗や茶の湯等に基づく「佗(わ)び(寂)び」の美意識とは別に観念として意識づけられていました。

③ 桜を伸びやかに描いた 使いやすい小皿です。
 ④ 松屋漆器(越前塗)は、 ナチュラルな風合いが特徴です。

竜は良い「氣」を運ぶシンボルと されています。 良い「氣」を運ぶ「竜の器」で食事を。
 もともとは石畳文と呼ばれていた 文様が江戸歌舞伎で評判となり 「市松」に。

- ③ S38206350-815887 陶葉窯 染付草花(桜) 四寸丸皿 3,850円(本体価格3,500円) (京焼・清水焼) 13×1.5cm ① (◆3105) 土
- ④ T91252490-8151155 越前 白木 スープ盆 5,390円(本体価格4,900円) (日本製(越前)) 21.7×30.6×1.5cm ① (3211)

- ⑤ S38109500-815834 幸祥窯 染付電 飯碗 5,500円(本体価格5,000円) (波佐見焼) 15.5×6.5cm ① ●(2203) HiFi
- ⑥ T94686250-8151118(V) 市松 面取湯呑(青) 2,750円(本体価格2,500円) (有田焼) 8.8×7.2cm (220ml) ダンボール ③ (2101)

五節供。 祓う、味わい、願ひ、

五節供プロジェクト goseku-washoku.jp

和食文化 国民会議

和食会議の新たな活動、始まる。

五節句、または五節供:伝統的な年中行事を行う季節の節目となる日で日本の文化・風習。古くは、節日には朝廷で節会が開かれた。アレンジされていくつもの節日が伝わっていたが、人日(じんじつ):1月7日・七草、上巳(じょうし/じょうみ):3月3日・桃の節句・雛祭り、端午(たんご):5月5日・菖蒲の節句、七夕(しちせき/たなばた):7月7日・たなばた・星祭り、重陽(ちやうよう):9月9日・菊の節句をもって、五節句(五節供)と言います。丸山洋子さんは須原陶磁工場の協力にて「須はら飾り」をプロデュースしました。

Profile 丸山 洋子 (まるやま ようこ)
 食空間プロデューサー・パーティープランナー
 日本の生活文化と欧米のトレンドの融合を研究。オリジナルテーブルトップ商品「MY DEAR LIFE」を開発、また現代のライフスタイルに合った「設えスタイル」をプロデュース。ホテル、旅館の空間装飾、テーブルトップコンサルティングをはじめ、プライベート・ビジネスパーティーを数多く手がける。
 ●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。

「ラ・ターブル」＝「雅楽」は「雅正の楽舞」で格式高く、その様式美は豪華絢爛たるものです。和をもって尊しとなす、伝統は今日性をもって革新しつつ継承されております。

3/3 上巳

3月3日、3月上巳(じょうし)はひな祭り知られています。古来中国では水辺で禊(みそぎ)をし、誠えをする習慣があり、これが後の曲水の宴に発展。体の代わりに人形(ひとがた)を川や海に流す行事となり、継流しとして今に伝わっています。江戸時代に雛人形を飾り、桃の花等を供え、白酒で祝う女の子のお祭りになりました。



久方の 光のどけき 春の日に
しづ心なく 花の散るらむ (小倉百人一首 紀友則)

- ① **CGT8602**-816136
須原陶磁工房 須はら錦彩 飾り玉(上巳)桜
5,500円(本体価格5,000円)
(瀬戸焼) 10×10cm 紙箱 ① (◆1113)▲
- ② **T94899200**-816 カット
2,200円(本体価格2,000円)
(日本製) 9.5×12cm ① (◆1113)
- ③ **M54664130**-816852
幸祥窯 色絵花唐草 銘々皿揃
14,300円(本体価格13,000円)
(波佐見焼) 15.5×3.5cm ① (2203)
- ④ **M55032300**-816
陶舜窯 花結晶(茶) なごみカップ
3,300円(本体価格3,000円)
(京焼・清水焼) 径7.5×10cm (200ml) ① (◆3105)
- ⑤ **T91251750**-8161155
越前 白木13.0長角盆
8,250円(本体価格7,500円)
(日本製(越前)) 28.8×39.4×1.5cm ① (3211)
- ⑥ **M54451800**-816871
山近泰 さくら7寸平皿
8,800円(本体価格8,000円)
(九谷焼) 径21×2.4cm ① (3201)

7/7 七夕

七夕とは7月7日の夕方を意味し機を織る女「棚機女」(タナバタツメ)の略。星祭りともいい、牽牛星と織女星が年に一度天の川をはさんで出会うという伝説。江戸時代には民間にこの祭りが普及し、庭前に瓜などの供物をし、技芸上達などを願って五色の短冊を笹竹につけ飾り付けました。



瀬をはやみ 岩にせかる 滝川の
われても末に 逢はむとぞ思ふ
(小倉百人一首 崇徳院)

- ⑫ **CGT8641**-816
須原陶磁工房 須はら飾り
貝合わせ(七夕)
2,750円(本体価格2,500円)
(瀬戸焼) 9×7.5cm ① (◆1113)▲
- ⑬ **M55217350**-816861
椿秀窯 つぼみ 盛鉢
3,850円(本体価格3,500円)
(萩焼) 20×18.5×7cm
① (3805) 土
- ⑭ **M54238400**-816873 富田正 黒金彩 オールド
4,400円(本体価格4,000円)
(信楽焼) 径10×8cm (340ml) ① (3402) 土
- ⑮ **T91250650**-8161155 越前 白木10.0角盆
7,150円(本体価格6,500円)
(日本製(越前)) 30.3×30.3×1.5cm ① (3211)
- ⑯ **M55374600**-816872 古九谷花鳥 9号皿
6,600円(本体価格6,000円)
(九谷焼) 径27×3.5cm ① (3216)

須原陶磁工房

五節供を彩る須はら飾りをご用意しています。須原陶磁工房では、この五節供にふさわしい節供飾りの品々を熟練の技で一つ一つに心を込めて創作いたしております。主なアイテムは、犬笛・振振物入れ・羽子板・掛飾り・飾り玉などです。丸山洋子プロデュース。



泥中庵蔵六述「陶器」
好陶会(19181105)より
陶彩文庫蔵(L388)

5/5 端午

5月5日。上旬の牛の日。男の子がいる家々にて兜人形、座敷織を飾り、人形には柏餅、菖蒲酒を供え、邪気を払う行事。平安時代に日本に伝わり、貴族の間から庶民へと普及。菖蒲やよもぎを軒に吊るし、菖蒲湯に入って悪気を払い、柏餅などを食べてお祝いました。近世は鯉のぼりなどを立て、武者人形などを飾って男児の成長を祝う行事となりました。



滝の音は 絶えて久しく なりぬれど
名こそ流れて なほ聞こえけれ
(小倉百人一首 藤原公任)

- ⑦ **T94897100**-816136
須原陶磁工房 須はら錦彩 掛飾り(端午)
11,000円(本体価格10,000円)
(瀬戸焼) 22×22cm 紙箱 ① (◆1113)▲
- ⑧ **T91247450**-8161155
越前 13.0長角盆うらみ
4,950円(本体価格4,500円)
(日本製(越前)) 28.8×39.4×1.5cm ① (3211)
- ⑨ **H16956400**-816856(V)
塩草窯 織部まどつる 盛鉢
4,400円(本体価格4,000円)
(瀬戸焼) 径18×5.5cm ① (1112) 土
- ⑩ **M54565500**-816843
庄圭一郎 角皿かいらぎ
5,500円(本体価格5,000円)
(萩焼) 19.5×22.5×3.5cm
① (3805) 土
- ⑪ **M55401100**-816822
北哉窯 群鶴 お預け酒器揃
11,000円(本体価格10,000円)
(京焼・清水焼) 徳利360ml 盃100ml
① (◆3105) 土

9/9 重陽

重陽(ちようよう)は、9月9日。旧暦では菊が咲く季節であることから菊の節句とも呼ばれる。陰陽思想では奇数は陽の数であり、陽数の極である9が重なる日であることから「重陽」と呼ばれる。邪気を払い長寿を願って、菊の花を飾ったり、菊の花びらを浮かべた酒を酌み交わして祝ったりしていた。



人もをし 人もうらめし あぢきなく
世を思ふゆゑに 物思ふ身は
(小倉百人一首 後鳥羽院)

- ⑰ **CGT8636**-816
須原陶磁工房 須はら錦彩 福楯
8,800円(本体価格8,000円)
(瀬戸焼) 9.5×16cm 紙箱
① (◆1113)▲
- ⑱ **S38554230**-816826 小春花 赤染麦わら手 飯碗
2,530円(本体価格2,300円)
(瀬戸焼) 径12.3×6.2cm ① (1112) ●
- ⑲ **ACT-02-816100** カット
長谷園 かまどさん 一合炊き
11,000円(本体価格10,000円)
(伊賀焼) 19×14cm 楕6入
(しゃもじ・日本製) ①
(◆3502) 土 直火
- ⑳ **S38555200**-816826
小春花 赤染麦わら手 湯呑
2,200円(本体価格2,000円)
(瀬戸焼) 径6.7×6.8cm (180ml) ① (1112) 土
- ㉑ **T91248450**-8161155 越前 13.0長角盆根来
4,950円(本体価格4,500円)
(日本製(越前)) 28.8×39.4×1.3cm ① (3211)

食を愉しみ、器を愛する

漆器のしおり



(英中韓語)

「豊かな日本だから」…「浅野陽」氏は「食と器と日本人(都羊社、1997年初版)」で、次のようにおっしゃっています。

「頭の中に世界地図を描いてみてください。そして、季節ごとの風が吹く日本列島、梅雨のある、雪の降る日本列島、と、四季折々の日本という国の姿を、思い描いてください。」と書き出し、「海の恵み、山の幸、豊かな日本の食の源流」と題して、語り始めます。

お正月おせち

ユネスコの無形文化遺産に登録された「和食」；日本人の伝統的な食文化は、そのユネスコへの提案書に「正月を例として」和食を説明しています。そこには「正月は代々受け継がれてきた日本の伝統がアイデンティティや継承感を再確認させるものであり、「和食」に関する基本的な知識や社会的・文化的特徴が典型的に見られる。正月における「和食」は地域ごとに多様性に富み、各地の歴史的・地理的特徴を表している。新年の神を迎えるため、餅つきをしたり、それぞれ象徴的な意味を持つ、地域で採れる新鮮な食材を用いて美しく盛りつけられたおせちと呼ばれる特別料理や雑煮、屠蘇を準備したりする。これらの料理は特別な器に盛られ、家族や参加者が共に食することにより、健康を推進したり社会的結びつきを強めたりする。これは、年長者が子

供にこの社会的習慣が持つ意味を教える機会ともなっている。」とあります。桃山時代の安楽庵策伝『醒睡笑』には「新年を迎えるにあたって食器や箸を新しく(属人器)する風習」とのこと。正月に食する「おせち料理」は風習であり、年の初めの楽しみでもあります。松下幸子著「祝いの飯化(19910225)」によれば、「おせちは「御節(おせち)」と書き、正月や五節供などの節日(せちび)に神に供える御節供(おせち)の略。江戸中期の「俚言集覧」には「せち 節日の食膳を節供と云を略せる也、俗におせちと云」とある。節日に神に供えた神棚を下げ、家族が食べる直会(なほらい)食べ物本来のおせちであった。」とあります。まさに「ハレの日の食事で、健康と長寿を願う(和食)」そのもの。



<暮らしの品々>
家族があつたがい食卓がよい
日常の美



(お品書き)
伊勢海老
タコとイカのウニ焼き
ブリの照り焼き
黒豆

〈九谷焼〉



九谷陶祖神社
2015年北陸新幹線が石川県(金沢)まで延びました。新たな列車名として「かがやき」などが決定。加賀焼きをかけたというも、石川県で有名な焼き物といえば「九谷焼」。おりしも開業360周年にあたりました。



お正月
(英中韓語)



① M54963100-817 宮本眺 桜 楕円ボール
11,000円(本体価格10,000円)
(九谷焼) 20×17.5×7.5cm 紙箱 ① (3201)

② S38628300-817 宮本眺 桜 小鉢 カット
3,300円(本体価格3,000円)
(九谷焼) 12×4cm 紙箱 ① (3201) ▼

③ M55373550-817⁸¹²
青郊窯 縁起絵変り 豆皿揃
6,050円(本体価格5,500円)
(九谷焼) 径9.5×1.8cm
化粧箱 (22.5×22.5×4cm)
① 楕2入 ▲ (3202)

④ T92286300-817¹¹⁵⁹
ラックヌーパー 楕円プレスマット(R-L)
3,300円(本体価格3,000円)
(日本製) 45.5×36×0.4cm
ABS樹脂・ウレタン塗装 ⑤ (3214)



T92278270-817¹¹⁵⁹
4.5雑煮椀 結び 総洗朱
2,970円(本体価格2,700円)
(日本製(山中)) 径13.5×11.5cm
化粧箱 (14×14×9cm)
ウレタン塗装・フェノール樹脂
⑤ (3214)

〈石川県の名物「えびす(べろべろ)」〉
えびす、べろべろという名は両方とも「べっこう」から来ています。見た目が鼈甲に似ていたのですその名前が付きましました。お正月やお祭りの際によく昔から食べられています。

出典:農林水産省選定の「郷土料理百選」
インターネット <http://www.rdpc.or.jp/kyoudoryouri100/ryouri/17.html>
20180601閲覧

「雑煮」

雑煮はもともと正月用でなく、室町時代頃の儀式的な酒宴などで出されたのが始まりです。最初に雑煮を食べて胃を安定させてから酒宴に移るための前菜だったものがやがて正月料理になったといえます(出典:飯倉晴武著「日本人のしきたり」青春出版社(20030126))。

正月料理で、雑煮は地域により作り方が様々。石川県では、加賀、金沢、能登で大きく差異がみられます。加賀地方では丸餅が使われ、餅以外の材料は、ねぎなどが少し使われるだけ。金沢は角餅で他にせりや麩節が少し添えられる程度。これに対し、能登地区は丸餅であるが、餅以外の材料が多く添えられます。はんぺん、ちくわ、鶏肉、人参、大根など豊富です。この他、みぞれ雑煮は小豆雑煮がみられるのも能登地区。その他、石川県の郷土料理として治部煮(参照:農村開発企画委員会「郷土料理百選」(20090930))が有名です。

「和食」

「年中行事としきたり(中村羊一郎著「和食文化国民会議」監修(20160220))から引用、要約いたします。

和食とは、「自然の尊重」という精神にもとづき、人と自然が融合した食事を通して、家族や地域が結ばれる社会的習慣です。和食は、一部の人がたけが味わう特殊なものではないし、単に珍しいというものでもありません。四季折々の自然の中で生み出される食材を生かし、おかず、ご飯、汁が絶妙なバランスで組み合わせられた食事から成り立っており、もとになった食材ひとつひとつに、自然の命をいただくことに対する感謝の気持ちがこめられている。しかも、それを食卓で囲んで皆で食べることが、家族や地域社会を結び絆になるという、たいへん大きな社会的意味をもっています。また、季節ごとに家々を訪れるとされた神々や地域を守ってくれる氏神様、祖先の霊に対して心をこめてお供えし、そのあとに同じものを私たちがいっしょにいただくということは、和食が誠実に生きている人間と超自然としての神々が同じ空間で息づいているという、日本古来の信仰のありようも反映していることとなります。まさに、日本文化そのものが和食なのです。つまり、「感謝していただく和食」「人や地域を結ぶ和食」です。そして、それぞれに、「神々へのお供えと暦の変化」に応じた食文化は、私たちに平安と喜びをもたらします。また、個人においては「人生の節目の食」があり、(1)子授け安産祈願(雑炊)、(2)誕生(赤飯、お食い初め)、(3)七五三(千歳飴)、(4)成人式(酒)、(5)婚姻(結納(お茶)・結婚(ぼた餅))などがあります。そういう季節の移ろいと人の成長に伴って、古くから作られてきた和食は、日本文化そのものということをもっとも鮮やかに示すものといえるでしょう。

●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。

「精進料理と普茶料理」

精進料理には二つの流れがあって、一つは曹洞宗本山の永平寺に伝わる行鉢(ぎょうはつ)、もう一つは黄檗(おうばく)宗万福寺に伝わる普茶料理です。普茶料理は中国から入ってきたので、多分に中国風の料理になっていて、いかにも食を楽しむという風調がみられるのが特徴です。一般に精進料理というときは、修行を目的とした僧の食事というといえます。

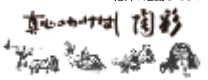
出典:曾根喜和子編集「日本料理全書」集文館(19670401)

本の紹介

日本陶彩(株)は「食」と「器」は密接不可分で、こんにち日本の良が見直されているなか、古来から現在までの「ちょっとした」食と器の情報をその典典と共にご紹介しておりますが、日本食文化の魅力を再発見するための活動をする、「和食」文化の保護・継承国民会議(略称:「和食会議」)の、日本食文化の魅力を再発見し、日本食文化を次世代へ継承するため、その価値を国民全体で共有する活動をするという趣旨に賛同し、日本陶彩(株)はその会員として、その活動の一助にと、「器」だけでなく「食」の情報も提供してまいります。11月24日は「和食の日」です。

伝えよう、和食文化を。

日本陶彩は「陶(けい)ながく美味(あじ)さを彩る食卓を提案」紹介と活動してまいります。



<http://washokujapan.jp/>



吉祥山永平寺



諸岳山總持寺祖院 (L.310)



〈有田焼〉



有田・陶山神社

向井去来「去来抄」によると、元禄7年元旦、江戸にて、「蓬菜に聞かばや伊勢の初便」と松尾芭蕉は詠んだそうです。

「蓬菜に聞かばや伊勢の初便」

蓬菜は、ここでは正月の飾り物の蓬菜飾りのこと。三方に松竹梅を立てて、白米・歯染・昆布・ゆずり葉を敷き、橙・蜜柑・柚・橘・かちぐり・野老・ほんだわら・ころがき・伊勢海老・梅干しなどをその上に飾る。新春の景物です。その蓬菜にそっと耳を寄せてみると、伊勢神宮の清浄な空気が伝わってくるようで、これが伊勢からの初便だということ(「去来抄」参照)。

有田では、有田に住む女たちが忘れてならない飾りもの

蓬菜は有田の地では「蓬菜台」や「手懸け盛り」ともいい、年頭に「としとくさん」と呼ばれる掛け軸を中心に日の出や先祖の絵姿などを掛け、鏡餅や屠蘇飾りを置き、「蓬菜台」に手を懸けたあと、かしわ手をうってわが家の繁栄や家内安全を祈るそうです。

同じものを江戸では「食積(参照:和田はつ子著「お宝食積(料理人季蔵捕物控)」角川春樹事務所(20081218)」と呼んでいたそうです。



M54926 **100-818**₈₅₀
しん窯 青花 絵変り 八方割小皿揃
11,000円(本体価格**10,000**円)
(有田焼) 径10.8×2.2cm 化粧箱 ① (2101)

八朔(はっさく)とは八月朔日の略で、旧暦の8月1日のこと。早稲の穂が実るので、農民の間で初穂を恩人などに贈る風習が古くからあり、田の実の節句とも言いました。徳川家康が初めて公式に江戸城に入城したとされることから、江戸幕府はこの日を正月に次ぐ祝日とし、五節供と合わせこれを式日としました。ちなみに、果実の「八朔」名はあとづけだそうです。

Recommend

料理の衣

名窯カタログ巻末P81-R490参照

蓬菜(食積)

江戸時代、江戸では「食積(くいづみ)」といって、昆布、伊勢海老、きんかんなどを蓬菜台という三方台に盛って飾りすえていました。江戸時代の風俗に関する見聞録、喜田川守貞著の「守貞謄稿(起稿1837年)」春時(巻之二十六)国立国会図書館アーカイブには「今世は三都とも蓬菜同制なれど京阪にては蓬菜と云或は俗に寶菜の字を用るも有江戸にては蓬菜と云ず喰積と云いひつみと訓ず其制は三方に中央松竹梅蓋し眞物也造り花には必ず三方一両に白米を敷も其上に橙一ツ、蜜柑、橘、……京阪にては正月床の間の飾物の如く置居へしまも 江戸の喰積は正月初めて来る客には必ず先づ之を出す…」との記述が見られます。その後、江戸の庶民の生活も豊かになり、漆器などのお重につめられる料理としてだんだんと姿を変え、明治時代に入り、食べられる祝い肴を詰めた箱膳だけが残り、こんにちの「おせち料理」に至ったとも言えましょう。



T95529 **200-818** Takebito 木製三宝(杉)
22,000円(本体価格**20,000**円) (日本製)
27×27×23cm ダンボール ① 受注生産 (◆8710)



この蓬菜、「蓬菜台」と言い、別の名を「手懸け盛り」ともいう床の間の飾りものとして、「(先祖)代々このところに住みつく」、子だくさんとやりくり上手を願う心持ちも加わり、皿山の有田では今でも飾られるそうです。旧家では「蓬菜台」を床の間に飾り、掛け軸「としとくさん(七福神の一つ)」を中心に、鏡餅や屠蘇飾りを置き、かしわ手をうってわが家の繁栄や家内安全を祈るとのこと。



〈お品書き〉
栗きんとん
だて巻き
田つくり
数の子二種
里いもの含め煮

① T91424950-818 梅花びら 取皿5枚揃
10,450円(本体価格9,500円)
(有田焼) 13.5×11.5cm 紙箱 ① (◆2104)

② M54637 **650-818**
草マット唐草 徳利2個組
7,150円(本体価格6,500円)
(有田焼) 150ml 紙箱 ① ▲(2104)

③ M54638 **950-818**
草マット唐草蓋5個組
10,450円(本体価格9,500円)
(有田焼) 5×5cm (35ml) 紙箱 ① ▲(2104)

④ T91425510-818 黄地梅絵 蓋向
5,610円(本体価格5,100円)
(有田焼) 11.6×9.5cm 紙箱 ① (◆2104)

⑤ M54636 **280-818**
花兔 箸置5客揃
3,080円(本体価格2,800円)
(有田焼) 5×4×2.5cm 紙箱 ① ▲(2104)

⑥ T91225055-818 **1155**
Takebito 新客箸(白)(クラー)
605円(本体価格550円)
(日本製) 22cm ダンボール ① (8710)

⑦ T92287 **300-818** **1159**
ラックヌーボー 楕円プレートマット(B・L)
3,300円(本体価格3,000円)
(日本製) 45.5×36×0.4cm
ABS樹脂・ウレタン塗装 ⑤ (3214)



M50482700-818 **850**
陶悦窯 結晶金彩 小鉢揃
7,700円(本体価格7,000円)
(有田焼) 14.5×5cm 化粧箱 ① (2205)

「有田の名物「ごどうふ）」

豆乳にくずや澱粉を混ぜ、加熱し凝固させて作る。食感もちもち感があり、九州地方特有のあまくち醤油が良くあう。佐賀県、長崎県に分布する郷土食で、佐賀県有田町のものが有名です。

出典:豊田謙二監修
「九州宝御膳物語—おいしい郷土料理大事典」
西日本新聞社 (200611)



〈暮らしの品々〉
家族があっかい食卓がいい
日常の美

●手作りものは、サイズや風合いに違いがある場合があります(納期には一ヶ月程かかる場合がありますので、ご注文の際には必ず納期確認をお願い致します)。 ●受注生産とあるものは、事前に納期確認ください。



瀬戸・窯神社(深川神社)

いまはもっぱら酒を酌み、屠蘇を用意することは少なくなっているが、屠蘇は中国から伝わった由緒ある儀式。その由来は、青木正児著「酒の肴・抱樽酒話」岩波書店(19890616)に詳しく「中華名物考(平凡社(19880210))」に雑誌「天地人(1954年)」に寄稿した「屠蘇考」が載っています。

重箱

重箱の名の文献への初出は「饅頭屋本節用集」(15世紀頃成立)といわれ、室町時代後期には重箱があったようです。

室町時代が戦国時代を経て桃山の文化を咲かせたころ、千利休が活躍します。そして、その「天下の指南役としての後継者は」と訪ねられた利休は、「古田織部などではあるまいか」と答えたと伝えられます(藤沢周平著「扁省(破調の織部-古田織部の生涯)文藝春秋(20110310)参照」)。織部の茶は、利休の茶をそのまま継承したものではなく、草庵式の利休の茶と対照的に新しい書院式茶として組み上げていったと言われます(織部に書院式茶を示唆したのは秀吉らしい)。

そして、織部焼の形状や陶土や釉薬の多様さは、志野や織部黒の厚重さを見ればわかるとおり、織部がことさら変形を愛好したということではないようです。織部好みの軽妙洒脱、明るい色感と大胆な破調は、桃山人の自由な精神の遊びを示すものと言えます。織部は、このような焼きものを今焼きとして茶室で積極的に使用します。瀬戸黒や黒楽の無技巧をよとした利休と異なり、精神の自由な飛翔があるのが織部でしょう。このような重箱の形容も、関ヶ原の戦いをも生き延びた織部そのひとの、新しい時代を予感させる気風が生んだものかもしれません。



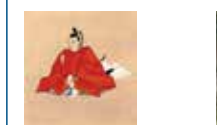
T91426100-819
梅村鋳則 織部 重箱
110,000円
(本体価格100,000円)
(瀬戸焼) 15×15×16cm 木箱
① 受注生産 ▲(◆1112)



名古屋城・織部堂(L.342)



真清水蔵六著「古陶録」
(19250214)より 陶彩文庫蔵(L.388)



古田 重然(ふるた しげなり、-しげてる)は、戦国時代から江戸時代初期にかけての武将、大名。一般的には茶人古田 織部(ふるた おりべ)として知られる。



山口城跡「古田織部生誕の地」碑

土をこね、形を作り、火をたい焼き上げる「焼きもの」の歴史は、縄文時代から始まりますが、焼きものの生産がある高い技術をもった工人達の手で、専門的に行われるといった産業生産の開始は、古墳時代に朝鮮から伝わった須恵器の生産から。東海地方では5世紀後半にまず、猿投窯において始まり、そこから各地へと広がっていきました。9世紀前半になると猿投窯で、灰積曲陶器が焼かれるようになり、「蓋器(しき)」と呼ばれました。こうして窯業が成長し、瀬戸においては、11世紀初頭に位置付けられる窯が、瀬戸市南部の幡山地区に分布して、その頃窯業が発達したことがわかります。日宋貿易が開始され、中国陶磁を唐物として珍重されると、無釉の碗・皿・鉢を主体とする山茶碗(生産へと転換。鎌倉時代の初期から室町時代中頃に至る約300年ほど、山茶碗の生産の他に「古瀬戸」の生産も行われていました(窯は、いずれも「菅窯(あながま)」と呼ばれていたもの)。室町時代になると菅窯に代わり、「大窯」が登場。安土・桃山時代になると、わび茶の完成、茶の湯の流行も相まって、天目茶碗、水指、建水などの茶陶関係のものが生産されました。織部は、千利休の弟子で桃山文化を彩った茶人「古田織部」の名に因んだ焼きものです。当時、ファッションリーダー的存在であった古田織部が茶の湯の世界で好んで使った、自由な形・大胆な模様・明るい色彩をもつ「斬新な焼きもの」を総称しました。このように、茶の湯という伝統的な世界に斬新なものを積極的に取り入れた古田織部の心は、まさに進歩と調和に共通するものがあります。また、しばらくは茶の湯の器であった織部は、江戸時代後期になって、日常の器として生産されるようになり、今では、伝統的なものからカジュアルなかわいらしいものまで、あらゆる織部に会うことができます。(L.399)

「和食」をいただきます。

和食文化 国民会議

伝えよう、和食文化を。
日本陶彩は WashokuJapan メンバーです。

このロゴマークは、「五」感で味わうこと、「五」つ目の味覚、「うま味」、「一汁三菜」における「五」つの配膳など、「和食」にまつわる「五」という数を基本のモチーフとし、「和食」文化を抽象的に表現したものです。

我が上代に於ける土器陶器の製作に
糖櫃が早く使用せられた……

瀧川政次郎著「日本社会経済史論考」日本書院(1939)より
陶彩文庫蔵(L.347)



- ① H16956400-819^{856(M)} 塩草窯 織部まどつる 盛鉢
4,400円(本体価格4,000円) (瀬戸焼) 径18×5.5cm 紙箱 ① (1112)
- ② M54627130-819 棚橋淳 黄瀬戸 平鉢
14,300円(本体価格13,000円) (瀬戸焼) 径21×5cm 木箱 ① (1112)
- ③ M54626250-819⁸²³ 梅村鋳則 織部 平大盃
2,750円(本体価格2,500円) (瀬戸焼) 径8.4×3.4cm 紙箱 ① ▲(1112)
- ④ T91427500-819 梅村鋳則 織部 巻込皿
5,500円(本体価格5,000円)
(瀬戸焼) 16.5×12×2.5cm 紙箱 ① 受注生産 ▲(◆1112)
- ⑤ T91428350-819 梅村鋳則 織部 屠蘇器
38,500円(本体価格35,000円)
(瀬戸焼) 9.5×9.5×12.5cm 木箱 ① 受注生産 ▲(◆1112)
- ⑥ S38299500-819⁸²¹ 棚橋淳 織部 <い香>
5,500円(本体価格5,000円)
(瀬戸焼) 径6×5cm (80ml) 木箱 ① (1112) 土 ●
- ⑦ M54630100-819 山口錠鉄 織部ひさご 善置5客揃
11,000円(本体価格10,000円)
(瀬戸焼) 6×2.5cm 紙箱 ① (▲1112)
- ⑧ T91228070-819¹¹⁵⁵ Takebito スス竹節無箆
770円(本体価格700円) (日本製) 23cm ダンボール ① (8710)



Voice!
S38560250-819⁸⁴²
陶彩「純」黒織部 平鉢
2,750円
(本体価格2,500円)
(瀬戸焼) 16.4×3cm
紙箱 ① (1112) 土

〈瀬戸の名物「あらめ巻」〉
正月のおせち料理で、ハゼを焼いたものを芯にしてアラメでまいて煮たもの。ハゼを人に、アラメをふとんにたとえ、1年中暖かくくるまれて暮らせることを願って作る。

出典:「ふるさとの家庭料理(乾物のおかず)」
農山漁村文化協会(200304)

コレコレ無茶法師とやら、汝下手の横好きとはいいながら、朝に晩に窯の側に立ちて我が肩をなでさせる事、晴雨を分たさず、陶土をのみ、糖櫃に向うては寒暑をいとわず、窯の火入れには昼夜を弁せず、我れ汝の熱心を嘉(よみ)いいう事あり、凡そ世の名器を見るに何れも無心の作なり(出典:川喜半泥子著「泥仏堂日録」講談社(20070310:底本学藝書院(1937))。)

本の紹介

●受注生産は窯焼きの都合で3ヶ月かかる場合があります。

食文化の歴史 「和食」がたどった道、それは食器とともにありました

「和食」がたどってきた歴史は、その時代の人たちが、海外の食文化を取り入れながら工夫を積み重ねてきたものでした。その最たるものが「稲作」米食でしょう。箸は、飛鳥から、その使用が輸入され、奈良時代には、大きくその利用が広がります。

「日本人はなにを食べてきたか(角川学芸(20120125))」を著された原田信男氏が、熊倉功夫編「和食-日本人の伝統的食文化(農林水産省(201203))」に寄せられた「日本食の歴史」によると、その米食安定のために肉食が禁じられていきます。やがて肉は穢れと見なされ、米を食事の中心とし、穀類を主要な調味料とする味覚体系を形成していくようになりました。以下、その「日本食の歴史」から抜き書きします。

祭礼などの儀式の際に最も手の込んだ食べ物(神饌)を捧げていたものであったが、現在、史料的に不明な部分が多いようです。

知りうる最も古い料理様式が大饗料理。藤原氏など貴族が、大臣に任じられた時や正月などに供された料理。大饗料理では、皿数は必ず偶数で、箸と匙があり、朝鮮半島経由で中国料理の影響が著しい。ただ一部ではあるが、日本的な特色を見出すことができる。それは「切る」という調理で、この頃から料理人を包丁人と呼んでいる。のちにこの姿勢は割烹(割烹)と呼ばれるようになる。なお、「大饗」のこれを俗語には、大ぶるまい。

平安時代末期には、中国での仏教修行を試みて南宋に渡る僧侶が少なかった。当時の中国仏教界では、禅宗が重視されており、そこでは肉食忌避の思想に基づいた精進料理が主流でした。のちに臨済宗を興す栄西は「喫茶」をもちえり、「喫茶養生記」を著します。また、曹洞宗の道元は、「赴粥飯法」「典座教訓」を著し、その内容はこんにちの和食マナーの原点となりました。穀物粉を用いたものや、さまざまに味付けられた野菜類、菌類、果物の調理法は、禅宗内部にあったものがやがて一般にも広がっていきます。

武家の料理文化として、室町時代に新たな儀式としての本膳料理が登場します。これは大饗料理の儀式的要素と精進料理の技術的要素が組み合わされたもの。しかも膳を七五三と奇数で用い、極めて日本的でした。すなわち、銘々に膳が用いられ、奇数の料理を据えて、箸のみが使われるように

なったのです。すなわち、碗を持ち、箸で食べ、汁は椀からすするといった今日の食事スタイルが生まれました。その中で、出汁が完成します。

このような本膳料理は儀式的で作り置きであったものを、堅苦しく延々と続くのではなく、その一部の美味しい部分を、自由に楽しもうとして発展を見たのが、懐石料理です。従って懐石料理は、本膳料理の一部を切り取ったようなものでしたが、基本的には料理を楽しむということに力点が置かれています。茶の湯の発達に伴うもので、茶会でお茶を最も美味しく楽しもうとする精神から生まれました。もともと茶会では、開茶すなわち賭け茶が流行するとともに、茶そのものよりも酒が優先される場合も少なくなかったようです。茶会の最後に行われる酒宴の場である後段を、戦国時代後期に千利休が切り捨ててことで茶道が完成をみます。一汁三菜程度の料理を基本としたが、茶の湯では一期一会という精神が強調されたことから、その場その場での出会いを大切にするという精神が、料理そのものの内容にも大きな影響を与えました。

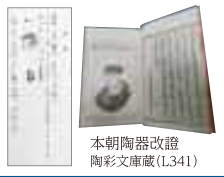
すなわち懐石料理で、季節性を重んじて旬の素材にこだわるのは、そうした理由からで、さらに、その茶会の一時を大切にするため、食器にも心を配り、盛り付けにも気をつけました。こうして季節感のみならず色鮮やかな料理や食器の配置、合理化された作法によるもてなしのほか、料理を味わう空間のしつらえにも最善を尽くしたのです。

なお懐石の際には、利休の時代には用語としては使われず、むしろ会席の方が一般的であった。ところが近世後期になると、後にみるように大都市には高級料理屋が出現し、そこで会席料理が供されるようになる。しかし、この会席料理は茶の湯とは無関係であった。より正確にいうなら、戦国時代に成立した懐石料理から、茶の湯の要素を切り捨てたのが、近世の会席料理とみなせ、つまり数人が料理屋に出かけて注文し、会席という形で酒を飲みながら味わう料理が会席料理となっていく、こんにちにちについています。



日本陶彩(株)は、身近・手軽に健康的な和ごはんを食べようという「Let's! 和ごはんプロジェクト」に農林水産省と共同に取り組んでいます。

金森得水著「本朝陶器考証(1893年刊) 卍書房(19431230復刻)より



山中:東山神社



〈三の重〉～酢のもの～
三の重は酢のものが中心で、魚の酢づけやなますなど、さっぱりした口当たりで喜ばれるものです。

〈祝い肴〉
祝い肴はどごも手に入る乾物が中心です。豊作を祈る田作り、いつも健康でめめめしと願う黒豆、子孫繁栄を望む数の子などです。

黒豆の作り方

〈材料〉

- 黒豆(がくい豆)…カップ1
- さびくぎ…5~6本
- 塩…小さじ1/2
- 砂糖…カップ1
- しょうゆ…大さじ1 1/2

386283100-817

黒豆はなるべく大粒で、色つやがよく、粒がそろって虫食いのないものを選んでください。やや大ぶりのががくい豆などがよいでしょう。

〈作り方〉

- ①黒豆は水につけて洗い、浮き上がるものは取り除き、カップ3の水に塩小さじ1/2を加えた中にひと晩おく。
- ②①のつけ汁のままなべに入れ、ガーゼに包んださびくぎを加えて火にかけ、煮たらあわをすくい取り、水カップ1のさし水をし、落としふた、きせぶたをする。煮たらたら豆がおどらない程度に火に弱め、二度ほどさし水をし、つまんでつぶれるくらいやわらかく煮る。約2~3時間かかる。くきは除く。
- ③次に砂糖を半量加えて10分ほど煮、さらに残りの砂糖を加えて約10分ほど煮る。次にしょうゆを加えひと煮たちさせ汁ごとひと晩おく。
- ④豆の汁けをきり、ぬれぶきんをかけておき、煮汁は約半量に煮詰めて冷まし、豆を戻し入れてもうひと晩おく。(河野貞子 出典:日本放送協会編集「正月料理-もてなし料理」(19771120))

〈一の重〉
りんご羹(かん)だて巻き 栗きんとん 紅白かまぼこのし鶏

〈二の重〉
里いもの含め煮 こぶ巻き 野菜のいり煮 いかの松笠焼き

〈三の重〉
七色なます 菊花かぶ あじの酢づけとめさば

〈祝い肴〉
田作り 数の子 二種黒豆

〈一の重〉～取り～
一の重はふつつ甘みを中心に盛られます。奇数の種類を盛り合わせるのが重詰めのきまりです。

〈二の重〉
～煮もの・焼きもの～
二の重は焼きもの煮ものが中心で、代表的なものに煮しめやこぶ巻きなどがあります。

T94047700-8201159 うさぎ唐草 6.5三段重 黒内朱 7,700円(税込価格) (日本製(山中)) 19.5×19.5×21cm 化粧箱 ① 櫃18入 (3214)

T91528400-8201159 ラックヌーボー 楕円プレートマット(S・金) 4,400円(本体価格4,000円) (日本製) 37×29×0.4cm ABS樹脂・ウレタン塗装 ① (3214)

精進料理では 黒まめは、三好良久著「三心(まごころ)でつくる典座和尚の料理」大本山永平寺(20140301)では、

材料(作りやすい分量)

- 黒豆まめ(約カップ5)…700g ●砂糖…500g ●塩…大さじ1
- 醤油…カップ1/2 ●重層(入れてなくても出来ます)…小さじ1
- 水…20カップ ●錆び釘(マッチ棒くらいの大きさ)…17本くらい

で作るとのこと。

そして、「まめ(勤勉の意味)に働き、まめ(健康の意味)に暮らせる」ようにという願いが込められています。黒には魔除けの力が宿しているともいわれています((参照:新谷尚紀監修「和のしきたり(日本の暦と年中行事)日本文芸社(20070425)」より)。

●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。

「夏おせち」とあり、福省などで家族や仲間が集まる機会が多いお盆の時期にも正月と同じように食卓を囲み(共飲共食)、楽しく食事をしようとする習慣があります。古くより、禅宗等ではこのお盆には「精進(しょうじん)」として、仏の教えによって、「仏道修行に努める」ことの一環に、肉類などの美食を避けて、野菜・山菜・穀類などを中心とした粗食を食する修行があり、庶民のあいだで、「殺生をせずし心身を清める「二汁五菜」の風習がありました。

料理を扱う方は器にも神経をお使いになります

黄金布(うこんふ)
ウコン布。ウコンの色素で染めたので、鮮黄色の鮮やかなです。主に陶磁器、美術品などを包んで保管するのに用いられます。昔、貴重な陶磁器商品などを扱う商人がお客様とご一緒に向むとき、この布で包み桐箱に入れておきました。持ち運びの時にぶつかると守ってくれるだけでなく、お客様とご一緒して見せた時、中から出てくる商品をより美しく見せる効果がありました。さらに、ウコンに含まれる精油成分が、防菌防虫効果もあり、大切な商品を虫やカビから守ってくれます。

真田紐
真田幸村と、その父・昌幸が、「強く丈夫な紐」として武器・甲冑などに用いたことから、その名がつけられたといわれています。同じ紐でも一般的な組み紐は組紐、真田紐は織るといいます。真田紐は縦糸と横糸を織りあげたものです。そのため伸びることがなく、結びなおしにも強い、張りのある丈夫な紐に仕上がります。また織物ならではの印象的な織柄が紐の裏表にあわわられるため、ほかの紐にはない、独特の美しさがあります。抹茶茶碗、霽など茶道具は基本的に桐箱に入れられ、その桐箱をとじるのに使われる紐に真田紐を使うようにしたのが他ならぬ千利休のことだそうです。(L348)



棚橋 淳

《陶房淳》 手に取ってみたいくなる器、自然な土味に赤津の伝統的な織部(おりべ)・黄瀬戸(きげと)・古瀬戸(こぜと)を中心に、釉薬の色彩を生かしたシンプルな器づくりを目指して、伝統の美、造形の美をいかに調和させるか自らのテーマであり、モチーフとして作陶しております。

① (1112) 土

- ① S38299500-821 陶房淳 織部 ぐい呑 ●
 - ② S38660500-821 陶房淳 古瀬戸 ぐい呑 ●
 - ③ S38300500-821 陶房淳 黄瀬戸 ぐい呑 ●
- 各 5,500円(本体価格5,000円)
(瀬戸焼) 径6×5cm (80ml) 木箱 (8.8×8.8×8cm)

⑩ S38309100-821⁸¹⁹ 陶房淳 織部 お預け徳利
11,000円(本体価格10,000円)
(瀬戸焼) 径9×13.5cm (490ml) 木箱 (11.3×11.3×17cm)



三戸逸雄

《天龍窯》 日々の生活に、土のぬくもりを感じられる作品(器)ができればと心掛け、作陶している。



S38825500-821
三戸逸雄 萩枇杷面取ぐい呑
5,500円(本体価格5,000円)
(萩焼) 径6.5×5cm (100ml)
木箱 (9×9×8cm) ① (3806)



S38826400-821
三戸逸雄 黒萩ぐい呑
4,400円(本体価格4,000円)
(萩焼) 径6.5×5cm (100ml)
木箱 (9×9×8cm) ① (3806)



春草(中島満久)

《春草(東窯)》 身近な陶芸本然の姿顕現のため黙々と伝統を守り続けると共に新しい境地を求めて自らの純才に鞭を打って居ります。

- ④ S38302300-821 春草(中島満久) 織部 ぐい呑
 - ⑤ S38303300-821 春草(中島満久) 黒織部 ぐい呑
 - ⑥ S38304300-821 春草(中島満久) 黄瀬戸 ぐい呑
 - ⑦ S38305300-821⁸⁰³ 春草(中島満久) 志野 ぐい呑
 - ⑧ S38306300-821⁸⁰³ 春草(中島満久) 紅志野 ぐい呑
 - ⑨ S38307300-821 春草(中島満久) 粉引 ぐい呑
- 各 3,300円(本体価格3,000円)
(瀬戸焼) 径6.5×4.3cm (90ml) 木箱 (8.8×8.8×8cm) **カット**
① (1112) 土



ニッポンのサケ呑



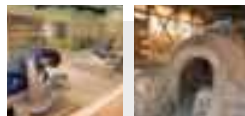
《つつえ窯》 つつえ窯は昔の伝統を受け継ぎ、和みのあるモノづくりをしたいと思っています。生活の中で潤いが生まれますよう願っています。

S38483220-821
つつえ窯 刷毛目 ぐい呑
2,420円(本体価格2,200円)
(唐津焼) 径8×4.5cm (80ml)
トムソン ① (2208) 土



《夢幻工房(夢幻庵)》

いつまでも備前の「夢」と「幻」を追い求める「庵」を創っていきたい。



夢幻工房
⑬ S38462400-821 面取 酒呑
4,400円(本体価格4,000円)
径6×7cm (100ml) 化粧箱

⑭ S38464200-821 緋襷 酒呑
2,200円(本体価格2,000円)
径6×6cm (60ml) 化粧箱

⑮ S38463300-821 荒土 酒呑
3,300円(本体価格3,000円)
径6×5cm (80ml) 化粧箱

⑯ S38461600-821 窯変 酒呑
6,600円(本体価格6,000円)
径6.5×6cm (130ml)
木箱 (10×10×10.5cm) ● **Hit!**
夢幻工房(備前焼) ① (3807) 土



《花月窯》 父より高麗時代から李朝にかけての茶陶技術を受け継ぎ、また、独自の新たな表現を見出す。

S38525350-821
花月窯 かいらぎ ぐい呑
3,850円(本体価格3,500円)
(京焼・清水焼) 7×6.5×4cm (60ml)
紙箱 ① (◆3105)



そのまま、ぐいと呑む

単に「酒(さけ)」「日本酒」という場合には清酒を指すことが多いが、焼酎が多く飲まれる地方(九州南部)では、「さけ」として焼酎を指すようです。日本特有の製法で造られる酒には、清酒のほかにも、焼酎(麦焼酎、芋焼酎、泡盛など)もあります。

紀元前1000年前後の縄文式竪穴から、酒造りに用いられていた酒坑(しゅこう)が発見されているが、米から造られた酒ではなさそう。記述で言えば、「日本書紀」の、須佐之男命が八岐大蛇を退治するために八塩折之酒という八度にわたって醸す酒というものを造らせる話には有名。また、「大隅国風土記」に口嚼(くちかみ)ノ酒の記述があり、「播磨国風土記」には「清酒(すみさけ)」という記事があります。

2016年伊勢志摩サミットG7メンバーを出迎えた伊勢神宮の、外宮では日別朝夕大御饗祭を、朝と夕の二度、御鎮座以来、約1500年間つづけてられています。内容は御飯、御水、御塩御飯三盛、御塩、御水、乾鹽、鯛(カマス、ムツ、アジ、スルメなどの干魚)、海藻、野菜、果物、そして清酒三献です。神饌を盛る器はカワラケの土器です。そして、サミットバッグには「お猪口」が入れられました。

清酒三献の器は酒杯です。古来、盛る器を杯と言いましたので、酒「杯」、若しくは盃です。辻清明著「ぐいのみ(保育社(197601))」には、「盃からぐい呑みへの移行は、茶事懐石にあらわれ、酒を注いだ大ぶりの盃を「ぐいのみ」と呼び習わしたことはなかったのではなからうか。酒をぐいとのみ干すという意味である。」とあり、また、「旅のつれづれに見出した小さな器に、ぐい呑みへの変身を見立てる楽しみもある。何に使ったものか知る由もないけれど、ぐいのみになりそうなのは即座に求める。」とあります。「これで呑んだら美味しい」と思う器が、「ぐい呑み」と言って良い。小煎茶碗も使えましょう。ぐい呑みという語の作陶定着は魯山人から話も。

そして、酒の味をそのまま味わうに、清酒だけでなく、焼酎もぐい呑みで飲むのにも一献か……。ウイスキー、ウォッカ、ジン、ブランデー、リキュールも、和の器「ぐい呑み」で飲んだらおしゃれかも。欧米映画でストレート飲みシーンをよく見ますが、ある映画では、ウイスキーが初めてという友人の、ひとくち飲んだ感想は「何だこれ? ひどい味。コーラ割りに」。それに対して、ウイスキー愛好家の友人が「(だめだ)水を少しだけ」と言います(「天使の分け前(The Angels' Share)」第65回カンヌ国際映画祭審査員賞)。

もちろん、菜食主体の和食を食す者にとってはアルコール度数の高さは健康に気遣いが必要ですね。
●手作りのですので、サイズや風合いに違いがある場合があります(納期に一月程度かかる場合があります)。



寺内信二

〈李荘窯〉 有田焼の陶祖李参平の住居跡に開窯した「李荘窯業所」、時代の移り変わりと共に、磁器彫刻から、食器生産へと変遷する。そして今、蓄積されてきた伝統と品質により、時代に左右されない美しいカタチを追求。新しいことに挑戦し続け、今後も更なる努力を重ねていきたい。



S38513430-822
李荘窯 プラチナ花形 ぐい呑
4,730円(本体価格4,300円)
(有田焼) 径6.5×4.5cm (40ml)
紙箱 ① (2104)

〈文三窯〉 鍋島青磁染付や古伊万里の伝統と遊び心を取り入れながら、現代の生活空間の中に溶け込む器づくりを心がけています。



S38568400-822 文三窯 靑磁 大盃
4,400円(本体価格4,000円)
(伊万里焼) 径9×4.5cm (65ml) 紙箱 ① (2101)

カット

三三九度は婚礼で夫婦及び両家の魂の共有・共通化をはかる儀式。日本の共食信仰に基づく。大饗、本膳料理(式三献)の酒礼より(出典:樋口清之著「日本の風俗起源」大和書房(20070601)/神崎宣武「三三九度」(20011026)岩波書店)。

本の紹介

屠蘇は平安初期に漢より屠蘇散が伝わる。赤酒・日本酒・味酢を入れる銚子と小中大的盃を用い、「一人これを呑めば一家病無く、一家これを呑めば一里病無し」邪気払い長寿願いで縁起物(出典:神崎宣武「酒の日本文化」角川選書(19910201))。

本の紹介



原 節夫

〈天龍窯〉 約40年間に渡り、陶芸家として活動する中、萩焼の特長でもある素朴で、柔らかな色合いをテーマに、手にしっくりと馴染む、うつわ造りに作陶活動を続けている。



M55224500-822
原節夫 白萩 面取ぐい呑
5,500円(本体価格5,000円)
(萩焼) 径7×6cm (100ml)
木箱 (9×9×8cm) (3806) 土

M55352200-822
原節夫 白萩 お預け酒器
22,000円(本体価格20,000円)
(萩焼) 徳利径9×13cm (360ml)
ぐい呑径7×6cm (100ml)
木箱 (16.5×20×12.5cm) ① (3806)



カット



水元みどり

〈田森陶苑〉 一般家庭食器を中心に、業務用や食卓小物類まで幅広い陶磁器を制作されている伊万里焼の窯元さんです。気軽に楽しんで使ってもらいたいという想いのもと、日々の食卓に活躍する食器を作り続けています。



三ッ組酒器

M54852250-822
田森陶苑 染付松竹梅 三ッ組酒器
27,500円(本体価格25,000円)
(伊万里焼) 盃(大)径9.5×2.5cm (中)径8×2.5cm (小)径6.5×2.3cm 注器380ml
化粧箱 (15×19×7.5cm)
① 梱入 (◆2208) 受注生産

ニッポンのサケ呑

〈一夢窯〉 一夢窯は、夫婦二人の工房です。伝統柄を主に使いやすく飽きのこない器を目指しています。碗・カップ類を中心に古染、和の柄を現代風にアレンジして手描きのいい所を表現しています。



田澤幸蔵



M54851100-822
一夢窯 赤絵ようらく お一人様酒器
11,000円(本体価格10,000円)
(波佐見焼) ぐい呑径6×6cm (100ml)
徳利270ml 木箱 (24×10×10cm)
① 梱12入 (◆2208) 受注生産



〈洗琳窯〉 伝統を継承した手描きの器の魅力もさる事ながら、現代風にアレンジした器も魅力がある窯元です。凛として美しい器は、プロの料理人にも人気があります。



① S38530160-822 洗琳窯 内外流水 グイ呑
1,760円(本体価格1,600円)
(波佐見焼) 6×5cm (50ml) 化粧箱 ① (2203) カット
② S38531250-822 洗琳窯 網 グイ呑
2,750円(本体価格2,500円)
(波佐見焼) 6×5cm (50ml) 化粧箱 ① (2203)
③ S38532220-822 洗琳窯 山水 グイ呑
2,420円(本体価格2,200円)
(波佐見焼) 7×4.5cm (60ml) 化粧箱 ① (2203)



山本北哉

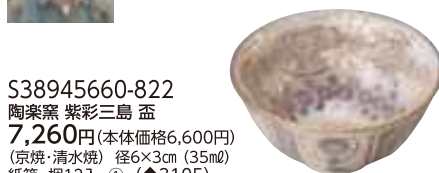
〈北哉窯〉 乾山調の温かみのある素地に、下絵付や上絵付を施した器作りで定評のある北哉窯。器に描かれた草花や鳥などの図柄も優しい表現で、使う人を和ませてください。



M55401100-822⁸¹⁶
北哉窯 群鶴 お預け酒器揃
11,000円(本体価格10,000円)
(京焼・清水焼) 徳利360ml 盃100ml
化粧箱 ① (◆3105) 土



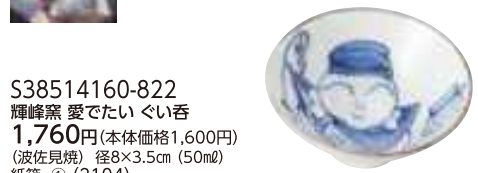
〈陶楽窯〉 三代目陶楽は初代陶楽の遺志を受け継ぎ二代目が確立させた「京三島」に、さらに優美な金彩と深みのある紫の上絵付けを施し発展させました。



S38945660-822
陶楽窯 紫彩三島 盃
7,260円(本体価格6,600円)
(京焼・清水焼) 径6×3cm (35ml)
紙箱 梱12入 ① (◆3105)



〈輝峰窯〉 輝峰窯は、昭和36年創業の比較的新しい窯ですが、磁器と土物での美を追求し、伝統に新しいデザインを取り入れ皆様に喜んでいただけるよう手描きの良さとおたたく器造りを心がけています。



S38514160-822
輝峰窯 愛でたい ぐい呑
1,760円(本体価格1,600円)
(波佐見焼) 径8×3.5cm (50ml)
紙箱 ① (2104)

●受注生産は、窯焼きの都合で3ヶ月程かかる場合があります。

〈陶葺窯〉

大正11年、京都の東山泉涌寺(ひがしやませんにゅうじ)で創業して以来、上質の原材料を使い、熟練した職人の手で作品を作り続けています。



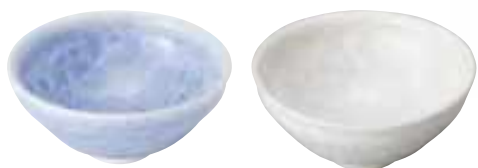
S38947500-823
陶葺窯 黒耀虹彩 盃
5,500円(本体価格5,000円)
(京焼・清水焼) 径8.5×4.5cm (90ml)
木箱 (10×10×6.7cm) ① (◆3105)



M54626250-823⁸¹⁹
弄月窯 梅村鉦則 織部 平大盃
2,750円(本体価格2,500円)
(瀬戸焼) 径8.4×3.4cm
紙箱 ① ▲(1112)



M54898120-823
陶葺窯 花結晶(銀藤) お預け酒器
13,200円(本体価格12,000円)
(京焼・清水焼) 徳利径7.5×12cm (250ml)
ぐい呑径5.5×5cm (50ml)
紙箱 ① (◆3105)



S38523400-823 陶葺窯 花結晶(青) 盃
S38943400-823 陶葺窯 花結晶(白) 盃
各 4,400円(本体価格4,000円)
(京焼・清水焼) 径9×4cm (100ml) 紙箱
① (◆3105)



① S38899400-823 陶葺窯 花交趾(牡丹) 盃
② S38946400-823 陶葺窯 花交趾(椿) 盃
各 4,400円(本体価格4,000円)
(京焼・清水焼) 径7×4cm (60ml) 紙箱
① (◆3105)

ゆったりとお酒を楽しむいつもの時間を大切に



〈真右エ門窯〉

「造りのゆえ、釉の妙」をキャッチフレーズに、ルビー色の辰砂や結晶釉などの窯変物を中心に、釉薬を巧みに操る釉彩の技法を得意とする窯元です。

二代真右エ門 馬場九洲夫



③ S38639600-823 真右エ門窯 油滴天目銀 天目型ぐい呑
④ S38640600-823 真右エ門窯 辰砂 天目型ぐい呑
⑤ S38641600-823 真右エ門窯 藍染水滴 天目型ぐい呑
各 6,600円(本体価格6,000円) ●
(有田焼) 径7.5×4.5cm 木箱 (9.8×9.8×8cm) ① (2101)



〈伝平窯〉

有田焼の陶祖李參平が磁器の原料となる陶石を発見した泉山磁石場、そのふもとにある大公孫樹の下に江戸時代後期より開窯した「伝平窯」。業務用食器から家庭用食器まで幅広く生産。モダンなデザインやフォルムが魅力的な、多様化した現代の食卓でもしっかりと馴染む使い勝手のよい器が揃います。



S38647260-823 伝平窯 内銀白釉 曲げ輪ぐい呑
2,860円(本体価格2,600円)
(有田焼) 径5×4.2cm
トムソン ① (2208)

S38646450-823 伝平窯 内銀白釉 曲げ輪徳利
4,950円(本体価格4,500円)
(有田焼) 径9×10cm
トムソン ① (2208)

〈天龍窯〉

器のお使い始めは、とても乾燥していますので、一気に色が入ることがありますが、その実、年月をかけて、少しずつ濃く、全体に広がっていくのです。そんな萩焼の状態を、「器を育てる」と、笑顔でおっしゃられたお客様にお会いしたことがあります。なるほどなあ、そういう風にも言えるのか、と思ったことを覚えております。



S55227800-823
天龍窯 緋色 冷酒器
8,800円(本体価格8,000円)
(萩焼) 片口10×16.5×7.5cm (250ml)
ぐい呑み径6.5×4.5cm (50ml)
盃径7×4cm (50ml)
木箱 (20.5×18×9.5cm) 梱6入 ① (3806) 土



S38827300-823
天龍窯ガラス釉 ソライロ盃
3,300円(本体価格3,000円)
(萩焼) 径9×3cm (100ml)
木箱 (11×11×5cm) ① (3806)



〈太一窯〉 山々に囲まれた美しい自然と長い伝統に育まれながら土の持つ温もりをお客様に感じて頂ければと作陶に励んでおります。

福田友和
S38484300-823
太一窯 唐津黒鉛釉 丸盃
3,300円(本体価格3,000円)
(波佐見焼) 径6.5×5cm (90ml)
木箱 (8×8×8.1cm)
① (2208) 土



正倉院御物に縁釉が主調となり、種が部分的に施される
……
後藤守一著「日本歴史考古学」四海書房(1937)より(L343)

●手作りのため、サイズや風合いに違いがある場合があります(納期に一ヶ月程かかる場合があります)。



〈椿秀窯〉七代兼田左衛門に師事。1993年より萩陶苑にて作陶。
粉引や御手、かいざぎなどの萩焼らしい色合いを中心に、表面に技法を凝らしたり、大胆なろくろ目を取り入れたりと、デザイン性豊かな作品を作り続けている。
庄 圭一郎



① S38500200-824 庄圭一郎 白釉盃
2,200円(本体価格2,000円) **Hit!**
(萩焼) 8.5×4.5cm (130ml)
木箱 (11×11×7cm) ① (3805) 土 ●

② S38499300-824 庄圭一郎 粉引くい香
3,300円(本体価格3,000円) **Hit!**
(萩焼) 7×5cm (120ml)
木箱 (9.5×9.5×8.5cm) ① (3805) 土 ●

カット



佐藤剛志
九谷焼の陶技を学びながら、水墨画で「付け立て」の技法を体得し、独自の作品を生み出す陶芸家。

S38824500-824
佐藤剛志 銀葉牡丹 くい香
5,500円(本体価格5,000円)
(九谷焼) 6.8×5cm (120ml)
木箱 (9.1×9.1×7cm) ① (3202)



〈双鳩窯〉歴史と伝統が根付く九谷焼の中心地能美市に2017年新たに開窯した「双鳩窯」。手仕事の魅力を器に込めて、色とりどりで個性豊かな作品を生み出します。



M55325600-824 双鳩窯 釉滴金銀彩 組盃
6,600円(本体価格6,000円)
(九谷焼) 径5.7×4.3cm 化粧箱 ① 梱50入 (3202)



〈大桂工房〉夫婦で作陶。手づくりのぬくもり、端正なフォルムに味わいのある筆致、お客様の生活空間に手づくり工房ならではの器の提案ができれば幸いです。

太田和則

S38485330-824
大桂工房 ギリ唐草 くい香(緑)
3,630円(本体価格3,300円)
(波佐見焼) 径8.5×5cm (100ml)
紙箱 ① (2208) 土



酒は、「采える」、つまり、酒を飲み人びとが采え楽しむ意味である、と「東雅(新井白石著 享保2(1717)年)」は解説しており、奈良県桜井市大神神社の「大神神社史料」は、サは尊称でケは食である。つまり、「米でつくる神聖な神食である」という説をのせている(出典:廣野卓著「食の万葉集」中公新書(19981210))。

本の紹介

<日本酒乾杯条例>日本酒で乾杯する習慣を普及させ消費拡大を狙う「日本酒条例サミット」が2015年09月22日東京都左京区で開かれ、全国35の自治体に参加し、多くの日本酒ファンが楽しんだとのこと。2013年に全国初の日本酒乾杯条例を施行した京都市が提唱したサミットですが、同様の条例を制定した自治体は2015年には109に増えたとそぞです。

ゆったりとお酒を楽しむいつもの時間を大切に



〈光彩庵〉長年の鍛錬が開花した“清玩ブルー”で土に命を与える作陶を目指しています。

山根清玩



S38501400-824
山根清玩 青萩割り高台くい香 **Hit!**
4,400円(本体価格4,000円)
(萩焼) 7.5×6.5cm (110ml)
木箱 (10×10×9cm) ① (3805) 土 ●



M54326600-824
山根清玩 鬼萩 くい香
6,600円(本体価格6,000円)
(萩焼) 約径8.5×6cm (90ml)
木箱 (10×10×9cm) ① (3805) 土 ●



〈藤田徳太〉福岡県北九州市に生まれる。工業高校を卒業した後、常滑市立陶芸研究所に入所。全国各地にて個展・企画展に参加し、各賞を受賞している。



M55392280-824
藤田徳太 片口酒器
3,080円(本体価格2,800円)
(常滑焼) 220ml ダンボール
① (3603) 土

M55393300-824
藤田徳太 くい香
3,300円(本体価格3,000円)
(常滑焼) 径6×4cm (40ml) ダンボール
① (3603) 土



S38502350-824
山根清玩 青萩くい香
3,850円(本体価格3,500円)
(萩焼) 7×6.5cm (120ml)
木箱 (10×10×9cm) ① (3805) 土 ●



S38503350-824 **Voice!**
陶彩リファイン 蒼袖わたつみ 丸くい香
3,850円(本体価格3,500円)
(萩焼) 6.5×5cm (80ml)
木箱 (10×10×9cm) ① (3805) 土

※くいのみ…名窯カタログ
巻末P78-R405をご参考まで



奈良山瓦窯跡:奈良県奈良市と京都府木津川市にある瓦窯跡。奈良山瓦窯跡・歌姫瓦窯跡・音如ヶ谷瓦窯跡・市坂瓦窯跡・梅谷瓦窯跡・鹿背山瓦窯跡が、平城京の後背にあたる北方には、標高90~100mのなだらかな丘陵に続き、奈良山丘陵と呼ばれており丘陵には平城京の宮殿や寺院の瓦を焼いた点たる瓦窯跡群のことです。天平勝宝8(756)年、東大寺建立のために設けられた役所・造東大寺司が四天王寺(大阪市)に14,000枚、梶原寺に6,000枚の瓦を発注したことが、摂津の国の役所が出した公文書から明らかになっています。7世紀中ごろに建立された梶原寺、現在の畑山神社(大阪府高槻市梶原)のあたりにあったと考えられている古代寺院の一つです。東大寺用の瓦6,000枚は、寺の裏山に築かれた瓦窯で焼かれ、淀川・木津川の水運を利用して奈良の東大寺へ納められたとみられています。

●手作りのもので、サイズや風合いに違いがある場合があります(納期に一ヶ月程かかる場合があります)。

8月22日は、1864年、赤十字条約(ジュネーブ条約)が調印され、国際赤十字が発足しました。

「進歩と調和」。

「焼きもの」の始まりは縄文土器(?)。最も古いものは1万数千年前のもとも言われ、世界各地の土器と比べても非常に古いものです。次いで弥生土器で、肉薄で均整のとれた簡素な実用品です。その後祭器の土師器(はじき)や副葬品の埴輪が作られ、次に須恵器が登場します。大陸・朝鮮半島から伝えられた新しい製陶技術に基づいて、ろくろで成形し、丘陵の斜面に築かれた窖窯によってより高い温度で焼成して作られました。このように諸外国からのノウハウをインポートすることで少しずつ日本の「焼きもの」は進歩していきます。特に、桃山時代に入ると、「禅」や「茶」の流行に伴い焼きものが日本独特の特色を持つようになりました。唐津での技術取得を端緒に瀬戸や美濃地方では、志野・黄瀬戸・瀬戸黒・織部という優れた茶陶が製作され、17世紀初め李參平により有田(佐賀県)の泉山で陶石を発見、磁器がわが国で初めて作られました。更に有田の酒井田柿右衛門により色絵磁器が生産され、鍋島藩の色鍋島とともに、17世紀後半になると、ヨーロッパへ色絵磁器が大量に伊万里港から輸出されるようになり、18世紀には日本全国各地にその技術が伝播し、それぞれで進歩していきます。その進歩は各地の自然と人々の調和で発展しました。柳宗悦を中心に大正の時代に民藝運動が盛んになりますが、これは日常的な暮らしの中で使われてきた手仕事の日用品の中に「用の美」を見出したものです。それは自然への畏怖と感謝のなかで、生活を自然と調和させることで豊穡と幸福を得た各地それぞれの風土そのものによる違いが「焼きもの(うつわ)」に現れた結果、そこに美を見出した。風土は人々の生活空間でもあり、食文化でもありました。そのようななか、自然の中心である太陽は「火」に通じ、生命の源である「土」を得て「焼きもの」は「食」への「用の美」をもって作られていきました。「食」と「器」とのコーディネイトの始まりは北大路魯山人と言われてますが、家族どうしのつきあいでありながら、会えば喧嘩し合う仲という岡本太郎といえば、「人類の進歩と調和」をテーマとした大阪万博の「太陽の塔」で、太郎は「文明の進歩に反比例し、人の心がどんどん貧しくなっていく現代に対するアンチテーゼとしてこの塔を作ったのだ」と発言します。そして太郎は「世界を支えているのは無名の人たちである」として、無名の人々の写真や民具を塔の内部に並べました。それはまさに民芸(民藝)運動であったのかもしれませんが。こんにちも、数々の「焼きもの」が、作り手の「思い」をもって、その匠の「技」に裏打ちされ体現され、私たちの生活に潤いを与えるものとして産まれ歩み続けています。



彩

2022-2024

一服もよし 一献もよし。



Fun to Share

「うちエゴ!」は「家(うち)」の中からできる選別化対策として、生活の中のちょっとしたことを見直し、一人一人が手の届くところから職場への配慮を持つというライフスタイル全般の一般的な呼びかけです。
日本陶彩株式会社は Fun to Share キャンペーンに参加しています。

【日本書記】崇神天皇七年秋八月 秋八月癸卯朔己酉 倭迹迹神浅茅原日妙媛 穗積臣遠祖大水平口宿禰 伊勢麻績君 三人共同夢 而奏言 昨夜夢之 有一真人 詢曰 以大田田根子命為祭大物主大神之主 亦以市磯長尾市 為祭倭大國魂神主 必天下太平矣 天皇得夢辭 益歡於心 布告天下 求大田田根子 即於茅渟縣陶色得大田田根子而貢之 天皇即親臨于神淺茅原 會諸王卿及八十諸部 而問大田田根子曰 汝其誰子 對曰 父曰大物主大神 母曰活玉依媛 陶津耳之女 亦云 會曰方天日方武茅渟紙之女也 天皇曰 朕當樂樂 乃ト使物部連祖伊香色雄 為神班物者 吉之 又ト使祭他神 不吉 ○十一月丁卯朔己卯 命伊香色雄 而以物部八十平瓮 作祭神之物 即以大田田根子 為祭大物主大神之主 又以長尾市 為祭倭大國魂神之主 然後ト祭他神 吉焉 便別祭八萬群神 仍定天社 國社 及神地 神戶 於是 疫病始息 國內漸饒 五穀既成 百姓饒之



「雪づむそのくれ竹をれふして ねぐらもとむるむらすすめかな」



萩を白塗りにして表わした格調高い器です。落ち着いた土色と萩の白さとのコントラストをお楽しみください。

M50022750-825⁸⁴⁴ 清泉窯 萩がさね 碗皿
8,250円(本体価格7,500円)
(京焼・清水焼) 碗7.5×6.5cm (170ml)
紙箱 ① (◆3105) 土



可憐なポピーが可愛い色使いで描かれています。

S38211650-825
山近葵 ポピー コーヒー碗皿
7,150円(本体価格6,500円)
(九谷焼) カップ径8cm (130ml) 皿径13.6cm
化粧箱 ① (3201)



S38335130-825 **カット**
中村陶志人 椿雀図 花器
14,300円(本体価格13,000円)
(九谷焼) 9.5×5.5×11.5cm
紙箱 ① (3202)



独特の黒釉に白くなされるさまは粋です。

S38872280-825^(V)
芝苑 黒釉白ながし 碗皿
3,080円(本体価格2,800円)
(瀬戸焼) 碗径9×7cm (180ml)
皿16.5×13.5×2cm ダンボール
① (1112)



織部特長の緑色をぶどうの文様で表わしました。

M50264550-825
玉山窯 織部ぶどう コーヒー碗皿
6,050円(本体価格5,500円)
(美濃焼) 碗径8.8×6.8cm (250ml)
受皿径14×1.5cm
紙箱 (15×15×10.7cm)
① (0202) 土



自然の中で手造りされることで、素朴な味わいがコーヒーをひきたたせました。

S38544600-825⁸⁴³
三浦繁久 粉引 コーヒー碗皿
6,600円(本体価格6,000円)
(美濃焼) 碗11.5×7.5cm (250ml)
皿14.5×2.5cm
化粧箱 ① (0202) 土



日本の食料自給率向上に向けた国民運動NIPPON FOOD DHIFT
日本陶彩は、NIPPON FOOD DHIFTの推進パートナーです。



雨過晴天の如く純浄な釉色の青白磁。流麗な文様と精妙な技術が感じられます。

M54814800-825⁸⁵⁵
快山窯 つる草唐草 兼用碗皿
8,800円(本体価格8,000円)
(美濃焼) 碗径9.3×6.2cm (175ml)
皿径14.2cm 紙箱 (15×15×9cm)
① (0107)



漆黒の間と輝く白、その間の一瞬に見える虹色、儚い一瞬を追い求め、光を彩ると命名しました。

M54394600-825⁸⁶²
清玩 藍流 珈琲碗皿 **Hit!**
6,600円(本体価格6,000円)
(萩焼) 碗径8.5×6.5cm (220ml)
皿径1.5×3cm
紙箱 ① (3805) 土 ●



「和食」をいただきます。

日食24時間 和食の日
和食を推進するNIPPON FOOD SHIFTの推進パートナーです。

●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。 ●すべて進物にも使える **お箱** 入りです。



<暮らしの品々>
家族があっただかい食卓がいい
日常の美



黒川正樹

- ① S38452500-826
黒川正樹 黒金彩膏釉湯呑
5,500円(本体価格5,000円)
(京焼・清水焼) 径7.5×9cm (230ml)
化粧箱 ① (3104)
- ② S38453600-826
黒川正樹 黒金彩膏釉飯碗
6,600円(本体価格6,000円)
(京焼・清水焼) 径12×6cm
化粧箱 ① (3104) ●
- ③ S38454700-826
黒川正樹 黒金彩膏釉マグ
7,700円(本体価格7,000円)
(京焼・清水焼) 径8.5×9cm (240ml)
化粧箱 ① (3104)

<小春花窯>



加藤宏幸

素朴なオレンジ色は豊かな実りを感じさせます。



- ④ S38554230-826816 小春花 赤染麦わら手 飯碗
2,530円(本体価格2,300円)
(瀬戸焼) 径12.3×6cm 紙箱 ① (1112) 土 ●
- ⑤ S38555200-826837 小春花 赤染麦わら手 湯呑
2,200円(本体価格2,000円)
(瀬戸焼) 径6.7×6.8cm (180ml) 紙箱 ① (1112) 土

<玉山窯>





十草を今からソフト・ストライプと
呼びたくなる温かみです。



- ⑨ S38545300-826853
玉山窯 藍十草 飯碗
3,300円(本体価格3,000円)
(美濃焼) 径12.4×5.8cm (240ml)
紙箱 ① (0202)
- ⑩ S38546300-826837
玉山窯 藍十草 湯呑
3,300円(本体価格3,000円)
(美濃焼) 径7.5×8.5cm (250ml)
紙箱 ① (0202) **カット**

陶器の日 (10月4日) <お茶漬けを食べる日>

陶器を知っていただくには、そのものだけを伝えるのではなく、使い方など意味を伝えていく必要があると考えます。「お茶漬け」は、シンプルに見えて、実は奥の深いメニューであるとともに、お茶碗、小皿、湯呑、急須、箸置といった様々な陶器の活用方法の組み合わせが提案できるメニューです。陶器の活用方法や、お茶漬けというメニューをモチーフに、10月4日「陶器の日」＝「お茶漬けを食べる日」として普及促進していくことにより、新たに「陶器の日」を盛り上げていくとのことです。(L306)

10月4日は陶器の日
「やきもの総合サイト」



<http://www.yakimono.or.jp/>

NihonTohsai.com
食を楽しむ、器を愛する

土や釉薬の吟味、彫りやデザインなど、新しいものを取り入れ、生み出して、独自のテイスト「和アジア」を作ることを目標にしている陶芸家・黒川正樹。

釉の使いこなしは微妙な味わいを醸し出します。

伝統文様がモダンにアレンジされ
咲きました。

- ⑥ S38569200-826 与山窯 更紗唐草文 飯碗
- ⑦ S38570200-826834 与山窯 更紗花卉文 飯碗
- ⑧ S38571200-826 与山窯 更紗赤花文 飯碗

各 2,200円(本体価格2,000円)
(有田焼) 径11×5.7cm 紙箱 ① (2101)

<与山窯>

※百万塔…名窯カタログ巻末P83-R555をご参考まで。

「陶荒田神社由緒記」より(日本書記)崇神天皇6年「百姓の流離、あるいは背叛があり、その勢いは徳を以て治めようとしても難しく、これを懼れて神祇に罪を請うた。これより先、天照大神・倭大國魂の二神を大殿の内に祀った。日本書記(崇神天皇7年8月7日)倭迹速神浅茅原目妙姬・大水口宿禰・伊勢麻績君、この三人が共に同じ夢を見て言うには「昨夜、夢で一人の貴人があり、「大田田根子命を大物主大神の祭主に、また市磯長尾市を倭大國魂の祭主にすれば、必ず天下太平になるであろう」と教えていただきました」と。崇神天皇はこれ聞いてますます喜び、天下に大田田根子を求めると、茅渟県の陶邑で見つけて連れてきた。「父は大物主大神。母は活玉依姫で、陶津耳の娘です」と答えた。天皇は「自分はまさに栄えるであろう」と言った。…日本書記(崇神天皇7年11月8日)伊香色雄に命じて物部の八十平瓮を祭神の供物とする。大田田根子を大物主大神の祭主とする。また長尾市を倭大國魂の祭主とする。その後にごうと、他神を祭るのを吉と出たので、別に八十万の群神を祭った。そして天社あまつやしろ・國社につやしろ、及び神地かむこむろ・神戸かんべを定めた。すると疫病は終息し、国内は鎮まり、五穀が実り、百姓は賑わった」陶彩文庫蔵(L389)

「思いっきり楽しむ」…「浅野陽」氏は「食と器と日本人(郡羊社、1997年初版)」で、次のようにおっしゃっています。

「世界の中で、日本ほど多様な食器を日常に使用している国はほかにありません。…壊れないで持ち運びに便利、というようなことは、二の次三の次でよかったです。そんな合理主義よりも、日本人は豊かな日本の食材を思いきり楽しむ姿勢のほうを、大切にしてきました。」と、「農耕民族の器、騎馬民族の器」を語ります。

●内箱入り数①は 一客箱入 です。

9月6日は、「クローバーの日」。日本陶彩は当社オリジナル「白雲」シリーズを「クローバー種」付きとし幸せの贈り物としました。 **陶彩**



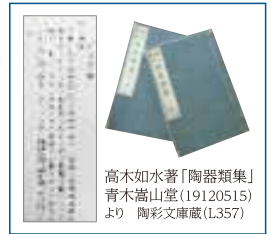
春

日常で使える、という事を 考えてお届けしています。

すでにコレクションの域に達し、銘陶として美術館に収蔵されているような器を参考に、それ等の味わいを損なう事なく、日常として使える物として、新しい世界を創りたいと願っています。長い歴史の中で育まれてきた美しさを、いま皆さまのお手元にお届けします。古美術ではなく、現代の暮らしに生きる器として、使っていただきたいお奨めの品をご紹介します。



<暮らしの品々>
家族があっつい食卓がいい
日常の美



淡い花柄が、
春の香を届けてくれます。

① 華やかな桃色に上品な印花模様、
和食器にあたらしい色が加わりました。



② 櫛目模様に印華紋が
やさしい小振りのお茶碗。



③ ちいさな花びらを散りばめて、
夢見るロマンティックなお茶碗です。



① S38069350-827⁸⁶⁶ **Hit!**
河島喜信 花袖三島 飯碗
3,850円(本体価格3,500円)
(京焼・清水焼) 11.5×5.5cm 紙箱 ① (3104) 土 ●

② S38071375-827⁸⁶⁷
花月窯 櫛目印華 飯碗(小)
4,125円(本体価格3,750円)
(京焼・清水焼) 10.5×6cm 紙箱 ① ●(◆3105) 土

③ S38070450-827⁸³²
銀舟窯 花ロマン 飯碗(小)
4,950円(本体価格4,500円)
(九谷焼) 11×5.5cm 紙箱 ① (3202)

⑥ 芽でたい赤に宝ものを
あしらいました。



⑤ アネモネは地中海原産で、
語源はギリシア語「風」から。



新しい事が始まる春にぴったり。

④ S38863350-827^{872(V)}
田中柚伎 パラ 飯碗
3,850円(本体価格3,500円)
(九谷焼) 径11.1×5.6cm
化粧箱 ① ●(3202) **カット**

⑤ S38855380-827⁸⁷¹
山近泰 アネモネ 飯碗
4,180円(本体価格3,800円)
(九谷焼) 径10.3×6cm 紙箱 ① (3201) ●

⑥ S38522750-827⁸⁶⁷
賀峰窯 赤濃吉祥 飯碗(小)
8,250円(本体価格7,500円)
(京焼・清水焼) 径11×5cm 紙箱 ① (◆3105)

④ 春に小さい花があっつこちで咲いて
気分がウキウキ、そんな明るい気持ち
があふれだしています。

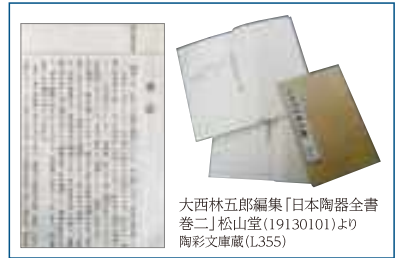


●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。

伝統の装飾美。

過去に学ぶ装飾の世界といえ、日本の陶磁器は世界に類を見ない豊かな遺産をもっています。主として中国から学んだ磁器、染付け、色絵の世界。古代から引き継がれ、茶人の美意識によって絢爛豪華に華開いた、桃山茶陶の世界。出自に違いはあっても、それぞれ素地肌合った加飾技法が工夫され、脈々と受け継がれてきた多彩多様な陶磁器の世界を展開いたします。

旧暦の6月末に行われる「夏越の祓」は、半年分のケガレを落とす行事で、この後半の健康と厄除けを祈願します。由来は記紀神話の伊弉諾尊の禊祓にまで遡りますが、さらに半年後の12月末の「年越の祓」との、この二つは対になる行事であり、共飲共食のもって、心身を清めてお盆や新しい年を迎えるためのものとなります。



大西林五郎編集「日本陶器全書 巻二」松山堂(19130101)より陶彩文庫蔵(L355)

涼し気な色が、
彩りをそえます。

② 陶土に白化粧を施し、たっぷりのトルコ釉をかけた器はエキゾチックな香りがします。

① 粉引にコバルトの十草紋様、素朴でなにか新しい雰囲気。

① S38073500-828⁸⁵⁵
三浦繁久 呉須十草 飯碗 **Hit!**
5,500円(本体価格5,000円)
(美濃焼) 径12.6×6.1cm 紙箱 ① (0202) 土 ●

② S38072360-828
佳窯トルコ釉 小飯碗 **Hit!**
3,960円(本体価格3,600円)
(常滑焼) 11×7cm 紙箱 ① (3603) 土 ●

③ S38076280-828
楽峰窯 白磁そぎ 飯碗(小)
3,080円(本体価格2,800円)
(京焼・清水焼) 11.8×5cm 紙箱 ① (3102)

③ しっとりとした白さが輝く肌に見事に「そぎ」を入れました。



素朴とモダンを
感じる
涼感ある飯碗。

④ あきの来ないドット柄はどんな器のコーディネートにもぴったり合います。

⑥ 染付に左馬の紋様、縁起かつぎもあり、素朴でなにか新しい雰囲気。

④ S38074330-828
岡田絹代 水玉 飯碗 **Hit!**
3,630円(本体価格3,300円)
(九谷焼) 11×6cm 紙箱 ① (3202) ●

⑤ S38075300-828
玉山窯 鼠志野ひまわり 飯碗 **Hit!**
3,300円(本体価格3,000円)
(美濃焼) 径13×5.6cm 紙箱 ① (0202) 土 ●

⑥ M54359500-828⁸³⁴
幸祥窯 染付左馬 飯碗
5,500円(本体価格5,000円)
(波佐見焼) 15.5×6.5cm 化粧箱 ① (2203)

⑤ 伝統の玉山窯の新感覚のお茶碗。伝統とモダンが一致した存在感のある器です。

●手作りですので、サイズや風合いに違いがでる場合があります(納期に一ヶ月程かかる場合があります)。●すべて 一客箱入 1客ずつお箱入りです。 土 陶器製(土もの)の食器です。

10月4日は、「陶器の日」です。日本陶磁器卸商業協同組合連合会が1984(昭和59)年に制定。陶器の古称「陶甍」から。

秋

日本美は世界感覚。

日本の文化が西洋の影響を受けてきたように、今、欧米諸国の人達の間で、日本文化がとても人気があるそうです。住宅でも日本庭園などを真似して、東洋の美を吸収しようと人々がいて聞きます。このような世界の流行、日本美を発散している物を、もっと私たちの日常でも使っていけば、そこに新鮮な生活スタイル、現代にアレンジメントした暮らしが生まれると思います。



弁玉集(べんぎょくしゅう)
上村次郎右衛門(1672)
より 陶彩文庫蔵(L344)



「陶器図録第三巻」
雄山開(19380530)より
陶彩文庫蔵(L359)

秋を感じるウツワの
シンフォニー。

- ① S38331480-829
銀舟窯 華月夜 飯碗
5,280円(本体価格4,800円)
(丸谷焼) 11×5.5cm
紙箱 ① (3202) ●
- ② S38081380-829 **Hit!**
鉢則 織部 飯碗
4,180円(本体価格3,800円)
(瀬戸焼) 11.4×6cm
紙箱 ① (1112) 土 ●
- ③ S38080400-829⁸⁶⁶
清泉窯 萩がさね 飯碗(小)
4,400円(本体価格4,000円)
(京焼・清水焼) 12×5cm
紙箱 ① (◆3105) 土 ●

① カラフルな色合いがこころときめく器です。
キュートな女性にぴったりの飯碗です。

② 織部の緑の深みがアンティークな味を出しています。
鉄絵の吊るし柿が素朴さを感じさせます。

③ 内側の刷毛目に躍動感があふれています。
小鉢にも使えそう。

⑤ 棧切焼の茶褐色がごはんの白さを引き立て、心和む
食事タイムを演出してくれます。

アンティークな
秋色の風を食卓に。

- ④ S38078350-829⁸⁷¹
晁窯 風船がずら 飯碗(小) **Hit!**
3,850円(本体価格3,500円)
(丸谷焼) 10.6×6cm
紙箱 ① (3201) ●
- ⑤ S38079300-829 **Hit!**
夢幻工房 棧切焼 飯碗
3,300円(本体価格3,000円)
(備前焼) 12×6cm
紙箱 ① (3807) 土 ●
- ⑥ S38642400-829⁸³²
空明工房 染錦梅十草 手造飯碗
4,400円(本体価格4,000円)
(波佐見焼) 径11.5×7.2cm
トムソン ① (2208)

④ 手作りのやわらかい形状に丸谷五彩で
優しく「風船がずら」を描いた、飯碗です。

⑥ 作り手である女性ならではの繊細で、
且つ大胆な筆致です。

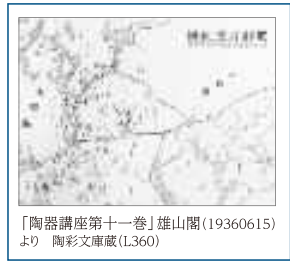
●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。

伝統の色。

歴史の中で生まれ、今日に至った日本の伝統色。着物の染色世界に通じる、日本人にとって親しみ深いものです。それは、私たちの暮らしのと密接な関係にある風土や草木など自然の中から生まれてきた色だから。器にとっても、色は命。料理とも相性が良く、使いやすい、そして日本人の心の奥にある好みの色が、わたし達の今の暮らしにもマッチしてくれる色です。



<暮らしの品々>
家族があっただかい食卓がいい
日常の美



『陶器講座第十一巻』雄山閣(19360615)
より 陶彩文庫蔵(L360)

① 上品な唐草模様に鮮烈な朱色の色付け。
人の手により、人の温もりを伝えたい手描きのうつわ。

② 風水の黄色に大輪の花を鮮やかに描き
縁起の良い作品です。

③ 贅沢なほどに2色の花紋が咲きほころびました。

④ S38083280-830
幸祥窯 朱濃唐草 飯碗 **Hit!**
3,080円(本体価格2,800円)
(波佐見焼) 径10.5cm
化粧箱 ① (2203)

⑤ S38887500-830⁸⁷²
佐藤剛志 色華小紋 黄 飯碗
5,500円(本体価格5,000円)
(丸谷焼) 径12.2×6.4cm
化粧箱 ① (3202)

⑥ S38535500-830
幸祥窯 錦二色花紋 飯碗
5,500円(本体価格5,000円)
(波佐見焼) 径11×6.5cm
化粧箱 ① (2203)

高級感を感じる冬のウツワ。



④ S38849300-830
春草(中島清久) 黒織部十草 飯碗(小)
3,300円(本体価格3,000円)
(瀬戸焼) 径12.8×5.2cm
ダンボール ① (1112) 土 **カット**

⑤ S38052220-830
陶翠窯 白釉トチリ 飯碗
2,420円(本体価格2,200円)
(瀬戸焼) 径11.2×6cm
紙箱 ① (1112) 土

⑥ S38495250-830
山根清玩 青萩 飯茶碗
2,750円(本体価格2,500円)
(萩焼) 12.5×6cm
化粧箱 ① (3805) 土 ● **カット**

⑤ 白い生地に「とびがんな」の
レトロな文様が新しい。

④ 瀬戸織部の伝統を色濃く受け継いで、
素朴さが息吹いています。

⑥ この青は萩ならではの、
萩の地からわきあがる温かさがあります。

寒い冬の、
静寂が好き。

●手作りものですので、サイズや風合いに違いがある場合があります(納期に一ヶ月程かかる場合があります)。●すべて **一客箱入** 1客ずつお箱入りです。 **土** 陶器製(土もの)の食器です。

10月9日は、「道具の日」で、これをはさんと毎年「かつば橋道具まつり」が開催されます。

cute

カラフルでキュートな柄達に、
ハートはドキドキ。
毎日のご飯の時間が、
とっても楽しくなる。
女の子のための、
お茶碗をお楽しみください。

ポップないちごがとってもかわいい。
さりげなく食卓を明るくしてくれます。



S38020**300**-831⁸⁴³ **Hit!**
川合孝知 いちご 飯碗
3,300円(本体価格**3,000**円)
(九谷焼) 10.8×5.5cm 紙箱 ① (3202)●

淡い紅色が可憐で内も外も上品です。



M50438**380**-831⁸⁴⁴
岡田絹代 花木 飯碗(小)
4,180円(本体価格**3,800**円)
(九谷焼) 径11×5.5cm 紙箱 ① (3202)

春の訪れを連想させるような温かさを
表現しています。



S38332**480**-831
銀舟窯 陽だまり 飯碗
5,280円(本体価格**4,800**円)
(九谷焼) 11×6.5cm 紙箱 ① (3202)

ポップな色合い、なにかココロの
ときめきを感じる飯碗です。



S38025**400**-831
銀舟窯 ロマンズ 飯碗
4,400円(本体価格**4,000**円)
(九谷焼) 10.8×5.5cm 紙箱 ① (3202)

ずっとある形で厚みのある器に
ひとつ赤い小花が咲く。



S38873250-831
長江作 赤絵小花 飯碗
2,750円(本体価格2,500円)
(瀬戸焼) 径12.5×5.8cm ダンボール
① (1112)

可憐なポピーが可愛い色使いで
描かれています。



S38026380-831⁸⁴⁴ **Hit!**
山近泰 ポピー 飯碗
4,180円(本体価格3,800円)
(九谷焼) 10.3×6cm 紙箱 ① (3201)●

繊細な彫刻紋様は落ち着いた
大人の香りがします。



S38035300-831 **カット**
河島喜信 緑釉花唐草 飯碗
3,300円(本体価格3,000円)
(京焼・清水焼) 12×6cm 紙箱 ①
(3104) 土

ごはんのためのウツワ

飯碗

small

プチな大きさで、
普通の飯碗より小さいサイズ。
ちょっぴりご飯がお好みの女性や、
ダイエット中の方にもうれしい。
柄も様々、年齢を選びません。

幸せ、喜びいっぱい乗せて、さあ船出。



S38029**480**-831
銀舟窯 舟出 飯碗
5,280円(本体価格**4,800**円)
(九谷焼) 10.8×5.5cm 紙箱 ① (3202)

幸せが続きますように! 福寿紋。



S38030**480**-831
銀舟窯 福寿紋 飯碗
5,280円(本体価格**4,800**円)
(九谷焼) 9.8×4.9cm 紙箱 ① (3202)



<暮らしの品々>
家族があつたかい食卓がいい
日常の美

いくえにも重なる花が華やかです。



③ S38431450-831 **カット**
遊楽 花話 飯碗
4,950円(本体価格4,500円)
(九谷焼) 11.3×5.8cm 紙箱 ① (3202)

異国情緒を感じる彩やかさ、紫の色も独特です。



⑤ S38429480-831
遊楽 ペルシャ 飯碗
5,280円(本体価格4,800円)
(九谷焼) 11.3×5.8cm 紙箱 ① (3202)

S38479650-831
遊楽 ペルシャ ポット急須
7,150円(本体価格6,500円)
(九谷焼) 360ml (茶こしアミ付)
紙箱 ① (3202)

④ S38432400-831
遊楽 花話 マグカップ
4,400円(本体価格4,000円)
(九谷焼) 8.6×7.8cm (210ml)
紙箱 ① (3202)

⑥ S38430500-831
遊楽 ペルシャ マグカップ
5,500円(本体価格5,000円)
(九谷焼) 8.6×7.8cm (210ml)
紙箱 ① (3202)

土 陶器製(土もの)の食器です。

●すべて 一客箱入 1客ずつお箱入りです。



御歯固・堀保己一編「群書類従・第26輯「類聚雑要抄巻第一」統群書類従完成会(19321015(19770914))(L370)



大西林五郎著「日本陶器全書」興文閣(19400115)より
陶彩文庫蔵(L361)



飯田邦彦著「陶器小志」
東京國文社(19220713)より
陶彩文庫蔵(L363)

ごはんのためのうつわ

飯碗

man

シックで重厚感のあるデザインが、
大人の男性に人気の飯碗。
豪快にいただきたいご飯の時間に、
癒しをそえてくれます。



① 持ちやすさは、お茶碗の大事な要素なことを改めて感じさせます。



② 江戸の粋を感じさせる、舂をあしらった文様、歌舞伎に出てきそうです。



③ S38558300-832 梅村知弘 赤楽十草 飯碗
3,300円(本体価格3,000円)
(瀬戸焼) 径12.0×7.7cm ダンボール ① (1112) 土

④ S38913400-832⁸⁵⁰ しん窯 江戸紋 3.8寸丸飯碗
4,400円(本体価格4,000円) **Hit!**
(有田焼) 径11.4×6.3cm 色ダンボール ① (2101) ●

⑤ S38858380-832 春草(中島満久) 織部 お好み飯碗
4,180円(本体価格3,800円) **カット**
(瀬戸焼) 径10×6.8cm ダンボール ① (1112) 土

⑥ S38851380-832 春草(中島満久) 黄瀬戸 お好み飯碗
4,180円(本体価格3,800円) **カット**
(瀬戸焼) 径10×6.8cm ダンボール ① (1112) 土

⑦ S38680300-832⁸⁵³ 玉山窯 織部ぶどう 飯碗
3,300円(本体価格3,000円)
(美濃焼) 径11.3×6cm 紙箱 ① (0202) 土 ●



③ 織部の文様は日常生活、家の周りで見られる風物が多いです。

④ 安土桃山の時代より、淡黄色の釉をかけて作られました。



⑤ ぶどうをモチーフに緑色が効いた侘びた茶碗です。



woman

大人の女性に似合ううつわ達。
その日の気分に合わせて、
試してみるのもおしゃれかも。
ご飯もトレンドに合わせて
楽しみたい。



⑥ 鮮やかな赤のストライプはモダンでもあり、カジュアルでもある。

⑥ S38036300-832⁸⁵³ 玉山窯 朱十草 飯碗
3,300円(本体価格3,000円) **カット**
(美濃焼) 径11.9×5.3cm 紙箱 ① (0202) 土 ●

⑦ S38034380-832 岡田絹代 花木 飯碗(大)
4,180円(本体価格3,800円)
(九谷焼) 11.7×6cm 紙箱 ① (3202) ●

⑧ S38039350-832⁸⁶⁶ 河島喜信 青釉三島 飯碗
3,850円(本体価格3,500円)
(京焼・清水焼) 11.5×5.5cm 紙箱 ① (3104) 土 ●

⑨ S38927280-832⁸⁴² そうた窯 染錦唐草 茶碗(小)
3,080円(本体価格2,800円)
(有田焼) 径11×6cm 紙箱 ① (2104)

⑩ S38038260-832 幸祥窯 丸紋 飯碗 **Hit!**
2,860円(本体価格2,600円)
(波佐見焼) 11.5×5.6cm 化粧箱 ① (2203) ●



⑦ ブルーの絵付けが新鮮、おしゃれな女性にぴったりです。



⑧ 華やかな青の面に、象嵌の押し花が上品。



⑨ 伝統の唐草文様を可憐に、あしらった彩りよい器です。



⑩ 飽きの来ない形状と絵柄、お客様用に揃えたい飯碗。

⑪ S38642400-832⁸²⁹ 空萌工房 染錦梅十草 飯碗
4,400円(本体価格4,000円)
径11.5×7.2cm トムソン

⑫ S38643400-832 空萌工房 染錦梅十草 湯呑
4,400円(本体価格4,000円)
径7×8.7cm (250ml) トムソン

⑬ S38644700-832 空萌工房 染錦梅十草 急須
7,700円(本体価格7,000円)
径14×10.5cm (255ml) トムソン

⑭ S38645300-832 空萌工房 染錦梅十草 炬燵茶
3,300円(本体価格3,000円)
径7×4.5cm (75ml) ダンボール

〈空萌工房〉吉村紀美子 長崎県波佐見町の窯元に生まれ育つ。
国家検定 陶磁器製造技能士(絵付)1級取得。波佐見焼伝統工芸師1級認定。
女性ならではの豊かな感性や視点で描く繊細かつ大胆な筆致が魅力です。



空萌工房(波佐見焼) ① (2208)

ポップな色合い、なにかココロのときめきを感じます。



⑮ S38697450-832 銀舟窯 花ロマン 飯碗(大) 11.5×6cm
⑯ S38070450-832⁸²⁷ 銀舟窯 花ロマン 飯碗(小) 11×5.5cm
各 4,950円(本体価格4,500円)

⑰ S38696400-832 銀舟窯 花ロマン 湯呑(大)
7×8.7cm (200ml)

⑱ S38179400-832⁸³⁶ 銀舟窯 花ロマン 湯呑(小)
6.8×8.3cm (180ml)
各 4,400円(本体価格4,000円)

●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。 ●手作りものですので、サイズや風合いに違いがある場合があります(納期に一ヶ月程かかる場合があります)。

10月15日は、日本赤十字社が国際赤十字社連盟に加盟した日です。日本陶彩は日本赤十字社「社員」です。陶彩



ごはんのためのウツワ

飯碗

natural

素朴で自然な質感が、
自然の風を感じさせてくれる。
シンプルで落ち着いた色合いが、
ご飯の味を引き立たせてくれます。



① 手になじむ大振りの飯碗。
織部の緑が春の芽生えを感じさせる。



② 自然の風景をそのままに、
心地よい風味を感じられるような
風合いに、梅があしらわれました。



③ 黄色に緑の色合いが土味の素朴さを感じ、
少し深みの有る形が、お茶漬碗、雑炊碗
などにも使える飯碗です。



④ 繊細に彫込んだ生地に白の化粧土
をかけました。ヘルシーな玄米ご飯
がよく似合うお茶碗です。

① S38680300-833⁸⁵³ 玉山窯 織部ぶどう 飯碗
3,300円(本体価格3,000円)
(美濃焼) 11.3×6cm 紙箱 ① (0202) 土

② S38323320-833³⁴¹ 松尾邑華 梅鉢草 飯茶碗(大)
3,520円(本体価格3,200円)
(萩焼) 径13×6cm 紙箱 ① (3806) 土

③ S38556300-833 梅村知弘 黄瀬戸 飯碗
3,300円(本体価格3,000円)
(瀬戸焼) 径12×7.7cm 紙箱 ① (1112) 土

④ S38061300-833 清和窯 白釉そぎ 飯碗(小) **Hit!**
3,300円(本体価格3,000円)
(京焼・清水焼) 11.5×5.5cm 紙箱 ① (3102) ●

⑤ S38058400-833 夢幻工房 ひだすき焼 飯碗
4,400円(本体価格4,000円)
(備前焼) 12.5×6cm 紙箱 ① (3807) 土

⑥ M5356400-833 三戸逸雄 白萩 飯茶碗
4,400円(本体価格4,000円)
(萩焼) 径13×6cm 化粧箱 ① (3806) 土 ●

⑦ S38066370-833 佳窯 黒結晶 飯碗 **Hit!**
4,070円(本体価格3,700円)
(常滑焼) 13×7.5cm 紙箱 ① (3603) 土 ●



⑤ 味わい深い火樺の自然な文様が、
やさしい趣きのある飯碗です。



⑥ 手造り感あるフォルムに自然の釉が
たっぶりの温かい茶碗です。



⑦ 黒の結晶釉を全体に掛けた飯碗。
黒の飯碗は御飯が美しく見えます。

trad

伝統的な色や柄が、存在感を与えます。
レトロな飯碗がお好みの方に人気です。
さり気なく手に馴染む正統派の飯碗。



⑧ いかにも織部的な
黒織部の文様です。



⑨ 人肌にふれたような萩の土が生み出す
温かみがあります。



⑩ 織部の黒と緑の大胆な色使い。
描かれているのは、可憐な露草。

⑧ S38310380-833 春草(中島満久) 黒織部 飯碗
4,180円(本体価格3,800円) **カット**
(瀬戸焼) 径12.5×5.6cm 紙箱 ① (1112) 土 ●

⑨ S38496250-833 清玩 御手飯 飯茶碗
2,750円(本体価格2,500円) **カット**
(萩焼) 径12.7×6cm 化粧箱 ① (3805) 土 ●

⑩ S38048330-833 玉山窯 黒織部 飯碗
3,630円(本体価格3,300円)
(美濃焼) 径11.3×6cm 紙箱 ① (0202) 土

⑪ S38057150-833 秀窯 黒うず 飯碗
1,650円(本体価格1,500円)
(美濃焼) 径12.5×5.7cm 紙箱 ① (0202) 土

⑫ S38675180-833⁸⁵⁴ 秀窯 黒三島 飯碗(大)
1,980円(本体価格1,800円)
(美濃焼) 径12.5×7cm 紙箱 ① (0202) 土

⑬ S38557300-833 梅村知弘 織部 高台飯碗
3,300円(本体価格3,000円)
(瀬戸焼) 径11.6×6.3cm 紙箱 ① (1112) 土

⑭ S38274500-833⁸⁵⁵ 三浦繁久 三色十草(緑)飯碗
5,500円(本体価格5,000円)
(美濃焼) 径12.3×5.3cm 紙箱 ① (0202) 土



⑪ クラシックな渦紋様が
強烈な印象。



⑫ 伝統の印花文が施されていて、
使いやすさを訴えるレトロな飯碗です。



⑬ 織部の緑に草文の柄が
土のぬくもりを感じ、
高台が手に持ちやすく
使いやすい飯碗です。



⑭ 古くからある十草文様も
色により変わります。

あさばらにちやづけ 「朝腹に茶漬け」

とても簡単であることのたどえ。

このことわざには、他にも違う言い方があるようで、「朝飯前の茶漬け」とか、「朝飯前のお茶の子さいさい」とも言うようで、もともとは、「朝腹の茶の子(あさばらのちゃのこ)」と言っていたようです。朝飯前のお茶漬けは、簡単で、すぐに食べられる、ということから生まれたとのこと。「お茶の子さいさい」は、よく使われると思いますね。

●手作りものですので、サイズや風合いに違いがある場合があります(納期に一ヶ月程かかる場合があります)。●すべて 一客箱入 1客ずつお箱入りです。



② シャープなそぎにキュンとひきしまった高台、玉子かけご飯に合う大きさです。

③ かいらぎの文様が土の香りをそのまま伝えてくれる味わいの器です。

玉子かけ



① 伝統文様がモダンにアレンジされ联きました。

① S38570200-834⁸²⁶ 与山窯 更紗花卉文 飯碗

2,200円(本体価格2,000円)
(有田焼) 径11×5.7cm 紙箱 ① (2101)

② S38108320-834 一真窯 白磁手彫り 飯碗 **Hit!**

3,520円(本体価格3,200円)
(波佐見焼) 径13.5cm 紙箱 ① (2201) ●

③ S38103350-834 太一窯 かいらぎ 飯碗 **Hit!**

3,850円(本体価格3,500円)
(波佐見焼) 径12cm 紙箱 ① (2201) 土 ●

胡麻をふりかけたような焼け加減はまさに一期一会の茶碗です。



S38912550-834⁸⁶⁰

陶峰窯 胡麻焼 飯碗

6,050円(本体価格5,500円)

(備前焼) 13×7cm 紙箱

① (3701) 土



内島北琅著「古陶の味」
富書店(19470930)より
陶彩文庫蔵(L364)

うちの若い人が修業に来ると、必ず食べ物を焼かせるんです。豆腐を焼かせ、五平餅を焼かせ、焼き鳥を焼かせるんです。それを見るとその人の火加減がわかる。食べ物をうまく焼くやつが、やつぱり陶芸でうまくいんです(出典:加藤芳右衛門・加藤舞陶「対談」、吉田秀徳編「茶事の贅沢」世界文化社(19921001))。

本を紹介

敏也窯

ただ無心に、まっすぐあでやかな彩が手描きされた、粋な器です。



⑥ S38100250-834 敏也窯 御本彩駒筋 湯呑(赤)

2,750円(本体価格2,500円) ●
6×7.5cm (160ml)

⑦ S38102250-834 敏也窯 御本彩駒筋 湯呑(青)

2,750円(本体価格2,500円) ●
6.5×8cm (200ml)

⑧ S38099300-834 敏也窯 御本彩駒筋 飯碗(赤) **Hit!**

3,300円(本体価格3,000円) ●
11×4.5cm

⑨ S38101300-834 敏也窯 御本彩駒筋 飯碗(青)

3,300円(本体価格3,000円) ●
12×5.5cm

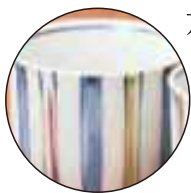
(京焼・清水焼) 化粧箱 ① (3104) 土

カット

万作窯

九谷焼の美しさ、五彩で描かれた十草文様は、親しみやすさを感じる。

⑬



日本の伝統的な色で描かれた縦縞がモダン。

上品な高級感をお祝いの席に

⑩ S38091300-834 万作窯 十草 飯碗(大) **Hit!**

3,300円(本体価格3,000円) 12×6cm

⑪ S38092300-834 万作窯 十草 飯碗(小) **Hit!**

3,300円(本体価格3,000円) 11×5.5cm ●

⑫ S38093280-834 万作窯 十草長湯呑(大) **Hit!**

3,080円(本体価格2,800円) 7.8×8.6cm (220ml) ●

⑬ S38094280-834 万作窯 十草長湯呑(小) **Hit!**

3,080円(本体価格2,800円) 7.2×8cm (170ml) ●

(九谷焼) 紙箱 ① (3201)

幸祥窯

⑭ 玄武(げんぶ)

⑮ 朱雀(すざく)

⑯ 青龍(せいりゅう)

⑰ 白虎(びやっこ)

⑱ 左馬(ひだりうま)



●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。

10月31日は、「陶彩の日」。陶器で食卓を彩り、美味しい食事を楽しみましょう。 **陶彩**

「朝茶は福が増す」

古来より「朝茶は福が増す」と言われています。まろやかな新茶の旨みはぜひとも年長者の方に飲んでいただきたいものです。毎日のお茶が美味しさと共に健やかな毎日を運んでくれます。



お茶を煎れるしあわせ。

お気に入りの茶器で煎れるお茶は格別なものですから。二人で一息つく時はとっておきの茶器でおもてなし。大胆な色合いもカジュアルな時間にはじっくりくるもの。



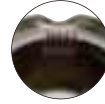
① 可憐なポピーが可愛い色使いで描かれています。



② 萩焼の最も基本的な色彩、素朴な風合いがなじみます。



③ 萩の絵を白感で表した上品な急須です。



茶こし不要の「絞り出し急須」
絞り出し急須は、「蓋」と「溝が施された本体」との間に茶葉を置き止めてお茶を淹れます。ゆっくり絞り出すように最後の一滴まで淹れることにより、二煎目、三煎目のお茶もおいしくいただけます。また、広口の形状により、茶葉の後始末など、お手入れが楽にできることも魅力です。



④ 透かしを入れて柔らかさをつけた焼メの急須。



⑤ 形状はどっしりしていますが白釉は繊細です。



⑥ 華やかな桃色に上品な印花模様、和食器にあたらしい色が加わりました。



⑦ 青い生地にやさしい山嶽紋様が新鮮。ひとつとして同じない味にほれる。



⑧ 呉須のたこ唐草と釉薬が程よくつけ、しっかりとした雰囲気。



⑨ 窯の焼きあがりの時に、炭を投入することで部分的な色変わりに。



⑩ 均一に紫釉をまとった技ありのポットです。



⑪ うす茶色の素地に赤・茶・朱色の線が「たすき」のように火燗（ひたすき）が良い。



⑫ 炭の還元がみせる色あいはひとつとして同じない味にほれる。



⑬ 桜の印刀彫の逸品です。

① S38137550-835 山近泰 ポピー ポット
6,050円(本体価格5,500円)
(九谷焼) 380ml (茶こしアミ付・径58mm) 紙箱 ① (3201) ●

② S38325250-835 天龍窯 姫萩 急須
2,750円(本体価格2,500円)
(萩焼) 400ml (茶こしアミ付) 紙箱 ① (3806) 土 ●

③ S38140850-835⁸¹⁰ 清泉窯 萩がさね 急須
9,350円(本体価格8,500円)
(京焼・清水焼) 270ml (しぼり出し) 紙箱 ① (◆3105) 土

④ S38147470-835⁸¹⁰ 浩三窯 花透し 急須
5,170円(本体価格4,700円)
(京焼・清水焼) 230ml (しぼり出し) 紙箱 ① (◆3105) 土

⑤ S38596400-835
天龍窯 白萩 茶こし付ポット急須
4,400円(本体価格4,000円)
(萩焼) 500ml (茶こしアミ付) 紙箱 ① (3806) 土

⑥ S38145700-835⁸⁶⁶ 河島喜信 花袖三島 急須
7,700円(本体価格7,000円) (京焼・清水焼) 350ml 紙箱 ① (3104) 土

⑦ S38144700-835⁸⁶⁶ 河島喜信 青袖三島 急須
7,700円(本体価格7,000円) (京焼・清水焼) 350ml 紙箱 ① (3104) 土

⑧ S38141100-835 惣太窯 新惣蜻唐草 急須 **Hit!**
11,000円(本体価格10,000円) (有田焼) 400ml (茶こしアミ付) 紙箱 ① (2208) ●

⑨ M50213180-835⁸⁶⁰ 陶峰窯 棧切焼 急須
19,800円(本体価格18,000円) (備前焼) 約290ml 紙箱 ① ●(3701) 土

⑩ M55297450-835 椿秀窯 萩むらさき ポット **Hit!**
4,950円(本体価格4,500円) (萩焼) 500ml (茶こしアミ付) 紙箱 ① ●(3805) 土

⑪ S38623100-835⁸⁵⁸ 夢幻工房 ティーポット
11,000円(本体価格10,000円) (備前焼) 500ml (セラメッシュ) 化粧箱 ① (3807) 土

⑫ S38624100-835⁸⁵⁸ 夢幻工房 茶々丸
11,000円(本体価格10,000円) (備前焼) 500ml (セラメッシュ) 化粧箱 ① (3807) 土

⑬ M54920150-835⁸⁶⁹ 昭刻 朱泥桜彫急須 **カット**
16,500円(本体価格15,000円) (常滑焼) 230ml (セラメッシュ) 化粧箱 ① (3603) 土

Recommend 急須

名窯カタログ巻末P78-R417参照



売茶翁「没後250年記念」碑/売茶翁茶器図(江戸時代の日本では、横手急須を「急須」と書いて「きびしょう」と読んでおりました。そして、この「きびしょう」が本格的に煎茶の世界で用いたのは売茶翁と言われてます。その用いたとされる急須は、今日の横手急須そのもので、「売茶翁茶器図(木村孔陽 編1838) National Diet Library」に見えます。画像は親交が厚かった伊藤若冲によるもの(急須は取っ手により分類されます。<後手>注ぎ口を正面に見て、後方に取っ手がつく。中国茶や、西洋の紅茶のティーポットなどに良く見られます。これは中国の江蘇省宜興製の「茶壺」をもとにしているといわれています。<横手>注ぎ口を正面に見て、右横に取りっ手がつき、日本での主流です。大きく傾けて中身を注ぎきる際に蓋を押さえることを含め、片手で使いやすい。<上手>本体上部に取りっ手がつく。急須と一体化しているものと、別個に取り付けられるものがある。別個に取り付けられるものは、いわゆる土瓶。<宝瓶(泡瓶)>取っ手のない急須。基本的に玉露などを入れるときに使用します。)(L311)

高英啓(享保7(1732)年-天明4(1784)年)は、江戸中期の儒学者、篆刻家、画家。印章制度確立で印聖と。煎茶道にも造詣深く、「キビシャウ(急須)」を案出したとされています。



龍津寺跡

売茶翁「没後250年記念」碑

一客箱入 土 陶器製(土もの)の食器です。

朝チャル 朝から、気持ちよく始める、エゴ。夜には、ゆっくり休んで、エゴ。朝チャルとは、朝から気持ちよく始める、エゴ。夜には、ゆっくり休んで、エゴ。朝チャルとは、朝から気持ちよく始める、エゴ。夜には、ゆっくり休んで、エゴ。朝チャルとは、朝から気持ちよく始める、エゴ。夜には、ゆっくり休んで、エゴ。

●手作りものですので、サイズや風合いに違いがある場合があります(納期に一ヶ月程かかる場合があります)。 ●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。 ●すべて進物にも使える 銘柄 入りです。

cute



① 少し暖かい風と共に花がやってきます。



② 優しい表情の欄目と印華紋。持ちやすいお湯呑です。



③ ポップないちごがとってもかわいい。さりげなく食卓を明るくしてくれます。



④ 春の訪れを連想させるような温かさを表現しています。



⑪ 手造りの少し大ぶりの生地に有田らしい貝須と釉薬を施し、深い味わいを表現。

man



⑩ 藍釉の流れた文様、心落ち着く色合いがティータイムにぴったり。



⑬ どっしりとした輪郭に全体にかかった釉薬が風格をかもしだしています。



⑭ 伝統の飛鉋技法を今風に、とっておしゃれな湯呑です。

woman



⑤ 繊細な彫刻紋様は落ち着いた大人の香りがします。



⑦ 青い生地にやさしい象嵌紋様が新鮮。



⑥ 鮮やかな赤のストライプはモダンでもあり、カジュアルでもあります。



⑧ ブルーの絵付けが新鮮、おしゃれな女性にぴったりの湯呑です。



⑨ いくつもの色合いをもつ花のなかで、小さな花びらが飛びました。



⑫ ぶどうをモチーフに緑色が効いた織部焼を思わせる佇む湯呑です。

- ① S38854350-836⁸⁷¹ 山近泰 アネモネ 湯呑
3,850円(本体価格3,500円) (九谷焼) 径7.1×7.5cm (140ml) 紙箱 ① (3201) 土
- ② S38155300-836⁸⁶⁷ 花月窯 欄目印華 湯呑(小) **Hit!**
3,300円(本体価格3,000円) (京焼・清水焼) 7×8cm (160ml) 紙箱 ① (◆3105) 土 ●
- ③ S38151300-836⁸⁴³ 川合孝知 いちご 湯呑
3,300円(本体価格3,000円) (九谷焼) 6.8×8.3cm (180ml) 紙箱 ① (3202) ●
- ④ S38333480-836 銀舟窯 陽だまり 湯呑
5,280円(本体価格4,800円) (九谷焼) 6.7×8.5cm (180ml) 紙箱 ① (3202)
- ⑤ S38158250-836 河島喜信 緑袖花唐草 湯呑 **カット**
2,750円(本体価格2,500円) (清水焼) 7×8.5cm (180ml) 紙箱 ① (3104) 土
- ⑥ S38156300-836⁸⁵³ 玉山窯 朱十草 湯呑 **カット**
3,300円(本体価格3,000円) (美濃焼) 径7.4×7.8cm (210ml) 紙箱 ① (0202) 土
- ⑦ S38160350-836⁸⁶⁶ 河島喜信 青袖三島 湯呑
3,850円(本体価格3,500円) (京焼・清水焼) 7×8cm (200ml) 紙箱 ① (3104) 土
- ⑧ S38157380-836 岡田絹代 花木 湯呑(大)
4,180円(本体価格3,800円) (九谷焼) 7.5×8.7cm (220ml) 紙箱 ① (3202)
- ⑨ S38179400-836⁸³² 銀舟窯 花ロマン 湯呑(小)
4,400円(本体価格4,000円) (九谷焼) 6.8×8.3cm (180ml) 紙箱 ① (3202)
- ⑩ S38171400-836⁸⁴³ 光彩庵 流紋 湯呑 **Hit!**
4,400円(本体価格4,000円) (萩焼) 8.5×9.2cm (300ml) 紙箱 ① (3805) 土 ●
- ⑪ S38296750-836 そうた窯 新惣蛸唐草 湯呑 **Hit!** ●
8,250円(本体価格7,500円) (有田焼) 7.5×9.5cm (230ml) 紙箱 ① (2208)
- ⑫ S38682300-836⁸⁵³ 玉山窯 織部ぶどう 湯呑
3,300円(本体価格3,000円) (美濃焼) 径7.8×7.8cm (190ml) 紙箱 ① (0202) 土
- ⑬ M55213750-836⁸⁴³ 椋原佳俊 かいらぎ湯呑
8,250円(本体価格7,500円) (萩焼) 8.3×9.8cm (320ml) 木箱 ① (3805) 土
- ⑭ S38167200-836 陶翠窯 白袖トチリ 湯呑 **Hit!** ●
2,200円(本体価格2,000円) (瀬戸焼) 7×8.4cm (180ml) 紙箱 ① (1112) 土

toubou jun

瀬戸焼特長となる三つの彩りです。



- ⑮ S38409500-836 陶房淳 織部 湯呑
- ⑯ S38410500-836 陶房淳 黄瀬戸 湯呑 ● **Hit!**
- ⑰ S38661500-836 陶房淳 古瀬戸 湯呑 ● **Hit!**
各 5,500円
(本体価格5,000円)
(瀬戸焼) 径8×9cm (220ml)
木箱 (10×10×12cm)
① (1112) 土
- ⑱ S38662500-836 陶房淳 織部 飯碗 ●
- ⑲ S38663500-836 陶房淳 黄瀬戸 飯碗 ●
- ⑳ S38664500-836 陶房淳 古瀬戸 飯碗 ●
各 5,500円
(本体価格5,000円)
(瀬戸焼) 径12.4×5.9cm
紙箱 (13.5×13.5×7.3cm)
① (1112) 土

●手作りものですので、サイズや風合いに違いがある場合があります(納期にヶ月程かかる場合があります)。●すべて一客箱入 1客ずつお箱入りです。 土 陶器製(土もの)の食器です。

11月7日は、「鍋の日」です。この日が立冬になることが多いことから。

SPRING

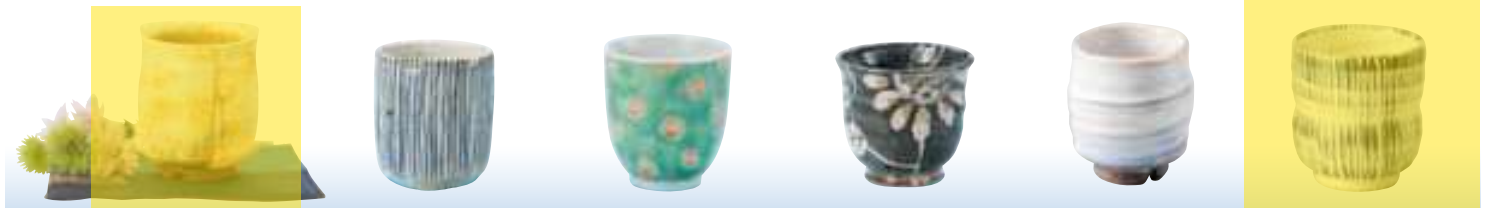
- ① ピンク色のガラス軸がキラリとしています。
- ② 華やかな桃色に上品な印花模様、和食器にあたらしい色加わりました。
- ③ 赤鮮やかに大輪の花を描き明るい作品です。
- ④ 可憐なポピーが可愛い色使いで描かれています。
- ⑤ 幾重にもくぼみや突起があって、持ちやすさは抜群。
- ⑥ ほどよい突起で持ちやすさは抜群。遊び心あふれる楽しいペアカップ。



- ① S38801150-837⁸⁶⁴ 天龍窯ガラス軸 モモイロカップ 1,650円(本体価格1,500円) (萩焼) 径8×11.5cm (250ml) 化粧箱 ① (3806)
- ② S38177350-837⁸⁶⁶ 河島喜信 花釉三島 湯呑 3,850円(本体価格3,500円) (京焼・清水焼) 7×8cm (200ml) 紙箱 ① (3104) 土 ●
- ③ S38888450-837⁸⁷² 佐藤剛志 色華小紋 湯呑(小) 4,950円(本体価格4,500円) (九谷焼) 7.8×7.1cm 化粧箱 ① (3202)
- ④ S38180350-837⁸⁷¹ 山近泰 ポピー 湯呑 **Hit!** 3,850円(本体価格3,500円) (九谷焼) 7.1×7.5cm (140ml) 紙箱 ① (3201)
- ⑤ S38181650-837⁸⁶⁷ 秀峰窯 花波唐草(青) フリーカップ 7,150円(本体価格6,500円) (京焼・清水焼) 8.5×8.5cm (260ml) 紙箱 ① (◆3105)
- ⑥ S38202650-837⁸⁶⁷ 秀峰窯 花波唐草(紫) フリーカップ 7,150円(本体価格6,500円) (京焼・清水焼) 8.5×8.5cm (260ml) 紙箱 ① (◆3105)
- M55151130-837⁸⁶⁷ 秀峰窯 花波唐草 ペアフリーカップ(⑤+⑥) 14,300円(本体価格13,000円) (京焼・清水焼) 8.5×8.5cm (260ml) 紙箱 ① (◆3105)

SUMMER

- ⑦ ちょっとした火加減で味がぐっと変わります。
- ⑧ 粉引にコバルトの十草紋様、素朴でなにか新しい雰囲気。
- ⑨ あきの来ないドット柄 どんな器のコーディネートもぴったり合います。
- ⑩ 伝統の玉山窯の新感覚の湯呑、伝統とモダンが一致した存在感のある器です。
- ⑪ 薄い青色、すっきりした空の色です。
- ⑫ どっりした持ち手の味わいがほどよさです。



- ⑦ M50515300-837 庄圭一郎 御本手 湯呑 **カット** 3,300円(本体価格3,000円) (萩焼) 8.8×10.3cm (470ml) 木箱 (13×12×11.5cm) ① (3805) 土
- ⑧ S38174500-837⁸⁵⁵ 三浦繁久 呉須十草 湯呑 5,500円(本体価格5,000円) (美濃焼) 7.4×8.8cm (220ml) 紙箱 ① (0202) 土
- ⑨ S38175300-837 岡田絹代 水玉 湯呑 **カット** 3,300円(本体価格3,000円) (九谷焼) 7×8cm (170ml) 紙箱 ① (3202)
- ⑩ S38178300-837 玉山窯 鼠志野ひまわり 湯呑 3,300円(本体価格3,000円) (美濃焼) 8.3×8cm (230ml) 紙箱 ① (0202) 土
- ⑪ M55245250-837 天龍窯 萩紫 湯呑 2,750円(本体価格2,500円) (萩焼) 径8×9.5cm (300ml) 木箱 (13×11×11cm) ① (3806) 土
- ⑫ S38546300-837⁸²⁶ 玉山窯 藍十草 湯呑 **カット** 3,300円(本体価格3,000円) (美濃焼) 径7.5×8.5cm (250ml) 紙箱 ① (0202)

AUTUMN

- ⑬ 素朴なオレンジ色は豊かな秋の実りを感じさせます。
- ⑭ 手作りのやわらかい形状に九谷五彩で優しく「風船がずら」を描いた、湯呑です。
- ⑮ カラフルな色合いがこころときめく器です。キュートな女性にぴったりの湯呑。
- ⑯ 土のようにやさしい手触りと紅葉のような素朴な色合いが特徴。
- ⑰ 紅葉の揺蕩ともしに長石軸をかけました。
- ⑱ 灰色の面に浮き上がる萩の花。土物のやさしさが伝わります。



- ⑬ S38555200-837⁸²⁶ 小春花 赤葉麦わら手 湯呑 2,200円(本体価格2,000円) (瀬戸焼) 径6.7×6.8cm (180ml) 紙箱 ① (1112) 土
- ⑭ S38186350-837⁸⁷¹ 眺雲 風船がずら 湯呑(小) 3,850円(本体価格3,500円) (九谷焼) 7.1×7.5cm (140ml) 紙箱 ① (3201)
- ⑮ S38334480-837 銀舟窯 華月夜 湯呑 **カット** 5,280円(本体価格4,800円) (九谷焼) 6.8×8.3cm (180ml) 紙箱 ① (3202)
- ⑯ S38505300-837 椿秀窯 紅葉 湯呑 3,300円(本体価格3,000円) (萩焼) 7.5×9cm (180ml) 木箱 (13×11×10.5cm) ① (3805) 土 **カット**
- ⑰ M55244250-837 天龍窯 御本手 湯呑 2,750円(本体価格2,500円) (萩焼) 径8×9.5cm (300ml) 木箱 (13×11×11cm) ① ● (3806) 土
- ⑱ S38191375-837⁸⁶⁶ 清原窯 萩がさね 湯呑(小) 4,125円(本体価格3,750円) (京焼・清水焼) 7×8cm (220ml) 紙箱 ① (◆3105) 土

WINTER

- ⑲ 味わい深い櫛目と印華紋。金彩のドットがお洒落。
- ⑳ 窯の火加減でひとつずつ違う、そこが味わいです。
- ㉑ 上品な唐草模様鮮やかな朱色の色付け。人の手により、人の温もりを伝えたい手描きのうつわ。
- ㉒ 織部の黒と緑の大胆な色使い。描かれているのは、可憐な露草です。
- ㉓ ゆきのようにぼったりと厚みのある白。ひとつひとつ偶然が作り出す縮れ模様が特徴。
- ㉔ 伝統の萩焼技法でもうすぐ梅が芽吹いてきそうです。



- ⑲ S38193300-837⁸⁶⁷ 花月窯 櫛目印華 湯呑(大) **Hit!** 3,300円(本体価格3,000円) (京焼・清水焼) 7.5×8.5cm (190ml) 紙箱 ① (◆3105) 土 ●
- ⑳ S38259400-837 夢幻工房 棧切焼 湯呑 4,400円(本体価格4,000円) ● (備前焼) 6.5×8.5cm (170ml) 木箱 (12.5×11×10.5cm) ① (3807) 土
- ㉑ S38185280-837 幸祥窯 朱濃唐草 湯呑 3,080円(本体価格2,800円) (波佐見焼) 7×7.7cm (160ml) 紙箱 ① (2203)
- ㉒ S38184330-837 玉山窯 黒織部 湯呑 3,630円(本体価格3,300円) **Hit!** ● (美濃焼) 7.2×7.8cm (200ml) 紙箱 ① (0202) 土
- ㉓ S38504500-837 庄圭一郎 白釉 湯呑 **Hit!** 5,500円(本体価格5,000円) (萩焼) 7.5×9cm (240ml) 木箱 (13×11×10.5cm) ① (3805) 土 ● **カット**
- ㉔ M55214500-837⁸⁴³ 椋原佳俊 粉引湯 **Hit!** 5,500円(本体価格5,000円) (萩焼) 8.3×9.8cm (320ml) 木箱 (12.3×10●×10.5cm) ① (3805) 土 **カット**

●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。

キュッとキャップをひねりトクトクとカップに注ぐ。

静かな夜に流れる音は今宵の大事な BGM。

一人で飲むのも大好きな人と飲むのも

いつも幸福時間を運んでくれる。

<暮らしの品々>
家族があつたかい食卓がいい
日常の美



萩独特の藍釉と白釉は、男女で分けるもよし、
朝夕で分けるもよし、酒酒で分けるもよし。



④ S38494300-838
山根清玩 青萩 フリーカップ ●
⑤ S38493300-838
山根清玩 白萩 フリーカップ ● **カット**
各 **3,300円** (本体価格3,000円)
(萩焼) 径10×8cm (300ml)
化粧箱 ① (3805) 土



瀬戸焼に特長な3つの文様を施しました。TPOに合わせて、使い分けると面白い。

① S38412350-838 陶翠窯 粉引なぶり手 焼酎カップ
② S38413350-838 陶翠窯 鼠志野十草 焼酎カップ
③ S38414350-838 陶翠窯 白釉トチリ 焼酎カップ ●
各 **3,850円** (本体価格3,500円)
(瀬戸焼) 径8.7×10.5cm (280ml) ダンボール ① (1112) 土



落ち着いた生地色と萩の白。
趣のある焼酎杯です。

S38194400-838
清泉窯 萩がさね 焼酎杯
4,400円 (本体価格4,000円)
(清水焼) 9×8.5cm (280ml)
紙箱 ① (◆)3105) 土



面取りされたシャープな形に重厚な黒泥を
焼し焼きあげた麦酒呑です。

S38201100-838
小橋俊允 面取黒麦酒呑 **Hit!** ●
11,000円 (本体価格10,000円)
(備前焼) 8×11cm (220ml)
木箱 (10×14×10cm) ① (3807) 土



釉薬を黒と白に掛け分け、
かわくじらで仕上げました。

S38610150-838
芝苑 灰釉黒白 焼酎カップ
1,650円 (本体価格1,500円)
(瀬戸焼) 径8.0×10.9cm (280ml)
化粧箱 ① (1112) 土



上質でベーシックな器。
使い込むほど愛着のわく焼酎カップです。

S38198500-838
夢幻工房 棧切焼 焼酎カップ
5,500円 (本体価格5,000円)
(備前焼) 8×9cm (180ml)
紙箱 ① (3807) 土



繊細な意識が高い方におすすめな
ブルーです。

M50439380-838
岡田絹代 花木 フリーカップ
4,180円 (本体価格3,800円)
(九谷焼) 8.2×11.3cm (310ml)
① 紙箱 (3202) **カット**



伝統の釉薬の流れはいにしえからの
酔いを思い出させます。

⑥ M54278400-838
椿秀窯 フリーカップペア (色違い)
4,400円 (本体価格4,000円)
(萩焼) 8.5×10cm (280ml) 化粧箱 ① (3805) 土
⑦ M54279500-838
椿秀窯 フリーカップペア大 (色違い)
5,500円 (本体価格5,000円)
(萩焼) 9×14cm (360ml) 化粧箱 ① (3805) 土



龍は良い「気」を運ぶシンボルと
されています。

S38196500-838
幸祥窯 染付竜 お湯割りカップ
5,500円 (本体価格5,000円)
(波佐見焼) 8×11cm (350ml)
化粧箱 ① (2203) ●



良い「気」を運ぶ龍の
焼酎カップで「お酒」を。

S38195600-838 **Hit!**
幸祥窯 染付竜 焼酎カップ
6,600円 (本体価格6,000円)
(波佐見焼) 8×8.5cm (300ml)
化粧箱 ① (2203) ●

陶磁器の藍：日本では「染付」と呼び、その絵の具の材料を呉須(ゴス)と呼びますが、中国では「青花(せいか)」のこと。元代に始められた手法で、当時、西方ペルシャより輸入されたコバルトを使い、濃厚な青で複雑な文様を表わしたものが多く、重厚な器形と調和し力感に満ちていました。きめが細かく純白に近い磁器質の胎土と釉下に施された青色の文様は、長期間使用しても退色・剥落することはありませんでした。明代に入ると、景德镇に官窯が設けられ、明初の永楽・宣徳年間には様式・技術ともに洗練され整美な作風を誇り、その後も長きに渡って生産が続けられました。

「小紋文様」縄文時代から弥生をぬけ、古墳時代に入ると、その古墳には埴輪が並べられました。それは、特有の素焼の焼き物で日本各地の古墳に分布しています。その衣に青海波文様が描かれています。そして、飛鳥時代に入り、聖徳太子が、国際的緊張のなかで遣隋使を派遣するなど大陸の進んだ文化や制度を取り入れて、冠位十二階や十七条憲法を定めるなど天皇を中心とした中央集権国家体制の確立を図った他、仏教を厚く信仰し興隆につとめたと言います。これまで様々な文様が陶磁器に限らず用いられてきました。毛利登編「日本の文様美術(東京美術(19690401))」では、1.幾何学的、2.自然、3.象徴的、4.反復、5.有職、6.靱絵に分類しています。青海波文様は、波を扇状の形に描き表す幾何学模様で、どこまでも広がる大海原に絶えず繰り返される穏やかな波のように、平穏な暮らしがいつまでも続くようにという願いを込めた吉祥文様です。化学染料の無い時代、衣服を染色することは貴重で、庶民が色を付けるようになったのは江戸時代になってからで、それまでは素地でした。それでも豊富に使えぬ藍色使用が認められ、江戸小紋へと発展します。中でも、「鮫」・「行儀」・「通し」は江戸小三役と呼ばれ、鮫文様は青海波文様の一種です。

天平の時代に記された、風土記「出雲」には、「加賀郷(かか)、加賀の瀬戸」は佐太大神お生まれになった所で、「金の弓を持って射られた時に光り輝いたので加加(かか)という」とあります。その眺めはまさに青い海波が続きます。「文様というものは、もちろん美術工芸品もそうであるが、突然に天から降ってくるように生まれるものではない。人間の生活の中で必然的に生まれるものであって、人間のくらしを離れては考えられない。(出典:「日本の美術第 29号(文様)」至文堂(19680315))」とあります。これまで様々な文様が陶磁器に限らず用いられてきました。毛利登編「日本の文様美術(東京美術(19690401))」では、1.幾何学的、2.自然、3.象徴的、4.反復、5.有職、6.靱絵に分類しています。青海波文様は、波を扇状の形に描き表す幾何学模様で、どこまでも広がる大海原に絶えず繰り返される穏やかな波のように、平穏な暮らしがいつまでも続くようにという願いを込めた吉祥文様です。化学染料の無い時代、衣服を染色することは貴重で、庶民が色を付けるようになったのは江戸時代になってからで、それまでは素地でした。それでも豊富に使えぬ藍色使用が認められ、江戸小紋へと発展します。中でも、「鮫」・「行儀」・「通し」は江戸小三役と呼ばれ、鮫文様は青海波文様の一種です。

長崎といえば、つい異国情緒を連想してしまいがち、行事や芸能のなかには古風を伝えるものが少なくない、そのなかでも特筆すべきは「若岐神楽」で社家(神職)だけで舞い伝えている。島内の神社では相互に助勤、豊2枚の中ですべての舞が完結する格調の高い神事舞である(出典:神崎直武著「伝統行事百科」丸善出版(20120720))。

本の紹介

●手作りものですので、サイズや風合いに違いがある場合があります(納期に一ヶ月程かかる場合があります)。 ●すべて 一客箱入 1客ずつお箱入りです。 土 陶器製(土もの)の食器です。

11月21日は、食空間コーディネート協会が「いっしょに食べよう」を宣言した日です(2011年)。日本陶彩は本協会の正会員です。

CUTE

かわいいマグにウキウキしちゃう。
キュート大好き女子に、とおきの
ティータイム。お気に入りマグで、ホッ
トなカフェオレやカフェラテ、ココアやミ
ルクティにかわいいエッセンスを添えて。

mug cup
Cute

わくわくさせてくれるキュートが大好き。

- ① M54243450-839
陶算窯 花結晶(白) マグカップ
4,950円(本体価格4,500円)(清水焼)
8×11cm (240ml) 紙箱 (11×14×10.5cm)
① (◆3105)
- ② S38114400-839⁸⁶⁶
河島喜信 花袖三島 マグ
4,400円(本体価格4,000円)(清水焼)
8.3×9cm (300ml) 化粧箱 (13×11×10.5cm)
① (3104) 土
- ③ M54269380-839⁸⁴⁴
山近泰 ポピー マグカップ
4,180円(本体価格3,800円)(九谷焼)
8×8.5cm (180ml) 紙箱 ① (3201)
- ④ S38116350-839⁸⁴⁴ **カット**
河島喜信 緑袖花唐草 マグ
3,850円(本体価格3,500円)(清水焼)
8.5×10cm (300ml) 化粧箱 (13×11×10.5cm)
① (3104) 土
- ⑤ S38898400-839
喜信窯 志野更紗 マグカップ
4,400円(本体価格4,000円)
(京焼・清水焼)
① (◆3105)
- ⑥ S38121300-839
川合孝知 いちご マグ
3,300円(本体価格3,000円)(九谷焼)
8.3×8.6cm (250ml) 化粧箱 (11.3×11.3×10.3cm)
① (3202) ●



① 花が咲いたような鮮やかにキラキラと
光る結晶釉がガラスのような輝きです。



② 華やかな桃色に上品な印花模様、
洋食にも違和感のないマグです。



③ 可憐なポピーが可愛い色使いで
描かれています。



④ 繊細な彫刻紋様は
黄色の花でウキウキします。



⑤ 志野をさらに上品にした色合いに
繊細さを感じます。



⑥ いちごのショートケーキがお似合い?
スイーツの時間はこれで。

WOMAN

小悪魔的でかわいい女性&いつも聡明
で美しい女性。どちらも憧れの女性像。
大人っぽいマグを使って、出来る女を
目指してみたい。

mug cup
Woman

大人の女性、品あるマグ。

- ⑦ M54242450-839
陶算窯 花結晶(青) マグカップ
4,950円(本体価格4,500円)(京焼・清水焼)
8×11cm (240ml) 紙箱 (11×14×10.5cm)
① (◆3105)
- ⑧ S38119380-839
岡田絹代 水玉 マグ
4,180円(本体価格3,800円)(九谷焼)
7.6×8.5cm (260ml) 化粧箱 (11.3×11.3×10.3cm)
① (3202)
- ⑨ S38117400-839
岡田絹代 花木 マグ
4,400円(本体価格4,000円)(九谷焼)
8.8×9cm (300ml) 化粧箱 (11.3×11.3×10.3cm)
① (3202)
- ⑩ S38123750-839
秀峰窯 黄ダミ宝尽し マグカップ
8,250円(本体価格7,500円)(京焼・清水焼)
8×8.4cm (260ml) 紙箱 (11.5×11.5×10.5cm)
① (◆3105)
- ⑪ M54323300-839 **カット**
庄一郎 マグカップ
3,300円(本体価格3,000円)(萩焼)
9×8cm (340ml) 化粧箱 (14×14×9cm)
① (3805) 土
- ⑫ S38330250-839
三戸逸雄 御本手 マグカップ
2,750円(本体価格2,500円)(萩焼)
8.5×9cm (300ml) 紙箱 (11.5×11.5×11cm)
① (3806) 土



⑦ 花が咲いたような鮮やかにキラキラと
光る結晶釉がガラスのような輝きです。



⑧ あきの来ないドット柄、
いろんなシーンに活躍しそうです。



⑨ ブルーの絵付けが新鮮、
おしゃれな女性にぴったりのマグです。



⑩ 黄交趾の鮮やかさと幸せの宝尽し。



⑪ 使い勝手のよいフォルムです。



⑫ 使うほどに手になじむかのような
しっとりとした御本手です。

●すべて 一客箱入 1客ずつお箱入りです。

TRAD

揺るぎない伝統を感じさせてくれるデザインが好き。今の私には新鮮な景色を魅せてくれるから。手にしたマグがそう感じさせてくれる。褪せない格好良さがやはり好きなのだ。

① S38127320-840 カット

秀窯 黒三島 マグ
3,520円(本体価格3,200円)(美濃焼)
9.5×8.5cm (300ml) 紙箱 (11×9.2×10.4cm)
① (0202) 土

② S38128500-840

清泉窯 萩がさね マグ
5,500円(本体価格5,000円)(京焼・清水焼)
8×9cm (310ml) 紙箱 (11.5×11.5×10.5cm)
① (◆3105) 土 ●

③ S38125400-840⁸⁶⁶

河島喜信 青釉三島 マグ
4,400円(本体価格4,000円)(清水焼)
8.3×9cm (300ml) 化粧箱 (13×11×10.5cm)
① (3104) 土

④ S38131200-840

秀窯 黒十草 マグ
2,200円(本体価格2,000円)(美濃焼)
18.3×8.5cm (280ml) 紙箱 (11×9.2×10.4cm)
① (0202) 土 ●

⑤ S38132400-840⁸⁶⁷

花月窯 櫛目印華(黒) マグ
4,400円(本体価格4,000円)(京焼・清水焼)
7.5×9cm (200ml) 紙箱 (11.5×11.5×10.5cm)
① (◆3105) 土

⑥ S38124400-840⁸⁶⁷

花月窯 櫛目印華(白) マグ
4,400円(本体価格4,000円)(京焼・清水焼)
7.5×9cm (200ml) 紙箱 (11.5×11.5×10.5cm)
① (◆3105) 土

⑦ M55150800-840⁸⁶⁷

花月窯 櫛目印華 ベアマグカップ(⑤+⑥)
8,800円(本体価格8,000円)(京焼・清水焼)
7.5×9cm (200ml) 紙箱 (20.5×11×10cm)
① (◆3105) 土

⑧ S38329200-840

天龍窯 釉彩 マグカップ
2,200円(本体価格2,000円)(萩焼)
8×8.5cm (300ml) 紙箱 (11.5×11.5×11cm)
① (3806) 土

⑨ S38497400-840

陶彩「リファイン」宣釉わたつみ Voice!
竹節マグカップ
4,400円(本体価格4,000円)(萩焼)
径8×9.5cm (250ml) 化粧箱 (17×11×11cm)
① (3805) 土



① モノトーンの色合いがなにかおしゃれ、表面の櫛目紋様が器にカジュアルな表情をつける。

mug cup
Trad

スタンダードな格好よさが好き。



② 灰色の面に浮き上がる萩の花。土物のやさしさが伝わります。



③ 青い生地にやさしい象嵌紋様が新鮮です。



④ 和の形状のマグに黒のストライプが「どっしり感」を感じさせます。

⑤ 端正な形に繊細な印華紋が上質感を高めます。

⑥ 細かい櫛目に優しい印華紋。金彩のドットがアクセントに。



⑦ 白と黒のコントラストがダンディなベアマグ。ダイヤモンドナイトでの使い分けも一興です。



⑧ 青みがかかった釉が淡い温もりを感じさせます。



⑨ 地から湧くような青い流れそのままの蒼釉です。



⑩ あえて大人になったとき使いたいピンク色もあるではないでしょうか。



⑪ 藍釉の流れた文様、心落ち着く色合いがティータイムにぴったり。



⑫ 粉引にコバルトの十草紋様、素材でなにか新しい雰囲気。



⑬ 海からの涼しいさなみをあしらったカジュアルなマグです。

mug cup
Man

男らしく！がモットー。

MAN

テーブルの上で個性を発揮する存在感あふれるどっしりマグ。色合いもシックで格好いいから、手にする姿が絶対決まる！男らしく、飲みたい。

⑩ S38856250-840

椿秀窯 マグカップ つぼみ桜
2,750円(本体価格2,500円)(萩焼)
径8×9cm (330ml) 化粧箱
① (3805) 土 ●

⑪ S38130400-840 Hit!

光彩庵 藍流 マグ
4,400円(本体価格4,000円)(萩焼)
7.5×9cm (270ml) 紙箱 (13.8×13.8×8.8cm)
① (3805) 土 ●

⑫ S38126500-840

三浦繁久 呉須十草 マグ
5,500円(本体価格5,000円)(美濃焼)
8.5×9.5cm (220ml) 紙箱 (11×9.2×10.4cm)
① (0202) 土

⑬ S38857250-840

椿秀窯 マグカップ さざなみ
2,750円(本体価格2,500円)(萩焼)
径8×9cm (320ml) 化粧箱
① (3805) 土



匠は「味わい」。

2020年はさまざまなことが起きました。古事記から日本書紀の編纂1300年キャンペーンの集大成もその一つでした。古事記は712年に、日本書紀が720年に編纂されました。「天」の中心神から物語が始まる古事記、また日本書紀は「国」の中心神から始まるなど、その相違はいくつもあります。のちの続日本紀等の正史としての日本書紀ですが、古事記は漢字を使うも萬葉仮名で表記されるように当時の日本を彷彿させるものがあります。いずれにせよ、神々の物語と、人々の暮らしを描いています。もちろん当時の日本は白村江もあり、内部充実を図るときでもあったものの三国間の交流のなかで、「焼きもの」もその発展が始まっていきます。もともとは形のなかった神道が、聖徳太子らの律令化への足がかりのなかで儒教や仏教を取り入れることで形作られ、「倭」から「日本」へと脱皮していく過程で「和」が進みだします。その慈しみ、真心は和するもの。神々の物語も紆余屈折を経るもの、和をもって幸福を喜び合う物語が紡がれました。また和をつないでいくこと、式年遷宮もそのひとつでしょう。「ひと」の手で、「和」をもって、「良きもの」として伝えていくという伝統が続いています。他の技術同様に大陸・朝鮮半島から新しい製陶技術が伝わっては己のものとし、ろくろ成型による形状の優美さや丘陵の斜面に築かれた窯によってより高い温度焼成での丈夫且つ「窯変する“焼きもの”」が作られるようになり、また焼成中の灰がかりから自然釉のかかったもの。そして施釉陶器が焼かれ、緑釉の陶器に次いで8世紀になると奈良三彩が作られるなど大きな発展がおきました。この「技」が代々引き継がれていき、またその様々な製作工程での分業による「調和」が「匠」となって進歩していきます。「無為を為し」の味わい無きを味わうとありますが、やがて「匠」は「味わい」となります。今も、各地の産地では、それぞれの調和をもった「匠の技」で焼きものは作られています。Shine On until tomorrow, Let it be. (yathAbhUtaM hi passati) その「日本の匠」の技をもった方のひとり、浅野陽氏(1923年~1997年)著『食と器と日本人』の前書きから… 私は、陶器を作ることを生業としています。そしておいしいものを食べることが何よりも好きです。ですから、私は陶器を作るときに、「この器にはこんな料理を盛りたい」、「こういう器で食べたら、この料理はもっとおいしく楽しめるはずだ」といつも考えます。なぜ私たち日本人が日本食と日本の器にこだわるのか? なぜ、これらを守っていかねばならないか、という日本人の根源の部分です。またこれが陶器を作る上での私の根本でもあります…



匠の思いを味わう。

梅村 知弘 (弄月窯)

Tomohiro Umemura

瀬戸焼



日本伝統工芸士会 元会長 梅村晴峰氏の孫として生まれ、陶芸の道にすすむ。祖父、父の元で研作を重ね、現在では、祖父の雅号を頂き窯名として、赤津焼の伝統を継承しています。赤津焼七軸の古典釉薬を活かし、現代感覚の造形美が特徴で、大きな評価を受けている。

梅村知弘

- ① M54955300-841 織部 巻一輪差 3,300円(本体価格3,000円) 7.8×5.5×14.5cm 紙箱
- ② M54956280-841 弥七田織部 一輪差 3,080円(本体価格2,800円) 8.5×9cm 紙箱
- ③ M54957260-841 黄瀬戸 一輪差 2,860円(本体価格2,600円) 8.6×10cm ダンボール
- ④ M54958250-841 織部 面取一輪差 2,750円(本体価格2,500円) 6.8×8.6cm ダンボール
- ⑤ M54959230-841 織部 角一輪差 ● 2,530円(本体価格2,300円) 10×3.4×8.3cm ダンボール
- ⑥ M54960230-841 織部 三角一輪差 2,530円(本体価格2,300円) 9.1×9×7.8cm ダンボール

梅村和弘(瀬戸焼) ① (1112) 土

松尾 邑華 (白景山窯)

Yuuka Matsuo

萩焼

磁器から「手作りの味」を陶器へ
象嵌技法の草花をワンポイントに



松尾 邑華



自然・災害の恐さを感じる神社神道論こそが、神社と祭祀、祀いと斎戒の意義に触れることになる。災害に遭った多くの人々は、口を揃えて、普通の時間を取り戻すこと、日常生活の大切さを知ったという。そこには特別な教養はなく、を重ね、生きていくなかでえられる「あるもの」と言えよう(出典:岡田莊司・笹生衛編「神社と歴史と祭り」吉川弘文館(20130410))。

本を紹介

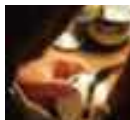
- ⑦ S38321350-841 松尾邑華 梅鉢草 湯呑(大) 3,850円(本体価格3,500円) 径7.5×9cm (270ml)
- ⑧ S38322300-841 松尾邑華 梅鉢草 湯呑(小) 3,300円(本体価格3,000円) 径7×8cm (250ml)
- ⑨ S38323320-841 松尾邑華 梅鉢草 飯茶碗(大) 3,520円(本体価格3,200円) 径13×6cm
- ⑩ S38324280-841 松尾邑華 梅鉢草 飯茶碗(小) 3,080円(本体価格2,800円) 径12.5×5.5cm

松尾邑華(萩焼) 紙箱 ① (3806) 土

田澤 幸祥 (幸祥窯)

Kosho Tazawa (幸祥窯) 波佐見焼

伝統技法を駆使し、独自の世界を表現する藍色の濃淡が美しい濃手と呼ばれる技法を用いて一つ一つ手描きしています。現代も受け継がれた伝統で成り立っています。



M54359500-841 幸祥窯 染付左馬 飯碗 5,500円(本体価格5,000円) (波佐見焼) 15.5×6.5cm 化粧箱 ① (2203)



M50082600-841 幸祥窯 色絵花紋 組飯碗

大11×6cm 小10.5×5.5cm 木箱 (26.5×13.5×8cm)

M50081600-841 幸祥窯 色絵花紋 組湯呑

大8×8.5cm (190ml) 小7.5×8cm (160ml) 木箱 (18×12×19.5cm)

各 6,600円(本体価格6,000円) (波佐見焼) ① (2203)

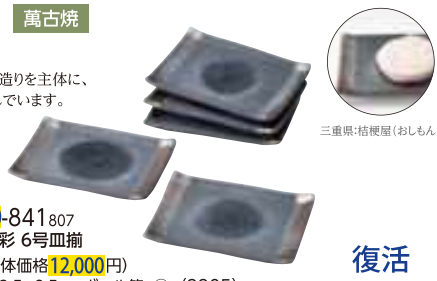


山本 英之 (友楽窯)

Hideyuki Yamamoto



新しい感性でたたら造りを主体に、創作活動に取り組んでいます。



三重県:栴檀屋(おしもん)

M54982120-841 山本英之 黒吹金彩 6号皿箱 13,200円(本体価格12,000円) (萬古焼) 19.8×13.5×2.5cm ボール箱 ① (3305)

復活

安藤 嘉規 (竜清窯)

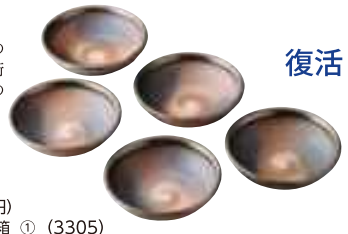
Yoshinori Ando



落ち着きと安らぎ感。そして素材のぬくもりを大切に、萬古伝統技術を生かした「モダン」「美」「実」の陶器を生み出しました。

M54981600-841 安藤嘉規 備前金彩 小鉢箱 6,600円(本体価格6,000円) (萬古焼) 径14×4.5cm ボール箱 ① (3305)

復活



●手作りのものですので、サイズや風合いに違いがある場合があります(納期に一月程かかる場合があります)。●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。●すべて運物にも使えるお箱 入ります。

棚橋 淳 (陶房淳)

Jun Tanahashi

瀬戸焼

陶芸を志し、日常生活の食文化のなかで、安らぎとゆとりの時を演出し何度も使ってみたくなる器、手に取ってみたくなる器、自然な土味に赤津の伝統的な織部(おりべ)・黄瀬戸(きせと)・古瀬戸(こせと)を中心に、釉薬の色彩を生かしたシンプルな器づくりを目指して、伝統の美、造形の美をいかに調和させるか自らのテーマであり、モチーフとして作陶しております。



M54622100-842 陶房淳 織部削文 組湯呑
11,000円(本体価格10,000円)
(瀬戸焼) 大径7.5×8.5cm (220ml)
小径7.2×7.8cm (210ml)
木箱 (19.2×11.3×10cm) ① (1112) 土



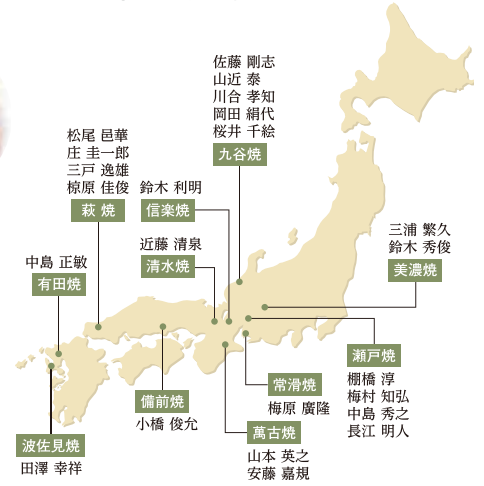
M54690130-842 陶房淳 織部 つる付花入
14,300円(本体価格13,000円)
(瀬戸焼) 10×30cm
紙箱 ① (1112) 土



<暮らしの品々>
家族があたたかい食卓がいい
日常の美



日本食文化、「和食」を紹介することで、皆様不可分である「食」の魅力をよりご理解、ご愛顧いただけること、日本陶彩は考えております。



三戸 逸雄

Itsuo Mito (天龍窯) 萩焼



長年の陶作を経て、古典的なものからポップなものまで作り込める作家。日々土と向き合い、更なる発見を楽しんでいます。



M55353800-842 三戸逸雄 御本手 夫婦湯呑
8,800円(本体価格8,000円)
大径8×9.5cm (250ml)
小径7.5×9cm (200ml)
木箱 (12×19×10.5cm)



M55354500-842 三戸逸雄 御本手 夫婦茶碗
5,500円(本体価格5,000円)
大径13×6cm 小径12.5×5.5cm
木箱 (14×27.5×9cm)



M55355100-842 三戸逸雄 御本手 ペア珈琲
11,000円(本体価格10,000円)
碗径9×7.5cm (250ml)
皿径15.5×3cm
木箱 (18.5×37×11cm)

三戸逸雄 (萩焼) ① (3806)

諸隈 直哉

Naoya Morokuma (そうた窯)



惣太窯は、平成9年に200年以上つづく貞山窯から分家して開窯。常に新鮮なデザインを追求し、伝統とモダンテイストが融合された現代の有田焼で日々の生活の中で豊かに演出してくれる器を提案いたします。普段使いの器を中心に手描きの磁器に温まりをあわせ持つ器づくりを目指しています。



S38926280-842⁸⁴⁹ 惣太窯 染錦唐草 茶碗(大)
径12×6.5cm
S38928280-842⁸⁴⁹ 惣太窯 染錦唐草 湯呑(大)
径7.6×8cm (160ml)
各 3,080円
(本体価格2,800円)
(有田焼) 紙箱 ① (2104)

長江 明人

Akihito Nagae (金峰窯)

瀬戸焼



一級陶磁器技能士 (手ろくろ)



陶彩「純」長江 黒織部 Voice! 一客箱入

- ① S38372330-842 陶彩「純」黒織部 多用鉢 3,630円(本体価格3,300円) 18.1×7cm
- ② S38373200-842 陶彩「純」黒織部 飯碗 2,200円(本体価格2,000円) 12.3×6.3cm
- ③ S38374180-842 陶彩「純」黒織部 湯呑 1,980円(本体価格1,800円) 7.7×8.1cm (240ml)

陶彩「純」黒織部 (瀬戸焼) 紙箱 ① (1112) 土

●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。

- ④ S38375250-842 陶彩「純」黒織部 マグカップ 2,750円(本体価格2,500円) 8.4×9.2cm (350ml)
- ⑤ M54420650-842 陶彩「純」黒織部 銘々皿揃 7,150円(本体価格6,500円) 15.3×15×2cm
- ⑥ S38377400-842 陶彩「純」黒織部 多用皿 4,400円(本体価格4,000円) 25×3.5cm
- ⑦ S38560250-842⁸¹⁹ 陶彩「純」黒織部 平鉢 2,750円(本体価格2,500円) 16.4×3.0cm

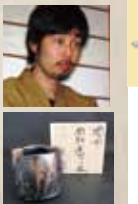
小橋 俊允

Toshimitsu Kobashi (夢幻庵)

備前焼



1996年 大学にて陶芸専攻
2000年 備前陶芸センターに入る
2001年 夢幻庵備前焼工房にて活動を始める



備前焼の魅力とは…
一点一点手づくりでつづられ、
焼き締められた備前焼の土味と造形は、
世界に通じる「美」の魅力が存在するところ。

M54386800-842 小橋俊允 面取黒湯呑
8,800円(本体価格8,000円)
(備前焼) 6.5×9cm (200ml)
木箱 (12×12.5×25.5cm) ① ● (3807) 土

M54387800-842 小橋俊允 面取黒ロック杯
8,800円(本体価格8,000円)
(備前焼) 7.5×6.5cm (150ml)
木箱 (19×11.5×10cm) ① ● (3807) 土



instagram_nihon_tohsai

食を楽しむ、器を愛でる

「世の中が動く」…「浅野陽」氏は「食と器と日本人(郡羊社、1997年初版)」で、次のようにおっしゃっています。

「つまり、器りというものもそう難しいことでもなく、日常茶飯事にしよっちゅうあるものだ、というわけです。」とはじめ、「世の中が動く 工芸も新しく」と語ります。

梅原 廣隆 (玉光窯)

Hiroataka Umehara

常滑焼

梅原廣隆(玉光陶園)
伝統工芸士 日本煎茶工芸展「入選」2回、
常滑市長三賞(陶業展、長三賞、奨励賞)、
日本伝統工芸士会「入選」ほか受賞多数



復活

M55361 710-843874
玉光 茜絞丸形千段急須
7,810円(本体価格7,100円)
(常滑焼) 230ml ダンボール
① (3603) ●

梅原 タツオ (北龍窯)

Tatsuo Umehara

常滑焼

1994年梅原昭龍氏に入門、
98年三代目北龍となる若手のホープ。



カット

【柳切り急須】

M55305700-843874
北龍 黒泥浅袋松皮 柳切急須
7,700円(本体価格7,000円)
(常滑焼) 300ml セラメッシュ茶こし
ダンボール ●●(3603)

川合 孝知

Kawai Takatomo

九谷焼

1998年 石川県立九谷焼技術研修所卒業
2006年 九谷焼技術研修所に製作を開始
2009年 能美市に工房を開窯
2012年 通商産業大臣認定 九谷焼伝統工芸士



S38020 300-843831
川合孝知 いちご 飯碗
3,300円(本体価格3,000円)
(九谷焼) 10.8×5.5cm
紙箱 ① (3202) ●

S38151 300-843836
川合孝知 いちご 湯呑
3,300円(本体価格3,000円)
(九谷焼) 6.8×8.3cm (180ml)
紙箱 ① (3202) ●

鈴木 秀俊 (秀窯)

Hidetoshi Suzuki

美濃焼



陶器の町、岐阜県は下石の山の中でこつこつと陶器を焼き続けてきました。粉引や黒十草などの手法によって一つ一つ手を加え丁寧に作り上げています。温かみある淡い色をした土味あるつつわで食卓をより華やかに出来る作品をお届けします。



カット

M54150500-843807 秀窯 黒三島 銘々皿
5,500円(本体価格5,000円)
(美濃焼) 径13.7×13.7×2.3cm 紙箱
① (0202) 土



田内米三郎著「陶器考」西村九郎右衛門(1883年刊)より陶彩文庫蔵(L379)

三浦 繁久 (明楽寺窯)

Sigehisa Miura

美濃焼



1946年、土岐市に生まれる。三代にわたる家業の製陶業継承しつつ陶芸を志し明楽寺窯開設。作品は志野・粉引・染付などを手掛ける。

- ① S38540360-843 三浦繁久 粉引 飯碗
3,960円(本体価格3,600円) 径12×7cm (400ml)
- ② S38541340-843 三浦繁久 粉引 湯呑
3,740円(本体価格3,400円) 径8.5×7.5cm (180ml)
- ③ S38542320-843 三浦繁久 粉引 三角湯呑
3,520円(本体価格3,200円) 径6.5×8cm (180ml)
- ④ S38543380-843 三浦繁久 粉引 面取マグ
4,180円(本体価格3,800円) 径6×8cm (300ml)
- ⑤ S38544600-843825 三浦繁久 粉引 コーヒー碗皿
6,600円(本体価格6,000円)
碗11.5×7.5cm (250ml) 皿14.5×2.5cm



三浦繁久(美濃焼) 紙箱 ① (0202)

山根 清玩 (光彩庵)

Seigan Yamane

萩焼



長年の鍛錬が開花した“清玩ブルー”で土に命を与える作陶を目指しています。



Hit!

S38171 400-843836
光彩庵 流紋 湯呑
4,400円(本体価格4,000円)
(萩焼) 8.5×9.2cm (300ml) 紙箱
① (3805) 土 ●



M54190110-843862 清玩 青萩 冷酒器揃
12,100円(本体価格11,000円)
(萩焼) 14×8×12.5cm (550ml)
直径7×6.5cm (120ml) 木箱 (16×24×12cm)
●(3805) 土

庄圭一郎 (椿秀窯)

Keiichiro Shō

萩焼



従来の白釉にほのぼのとした暖かみを吹き込み、春の雪のような美しさを求めた休雪白に近づきたくて薫灰を模索しています。研究を重ね休雪白を追求していくうちに、多彩な色と出合いました。いつの日か、“休雪白”ではなく“圭一郎白”が見つかるの楽しみです。



カット

M54565500-843816 庄圭一郎 角皿かいらぎ
5,500円(本体価格5,000円)
(萩焼) 19.5×22.5×3.5cm 木箱 (24×26.5×6cm)
① (3805) 土



M54566100-843861
庄圭一郎 白萩捻組湯呑
11,000円(本体価格10,000円)
(萩焼) 大8×9cm (240ml)
小17×8.5cm (220ml)
木箱 (13×21×12.5cm)
① (3805) 土

カット

棕原 佳俊 (古畑窯)

Kashun Mukuhara

萩焼



一点一点、雑念を捨てて集中するという作陶姿勢。そんな時は、「怖い目をしていると言われる。まだ人間ができていないんですね」。目指すのは、温もりのある作品。見て、触って、使ってみようかなと感じられる、「何年も使っていますよ、といわれるのがうれしい」。



⑥



⑦

M54324700-843
棕原佳俊 マグカップ
7,700円(本体価格7,000円)
(萩焼) 径8×10cm (300ml)
化粧箱 ① (3805) 土



⑥ M55213 750-843836 棕原佳俊 かいらぎ湯呑
⑦ M55214 500-843837 棕原佳俊 粉引湯呑
8,250円(本体価格7,500円)
(萩焼) 8.3×9.8cm (320ml) 木箱 (12.3×10.3×10.5cm)
① (3805) 土

カット

多田 利子 (工房織)

Toshiko Tada

九谷焼



愛知県瀬戸市に生まれ、九谷焼技術研修所で勉強し、ご主人と共に作陶。絵のモチーフは必ず紙の上のデッサンからおこない、焼いた後の色も出来るだけ思った色が出るよう努力している。



⑧ M55418400-843871 多田利子 赤帯 組湯呑
4,400円(本体価格4,000円)
(九谷焼) 大径7.3×8cm 小径7.1×7.5cm
紙箱 (11×16×8cm) 梱40入 ① (3201)

⑨ M55421450-843871 多田利子 花菱 組湯呑
4,950円(本体価格4,500円)
(九谷焼) 大径7.3×8cm 小径7.1×7.5cm
紙箱 (11×16×8cm) 梱40入 ① (3201)

●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。

近藤 清泉 (清泉窯) **清水焼**
Seisen Kondo



1994年 京都府陶工高等技術専門学校成形成科修了
1995年 同研究科修了
2001年 京都市工業試験場陶磁器コース本科修了
2002年 同専修科修了
2009年 窯を継承

三島手、脚本手、透し彫り得意とし、シャープな中にもあたたかみのある作品は好評を博しています。



M50021 **450-844**
清泉窯 萩がさね 鉢
4,950円(本体価格**4,500**円)
(京焼・清水焼) 径17cm
紙箱 ① (◆3105) 土



M50022 **750-844**⁸²¹
清泉窯 萩がさね 碗皿
8,250円(本体価格**7,500**円)
(京焼・清水焼) 径7.5×6.5cm (170ml)
紙箱 ① (◆3105) 土

中島 正敏 (文山窯) **有田焼**
Masatoshi Nakashima



手作りの良さを生かしたもののづくりをめざして、暖かさと豊かさの花をくらしに咲かせたいと思います。



M54467660-844⁸⁵⁰
文山窯 ラスター山茶花 対飯碗
7,260円(本体価格6,600円)
(有田焼) 大径12×7.1cm 小径11×6.5cm
化粧箱 (14×26.2×7.7cm) ① ●(2101)

山近 泰 (大志窯) **九谷焼**
Yasushi Yamachika



伝統を重んじ現代九谷を
探求しつつ百三十年の歴史を持つ
吉田屋風にこだわり
一つ一つ余すところなく
手をかけ日々精進しております



M54269380-844⁸³⁹
山近泰 ポピー マグカップ
4,180円(本体価格3,800円)
(九谷焼) 8×8.5cm (180ml)
紙箱 ① (3201)



S38026380-844⁸³¹
山近泰 ポピー 飯碗
4,180円
(本体価格3,800円)
(九谷焼) 10.3×6cm
紙箱 ① (3201) ●

岡田 絹代 (九谷焼)
Kinuyo Okada

(工房いとつき)



2002年 九谷焼技術研修所 本科卒業
2003年 九谷焼技術研修所 研究科卒業
2005年 金沢わん・One大賞 入選
2007年 「集 陶五人展」(白山市) ほかグループ展多数
2010年 工房いとつき開設
2011年 個展「かわらしくたに」(金沢市)



- ① M54216 **380-844** 岡田絹代 桜十草 飯碗
4,180円(本体価格**3,800**円) 11.3×5.7cm
- ② M54217 **400-844** 岡田絹代 桜十草 マグカップ
4,400円(本体価格**4,000**円) 9.5×8cm (350ml)
- ③ M50437 **380-844** 岡田絹代 花木 湯呑(小)
4,180円(本体価格**3,800**円) 6.7×8.3cm (200ml)
- ④ M50438 **380-844**⁸³¹ 岡田絹代 花木 飯碗(小)
4,180円(本体価格**3,800**円) 11×5.5cm
- ⑤ M50441 **280-844** 岡田絹代 十草 湯呑
3,080円(本体価格**2,800**円) 7.3×8cm (190ml)
- ⑥ M50442 **300-844** 岡田絹代 十草 飯碗
3,300円(本体価格**3,000**円) 10.5×5.5cm
- 岡田絹代 (九谷焼) ① 紙箱 (3202)

玉置 兼光 (玉山窯) **美濃焼**
Kanemitsu Tamaoki

十草を今からソフト・ストライプと呼びたくなる温かみです。



S38036300-844⁸³² 玉山窯 朱十草 飯碗
3,300円(本体価格3,000円)
(美濃焼) 径11.9×5.3cm 紙箱 ① (0202) 土 ●

S38156300-844⁸³⁶ 玉山窯 朱十草 湯呑
3,300円(本体価格3,000円)
(美濃焼) 径7.4×7.8cm (210ml) 紙箱
① (0202) 土

カット

佐藤 剛志 (創楽庵) **九谷焼**
Takeshi Sato



ロクロ成形で自ら形を作り、絵付けまで一貫して制作することで、陶芸の醍醐味・面白さを作品から伝えます。水墨画の技法を取り入れたやり直しのきかない渾身の筆致は、一つひとつ躍動感のある、他に類をみない器の表情を生み出します。



S38886 **500-844**⁸⁷²
佐藤剛志 色華小紋 飯碗(小・赤) ●
S38887 **500-844**⁸⁷²
佐藤剛志 色華小紋 飯碗(大・黄)
各 **5,500**円(本体価格**5,000**円)
(九谷焼) 大径12.2×6.4cm
小径11.3×5.7cm 化粧箱 ①
(3202)

S38888 **450-844**⁸⁷²
佐藤剛志 色華小紋 湯呑(小・赤) ●
S38889 **450-844**⁸⁷²
佐藤剛志 色華小紋 湯呑(大・黄)
各 **4,950**円(本体価格**4,500**円)
(九谷焼) 大径12.2×6.4cm (230ml)
小径11.3×5.7cm (200ml) 化粧箱 ①
(3202)

鈴木 利明
Toshiaki Suzuki



1990年 信楽工業高校 普通科卒業
1995年 信楽窯業試験場 絵付科修了
1996年 信楽窯業試験場 ロクロ科修了
その後 父、鈴木巖に師事。
現在に至る。

(巖陶房) **信楽焼**



M55363 **460-844**
巖陶房 さくらんぼ 陶コップペア
5,060円(本体価格**4,600**円)
(信楽焼) 径9×8 (250ml)
化粧箱 (21×12.5×10cm)
① (3402) 土

M55364 **340-844**
巖陶房 さくらんぼ スープマグ
3,740円(本体価格**3,400**円)
(信楽焼) 径11.5×6.5cm (360ml)
ダンボール ① (3402) 土

中島 秀之
Hideyuki Nakajima



中島 秀之

赤津に生まれ、焼き物の世界がごく自然の環境として土の温もりを感じつつ育ち、いつまでも飽きのこない御深井(御深井釉(おふけゆう))の藍色がシンプルな色合いであり、器としての存在感を感じて頂けるよう掛けて作陶しております。



⑦ M55370230-844⁸⁰⁴
秀峰窯 御深井十草 多用皿
2,530円(本体価格2,300円)
(瀬戸焼) 径21.3×3.7cm
ダンボール ① (1112) 土

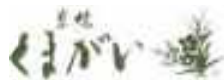
⑧ M54754170-844
秀峰窯 御深井十草 長皿
1,870円(本体価格1,700円)
(瀬戸焼) 径32×11.3×2cm
ダンボール ① (1112) 土

⑨ M54757160-844
秀峰窯 御深井十草 マグカップ
1,760円(本体価格1,600円)
(瀬戸焼) 径9×8.8cm (200ml)
ダンボール ① (1112) 土

●手作りのもので、サイズや風合いに違いがある場合があります(納期に一ヶ月程かかる場合があります)。●すべて進物にも使えるお新入りです。



<暮らしの品々>
家族があったかい食卓がよい
日常の美



京都東山・建仁寺「茶碑」

京都紫野・大徳寺(室町時代以降は一休宗純をはじめとする名僧を輩出。侘び茶を創始した村田珠光などの東山文化を担う者たちが参禅、茶の湯の世界と縁が深く、武野紹鷗・千利休・小堀遠州をはじめ多くの茶人が大徳寺と関係をもっている。(L310)



京焼・清水焼
(英中韓語)

祇園祭

7月 〈酢の物〉 鰻 胡瓜 甘酢



- ① M54609600-846 陶葺窯 花結晶(白) 楕円鉢
6,600円(本体価格6,000円) (京焼・清水焼) 23×19×4cm 紙箱 ① (◆3105)
- ② M54610400-846 陶葺窯 花結晶(白) 焼酎杯
4,400円(本体価格4,000円) (京焼・清水焼) 径8.5×8.5cm (250ml) 紙箱 ① (◆3105)
- ③ M54611380-846 紫泉窯 スタンド 箸置 **カット**
4,180円(本体価格3,800円) (京焼・清水焼) 2×5.5×1.5cm 紙箱 ① (◆3105)
- ④ T91228070-8461153 Takebito スス竹節無 エコマーク認定箸
770円(本体価格700円) (日本製) 23cm ダンボール ① (8710)

京都の夏の風物詩、祇園祭り。
一日の吉符入(きつぷいり)という神事から
祇園祭りは始まります。

盆の月

8月 〈揚げ物〉 小芋と無花果の餅粉揚げ・銀杏



- ⑤ M54612750-846 陶化窯 おりべ 七寸鉢
8,250円(本体価格7,500円)
(京焼・清水焼) 21×21×6.5cm 紙箱 ① (◆3105) ±
- ⑥ M54613450-846 木野窯 織部面取 フリーカップ
4,950円(本体価格4,500円)
(京焼・清水焼) 径8×9.5cm (280ml) 紙箱 ① (◆3105) ±
- ⑦ T91227067-8461153 Takebito 白竹節無 エコマーク認定箸
737円(本体価格670円) (日本製) 23cm ダンボール ① (8710)

東の夜空を炎で染め上げる幻想的な「大文字の送り火」。
実は京都の生活に深く根ざしたものです。
先祖の御霊を感謝の念とともに送るのです。



箸
(英中韓語)

秋の聲

9月 かます焼き目ずし・水菜菊花和え



- ⑧ M54614100-846 俊山窯 京の秋 尺皿
11,000円(本体価格10,000円)
(京焼・清水焼) 径31×3.5cm 紙箱 ① (◆3105) ±
- ⑨ M54615380-846 紫泉窯 波かえで 箸置揃
4,180円(本体価格3,800円) (京焼・清水焼) 5.5×3×1cm 紙箱 ① (◆3105)
- ⑩ T91227067-8461153 Takebito 白竹節無 エコマーク認定箸
737円(本体価格670円) (日本製) 23cm ① (8710)

蠟燭を灯せば、吹く風にも秋の聲がするようになります。
後の月ともなれば豆名月・栗名月と、秋の実りを供え、
まったり秋へと季節は深まってゆきます。

秋の寂び

10月 〈蒸し物〉 松茸の茶そば蒸し・洗い葱・
染めおろし・薄葛あん



- M54616600-846 陶葺窯 白掛五草花 小鉢揃
66,000円(本体価格60,000円)
(京焼・清水焼) 径11.5×8cm 紙箱 ① (◆3105) ±

秋の日は釣瓶落とし。
暮れる時間は、日を追うごとに早まり、
武野紹鷗の二年のうちも十月こそ侘なれ」という言葉が、
秋の寂寥とした思いをいや増します。

Recommend

京料理
名窯カタクログ巻末P86-R647参照 ± 陶器製(土もの)の食器です。



音羽の滝
京都府山科
NihonThosai



facebook_NihonThosai
食を楽しむ、器を愛でる

月々の懐石料理を
「京都・瓢亭」著作から学びました。

「懐石料理」

懐石料理とは、本来茶の湯において茶会の際、会の主催者である亭主が
来客をもてなす料理をいいます。現在では、茶会以外の料亭や割烹など日本
食を扱う料理店等で懐石料理を出すところが増えていますが、京都では
本来の茶事における懐石料理(茶懐石)を提供する店も多いようです。

出典:農林水産省 選定「郷土料理百選(京都府の郷土料理)」
http://www.rdpcc.or.jp/kyoudoryouri00/(20140601閲覧)

参考資料

京都・東山の地に400年佇む京料理の最高峰、瓢亭(ひょうてい)。主人、高橋英一
自ら庖丁を握り、季節の花を生ける。数々の伝説を持つ店の主人が著したのは総合
芸術としての「京料理」、そのすべてである。料理200品余りの作り方も網羅されて
います。

出典:高橋英一著「京都・瓢亭(懐石と器のこころ)」世界文化社(20030620)(引用紹介)

「四季を楽しむ」…「浅野陽」氏は「食と器と日本人(群羊社、
1997年初版)」で、次のようにおっしゃっています。

「私のもつばら、ナビゲータの役目、地図なんか見ませんよ。「山頂が右にちよっと傾いた山が見えたら、次の角を右に曲がる」というのが私のやり方です。」とほじめ、「私の四季の楽しみ方」と様々な楽しみを語ります。

日本陶彩(株)は「食」と「器」は密接不可分で、ここに日本の良さが見直されているなか、古来から現在での「ちょっとした」食と器の情報をその出典と共に紹介しておりますが、日本食文化の魅力を再発見するための活動をする、「和食」文化の保護・継承 国民会議(略称:「和食会議」)の、日本食文化の魅力を再発見し、日本食文化を次世代へ継承するため、その価値を国民全体で共有する活動をするという趣旨に賛同し、日本陶彩(株)はその会員として、その活動の一助にと、「器」だけでなく「食」の情報も提供してまいります。11月24日は「和食の日」です。



伝えよう、和食文化を。
日本陶彩は「陶(すえ)ながく美味(た)さを彩る食卓を提案」紹介&活動してまいります。
和食文化 国民会議



霜夜

11月〈先付〉柿 胡瓜 椎茸 くらげの胡麻和え



M55406 **160-847** 嘉熙窯 灰緑丸 五寸皿揃
17,600円(本体価格**16,000**円)
(京焼・清水焼) 径15×2.5cm 紙箱 (◆3105)

昼間の陽光が淡くなってくると、松茸が終わり山からは雑草、海からはぐじや鯛、鯖が、そして畑からはみずみずしい壬生菜や九条葱に海老芋と、滋味深い材料が厨房に届けられます。

初春

1月 からすみいか巻粕漬・ぶどう豆・芽甘草味噌漬



- ③ M54595 **130-847** 昭阿弥窯 色絵捻古紋 四寸皿
14,300円(本体価格**3,000**円) (京焼・清水焼) 径12×2cm 紙箱 ① (◆3105)
- ④ M54596 **680-847** 紫泉窯 花丸花鳥 汁注(朱台付)
7,480円(本体価格**6,800**円) (京焼・清水焼) 径7×7cm (150ml) 紙箱 ① (◆3105)
- ⑤ M54597 **850-847** 芳山窯 末広 箸置揃
9,350円(本体価格**8,500**円) (京焼・清水焼) 5×4.5×1cm 木箱 ① (◆3105)
- ⑥ T91226055-847¹¹⁵³ Takebitto 新客箸(スス)
605円(本体価格550円) (日本製) 22cm ダンボール ① (8710)

料理も器もおめでたい感じの取り合わせにし、めで鯛焼物に鴨ぞう煮、祝三種など。束ね熨斗(のし)やつばつばといった祝いの器に身も引き締まります。

轆轤と窯

右回りを時計回り、左回りを反時計回りと言いますが、注連縄(しめなわ、標縄や七五三縄とも)の左右の名は、「神前に向かって」となるので逆になります。「しめなわ」は、古事記の尻久米繩(しりくめなわ)、日本書紀の提出之繩(ひくくしなわ)に由来し、縄の端が仲睦まじく絡み合っているかのように、左廻し(ひだりなえ)と右廻しとがあります。右廻しは反時計回り、裏表を昼々が北極星を隔ると同じ回転方向で螺旋状に巻き合せていきます。左廻しは、天上にある太陽の運行(火/男性)を表します(右廻しは水(女性)、大きなものは、縄を反時計回り(又は逆)にまわしながら、それを時計回り(又は逆)に一纏にしています。

縄文土器の製作技術も大陸からもたらされたかもしれない。焼きものを作るにあたって、「土と火」が重要だから、まずはその用にもちいるに必要な素質をもつ陶土(磁石)や釉薬原料を見つけることが大事であるとは言までもない。だから、各産地における陶祖物語で、必ずと言ってよいほどに、「この土をみつける」という場面が描かれている。そのうえで、成形にあたっては轆轤が、焼成にあたっては窯焼の技術がその後の焼きものの造りへの発展に大きく作用すると言えます。

縄文・弥生から古墳時代初期までは野焼き(酸化焙焼)による土器ののち、垂仁天皇の皇后がお薨れになつたとき、野見宿弥により土物(はにもの)の埴輪を立てたのが土師(はじ)の始まりで、河内、和泉、上野、因幡、備前、阿波、筑前、筑後などに土地を与えられ、土師郷が興ります。

その後、古墳時代中期頃、朝鮮半島より須恵器が伝来します。これにより轆轤の成形と密着による還元焙焼を得ます。陶製は轆轤軸ですが、木製は轆轤の轆轤で成形します(轆轤は轆轤より早いとする説があります(須藤護著「轆轤工と渡来人」国際社会文化研究所紀要))。天平の時代に、木製轆轤の習熟はカンナという金属道具の習得と共に、百万塔という形(陀羅尼)は現在最古の印刷物とされています。轆轤はもちろ、轆轤軸も手回し轆轤であれば座って操作できます。蹴り轆轤は腰かけて使うもので、このことがのちの、轆轤による成形技術、中でも回転方向に影響したかもしれません。須恵器の轆轤技術も次第に熟練と向上の道をたどり、8世紀にはかなり大型の器形を水びきでつくることできるようになりました(小林行雄著「古代の技術」塙書房(19620930))。

須恵器は、新疆から天日槍が来朝し近江国鏡谷で焼いたが始まり、のち、中国から百済を経て、弓月君がさまざまな工人を連れ、各地に分散して焼き、秦(大秦)の姓をもらいます(「各地に須恵器跡があるのはそのため」。日本書紀に百済から「新漢陶器高貴(いまきのあやのすえつくりのこうき)」来朝があり、各地に分散している職人を束ねる長に

「安機破石乃之多者以都久良末余理処悲東理乃以瀬可転(転)数流(一秋秋の下葉づく今より、独りある人のいねがてにする、古今和歌集巻4-220番)で始まり、「秋秋軸」の名で、女手(平仮名)が完成する過渡期の準仮名で書かれた通品として、また筆跡と色絵の美しさから、日本の書史において特有名。平安時代11~12世紀。国宝、東京国立博物館蔵。(L346)

新法での陶磁器部門国宝指定第1は慶應義塾大学所蔵「秋草文壺」(東京国立博物館寄託)。川崎市南加瀬の白山古陶の後門部下方から出土。中国陶磁の強い影響から、日本人自らが作上げた新しさ、12世紀頃。

冬

12月〈鴨鍋〉本鴨・九条葱・粉山椒



- ① M55407 **240-847** 俊山窯 吉祥梅 九号鍋(白)
26,400円(本体価格**24,000**円)
(京焼・清水焼) 径28×17cm (2,300ml) 紙箱 (◆3105)
- ② M55035 **300-847** 陶齊窯 鉢軸 取鉢揃
33,000円(本体価格**30,000**円)
(京焼・清水焼) 15×13.5×6cm 紙箱 ① (◆3105) 土

一年の締めくくり。十三日の事始めの日からは新年の準備も始まります。そして、除夜の鐘の音を聞く頃には、おせちの重箱が新しい年への心待ちも聞こえてきます。

比良講

2月〈焼物〉鯛(ぶり)南蛮焼



- ⑦ M55033 **600-847** 大日窯 灰釉三彩 七寸皿
6,600円(本体価格**6,000**円)
(京焼・清水焼) 径22×3.5cm 紙箱 ① (◆3105) 土
- ⑧ M55034 **150-847**⁸⁰⁴ 大日窯 灰釉三彩 五寸皿揃
16,500円(本体価格**15,000**円)
(京焼・清水焼) 径15.5×3cm 紙箱 ① (◆3105) 土
- ⑨ T91226055-847¹¹⁵³ Takebitto 新客箸(スス)
605円(本体価格550円) (日本製) 22cm ダンボール ① (8710)

節分も過ぎ、底冷えのする寒さがゆるみ始めると、わが家の自宅の庭にはさまざまな椿が咲き誇ります。凛としたその姿に、春を迎える心構えができます。

秦氏が任じられ、「萬豆麻佐(うずまさ)」という姓を賜わったとあります。のちの延喜式によれば、大和、河内、摂津、和泉、近江、美濃、播磨、備前、讃岐、筑前が主要な産地でありました。猿投窯(愛知県名古屋周辺)、陶邑窯(大阪府堺周辺)、牛頸窯跡群(福岡県大野城周辺)は三大古窯として有名です。

緑釉陶器と灰釉陶器の生産が9世紀前半頃に開始していたらしく、「和名類聚抄(源順著(934))」の器皿部、瓦器の条に「窰(灰質反、俗云窰器、之乃宇豆波乃)は瓦器なり」とあり、窰器(しき)を「しうつもの」と呼び、「東雅(新井白石著(1717))」に、「古に瓦器といひは今俗にスヤキといふもの如くにして、陶汁(釉薬)を用ひず。窰といふものは陶汁を用ひるものを用ひたり」とあります(「陶器講座」(古墳室町)雄山閣(19350601))。そして、「窰器」は本来施釉陶磁器類を指すもので、一般に、国産の鉛釉陶器であった。「青窰」に基盤的に国産の緑釉陶器を指す(国立歴史民俗博物館研究報告第71集)と考えられています。この土師器、須恵器、窰器が盛んであった頃、中世から現在まで生産が続く代表的な6つの窰、瀬戸焼(愛知県瀬戸)、常滑焼(愛知県常滑)、越前焼(福井県越前)、信楽焼(滋賀県甲賀)、丹波立杭焼(兵庫県篠山)、備前焼(岡山県備前)を日本六古窯と小山富士夫(1900~1975)氏が名づけてました。

中世末までは、唐物的な要素が製陶技術に直接的に反映し、茶陶でも唐物が最も珍重されたが、桃山後期に李朝陶の請来と佐々木茶の普及に高麗茶碗が高く評価されると「鳴物」が賞美されます。桃山末期から江戸初期に、西日本諸窯に、高麗・李朝の系譜と、中国明朝の系譜の二つの陶化が大きな潮流として継承されます(「陶器講座3(近世)」雄山閣(19350801))。連房式窰が、16世紀末に朝鮮陶工により肥前岸岳により造られ、最古に属する唐津焼が焼かれ、肥前では通流孔は一貫して横ナメ構造でした(瀬戸・美濃では、17世紀後半までは縦サマの窰が造られるようになります)。

西肥前有田郷での磁器創業(1616)と色絵磁器の完成(1646前後)は、日本窯芸史の上に技術革命期を招いたと言えます。

高麗・李朝の請来も、日本的な慣習の中で保護したのは鍋島藩で、窰元の規制も帰化陶工たちの生業を守るため築、西肥前の有田郷や三川内郷に朝鮮様式の拝み臺が見あたらないのは同和への配慮のあらわれといえましょう(「陶器講座11(近世)」雄山閣(19360615))。肥前窯業圏とはそのような地域です。



●手作りものですので、サイズや風合いに違いがある場合があります(納期に1ヶ月程かかる場合があります)。●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。

Pink's Magic
春は桜色
 桃桜の色をテーブルでも楽しみたい。

京の春と言えば「さくら」。
 美しいさくらの花をモチーフに
 渋さの中に華やかさが感じられます。



M54493680-848
 北哉窯 春の風 組飯碗
7,480円(本体価格6,800円)
 大径11.5×6cm 小径11×5.5cm
 紙箱 (26×14.5×8cm) 土



M54491100-848
 紅雪窯 祝い富士 陶額
11,000円(本体価格10,000円)
 額辺28cm 紙箱 (31×30×4.5cm)



M54492650-848
 北哉窯 春の風 組湯呑
7,150円(本体価格6,500円)
 大径8×9cm (320ml)
 小径7.5×8.5cm (260ml)
 紙箱 (18.5×11×9cm) 土



M54490600-848
 俊山窯 彩さくら 六寸鉢
6,600円(本体価格6,000円) 径18.5×6.5cm
 紙箱 (20.5×20.5×9.5cm) 土

Blue's Magic
澄む青色
 新緑の色をテーブルでも楽しみたい。

京焼・清水焼は、華麗で繊細、
 洗練をきわめた伝統工芸の逸品です。
 おりべや涼の器で季節を愛でる。



M55017650-848 俊山窯 吉祥富士 組湯呑
 大径7×8.5cm (230ml) 小径6.5×8cm (180ml)
 紙箱 (16×11.5×8.5cm)



M55018650-848 俊山窯 吉祥富士 組飯碗
 大径11.5×6cm 小径11×5.5cm
 紙箱 (26×14.5×8cm)
 各 **7,150円**(本体価格6,500円)



M54502100-848 昇峰窯 涼 組湯呑
 大径7.2×8.5cm (230ml) 小径7×8cm (180ml)
 木箱 (18.5×12×10cm)

M54501100-848 昇峰窯 涼 組飯碗
 大径12×5.5cm 小径11.5×5cm
 紙箱 (26×14.5×8cm) **カット**
 各 **11,000円**(本体価格10,000円)



家族があたたかい食卓がいい
 日常の美

Yellow's Magic
秋色の風
 秋風の色をテーブルで楽しみたい。

風に揺れる秋草、色づく紅葉など移りゆく
 秋の風景を器に描きました。
 やさしく繊細な色使いが心和む器です。



M54899700-848
 俊山窯 京の秋 組飯碗
7,700円(本体価格7,000円)
 大径11.5×6cm 小径11×5.5cm
 紙箱 (26×14.5×8cm) 土

M54900700-848 俊山窯 京の秋 組湯呑
7,700円(本体価格7,000円)
 大径8×9cm (300ml) 小径7.5×8.5cm (220ml)
 紙箱 (18.5×11×9cm) 土



M54505700-848
 北哉窯 秋の風 組飯碗
7,700円(本体価格7,000円)
 大径12.5×6.5cm 小径12×6cm
 紙箱 (26×14.5×8cm) 土



M54504700-848
 俊山窯 京の秋 抹茶碗
7,700円(本体価格7,000円)
 径12.5×8cm
 紙箱 (14.5×14.5×11cm) ● 土

M54509240-848
 六兵衛窯 小鬼に金棒 置物(台付)
26,400円(本体価格24,000円)
 木箱 (18×13.5×9cm)

White's Magic
輝く白色
 紅白の色をテーブルで楽しみたい。

春の到来を告げる梅の花。
 新春にふさわしい紅白の梅が
 華やかに食卓を彩ります。



M55367800-848
 北哉窯 鶴松竹梅 組飯碗
8,800円(本体価格8,000円)
 大径12×6.5cm 小径11.5×6cm
 紙箱 (26×14.5×8cm) 土



M54510750-848
 北哉窯 鶴松竹梅 組湯呑
8,250円(本体価格7,500円)
 大径7.5×9.5cm (300ml)
 小径7×9cm (260ml)
 紙箱 (18.5×11×9cm) 土



M55368120-848
 陶蓐窯 青・赤小梅 組湯呑
13,200円(本体価格12,000円)
 大径7.5×9cm (250ml)
 小径7×8.5cm (210ml)
 紙箱 (16×11.5×8.5cm) 土



M55369140-848
 陶蓐窯 青・赤小梅 組湯并飯碗
15,400円(本体価格14,000円)
 大径12.5×6cm 小径12×5.5cm
 紙箱 (26×14.5×8cm) 土

春夏秋冬(京焼・清水焼)化粧箱 ① (◆3105)

●すべて進物にも使える お箱 入りです。

2月28日は、「締部の日」です。岐阜県土岐市が制定。

【柿右衛門様式】

白磁の余白を十分に残しながら、色鮮やかな赤・青・緑・黄で草花文様や動物文様を控えめに配置し、独特の調和美を格調高く見せている様式です。ドイツのマイセン窯でも多くその様式を見ることが出来ます。

[Kakiemon Pattern] Kakiemon is known for the style illustrating flowers and grasses, or animals with vivid red, blue, green and yellow colors on the milky white background body known as Nigoshide. The decoration is of high quality, delicate and with well-balanced designs. Many of the styles were adopted and copied at Meissen, Germany.



S38924**120-849**
有田三様式(柿右衛門様式) コーヒー碗皿
13,200円(本体価格12,000円)
(有田焼) 碗7.5×7.5cm (100ml) 皿径15.5×2.5cm
化粧箱 (17×17×11cm) ① (2104)

【古伊万里様式】

肥前有田で江戸期に生産された、濃い染付と、金襴手と呼ばれる赤や金の絵の具を贅沢使った模様からなる様式です。この名称は、これらの磁器が有田に隣接する伊万里港から積み出されたことに由来しております。

[Old Imari Pattern] Made in the town known as Arita of Hizen during the Edo Period, it is the style with cobalt blue underglaze and colorful red and gold overglaze called Kinrande. The name "Imari" came from the port it was shipped from, the Imari Port.



S38923**120-849**
有田三様式(古伊万里様式) コーヒー碗皿
13,200円(本体価格12,000円)
(有田焼) 碗7.5×7.5cm (100ml) 皿径15.5×2.5cm
化粧箱 (17×17×11cm) ① (2104)

【鍋島藩窯様式】

佐賀県一帯を統治していた鍋島藩の御用や祭禮、幕府への献上用として作られた磁器の様式です。その技法は、染付と赤・黄・緑を基調とした「色鍋島」や藍色で描かれた「藍鍋島」、自然の藍翠色の「鍋島青磁」などがあります。

[Nabeshima Feudal Kiln Pattern] Originally made as gifts to the Emperors or Tokugawa Shogun from the Saga Nabeshima clan. There are categories known as Iro Nabeshima(red, yellow and green over underglazed cobalt blue), Ai Nabeshima(underglazed cobalt), and Nabeshima Seiji(celadon).



S38925**120-849**
有田三様式(鍋島様式) コーヒー碗皿
13,200円(本体価格12,000円)
(有田焼) 碗7.5×7.5cm (100ml) 皿径15.5×2.5cm
化粧箱 (17×17×11cm) ① (2104)



惣太窯は、平成9年に200年以上つづく貞山窯から分家して開窯。常に新鮮なデザインを追求し、伝統とモダンテイストが融合された現代の有田焼で日々の生活の中で豊かに演出してくれる器を提案いたします。普段使いの器を中心に手描きの磁器に温まりをあわせ持つ器づくりを目指しています。



S38509140-849⁸¹¹
そうた窯 カーネーション小皿
1,540円(本体価格1,400円)
(有田焼) 径10.3×2.2cm
紙箱 (11.5×12×3.5cm) ① (2104)



S38510230-849⁸¹¹
そうた窯 染付花卉紋丸小皿
2,530円(本体価格2,300円)
(有田焼) 径11×2.5cm
紙箱 (11.5×12×3.5cm) ① (2104)



S38508**230-849**⁸¹¹
そうた窯 染錦唐草つなぎ小皿
2,530円(本体価格2,300円)
(有田焼) 径11×2.5cm
紙箱 (11.5×12×3.5cm) ① (2104)



そうた窯 染錦唐草
S38926280-849⁸⁴² 茶碗(大) 径12×6.5cm
S38927280-849⁸³² 茶碗(小) 径11×6cm
各 **3,080**円(本体価格2,800円)
(有田焼) 紙箱 ① (2104)
S38928280-849⁸⁴² 湯呑(大) 径7.6×8cm (160ml)
S38929280-849 湯呑(小) 径6.9×7.5cm (120ml)
各 **3,080**円(本体価格2,800円)
(有田焼) 紙箱 ① (2104)



安政年間に初代与介が窯を開きました。「深い伝統と技術」と「時代にあった良質でリベラルなものづくり」が同居した、柔軟でモダンなスタイルが肥前吉田・与山窯の特徴です。



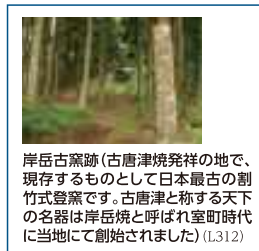
M54921**400-849** 与山窯 聖果 対飯碗
大径11×5.7cm 小径10.3×5.2cm 化粧箱 (14×26.2×7.7cm)
M54922**400-849** 与山窯 聖果 対湯呑
大径7.6×8.3cm (250ml) 小径7.2×7.7cm (200ml)
化粧箱 (12.3×7.7×8.8cm)
各 **4,400**円(本体価格4,000円)
(有田焼) 化粧箱 ① (2101)



① S38569**200-849**⁸²⁶ 与山窯 更紗唐草文 飯碗
② S38570**200-849**⁸²⁶ 与山窯 更紗花卉文 飯碗
③ S38571**200-849**⁸²⁶ 与山窯 更紗赤花文 飯碗
各 **2,200**円(本体価格2,000円)
(有田焼) 径11×5.7cm 紙箱 ① (2101)

土 陶器製(土もの)の食器です。

有田焼 有田焼は元和2(1616)年、北九州に移住した朝鮮人陶工の1人である李参平が、有田の泉山(佐賀県)に白磁の原石を発見し、上白川天狗谷の窯で陶器の焼成に成功しました。これが有田焼の始まりであり、日本の磁器文化の幕開けでもあります。そのうち肥前一帯に多くの磁器窯が興り、唐津に代わって有田が陶業の中心となりました。17世紀前半、寛永期頃、有田の酒井田柿右衛門が明末五彩の手法を学んで赤絵(色絵磁器)を創出。海外に輸出されるようになっていきます。



岸岳古窯跡(古唐津焼発祥の地で、現存するものとして日本最古の割竹式登窯です。古唐津と称する天下の名器は岸岳焼と呼ばれ室町時代に当地にて創始されました。)(L312)



石場神社「李参平」像 (L312)



有田・泉山磁石場



有田・天狗谷窯



有田・陶山神社 (L312)

●手作りものですので、サイズや風合いに違いがある場合があります(納期に一月程かかる場合があります)。

有田焼 (陶悦窯 とうえつがま)



陶悦窯は、今村博が長年に渡り、陶芸作家として活動する中で開窯した食器製作を主とする窯である。青磁・天目・辰砂・志野などの、多彩な釉薬と炎が創りだす窯変の味わいは、まさにプロ好みの粋な「うつわ」として近年人気を博しています。

佐賀県:ごとうふ



M50484500-850
結晶金彩 7号鉄鉢
5,500円(本体価格5,000円)
22×6cm 化粧箱 (24×24×7.5cm)



M54728400-850 **Hit!**
陶悦窯 結晶金銀彩 ペアロックカップ
4,400円(本体価格4,000円)
8.5×9cm (400ml)
化粧箱 (10.7×21.5×10cm) ●



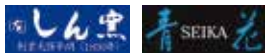
M54729400-850 **Hit!**
陶悦窯 結晶金銀彩 ペア特大カップ
4,400円(本体価格4,000円)
8.7×14cm (500ml)
化粧箱 (15.7×19.8×9.3cm) ●



M50482700-850⁸⁰⁶
結晶金彩 小鉢揃
7,700円(本体価格7,000円)
14.5×5cm 化粧箱 (16×32×10cm)

陶悦窯(有田焼) ① (2205) ±

有田焼 (しん窯「青花」)



しん窯は、1830年天保年間に有田皿山外山で、鍋島藩の藩窯として築窯されたのが起源。時代とともに幾多の変遷を経て現在にいたります。明治時代に民窯となるまで、大皿や大鉢など荒物専用の新しい窯を「新窯」と呼んでおり、それが現在の社名に引き継がれました。現在も、有田の古陶磁に倣い、「器との語り、器は人なり」を信条に、「手づくり手描き」を守り、染付を中心にくらしの中に息づく器を作り続けております。

佐賀県:竹八(はがくれ漬)



M54926100-850 青花 絵変り 八方割小皿揃
11,000円(本体価格10,000円)
径10.8×2.2cm 化粧箱 (12.1×12.1×9.3cm)



しん窯 江戸紋 **Hit!**
① S38913400-850⁸⁴² 3.8寸丸飯碗
4,400円(本体価格4,000円)
径11.4×6.3cm 色ダンボール ①●
② S38914400-850⁸³² 3.5寸丸飯碗
4,400円(本体価格4,000円)
径10.4×5.9cm 色ダンボール ①
③ S38915350-850⁸⁴² 反大湯呑
3,850円(本体価格3,500円)
径7.3×7.4cm (200ml) 色ダンボール ①
④ S38916350-850 反小湯呑
3,850円(本体価格3,500円)
径6.7×6.7cm (150ml) 色ダンボール ①



M55380600-850
青花 出船帆船両切 カレー皿
6,600円(本体価格6,000円)
23.6×21.2×4.5cm
色ダンボール (26×25×5.5cm) ①



M55381450-850
青花 オランダ船 5寸深鉢
4,950円(本体価格4,500円)
径15.2×8.7cm
色ダンボール (17×16.3×10cm) ①

しん窯(有田焼) (2101)



有田の ごはん屋

至福の飯碗「有田のごはん屋」

使いやすさと、心地よさを追求した至福の飯碗「有田のごはん屋」。主食の幅は広がっても、日本人にとって、ごはんは食卓の中心にあるものです。一日一回は必ずと言っていいほど登場するごはん。今回、飯碗ひとつで食欲の出るような、手に馴染むほんとうに使いやすい究極の飯碗を、有田を代表する窯元六社と提案します。手にとってその心地よさを体感して下さい。

有田焼 (定山窯 ていざんがま)



藍と白を基調とした染付の器作りに取り組んでおります。



M54925900-850
定山窯 染付花弁十草 仙茶揃
9,900円(本体価格9,000円)
径8.7×6cm (200ml)
化粧箱 (10×30×9.8cm)

有田焼 (文山窯 ぶんざんがま)



丸型

M54467660-850⁸⁴⁴
文山窯 ラスター山茶花 対飯碗
7,260円(本体価格6,600円)
(有田焼) 大径12×7.1cm
小径11×6.5cm 化粧箱 (14×26.2×7.7cm) ① ●(2101)

S38637330-850 文山窯 ラスター山茶花 飯碗(大)
S38638330-850 文山窯 ラスター山茶花 飯碗(小)
各 3,630円(本体価格3,300円)
(有田焼) 化粧箱 ① (2101)



反型

M54468580-850
定山窯 外呉須花弁十草 対飯碗
6,380円(本体価格5,800円)
大径12.5×6.5cm 小径10.8×5.8cm 化粧箱 (14×26.2×7.7cm)

S38635300-850 定山窯 外呉須花弁十草 反飯碗(中)
3,300円(本体価格3,000円) 径12.5×6.5cm 化粧箱 ●

S38636280-850 定山窯 外呉須花弁十草 反飯碗(小)
3,080円(本体価格2,800円) 径10.8×5.8cm 化粧箱



丸型

M54923500-850 定山窯 瑠璃紋 対飯碗
大径12×7cm 小径11×6.5cm 化粧箱 (14×26.2×7.7cm)

M54924500-850 定山窯 瑠璃紋 対湯呑
大径7×8.5cm (230ml) 小径6.5×8cm (200ml)
各 5,500円(本体価格5,000円)
化粧箱 (12.3×17.7×8.8cm)

S38631250-850 定山窯 瑠璃紋 飯碗(大)
S38632250-850 定山窯 瑠璃紋 飯碗(小)
S38633250-850 定山窯 瑠璃紋 湯呑(大)
S38634250-850 定山窯 瑠璃紋 湯呑(小)
各 2,750円(本体価格2,500円) 化粧箱

定山窯(有田焼) ① (2101)

●手作りものですので、サイズや風合いに違いがある場合があります(納期にヶ月程かかる場合があります)。

4月8日は、「四葉の日」です。日本陶彩は当社オリジナル「白雲」シリーズを「クローバー」付きとし幸せの贈り物としました。

唐津焼 (つつえ窯)



つつえ窯は昔の伝統を受け継ぎ、和みのあるモノづくりをしたいと思います。生活の中で潤いが生まれますよう願っています。



つつえ窯 (唐津焼) ① ▲(2208) 土

M50467120-851
つつえ窯 朝鮮唐津 お預け酒器揃
13,200円(本体価格12,000円)
徳利径8×13cm (260ml) ぐい呑径7.5×4.5cm (80ml)
化粧箱 (11×19.5×10cm)

M50468100-851
つつえ窯 朝鮮唐津 片口鉢
11,000円(本体価格10,000円)
26×20×8cm 化粧箱 (30×24×10.5cm)



M50470400-851
つつえ窯 朝鮮唐津 湯呑
4,400円
(本体価格4,000円)
8.5×8.5×9cm (270ml)
化粧箱 (10.5×10.5×10.3cm)



M50471450-851
つつえ窯 朝鮮唐津 フリーカップ
4,950円
(本体価格4,500円)
8.5×8.5×11cm
化粧箱 (13.5×11×11cm)



M50472500-851
つつえ窯 朝鮮唐津 マグカップ
5,500円
(本体価格5,000円)
12×12×9.5cm
化粧箱 (13.5×11×11cm)



M50473500-851
つつえ窯 朝鮮唐津 鮑型鉢
5,500円(本体価格5,000円)
17×15×6cm 化粧箱 (20×20×7.5cm)



M50469150-851
つつえ窯 朝鮮唐津 抹茶盅
16,500円(本体価格15,000円)
13×13×8cm 木箱 (16.5×16.5×11.5cm)

波佐見焼 (敏彩窯 びんさいがま)

① M54740350-851
富士覗き(呉) カップ
② M54741350-851
富士覗き(朱) カップ
各 3,850円(本体価格3,500円)
(波佐見焼) 径9×8cm (350ml)
木箱 (12.8×12.8×11cm) ① (2208)



内底面



①

②



③

④



内底面

③ M54742250-851 富士覗き(寿) ぐい呑
④ M54743250-851 富士覗き(福) ぐい呑
各 2,750円(本体価格2,500円)
(波佐見焼) 径7.5×4.5cm (100ml)
木箱 (9.5×9.5×6cm) ① (2208)

波佐見焼 (丹心窯 たんしんがま)



水晶彫は天草産の上質な白磁の生地に穴をあけ、そこに秘伝ともいえる粘土をつめて焼くことで水晶のような輝きと透明感を生み出す丹心窯の独自の製法。手彫りで穴を彫り、一つひとつ手作業で粘土をつめて1300度の高温で2回焼成を行う、手間ひまかけて作ります。

M55388470-851
丹心窯 クリスタルドロップ ビールグラス(金)
5,170円(本体価格4,700円) 径7.8×13cm (140ml) 紙箱



丹心窯の美しい白磁に透き通る水晶彫り。ゴールドを彩色して煌びやかなデザインに。



M55385860-851
丹心窯 クリスタルドロップ 26.5角皿(金)
9,460円(本体価格8,600円)
26.7×26.7×2.3cm 紙箱



M55386460-851
丹心窯 クリスタルドロップ 20角皿(金)
5,060円(本体価格4,600円)
19.7×19.7×2.2cm 紙箱



M55387300-851
丹心窯 クリスタルドロップ 14角皿(金)
3,300円(本体価格3,000円)
14.2×14.2×1.7cm 紙箱

丹心窯 クリスタルドロップ (波佐見焼) ① (2205)



S38878420-851
丹心窯 内金 カクテルグラス
S38879420-851
丹心窯 内銀 カクテルグラス
各 4,620円(本体価格4,200円)
(波佐見焼) 径7.8×7.8cm (70ml)
トムソン ① (2208)



S38880370-851
丹心窯 ゴールドライン カクテルグラス
S38881370-851
丹心窯 プラチナライン カクテルグラス
各 4,070円(本体価格3,700円)
(波佐見焼) 径7.8×7.8cm (70ml)
トムソン ① (2208)



S38882460-851
丹心窯 カメリア (WG) アミューズカップ
S38883460-851
丹心窯 カメリア (WP) アミューズカップ
各 5,060円(本体価格4,600円)
(波佐見焼) 径8×7.5cm (120ml)
トムソン ① (2208)



S38884580-851
丹心窯 カメリア (GB) アミューズカップ
S38885580-851
丹心窯 カメリア (PB) アミューズカップ
各 6,380円(本体価格5,800円)
(波佐見焼) 径8×7.5cm (120ml)
トムソン ① (2208)

●撮影に使用したお料理は食器の産地、郷土で味わえる伝統食をイメージしたものです(店名は購入店を備忘するため、その器をお薦めいただいたものではなく、また販売期間等限られたものもあります)。
●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。

波佐見焼 〈幸祥窯 ころしょうがま〉

伝統の古染付・古伊万里様式。
その味わいを料理用家庭食器に生かすべく日々、陶魂を燃やし努力いたしております。暮らしの中の御愛用品としてお使いいただければ幸いに存じます。



M54667700-852
幸祥窯 色絵花唐草 菓子鉢
7,700円(本体価格7,000円)
18.5×7cm
化粧箱 (19.5×19.5×8.5cm)



M54662130-852
幸祥窯 色絵花唐草 煎茶掬 ●
14,300円(本体価格13,000円)
9×5.5cm (150ml) 木箱 (36×10.5×10.5cm)



M5466700-852
幸祥窯 染付洋唐草 4寸皿掬
7,700円(本体価格7,000円)
12×2.5cm
化粧箱 (28×15.5×5.5cm)



M54663180-852
幸祥窯 色絵兎唐草 汲出掬
19,800円(本体価格18,000円)
9.5×8cm (120ml) 木箱 (33.5×19.5×11.5cm)

M54664130-852⁸¹⁶
幸祥窯 色絵花唐草 銘々皿掬
14,300円(本体価格13,000円)
15.5×3.5cm 化粧箱 (32.5×17×6.5cm)

幸祥窯 (波佐見焼) ① (2203)



M54665110-852
幸祥窯 染付唐草山水 木甲小鉢掬
12,100円(本体価格11,000円)
12.5×4cm
化粧箱 (27.5×14×9.5cm)



M54668600-852
幸祥窯 色絵花唐草 組飯碗
6,600円(本体価格6,000円)
大12.5×6cm 小11.5×5.5cm
化粧箱 (26.5×14×6.5cm)



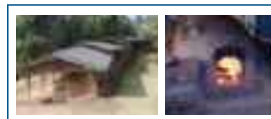
M54669600-852
幸祥窯 色絵花唐草 組コップ
6,600円(本体価格6,000円)
大7.5×9.5cm (220ml)
小7×8cm (170ml)
木箱 (17.5×12×9cm)



波佐見焼
(英中韓語)



波佐見焼
幸祥窯 1
NihonTohsai



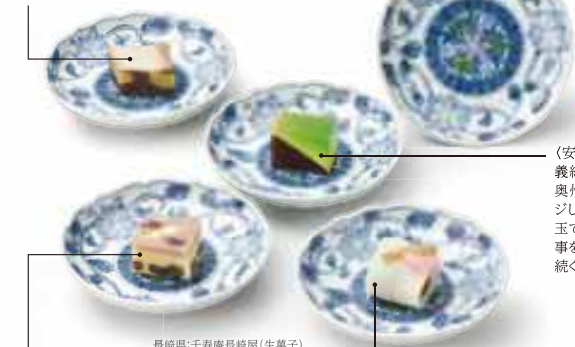
畑の原窯跡(波佐見町村木郷) (L312)



M50082600-852⁸⁴¹
幸祥窯 色絵花紋 組飯碗
大11×6cm 小10.5×5.5cm
木箱 (26.5×13.5×8cm)

M50081600-852⁸⁴¹
幸祥窯 色絵花紋 組湯呑
大8×8.5cm (190ml)
小7.5×8cm (160ml)
木箱 (18×12×19.5cm)
各 6,600円(本体価格6,000円)

〈白紙の勤進帳〉
安宅閣で朗々と読み上げた白紙の勤進帳を栗蒸し羊羹に、白の焼切を張り合わせて表現しました。



長崎県:千寿庵長崎屋(生菓子)

〈安宅への旅路〉
義経、弁慶一行が命がけで奥州へ向かう旅路をイメージした和菓子です。黒糖錦玉で安宅閣での厳しい出来事を、透明の錦玉でまだまだ続く旅路を表現しました。

〈弁慶・富樫の対決〉
義経一行と気付いた富樫とにらみ合う弁慶の緊迫したシーンを羊羹と浮島で作りました。表面に富樫と弁慶のかぶりもので二人の対比を表現し、二人の間に稲妻を配って緊迫感を表してみました。

〈弁慶の杖〉
主君を杖で打ったことを詫げる弁慶と無事閑所を通ることが出来たことを感謝する義経。二人の絆が深まったことを、弁慶の涙を淡い水色に、義経の温かい心を桃色に、二つをしっかりと組み合わせ、桃山の杖を添えました。



「二代目市川九蔵の富樫左衛門と五代目市川海老蔵の武蔵坊弁慶と八代目市川團十郎の源義経」歌川国芳1840年(ホストン美術館蔵)(Wikimedia)

波佐見焼 〈鴻窯 ころがま〉



M55219300-852
鴻窯 みやび 盛鉢
3,300円(本体価格3,000円)
径24×5cm 化粧箱 (25.5×25.5×5.5cm)

M55221350-852⁸⁰⁵
鴻窯 みやび 取皿掬 ●
3,850円(本体価格3,500円)
径14.5×3cm 化粧箱 (3.1×15.5×6cm)

カット



M55220500-852
鴻窯 みやび 多用取鉢掬
5,500円(本体価格5,000円)
径15×4.5cm 化粧箱 (16.5×16.5×12cm)



M55222300-852
鴻窯 みやび 二段重
3,300円(本体価格3,000円)
径15.5×10.5cm 化粧箱 (17×17×12cm)



M55223400-852
鴻窯 みやび 三段重
4,400円(本体価格4,000円)
径15.5×15cm 化粧箱 (19×17×16.5cm)

鴻窯 (波佐見焼) ① (2203)

●撮影に使用したお料理は食器の産地、郷土で味わえる伝統食をイメージしたものです(店名は購入店を備忘するため、その器をお薦めいただいたものではなく、また販売期間等限られたものもあります)。
●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。

美濃焼 〈玉山窯 ぎょくざんがま〉

郷土の祖先が生んだ桃山時代の美的な遺産、名陶志野、織部の特異な美しさに深く心をひかれ、代々家に伝わる秘伝を錬磨し更に新しい息吹をあたえようと日夜研究に励んでいます。



① M54643700-853⁸⁰¹

玉山窯 黒織部 組湯呑
径7.8×7.8cm (260ml)
紙箱 (11.6×12.7×8.6cm) ●

② M54642700-853⁸⁰² **Hit!**

玉山窯 黒織部 組飯碗
径11.3×6cm 紙箱 (24×12.4×7cm) ●
各 7,700円 (本体価格7,000円)



M54408500-853

玉山窯 彩りぶどう ペアカップ
5,500円 (本体価格5,000円)
径7.5×11.5cm (250ml)
紙箱 (17.6×12.7×8.6cm) ●

美濃焼
玉山窯



NihonTohsai

窯紀行



葡萄
(英中韓語)



M50260600-853 **Hit!**

玉山窯 彩りぶどう 組飯碗
6,600円 (本体価格6,000円) ●
径11.3×6cm 紙箱 (24×12.4×7cm)

S38679300-853⁸³³

玉山窯 鼠志野ぶどう 飯碗

S38680300-853⁸³²

玉山窯 織部ぶどう 飯碗

各 3,300円 (本体価格3,000円)
径11.3×6cm 紙箱 (13×12.5×9cm) ●



M54407600-853

玉山窯 彩りぶどう 組湯呑

6,600円 (本体価格6,000円)
径7.8×7.8cm (190ml) 紙箱 (17.6×12.7×8.6cm) ●

S38681300-853⁸⁰³

玉山窯 鼠志野ぶどう 湯呑

S38682300-853⁸³⁶

玉山窯 織部ぶどう 湯呑

各 3,300円 (本体価格3,000円)
径7.8×7.8cm (190ml) 紙箱 (9.5×9.5×8.5cm)



M50261100-853

玉山窯 鼠志野ぶどう お預け酒器揃

11,000円 (本体価格10,000円)
徳利280ml 盃径5.2×3.8cm (50ml)・盃2個
木箱 (18.5×15×10.8cm)



岐阜県・寿や(生菓子)

M50265500-853⁸⁰²

玉山窯 織部ぶどう 菓子鉢

5,500円 (本体価格5,000円)
18.5×18.5×4.4cm 木箱 (22×22×7.5cm)



M50263550-853

玉山窯 鼠志野ぶどう コーヒー碗皿

6,050円 (本体価格5,500円)
碗径8.8×6.8cm (250ml) 受皿径14×1.5cm
紙箱 (15×15×10.7cm)

M50264550-853

玉山窯 織部ぶどう コーヒー碗皿

6,050円 (本体価格5,500円)
碗径8.8×6.8cm (250ml) 受皿径14×1.5cm
紙箱 (15×15×10.7cm)



S38036300-853⁸³²

玉山窯 朱十草 飯碗

3,300円 (本体価格3,000円) ●
径11.9×5.3cm 紙箱

カット



S38156300-853⁸³⁶

玉山窯 朱十草 湯呑

3,300円 (本体価格3,000円) ●
径7.4×7.8cm (210ml) 紙箱

カット



S38545300-853⁸²⁶

玉山窯 藍十草 飯碗

3,300円 (本体価格3,000円) ●
径12.4×5.8cm (240ml)

S38546300-853⁸²⁶

玉山窯 藍十草 湯呑

3,300円 (本体価格3,000円)
径7.5×8.5cm (250ml) 紙箱

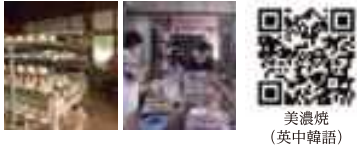
カット

土 陶器製(土もの)の食器です。

玉山窯 (美濃焼) ① (0202) 土

●撮影に使用したお料理は食器の産地、郷土で味わえる伝統食をイメージしたものです(店名は購入店を備忘するため、その器をお薦めいただいたものではなく、また販売期間等限られたものもあります。)

美濃焼 (秀窯 しゅうがま)



美濃焼 (英中韓語)



M50268350-854 **カット**
秀窯 黒三島 組湯呑
3,850円(本体価格3,500円)
径7.6×9.1cm (220ml) 紙箱 (17.6×12.7×8.6cm)

秀窯 黒三島
S38677180-854 湯呑(大)
径7.6×9.1cm (220ml)
S38678180-854 湯呑(小)
径7.6×9.1cm (180ml)
各 1,980円(本体価格1,800円)
紙箱 (9×11×10.5cm)



M50269350-854 **カット**
秀窯 黒三島 組飯碗
3,850円(本体価格3,500円)
径12.5×5.7cm 木箱 (27.7×14×7.8cm)

秀窯 黒三島
S38675180-854⁸³³ 飯碗(大)
径12.5×7cm
S38676180-854 飯碗(小)
径12.5×5.7cm
各 1,980円(本体価格1,800円)
紙箱 (13.5×13×7.5cm)

岐阜県:母袋工房(焼き豆腐)



M54163380-854 **カット**
秀窯 黒三島 ペアゴブレット
4,180円(本体価格3,800円)
径8×10cm (250ml) 紙箱 (17.6×12.7×8.6cm)



M54150500-854⁸⁴³ **カット**
秀窯 黒三島 銘々皿
5,500円(本体価格5,000円)
径13.7×13.7×2.3cm
紙箱 (30.5×15.5×6cm)



カット
M50496380-854
秀窯 黒三島 ペアマグ
4,180円(本体価格3,800円)
径9.6×8.7cm (290ml)
紙箱 (24×10.3×10.3cm)



カット
M50271500-854
秀窯 黒三島 ペア碗皿
5,500円(本体価格5,000円)
碗径8×6.7cm (150ml) 受皿径14×2cm
紙箱 (32.5×16.5×9.5cm)

秀窯(美濃焼) ① (0202) 土

美濃焼 (山神窯 やまがみがま)

岐阜県土岐市 材料となる土の選別から調合、独特な【釉薬の気泡】を浮か上らせるための削り、そして幻想的な淡い模様【火色】を出すためにゆっくりと時間をかけ焼き、ゆっくりと徐冷し、仕上げます。【安土桃山時代】から伝統を守り継ぐ職人の作品です。



岐阜県:天領酒造(飛騨牛しぐれ)



M54783500-854⁸⁰⁶ **カット**
山神窯 匠魅懐石 珍珠末広亭揃
5,500円(本体価格5,000円)
(美濃焼) 径9×5cm
黒木箱 (30×30×6.5cm)
① (0125)



※白山…名窯カタログ
巻末P80-R446を
ご参考まで



妙土古窯跡(美濃) (L316 No.15)



(L316)

高田「陶祖碑
(加藤与左衛門景直)」



土岐「陶祖碑(加藤
四郎左衛門景延)」



妻木「陶祖碑(加藤
太郎左衛門景重)」



下石「陶祖碑(加藤
庄三郎氏家)」



市之倉「陶祖碑(加
藤興左衛門景政)」



海呂「陶祖碑(加藤
定吉・文蔵)」



笠原「陶祖碑(加藤
治郎太夫)」



美濃:多治見「陶祖碑(加藤与
三兵衛門尉景光)」(L316)

「記念碑(加藤助三郎)」



下石「陶祖碑
(加藤庄三郎氏家)」

下石「猿投神社」

「ヘボ」といえば、できが悪いなどよくない意味に用いられる。が、岐阜県の「ヘボ」は、栄養価が高くいろいろな料理になって人々を喜ばせる孝行者だ。「ヘボ」とはジバチの幼虫のこと(出典:前垣和義著「味のなるはどお国自慢」PHP研究所(20021216))。

本の紹介



稲津「陶原祖碑」「大陶神社」「表忠碑」

(L316)



恵那「陶祖碑
(加藤与三兵衛門尉景信・
加藤万右衛門尉基範・
加藤仁右衛門尉景貞・
加藤太郎右衛門景里)」
「紅功碑・陶像
(曾根庄兵衛)」

(L316)



美濃:駄知「陶祖碑(加藤作十郎景治)」(L316)

●手作りものですので、サイズや風合いに違いがある場合があります(納期に一ヶ月程かかる場合があります)。●すべて進物にも使える **お箱** 入りです。 **土** 陶器製(土もの)の食器です。

5月8日は、「世界赤十字社デー」です。国際赤十字の創始者アンリ・デュナンの誕生した日です。

美濃焼 〈明楽寺窯 みょうらくじがま〉



三浦 繁久
1946年、土岐市に生まれる。三代にわたる家業の製陶業継承しつつ陶芸を志し明楽寺窯開設。作品は志野・粉引・染付などを手掛ける。



S38073500-855⁸²⁸
三浦繁久 呉須十草 飯碗
5,500円(本体価格5,000円)
径12.6×6.1cm ● **Hi!**
紙箱 (13×13×7.5cm)



S38174500-855⁸³⁷
三浦繁久 呉須十草 湯呑
5,500円(本体価格5,000円)
7.4×8.8cm (220ml)
紙箱 (9.8×9.8×8.8cm)

- ① S38272500-855
三浦繁久 三色十草(赤) 飯碗
径12×5.3cm ●
- ② S38273500-855
三浦繁久 三色十草(赤) 湯呑
径7.3×8.5cm (210ml)
各 5,500円(本体価格5,000円)
紙箱 (9.8×9.8×8.8cm) ●
- ③ S38274500-855
三浦繁久 三色十草(緑) 飯碗 **Hi!**
径12.3×5.3cm ●
- ④ S38275500-855
三浦繁久 三色十草(緑) 湯呑
径7.4×8.5cm (210ml)
各 5,500円(本体価格5,000円)
紙箱 (9.8×9.8×8.8cm) ●



NihonTohsai

明楽寺窯(美濃焼) ① (0202) 土

美濃焼 〈快山窯 かいざんがま〉



美濃焼の中心地、土岐の駄知山麓に江戸中期に築窯以来、心の和む陶藝品を焼造。純浄な釉色の青白磁は、中国北宋時代に最盛期をむかえた焼物で、流麗な文様と精妙な技術を誇る精器であります。また、気品ある牙白色した白瓷は冴えた彫文様も美しく、宋代中国では、官・哥・汝・定・鈞を称され五代名窯の一つに数えられた名瓷の白瓷器です。現在では、先代、塚本快示(人間国宝)の後嗣、塚本満(日本芸会正会員)が、その遺志を受け継ぎ東洋の心、日本の心、美濃の心を少しでも器に映すべく、気品のある、格調の高い器を制作いたしております。



M50489140-855 快山窯 水仙文 組飯碗
15,400円(本体価格14,000円)
径11.5cm 紙箱 (12.5×24.5×6.5cm)
S38691700-855 快山窯 水仙文 飯碗
7,700円(本体価格7,000円)
紙箱

M50490140-855 快山窯 水仙文 組湯呑
15,400円(本体価格14,000円)
径7cm (190ml) 紙箱 (9×15.5×7.5cm)
S38690700-855 快山窯 水仙文 湯呑
7,700円(本体価格7,000円)
紙箱



M50293900-855⁸⁰⁶
快山窯 輪花牡丹 銘々皿
9,900円(本体価格9,000円)
径12.5cm・5枚 紙箱 (13.5×26.5×4.5cm)



M50296120-855
快山窯 輪花牡丹 菓子鉢
13,200円(本体価格12,000円)
径19cm 紙箱 (21.5×21.5×7cm)



M50298250-855 快山窯 青海波 大皿
27,500円(本体価格25,000円)
径25cm 紙箱 (29.5×29.5×4.5cm)



M50291160-855
快山窯 唐草 湯呑揃
17,600円(本体価格16,000円)
径9cm (175ml)・5個 紙箱 (10.5×36.5×10cm)



M54814800-855⁵²⁵ 快山窯 つる唐草 兼用碗皿
8,800円(本体価格8,000円)
碗径9.3×6.2cm (175ml) 皿径14.2cm
紙箱 (15×15×9cm)

快山窯(美濃焼) ① (0107)

美濃焼 〈春山窯 はるやまがま〉



おだやかな丘陵にかこまれた美濃の国はやきものの原料に恵まれ、古い時代から煙の絶えなかった土地でございます。初代がこの地に開窯して以来受け継がれて来た伝統の手法と技を踏まえて様々なやきものを、研究し時代の好みを取り入れて常に新しい器を創作していくことが春山の願いでございます。



M55398800-855
春山窯 もえぎ お茶呑碗揃
8,800円(本体価格8,000円)
径8×6.5cm (140ml) 紙箱



M54818380-855 春山窯 もえぎ 組茶碗
4,180円(本体価格3,800円) ●
飯碗大径12.2cm 小径11.8cm 紙箱 (13×25.5×6.5cm)

M54819380-855 春山窯 もえぎ 組湯呑
4,180円(本体価格3,800円)
コップ大径7×8.5cm (200ml) 小径6.7×8cm (175ml)
紙箱 (9.5×15×7.5cm)



岐阜県:マルコ醸造(山ごぼう)



M54816100-855
春山窯 緑彩朝顔形 小鉢揃
11,000円(本体価格10,000円)
径13×4.5cm 紙箱 (13.5×27×8cm)



M54817120-855⁸⁰⁶
春山窯 緑彩花形 銘々皿
13,200円(本体価格12,000円)
径17cm 紙箱 (18×18×7.5cm)

春山窯(美濃焼) ① (0107) 土

●撮影に使用したお料理は食器の良さを引き出すイメージのために使用したものです(店名は購入店を備忘するため、その器をお薦めいただいたものではなく、また販売期間等限られたものもあります)

瀬戸焼

御にぎり



- ① 天むす
- ② わかめ
- ③ 梅しそ
- ④ たこめし
- ⑤ 五目



瀬戸焼 (陶房淳 とうぼうじゅん)



棚橋 淳



NihonTohsai



M54621580-856
陶房淳 織部 刻文 鉢
6,380円(本体価格5,800円)
径15.8×15.8×4.5cm
紙箱 (16.3×16.3×7.4cm)

M54689130-856⁸⁰⁷
陶房淳 織部 八角銘々皿
14,300円(本体価格13,000円)
13×1.8cm・5枚
木箱 (15.5×15.5×10.4cm) ●

M54620150-856
陶房淳 織部 花入
16,500円(本体価格15,000円)
径10.6×21.6cm
木箱 (24.3×13.6×14cm)



M50251850-856
陶房淳 織部 組湯呑
9,350円(本体価格8,500円)
大7.5×8.5cm (200ml) 小6.9×7.8cm (160ml)
木箱 (19.2×11.3×10cm)



M50252850-856
陶房淳 黄瀬戸 組湯呑
9,350円(本体価格8,500円)
大7.5×8.5cm (200ml) 小6.9×7.8cm (160ml)
木箱 (19.2×11.3×10cm)



M55155850-856
陶房淳 古瀬戸 組湯呑
9,350円(本体価格8,500円)
大7.5×8.5cm (200ml) 小6.9×7.8cm (160ml)
木箱 (19.2×11.3×10cm)



M50254120-856
陶房淳 織部 組飯碗
13,200円(本体価格12,000円)
大12.8×6cm 小11.8×5.3cm
木箱 (15.5×15.5×10.4cm)



M50255150-856
陶房淳 織部 湯呑揃
16,500円(本体価格15,000円)
9×5.6cm (120ml)・5客
木箱 (21.3×11.3×11.3cm)



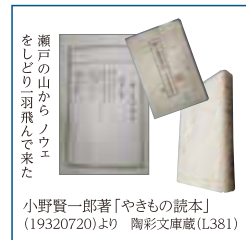
M50256180-856
陶房淳 織部 角皿
19,800円(本体価格18,000円)
24×23.5×3.8cm 木箱 (26.4×26.4×6.8cm)

陶房淳 (瀬戸焼) ① (1112) 土

●撮影に使用したお料理は食器の良さを引き出すイメージのために使用としたものです(店名は購入店を備忘するため、その器をお薦めいただいたものではなく、また販売期間等限られたものもあります)。

7月2日は1951年、日本が「ユネスコ」に加盟した日です。日本陶彩は無形文化遺産「和食・日本人の伝統的な食文化」のユネスコへの提案同意団体です。

- ① M55379130-856⁸⁰⁷ 梅村知弘 織部花文 小長角皿揃
14,300円(本体価格13,000円) 径16.0×11.5×1.4cm 5枚
 - ② M54201100-856⁸⁵⁷ 春草 織部ひさご紋 角銘々皿揃
11,000円(本体価格10,000円) 11.1×11.1×1.2cm 5枚
 - ③ M54420650-856⁸⁴² 陶彩「純」黒織部 銘々皿揃
7,150円(本体価格6,500円) 15.3×15×2cm 5枚
 - ④ M55414600-856
陶彩「ハンドメイド」秀峰窯 御深井藍染 平皿揃
6,600円(本体価格6,000円) 径16.7×2.2cm
 - ⑤ M55257750-856⁸⁰⁷ 芝苑 黒釉白ながし 小丸皿揃
8,250円(本体価格7,500円) 径16.9×12.4×3.5cm 5枚
- Voice! 皿 (瀬戸焼) ① 紙箱 (1112) 土
- 芝苑 黒釉白ながし
 - ⑥ M55257750-856⁸⁰⁷ 小丸皿揃
8,250円(本体価格7,500円) 径16.9×12.4×3.5cm 5枚 ①
 - ⑦ M55258300-856 丸皿
3,300円(本体価格3,000円) 径23.8×22.8×2.3cm ①
 - ⑧ M55259360-856 小判皿揃
3,960円(本体価格3,600円) 径25.7×12.9×2.1cm 2枚 ①
 - ⑨ M55372650-856 取小鉢揃
7,150円(本体価格6,500円) 径13.2×4.4cm 5枚 ①
 - T95003130-856 取小鉢
1,430円(本体価格1,300円) 径13.2×4.4cm ⑤
 - ⑩ S38806140-856 飯碗
1,540円(本体価格1,400円) 径11.3×6cm ①
 - ⑪ S38807130-856 湯呑
1,430円(本体価格1,300円) 径8.1×7.6cm (190ml) ①
 - ⑫ S38808170-856 マグカップ
1,870円(本体価格1,700円) 径9.3×8.6cm (250ml) ①
- Voice! 芝苑 (瀬戸焼) ダンボール (1112) 土



小野賢一郎著「やきもの読本」(19320720)より 陶彩文庫蔵(L381)



瀬戸焼のご紹介
愛知県産業振興課
あいちの地場産業

瀬戸焼

〈塩草窯 えんそうがま (中島洋)〉

赤津焼七種の1つである
織部を中心により多くの
人に楽しんで、日常で活
かして頂ける器を心がけ
ています。

Voice!

H16955330-856
塩草窯 織部まどつる 平鉢
3,630円(本体価格3,300円)
(瀬戸焼) 径14.8×5.5cm 紙箱 (16.3×16.3×7.4cm) ①
(1112) 土 ●



Voice!

H16956400-856⁸¹⁶
塩草窯 織部まどつる 盛鉢
4,400円(本体価格4,000円)
(瀬戸焼) 径18×5.5cm 紙箱 (20.6×20.6×6.7cm) ①
(1112) 土



織部は明らかに作為と技巧を通じて、自然らしさを表現しようとしたのである。さらに彼は「絵付」を取り入れた。ここにも「景気」を好む織部の意図が強調された(出典:藝能史研究 會編「日本の古典芸能(茶・花・香)」19700810)。

本で紹介



※敷き色紙は
ご用意できます。

渋い味わいの掻き落とし十草の鼠志野



一客箱入

〈陶翠窯 とうすいがま (長谷川 喜之・仁美)〉



瀬戸の東三国の山のふところにある小さな町、品野、品野の長い歴史の中ではぐくまれた、文化と巧みな技を今に伝え、その伝統を守りつつ、“自由におおらかに使える”そんな器を作り続けています。

ハンドメイド・テイスト 陶翠窯 鼠志野十草

- ① S38359200-857 フリーカップ
2,200円(本体価格2,000円) 径7.5×高さ10.7cm (210ml)
- ② S38362240-857 マグカップ
2,640円(本体価格2,400円) 径7.6×高さ10.7cm (210ml)
- ③ S38361180-857 湯呑
1,980円(本体価格1,800円) 径8.1×高さ8.9cm (180ml)
- ④ S38360200-857 飯碗
2,200円(本体価格2,000円) 径11.9×高さ5.8cm

Voice! ハンドメイド・テイスト 陶翠窯 鼠志野十草 (瀬戸焼) ダンボール ① (1112) 土

〈秀峰窯 しゅうほうがま〉



- ⑤ M54402320-857 秀峰窯 御深井藍染 ペアマグセット
3,520円(本体価格3,200円)
径9.1×9cm (200ml) 紙箱 (21.3×10.7×10.3cm)
S38937160-857 秀峰窯 御深井藍染 マグ(青)
S38936160-857 秀峰窯 御深井藍染 マグ(蒼)
各 1,760円(本体価格1,600円) ダンボール
- ⑥ M50258500-857 秀峰窯 御深井藍染 ペア碗皿
5,500円(本体価格5,000円)
碗径8.5×6.5cm (180ml) 皿径15cm 紙箱 (31.5×15.7×10cm) ●
S38939250-857 秀峰窯 御深井藍染 碗皿(青)
S38938250-857 秀峰窯 御深井藍染 碗皿(蒼)
各 2,750円(本体価格2,500円) ダンボール

- ⑦ M54196280-857⁸⁰⁴ 秀峰窯 御深井藍染 組飯碗
3,080円(本体価格2,800円)
大径11.6×5.7cm 小径11.1×5.7cm 紙箱 (25.5×13×7.1cm)
S38935140-857 秀峰窯 御深井藍染 飯碗(青)
S38934140-857 秀峰窯 御深井藍染 飯碗(蒼)
各 1,540円(本体価格1,400円) ダンボール

ハンドメイド・テイスト 秀峰窯 (瀬戸焼) ① (1112) 土

〈秀峰窯 しゅうほうがま〉



- M55412300-857 秀峰窯 志野野の花 組飯碗
3,300円(本体価格3,000円)
大径11.2×5.5cm 小径12.0×6.0cm 紙箱 (25.5×13×7.1cm) 梱20入
S38917150-857 秀峰窯 志野野の花 飯碗(小)
1,650円(本体価格1,500円)
径11.2×5.5cm ダンボール
- S38918150-857 秀峰窯 志野野の花 飯碗(大)
1,650円(本体価格1,500円)
径12.0×6.0cm ダンボール

Voice! ハンドメイド・テイスト 秀峰窯 志野野の花 (瀬戸焼) ① (1112) 土

〈秀峰窯 (中島秀之)〉 赤津に生まれ、焼き物の世界がごく自然の環境として土の温もりを感じつつ育ち、いつまでも飽きのこない御深井(御深井釉(おふけゆう)の藍色がシンプルな色合いであり、器としての存在感を感じて頂けるよう心掛けて作陶しております。



〈秀峰窯 しゅうほうがま〉



- ハンドメイド・テイスト 秀峰窯 御深井藍染
- ⑧ M55413650-857 平鉢揃
7,150円(本体価格6,500円)
径13.9×5cm 紙箱 (29.4×15.0×14.9cm)
S38919130-857 平鉢
1,430円(本体価格1,300円) ダンボール
- ⑩ M55415500-857 長皿揃
5,500円(本体価格5,000円)
径20.3×10.8×1.6cm 紙箱 (21.6×12.0×7.5cm)
S38921100-857 長皿
1,100円(本体価格1,000円) ダンボール



- ⑨ M55414600-857 平皿揃
6,600円(本体価格6,000円)
径16.7×2.2cm 紙箱 (18.8×18.8×9.0cm)
S38920120-857 平皿
1,320円(本体価格1,200円) ダンボール
- ⑪ M55416500-857 平小鉢揃
5,500円(本体価格5,000円)
径13×13.3×3.8cm 紙箱 (28.4×14.3×9.7cm)
S38922100-857 平小鉢
1,100円(本体価格1,000円) ダンボール

Voice! ハンドメイド・テイスト 秀峰窯 御深井藍染 (瀬戸焼) ① (1112) 土

瀬戸焼 〈東窯 ひがしがま〉

春草 (中島満久)
黙々として伝統の織部、黄瀬戸、志野、等を守り続けると共に新しい境地を求めて自らの純才に鞭を打っています。



愛知県:両口屋是清 (生菓子)



M54201100-857⁸⁵⁶ 春草 織部ひさご紋 角銘々皿揃
11,000円(本体価格10,000円)
径11.1×11.1×1.2cm 木箱 (13.4×13.4×10.3cm) カット



M54200100-857 春草 織部ひさご紋 湯呑揃
11,000円(本体価格10,000円)
径7.3×6.3cm (150ml) 木箱 (20.7×20.7×8.9cm) カット
Voice! 春草 (瀬戸焼) ① (1112) 土



瀬戸焼 (英中韓語)

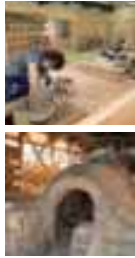


御深井焼窯跡(L.342)



瀬戸:藤四郎像(瀬戸市西拝戸町)(L.317)

備前焼 (夢幻庵 むげんあん)



いつまでも備前の「夢」と「幻」を追い求める「庵」を創っていきたい。



備前焼
(英中韓語)

備前焼のご紹介
夢幻庵



YouTube



Hit!

M50532500-858
夢幻工房 棧切焼 マグカップ
5,500円(本体価格5,000円)
径8×11cm (250ml)
木箱 (12×12×14cm) ●



M55359100-858
夢幻工房 ペア面取杯
11,000円(本体価格10,000円)
大径7×9cm (250ml) 小径6.5×8.5cm (230ml)
木箱 (18×10×13cm)



M50535120-858 夢幻工房 棧切焼 酒器揃
13,200円(本体価格12,000円)
徳利9.5×12.5cm (380ml) 酒呑6×5cm (60ml)
酒呑5×6cm (70ml) 木箱 (12×12.5×14cm) ●

Hit!



Hit!

Hit!

M54194500-858 夢幻工房 組湯呑
5,500円(本体価格5,000円)
径6.5×8.5cm (170ml) 木箱 (12×19×10cm) ●

M50182500-858 夢幻工房 焼変り ペアカップ
5,500円(本体価格5,000円)
径7×9cm (150ml) 木箱 (12×19×10cm) ●



M54977500-858
夢幻工房 手付マグカップ
5,500円(本体価格5,000円)
7.5×10cm (250ml)
化粧箱 (14×14×10cm)



Hit!

Hit!

M50192500-858
夢幻工房 棧切焼 一輪花入
5,500円
(本体価格5,000円)
10×16cm
木箱 (12×20×12cm) ●

M50190100-858
夢幻工房 棧切焼 四方花入
11,000円
(本体価格10,000円)
7.6×7.6×21.5cm
木箱 (12×25.5×12.5cm) ●

M54948600-858
夢幻工房 三方花入
6,600円
(本体価格6,000円)
径3×高さ18.5cm
木箱 (11×23×11cm)



岡山県:岡山漁連(ままかり)

① S38623100-858835
夢幻工房 ティーポット
11,000円(本体価格10,000円)
5×17×13cm (500ml) セラメッシュ
化粧箱 (17×11cm)

② S38624100-858835
夢幻工房 茶々丸
11,000円(本体価格10,000円)
6×17×12cm (500ml) セラメッシュ
化粧箱 (17×11cm)

③ M54949100-858806
夢幻工房 片口小鉢5客揃
11,000円(本体価格10,000円)
11×14cm 化粧箱 (17×11cm)



③ 岡山県:清風(わらび餅)

M54978800-858
夢幻工房 砧花入
8,800円
(本体価格8,000円)
6×高さ19cm
化粧箱 (22×9×9cm)

M54979100-858
夢幻工房 三方耳中花入
11,000円
(本体価格10,000円)
10×高さ17cm
化粧箱 (18×14×14cm)

M54980200-858
夢幻工房 耳付花入
22,000円
(本体価格20,000円)
10×高さ19cm
木箱 (15×15×24cm)

夢幻工房 (備前焼) ① (3807) 土



備前:天津神社(L.323)



日本遺産認定
「出雲國たたら風土記〜鉄づくり千年が生んだ物語〜」(L.339)



鉄の道文化圏推進協議会
http://tetsunomichi.gr.jp/

●撮影に使用したお料理は食器の産地、郷土で味わえる伝統食をイメージしたものです(店名は購入店を備忘するため、その器をお薦めいただいたものではなく、また販売期間等限られたものもあります)。

7月10日は、京都千本釈迦堂で、日常の必需品である茶碗などの「せともの」類に感謝のこころを捧げ供養会を修されます。



〈中居 靖〉

ろくろを主に花器類、食器類を制作。花器は胡麻(ゴマ)を狙い、食器は土味を生かした端正な形状の作品をつくる。



M54995**500**-859
中居靖 緋だすき フリーカップ
5,500円(本体価格**5,000**円)
径7×11cm (220ml)
化粧箱 (13.7×9.7×9.7cm)



カット

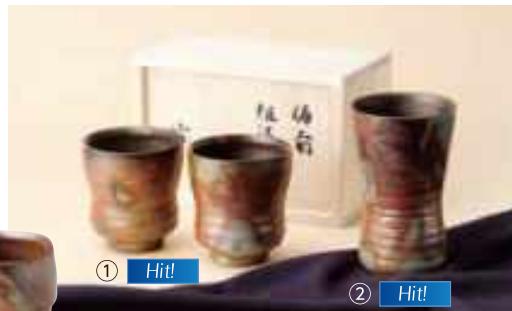
M54996**550**-859
中居靖 棧切焼 マグカップ
6,050円(本体価格**5,500**円)
径8×11cm (300ml)
化粧箱 (15×15×11cm)



M54479**150**-859
中居靖 棧切焼 花入
16,500円
(本体価格**15,000**円)
高さ21.5cm
桐箱 (12.5×12.5×26cm) ●



M54796**180**-859
中居靖 棧切焼 酒器揃
19,800円
(本体価格**18,000**円) Hit
徳利 径8.5×14.5cm (350ml)
ぐい呑 径6×6cm (70ml)
木箱 (17×19.5×12.5cm) ●



- ① **Hit** M54797**120**-859 中居靖 棧切焼 組湯呑
13,200円(本体価格**12,000**円)
径7.5×8.5cm (170ml) 木箱 (12.5×19.5×10.5cm) ●
- ② M54798**600**-859 中居靖 棧切焼 フリーカップ
6,600円(本体価格**6,000**円)
径8×13cm (220ml) 化粧箱 (15.3×10×10cm) ●
- ③ M54799**500**-859 中居靖 棧切焼 焼酎杯
5,500円(本体価格**5,000**円)
径9×8cm (220ml) 化粧箱 (12×12×9.5cm) ●

中居靖 (備前焼) ① (8801) 土

〈岡田 康次郎〉



1980年より窯元において本格的に作陶に専念する。真面目な努力家で、土味と造形に力を入れ日々精進している。



岡田康次郎 (備前焼) ① (8801) 土



M54478**370**-859
岡田康次郎 棧切焼 焼酎呑
4,070円(本体価格**3,700**円)
径8.0×8.0cm (200ml)
木箱 (11×11×12.5cm)

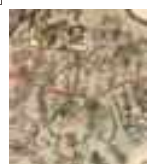
④ M54400**100**-859
岡田康次郎 棧切焼 手桶花入
11,000円(本体価格**10,000**円)
高さ23cm 木箱 (12.5×12.5×27.5cm)

⑤ M54686**120**-859
岡田康次郎 棧切焼 合掌花入
13,200円(本体価格**12,000**円)
高さ23cm 木箱 (14×14×30.7cm)



〈柴岡 宏和〉

柴岡秀泉の長男。幼少のより父の作陶する姿を見て、陶芸家を志す。九州東海大学(現東海大学)を卒業後、備前陶芸センターに入り陶芸を基礎から学ぶ。2002年から父のもとで陶技を磨き、作陶生活に入る。



日本奥地路程全図 (抜粋-Wikipedia Commons)



M54795**100**-859
柴岡宏和 棧切焼 組杯
11,000円(本体価格**10,000**円)
径9×8.5cm (200ml)
木箱 (11.8×22×12.2cm) ●



M54993**500**-859
柴岡宏和 棧切焼 フリーカップ
5,500円(本体価格**5,000**円)
径8×11.5cm (250ml)
化粧箱 (13.7×9.7×9.7cm) ●



M54994**120**-859
柴岡宏和 棧切焼 花入
13,200円(本体価格**12,000**円)
径11×19.5cm
桐箱 (13.5×13.5×23.5cm)

柴岡宏和 (備前焼) ① (8801) 土



〈鈴木 美基〉

花器、酒器、食器、茶陶を主に制作。粗土を用いて、面取りや塗り土の技法を加えて成形する。焼成に最もこだわり、登り窯や角窯、ガス窯を作品によって使い分け、青備前白泥紋での柄・模様、焼けも研究している。



⑫

⑪



カット

M54991**350**-859 鈴木美基 焼変りトリオ小皿
3,850円(本体価格**3,500**円)
径12×2cm 化粧箱 (13×13×5.2cm)

⑪ M54791**150**-859
鈴木美基 荒土石はぜ 面取り徳利
16,500円(本体価格**15,000**円)
径8×12cm (200ml) 桐箱 (11.5×11.5×15.5cm)

⑫ M54792**800**-859
鈴木美基 荒土石はぜ 面取りぐい呑
8,800円(本体価格**8,000**円)
径6.5×5cm (60ml) 桐箱 (9.2×9.2×9cm) ●



M54992**100**-859
鈴木美基 組湯呑
11,000円(本体価格**10,000**円)
径8.5×8.7cm (200ml)
木箱 (10×21×11.5cm)



⑨



⑩

⑨ M54790**600**-859
鈴木美基 荒土石はぜ フリーカップ
6,600円(本体価格**6,000**円)
径8.5×9cm (230ml)
化粧箱 (10×10×11cm)

⑩ M54789**900**-859
鈴木美基 青備前 フリーカップ
9,900円(本体価格**9,000**円)
径8×11cm (220ml)
化粧箱 (15×10×10.3cm) ●

鈴木美基 (備前焼) ① (8801) 土

●手作りものは、サイズや風合いに違いがある場合があります(納期には一ヶ月程かかる場合がありますので、ご注文の際には必ず納期確認をお願い致します)。

備前焼 (陶峰窯 とうほうがま)



棧切(さんざり)
灰や燻き(オキ)に接触した部分だけが強還元焼成になり、色変りの発色をしている部分を「自然棧切」と言います。また、窯の焼きあがりの時に、作品の周りに炭を投入し、炭の強還元炎と一酸化炭素による還元によって、部分的に白～青～黄とコントラストの強い色変りの景色を生み出す手法を棧切と言います。



M50212300-860
陶峰窯 火だすき フリーカップ
3,300円(本体価格3,000円)
径9×10.5cm (約310ml)
紙箱 (10.5×10.5×11.5cm)



M50207450-860
陶峰窯 棧切焼 湯呑
4,950円(本体価格4,500円)
径8×10cm (約320ml)
紙箱 (10.5×10.5×11.5cm) ●



M50553500-860
陶峰窯 棧切焼 焼耐カップ
5,500円(本体価格5,000円)
径8.5×8cm (約350ml)
紙箱 (10.5×10.5×11.5cm) ●



M50211550-860 陶峰窯 棧切焼 フリーカップ
6,050円(本体価格5,500円)
径9×10.5cm (約310ml) 紙箱 (10.5×10.5×11.5cm) ●

今の土版とはほぼ同じ形状をした注口土器が縄文時代に生まれ全国に広がりましたが、弥生化が進むにつれ、消えていきます。お茶というよりお酒のためのようで、祭祀的な意味合いが指摘されています。その後の喫茶は、18世紀に永谷宗円が青煎製茶製法を開発したことにより現在の煎茶の製法が確立・普及し、山本嘉兵衛が江戸で煎茶の商業的成功に至ったことにより、急須で出せる茶(「だし茶」)が現在の日本茶の主流になるまで、平安期・鎌倉期に茶種の請来が修行僧により中国からもたらされるも、茶釜なり、茶籠での湯沸しで急須は有りませんでした(=急須を使わない喫茶は「茶の湯」として大成します)。特に日本では床座が主ですから、後手より横手の急須が一般化していきました。



M55251650-860
陶峰窯 火だすき ピアジョッキ
7,150円(本体価格6,500円)
9×11.5cm (約440ml)
紙箱 (14.5×14.5×10.5cm)



M50558100-860
陶峰窯 棧切焼 湯呑(特)
11,000円(本体価格10,000円)
径7.5×10cm (約300ml)
木箱 (10.5×10.5×13cm) ●



M50199100-860
陶峰窯 棧切焼 組湯呑
11,000円(本体価格10,000円)
大径7×9.5cm (約260ml) 小径6.5×9cm (約200ml)
木箱 (18.5×10×13.5cm) ●



M50213180-860⁸³⁵
陶峰窯 棧切焼 急須
19,800円(本体価格18,000円)
約290ml 紙箱 (16×16×11cm) ●



Hit!
M55253650-860
陶峰窯 棧切焼 マグカップ
7,150円(本体価格6,500円)
8×9.5cm (約285ml)
紙箱 (10.5×10.5×11.5cm) ●



M55294120-860
陶峰窯 棧切焼 酒器揃
13,200円(本体価格12,000円)
8.5×13.5cm (約420ml) 6×4.5cm (約65ml)
木箱 (12.2×12.2×19cm)



胡麻焼

松割木の灰が焼成中に作品に付着し、胡麻をふりかけたような状態になったものをいいます。作品の多くは、灰が多くかかる棚の上に置かれ、降りかかった灰が熱で溶けて流れた状態のものを「玉だれ」といいます。今では、自然胡麻の他に人為的に胡麻を出すために灰を焼成前に作品に付けて焼くこともできるようになりました。



M50196250-860
陶峰窯 胡麻焼 フリーカップ
2,750円(本体価格2,500円)
径9×10.5cm (約310ml)
紙箱 (10.5×10.5×11.5cm) ●



M50195550-860
陶峰窯 胡麻焼 組湯呑
6,050円(本体価格5,500円)
大径7×9.5cm (約260ml) 小径6.5×9cm (約200ml)
木箱 (18.5×10×13.5cm) ●



S38912550-860⁸³⁴
陶峰窯 胡麻焼 飯碗
6,050円(本体価格5,500円)
13×7cm 紙箱 (14.5×14.5×10.5cm)

陶峰窯(備前焼) ① (3701)



M55371150-860
陶峰窯 棧切焼 三角耳付花瓶
16,500円(本体価格15,000円)
径10.5×22.5cm
木箱 (13×13×25.5cm)

陶峰窯(備前焼) ① (3701)

備前焼のご紹介
備前焼ができるまで



備前焼陶友会

土 陶器製(土もの)の食器です。



備前陶器窯跡「伊部南大窯」(L.323)



奥田誠一編「陶器大学」座右寶刊行会
(昭和24年初版)より陶彩文庫蔵(L.377)

「手づくり」と「手描き」について

「手づくり」の基準設定について

陶磁器では、一部で「手づくり」や「手描き」といった表現を使った商品があります。それぞれ文字通り「手仕事で作った/描いた」という意味ですが、例えば「転写で絵付けした後、手で一筆入れたから手描き」というような理屈が通らないよう、それぞれの呼称に以下の基準を定めました。

呼称の基準

「手づくり」の基準

- 生地(素地)の成形
- 手仕事でロクロを成形している
- タタラ手起こし成形している
- 手びねり成形している
- 手仕事でヒモ作り成形している
- 型当成形に手技を加えている

装飾加工

- 生地(素地)の成形
- 手仕事で面取り(ソギ・シノギ)をしている
- 手仕事で線彫りをしている
- 手仕事で透かし彫りをしている
- 手仕事で彫刻(陽刻、陰刻)をしている

「手描き」の基準

絵付け ●下絵、上絵に関わらず手仕事ですべての絵付けをしたもの

彫刻 ●手仕事で彫刻(陽刻、陰刻)をしている



やきもの総合サイト
(やきものハンドブック)

日本陶磁器卸商業協同組合連合会「やきものハンドブック」2020年4月発行

●手作りのものは、サイズや風合いに違いがある場合があります(納期には一ヶ月程かかる場合がありますので、ご注文の際には必ず納期確認をお願い致します。)

7月20日は、信楽町「愛宕神社(陶器神社)」にて日常生活に欠かせない「火」への感謝を込めて「火まつり」が行われます。

萩焼 (庄圭一郎)



七代兼田左衛門に師事。1993年より萩陶苑にて作陶。粉引や御手、かいらぎなどの萩焼らしい色合いを中心に、表面に技法を凝らしたり、大胆なるくろ目を取り入れたりと、デザイン性豊かな作品を作り続けている。



M54565500-861⁸¹⁶ **カット**
庄圭一郎 角皿かいらぎ
5,500円(本体価格5,000円)
19.5×22.5×3.5cm
木箱(24×26.5×6cm) 梱16入

M54566100-861⁸⁴³ **カット**
庄圭一郎 白萩総組湯呑
11,000円(本体価格10,000円)
大8×9cm(240ml)
小7×8.5cm(220ml)
木箱(13×21×12.5cm) 梱16入

M54872500-861 **カット**
庄圭一郎 昇輪花生
5,500円(本体価格5,000円)
12×23.5cm 化粧箱(29×13.5×12.5cm)

庄圭一郎(萩焼) ①(3805) 土

萩焼 (椿秀窯 ちんしゅうがま)

M54316400-861
椿秀窯 姫土 汲み出し揃
4,400円(本体価格4,000円)
8×5.5cm(130ml)
木箱(11.5×23×11.5cm)

M54328500-861
椿秀窯 姫土 茶の間揃
5,500円(本体価格5,000円)
ポット10.5×10cm(400ml)
碗8×7cm(200ml)
化粧箱(21.5×21.5×10.5cm)

M54396150-861 椿秀窯 萩むらさき 茶器揃
16,500円(本体価格15,000円)
急須径11×10.4cm(420ml) 碗径8×6.5cm(150ml)
木箱(24×20×15.5cm) **Hit!**

M55218300-861
椿秀窯 リズム ペアカップ
3,300円(本体価格3,000円)
8.5×11cm(280ml)
化粧箱(14×20×10cm)

M54876350-861
椿秀窯 リズム 飯茶碗ペア
3,850円(本体価格3,500円)
12×6.5cm
化粧箱(14.5×24.5×9.5cm)



M55215350-861
椿秀窯 つぼみ 茶碗ペア
3,850円(本体価格3,500円)
11.5×6cm 化粧箱(15×15×10cm)

M55216300-861
椿秀窯 つぼみ フリーカップペア
3,300円(本体価格3,000円)
8×11cm(240ml)
化粧箱(14×20×10cm)

M55217350-861⁸¹⁶
椿秀窯 つぼみ 盛鉢
3,850円(本体価格3,500円)
20×18.5×7cm
化粧箱(21.5×21.5×10.5cm)

M54375400-861
椿秀窯 萩の雫 フリーカップペア
4,400円(本体価格4,000円)
径8.5×10cm(280ml)
紙箱(14×20×9.5cm)

M54315600-861 **カット**
椿秀窯 白釉 組湯呑
6,600円(本体価格6,000円)
大8.5×9cm(310ml)
小7.5×8cm(240ml)
木箱(12×20×10.5cm)

M54879450-861
椿秀窯 萩むらさき 汲出揃
4,950円(本体価格4,500円)
8×5cm(130ml)
木箱(11.5×23×11.5cm)

M54875350-861 椿秀窯 萩むらさき 組飯碗
3,850円(本体価格3,500円) **Hit!**
大12.5×6.5cm 小12×6cm 化粧箱(15×15×10cm)

S38694175-861 椿秀窯 萩むらさき 飯碗(大)
S38695175-861 椿秀窯 萩むらさき 飯碗(小) ●
各 1,925円(本体価格1,750円)
白箱(14.5×14.5×7.5cm)

M54885400-861
椿秀窯 萩むらさき お預け酒器
4,400円(本体価格4,000円) **Hit!**
徳利8×12cm(300ml) 小さい呑5.5×5cm(70ml)
化粧箱(14×20×10cm)

M54881350-861 椿秀窯 萩むらさき 組湯呑
3,850円(本体価格3,500円)
大8×9cm(270ml) 小7×8cm(210ml) 化粧箱 ●

S38692175-861
椿秀窯 萩むらさき 湯呑(大) ●
S38693175-861
椿秀窯 萩むらさき 湯呑(小)
各 1,925円(本体価格1,750円)
折箱(7.5×7.5×9cm)



M50525600-861
椿秀窯 清月 花生(花台付)
6,600円(本体価格6,000円)
8.5×24.5cm
化粧箱(29×13.5×12.5cm) ●

M54397350-861 **カット**
椿秀窯 花あそび 紫花生(花台付)
3,850円(本体価格3,500円)
9×高さ31cm
化粧箱(34×12×11.5cm)

椿秀窯(萩焼) ①(3805) 土

●イメージ撮影したシーン画像には撮影用道具も含まれております。

萩焼 〈光彩庵 こうさいあん〉



山根 清玩

長年の鍛錬が開花した“清玩ブルー”で土に命を与える作陶を目指しています。



M54563**600**-862
清玩 青萩 ペアカップ
6,600円(本体価格**6,000**円)
8.5×8.5cm (300ml)
化粧箱 (14×20×10cm) ●



Hit!

M54190**110**-862⁸⁴³ 清玩 青萩 冷酒器揃
12,100円(本体価格**11,000**円)
注器14×8×12.5cm (550ml) 盃7×6.5cm (120ml)
木箱 (16×24×12cm) ●



M54880**150**-862 **カット**
清玩 青萩 湯呑揃
16,500円(本体価格**15,000**円) ●
径10.5×7.5cm (350ml) 木箱 (35.3×18.5×12.5cm)



① M54883**450**-862
清玩 青萩 ハート鉢
4,950円(本体価格**4,500**円)
19.5×18.5×7.5cm
化粧箱 (21.5×21.5×10.5cm)

② M54884**500**-862 **カット**
清玩 ハート中鉢ペア
5,500円(本体価格**5,000**円)
13.5×13×6.5cm
化粧箱 (30.5×16.5×10cm)



M54412**800**-862 **Hit!**
清玩 青萩 組湯呑
8,800円(本体価格**8,000**円)
大径8.5×10cm (300ml)
小径8×9cm (230ml)
木箱 (12×20×10.5cm) ●

M54189**650**-862 **Hit!**
清玩 青萩 組飯碗
7,150円(本体価格**6,500**円)
大径13×7cm 小径11.5×6.5cm
化粧箱 (18.5×34.5×10cm) ●



カット
M54187**250**-862 清玩 青萩 楕円皿
2,750円(本体価格**2,500**円)
15×25×3cm 化粧箱 (32×17.5×6cm)



カット
M54188**350**-862
清玩 藍流 楕円鉢
3,850円(本体価格**3,500**円)
17×19×7.3cm
化粧箱 (21.5×21.5×10.5cm)



M55212**120**-862 清玩 藍流 ペア珈琲碗皿
13,200円(本体価格**12,000**円)
碗8.5×6.5cm (220ml) 皿15.5●×3cm
木箱 (18×35.5×11.5cm)

M54394**600**-862⁸²⁵ 清玩 藍流 珈琲碗皿
6,600円(本体価格**6,000**円) **Hit!** ●
紙箱 ①



S38171**400**-862⁸⁴³ **Hit!**
光彩庵 流紋 湯呑
4,400円(本体価格**4,000**円)
径8.5×9cm (300ml)
木箱 (13×11×10.5cm) ●



カット

M54882**500**-862
清玩 三彩 組湯呑
5,500円(本体価格**5,000**円)
大径8.5×10cm (300ml)
小径8×9cm (230ml)
木箱 (12×20×10.5cm) ●



M50524**100**-862
清玩 三彩 花瓶 **カット**
11,000円
(本体価格**10,000**円)
21×22.3cm 木箱 (26×26×26cm)



M54870**500**-862
清玩 白釉木の葉皿揃
5,500円(本体価格**5,000**円)
11×2.5cm 化粧箱 (14×14×9cm) **カット**



Hit! カット

M54185**150**-862 清玩 萩だるま 小茶器揃
16,500円(本体価格**15,000**円)
急須10.5×12cm (470ml) (茶こし胴体一体型)
湯呑径7.5×7cm (180ml) 木箱 (24×20×12.5cm) ●

清玩 (萩焼) ① (3805) 土



〈光彩庵〉
陶彩「リファイン」
蒼軸わたつみ

③ H16162**350**-862 **カット**
陶彩「リファイン」
蒼軸わたつみ ペアフリーカップ
3,850円(本体価格**3,500**円)
8.5×12cm (350ml)
化粧箱 (14×20×9.5cm) ●

④ H16161**350**-862
陶彩「リファイン」
蒼軸わたつみ 組飯碗
3,850円(本体価格**3,500**円)
大11.4×5.6cm 小10.5×5.2cm
化粧箱 (15×15×10cm) ●

⑤ H16160**350**-862
陶彩「リファイン」
蒼軸わたつみ 組湯呑
3,850円(本体価格**3,500**円)
大7.7×8.8cm (250ml) 小7.2×8cm (210ml)
化粧箱 (12×18×9cm) ●



M54186**450**-862
陶彩「リファイン」
蒼軸わたつみ 楕円プレート
4,950円(本体価格**4,500**円)
18×30×4cm 化粧箱 (21×34×6cm)



M54871**550**-862⁸⁰⁶
陶彩「リファイン」 蒼軸わたつみ 豆皿揃
6,050円(本体価格**5,500**円)
9.5×2cm 化粧箱 (14×14×9cm)



M55211**130**-862
陶彩「リファイン」
蒼軸わたつみ お預け酒器
14,300円(本体価格**13,000**円) ●
徳利9×13cm (380ml) 盃6.5×5cm (80ml)
木箱 (20×17×12.4cm)



M54437**600**-862
陶彩「リファイン」
蒼軸わたつみ ゆらぎ鉢
6,600円(本体価格**6,000**円)
鉢径21.5×7.2cm
化粧箱 (24.5×24.5×10cm)

Voice! 光彩庵 陶彩「リファイン」 蒼軸わたつみ (萩焼) ① (3805) 土

●手作りものですので、サイズや風合いに違いがでる場合があります(納期に一ヶ月程かかる場合があります)。 ●すべて運物にも使える **お箱** 入りです。

7月23日は、大阪、坐摩神社・火防陶器神社で「茶碗供養祭」があります。



萩焼 (天龍窯 てんりゅうがま)



原 節夫
Setsuo Hara
約40年間に渡り、陶芸家として活動する中、萩焼の特長でもある素朴で、柔らかな色合いをテーマに、手にしっくりと馴染む、うつわ造りに作陶活動を続けている。

1978年 九州山口陶芸展...入選
1982年 山口県美術展...入選
1983年 明治神宮 抹茶茶碗奉獻
1992年 萩市美術展教育長賞受賞



M55243100-863
原節夫 白萩 花入
11,000円
(本体価格10,000円)
径12×23.5cm
木箱 (28×17×17cm)

原節夫 (萩焼) ① (3806) 土



S38425250-863
原節夫 白萩 湯呑
2,750円(本体価格2,500円)
径8×9.5cm (250ml)
木箱 (12×9.5×9.5cm)



M54335100-863 Hit!
原節夫 白萩 夫婦湯呑
11,000円(本体価格10,000円)
大径8×10cm (300ml)
小径7×9cm (250ml)
木箱 (12×20×10.5cm) ●



M54337100-863
原節夫 白萩 汲出し揃
11,000円(本体価格10,000円)
径10.5×7.5cm (250ml)
木箱 (33×13.5×13cm)



M55241300-863
原節夫 萩枇杷 湯呑
3,300円(本体価格3,000円)
径8×9.5cm (250ml)
木箱 (12×9.5×9.5cm)

萩焼 (天龍窯 てんりゅうがま)



M54801500-863
天龍窯 萩藍珈琲器2客
5,500円(本体価格5,000円)
カップ径7.5×6.5cm (200ml)
皿径15.5×2cm
化粧箱 (16.5×32.5×10cm) ●



M55230300-863
天龍窯 萩藍 ペアカップ
3,300円(本体価格3,000円)
径9×9cm (250ml)
化粧箱 (13×21×11cm)



M55231400-863
天龍窯 萩藍 組飯碗
4,400円(本体価格4,000円)
径12.5×7.5cm
化粧箱 (16.5×16.5×10cm)



M55229300-863
天龍窯 萩藍 ペア花鉢
3,300円(本体価格3,000円)
径14×5cm 化粧箱 (16.5×16.5×10cm)



M55357300-863
天龍窯 萩紫 ペア小どんぶり
3,300円(本体価格3,000円)
径13×7.5cm
化粧箱 (15.5×29×10cm)



M54332250-863
天龍窯 萩紫 夫婦湯呑
2,750円(本体価格2,500円)
大径8×9cm (250ml)
小径7.5×8cm (200ml)
木箱 (12×19×10.5cm)



M54336500-863
天龍窯 萩紫 汲出し揃
5,500円(本体価格5,000円)
径8×6.5cm (200ml)
木箱 (17×34×12cm)



M54338500-863
天龍窯 御本手 お預け酒器
5,500円(本体価格5,000円)
徳利径8.5×12cm (350ml)
ぐい呑径6.5×5.5cm (100ml)
木箱 (16.5×20×12.5cm) ●



M54329500-863 天龍窯 茶こし付茶器揃
5,500円(本体価格5,000円)
急須径11×9.5cm (400ml) 碗径8×5.5cm (120ml)
木箱 (26×20×10.5cm)

M55358500-863
天龍窯 銀彩 つる首花入
5,500円
(本体価格5,000円)
径8.5×23cm
木箱 (27.5×10.5×10cm)



M55228800-863
天龍窯 萩紫 花入
8,800円
(本体価格8,000円)
径10.5×25cm
木箱 (28.5×14×13.5cm)



M54349500-863
天龍窯 白萩 カスラ付花入
5,500円
(本体価格5,000円)
径8.5×カスラ含む高さ28cm
木箱 (31.5×12.5×12cm)



M54802100-863
天龍窯 御本手花瓶
11,000円
(本体価格10,000円)
径20×23cm
木箱 (24.5×24.5×28cm)



M55348350-863
天龍窯 御本手 汲出し揃
3,850円(本体価格3,500円)
径9×5.5cm (150ml)
化粧箱 (18.5×11.5×10cm)



M55349500-863
天龍窯 御本手 たわみ鉢
5,500円(本体価格5,000円)
径21×6.5cm
化粧箱 (25×28×10cm)



M55350400-863
天龍窯 御本手 夫婦湯呑
4,400円(本体価格4,000円)
大径8×9cm (250ml)
小径7.5×8.5cm (200ml)
木箱 (12×19×10.5cm)



M55351500-863
原節夫 御本手 夫婦湯呑
5,500円(本体価格5,000円)
大径8×9cm (250ml)
小径7.5×8.5cm (200ml)
木箱 (12×19×10.5cm)



萩焼 (英中韓語)

天龍窯 (萩焼) ① (3806) 土

●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。

萩焼 (天龍窯 てんりゅうがま)



M55236300-864
天龍窯 ガラス釉 ソライロ鉢 ●
M55237300-864
天龍窯 ガラス釉 モモイロ鉢
各 3,300円 (本体価格3,000円)
径20.5×5cm 化粧箱 (23×22×6.5cm)



M55329400-864
天龍窯ガラス釉 ソライロ夫婦茶碗
4,400円 (本体価格4,000円)
大径12×7cm 小径11.5×6.5cm
化粧箱 (16.5×16.5×10cm)



M55338400-864
天龍窯ガラス釉 モモイロ夫婦茶碗
4,400円 (本体価格4,000円)
大径12×7cm 小径11.5×6.5cm
化粧箱 (16.5×16.5×10cm)



M55328400-864
天龍窯ガラス釉 ソライロ花鉢
4,400円 (本体価格4,000円)
径22.5×5.5cm
化粧箱 (24.5×24.5×6.5cm)



M55326500-864
天龍窯ガラス釉 ソライロ小鉢揃
5,500円 (本体価格5,000円)
径12×5.5cm
化粧箱 (15.5×29×10cm) ●



M55336500-864
天龍窯ガラス釉 モモイロ小鉢揃
5,500円 (本体価格5,000円)
径12×5.5cm
化粧箱 (15.5×29×10cm)



M55327800-864
天龍窯ガラス釉 ソライロ茶器揃
8,800円 (本体価格8,000円)
急須径10.5×8.5cm (280ml)
碗径7×5.5cm (100ml) ●
木箱 (26×20×10.5cm) 茶こしアミ付き



M55337800-864
天龍窯ガラス釉 モモイロ茶器揃
8,800円 (本体価格8,000円)
急須径10.5×8.5cm (280ml)
碗径7×5.5cm (100ml)
木箱 (26×20×10.5cm) 茶こしアミ付き



M55330300-864
天龍窯ガラス釉 ソライロペアカップ
3,300円 (本体価格3,000円)
径8×11.5cm (250ml)
化粧箱 (13.5×18×8.5cm)



M55339300-864
天龍窯ガラス釉 モモイロペアカップ
3,300円 (本体価格3,000円)
径8×11.5cm (250ml)
化粧箱 (13.5×18×8.5cm)



M55331350-864
天龍窯ガラス釉 ソライロペアカップ
3,850円 (本体価格3,500円)
径9×10.5cm (300ml)
化粧箱 (13×21×11cm)



M55340350-864
天龍窯ガラス釉 モモイロペアカップ
3,850円 (本体価格3,500円)
径9×10.5cm (300ml)
化粧箱 (13×21×11cm)



M55332500-864
天龍窯ガラス釉 ソライロペア珈琲
5,500円 (本体価格5,000円)
碗径7.5×6.5cm (200ml) 皿径14.5×2cm
化粧箱 (16.5×32.5×10cm) ●



M55341500-864
天龍窯ガラス釉 モモイロペア珈琲
5,500円 (本体価格5,000円)
碗径7.5×6.5cm (200ml) 皿径14.5×2cm
化粧箱 (16.5×32.5×10cm)



M55333300-864
天龍窯ガラス釉 ソライロペア小鉢
3,300円 (本体価格3,000円)
径13.5×5cm
化粧箱 (16.5×16.5×10cm)



M55342300-864
天龍窯ガラス釉 モモイロペア小鉢
3,300円 (本体価格3,000円)
径13.5×5cm
化粧箱 (16.5×16.5×10cm)



M55334350-864
天龍窯ガラス釉 ソライロペアたわみ鉢
3,850円 (本体価格3,500円)
14.5×15.5×6cm
化粧箱 (17.5×17.5×10.5cm)



M55343350-864
天龍窯ガラス釉 モモイロペアたわみ鉢
3,850円 (本体価格3,500円)
14.5×15.5×6cm
化粧箱 (17.5×17.5×10.5cm)



天龍窯ガラス釉
① S38796200-864 ソライロ飯茶碗
② S38797200-864 モモイロ飯茶碗
各 2,200円 (本体価格2,000円) **Hi!**
11.5×6.5cm ●

天龍窯ガラス釉
③ S38798250-864 ソライロマグカップ
④ S38799250-864 モモイロマグカップ
各 2,750円
(本体価格2,500円)
9×7.5cm (250ml)



M55335300-864
天龍窯ガラス釉 ソライロマグカップ
3,300円 (本体価格3,000円)
径8×8cm (250ml)
紙箱 (9.5×9.5×10cm)



M55344300-864
天龍窯ガラス釉 モモイロマグカップ
3,300円 (本体価格3,000円)
径8×8cm (250ml)
紙箱 (9.5×9.5×10cm)

天龍窯ガラス釉
⑤ S38800150-864 ソライロカップ
⑥ S38801150-864⁸³⁷ モモイロカップ
各 1,650円 (本体価格1,500円)
8×11.5cm (250ml)

天龍窯 ガラス釉 (萩焼) ① (3806) 土

●手作りのものですので、サイズや風合いに違いがある場合があります (納期に一ヶ月程かかる場合があります)。 ●すべて進物にも使える **お箱** 入りです。



萩焼特有の陶土感と釉薬を使いつつ、上澄に見える綺麗なガラス層、色ガラスの粉末を釉薬にしたガラス釉の色合いが、キラキラと輝く仕上がりです。ソライロはすっきりと、モモイロはやさしく美味しく感じた食べ物に彩られます。古くから「一楽二萩三唐津」と謳われ茶人好みである萩焼の特徴は、手に持ったときの味わい深さや柔らかさを出すその焼き締まりの少ない陶土と、それに混ぜる釉薬の具合によって生じる「貫入」で釉薬が焼成とともに溶け、温度が冷め固まることによってひ割れた状態が、さらに使い込むことによって色素が滲み、色の変化が生じ、これを「萩の七変化」と申します。



萩坂窯 (L.324)



萩焼:深川古窯跡群(左1号・右3号跡) (L.324)



陶邑古窯 (L.339)



牛頭古窯 (L.339)



猿投古窯 (L.317)



湿美古窯 (L.339)

京焼・清水焼 (陶葺窯 とうあんがま)

創業から四代目の当主、当代土測 陶葺は、華やかで独創的な器を次々と生み出し、今の生活に求められるあらゆる器を創りだしています。また、自然のもの、特に草花をモチーフにした作品が得意。昨今は生活をより豊かにするインテリアの商品も意欲的に手がけています。



京焼・清水焼
陶葺窯



facebook



Hit!

M54244800-865

陶葺窯 花結晶(緑・茶) 組湯呑

8,800円(本体価格8,000円)

大径8×9.5cm (270ml) 紙箱 (18.5×11×9cm) ●



M54240200-865

陶葺窯 花結晶 お茶呑茶碗

22,000円(本体価格20,000円)

径9×7cm (260ml) 紙箱 (23.5×23.5×10.5cm) ●



M50010200-865

陶葺窯 白掛雲錦 組湯呑

22,000円(本体価格20,000円)

径7.2×9cm (250ml) 木箱 (18.5×12×10cm)



M50564280-865

陶葺窯 花移ろい 組湯呑

30,800円(本体価格28,000円)

径8×9.5cm (270ml) 木箱 (18.5×12×10cm) ●



Hit!

M54245800-865

陶葺窯 花結晶(緑・茶) 組飯碗

8,800円(本体価格8,000円)

大径11.5×6cm 紙箱 (26×14.5×8cm) ●



M54241150-865

陶葺窯 花結晶 銘々皿揃

16,500円(本体価格15,000円)

径12.5×2cm 紙箱 (14.5×14.5×7.5cm)



M50011240-865

陶葺窯 白掛雲錦 組飯碗

26,400円(本体価格24,000円)

径12.5×6cm 紙箱 (28×14×8cm)



M50563280-865

陶葺窯 花移ろい 組飯碗

30,800円(本体価格28,000円)

径12×6cm 紙箱 (27.5×14.5×8cm)

陶葺窯 (京焼・清水焼) ① (◆3105) 土

京焼・清水焼 (陶化窯 とうかかま)



M54497430-865

陶化窯 おりべ 手付珍味入

4,730円(本体価格4,300円)

16×9×8cm



M54494130-865

陶化窯 おりべ そば猪口揃

14,300円(本体価格13,000円)

径8.5×8cm (210ml)



M54495360-865

陶化窯 おりべ だし入

3,960円(本体価格3,600円)

径8.5×10.5cm (320ml)

お喰い初め膳は、雛膳にも使えます。

家庭画報 連載:菊乃井 村田吉弘氏「日本のこころ、和食のこころ (三月 お雛さん)」には、「季節の感動を表現するのが日本料理の根幹です。お雛さんの時期だからと、雛をかたどった器に盛るのは、いかんとはいませんが、やはりちょっとやばいたい。うちでは三月の料理に、ふきのとうの素揚げにちよつと味噌を添えてお出しします。蓋を開けたときふわりと春の香りが立ち上る。これだけでお客さんの頭の中に春の幸福なイメージが浮かぶんです。行事や節句は季節と切り離せないと同様、地方性とも密接に結びついています。京都では雛膳に欠かせないのがしじみ、白魚、菜の花、柳がよい。京都は琵琶湖が近く瀬田のしじみが手に入りやすかつたんかなと思いますね。柳がよいもやはり、若狭から届いたのでしょう。」雛膳レシビ:御飯/姫ちらし 汁/白味噌仕立て、蓬葱、溶き辛子 焼物/姫かれい、花れんこん 炊合/若筍煮、蒟、木の芽 和物/



M54612750-865

陶化窯 おりべ 七寸鉢

8,250円(本体価格7,500円)

21×21×6.5cm



M54498360-865 陶化窯 おりべ 八寸長角皿

3,960円(本体価格3,600円)

24×12.5×2.5cm

(京焼・清水焼) 紙箱 ① (◆3105) 土



M54361380-865

光抱窯 すこやか(男の子)

お食初めセット

41,800円

(本体価格38,000円)

(京焼・清水焼)

台26×26×6cm

紙箱 (30×30×15cm)

① (◆3105)



①



②

① M54102840-865 花月窯 富士・凱風快晴 抹茶碗

径12.5×7.5cm (435ml) 化粧箱 (14.3×14.3×10.8cm)

梱18入 9,240円(本体価格8,400円)

② M54101810-865 花月窯 富士(浪裏) 一ヶ湯呑

径8×11cm (275ml) 化粧箱 (11.5×8.5×8.2cm) 梱40入

8,910円(本体価格8,100円)

(京焼・清水焼) ① (◆3105)



M54103300-865

俊山窯 富士・凱風快晴 陶額

33,000円(本体価格30,000円)

(京焼・清水焼) 縦36×横46cm

ダンボール (49.5×37.5×4.3cm)

① (◆3105)



富士山
(英中韓語)

●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。

〈昇峰窯 しょうほうがま〉

京焼の磁器の祖である奥田瀬川や、その弟子の青木木米が得意とした交趾釉。昇峰窯はそんな伝統的な流れを受け継いで、鮮やかな交趾釉の器を制作しています。



M50566160-866 **カット**
昇峰窯 黄交趾ふくろう 組飯碗
17,600円(本体価格16,000円)
(京焼・清水焼) 大 12×5.5cm 小 11.5×5cm
紙箱 (26×14.5×8cm) ① (◆3105)

M50567150-866 **カット**
昇峰窯 黄交趾ふくろう 組湯呑
16,500円(本体価格15,000円)
(京焼・清水焼) 大 8×8cm (240ml) 小 7.5×7.5cm (200ml)
木箱 (18.5×12×10cm) ① (◆3105)

〈清泉窯 せいせんがま〉

初代清泉に師事の後に窯を継承。三島手、御本手、透し彫を得意とし、シャープな中にもあたたかみのある作品に仕上がっています。

近藤 清泉



M50019800-866 清泉窯 萩がさね 組飯碗
8,800円(本体価格8,000円) 13×6cm 紙箱 (26×14.5×10cm)

M50020750-866 清泉窯 萩がさね 組湯呑
8,250円(本体価格7,500円) 7.5×8.5cm (260ml) 紙箱 (18.5×11×9cm) ●

M55154155-866 清泉窯 萩がさね 睦揃
17,050円(本体価格15,500円)
碗大 13×6cm 小 12×5cm 湯呑大 7.5×8.5cm (260ml) 小 7×8cm (220ml)
紙箱 (22×26.5×9cm)

S38080400-866829 清泉窯 萩がさね 飯碗(小) 12×5cm ●
S38767400-866814 清泉窯 萩がさね 飯碗(大) 13×6cm
各 4,400円(本体価格4,000円) 紙箱 (13×13×7cm)

S38654375-866 清泉窯 萩がさね 湯呑(大) 7.5×8.5cm (260ml)
S38191375-866837 清泉窯 萩がさね 湯呑(小) 7×8cm (220ml)
各 4,125円(本体価格3,750円) 紙箱 (11.5×9×8.5cm)

清泉窯(京焼・清水焼) ① (◆3105) 土

船原 圭司



〈圭司窯 けいじがま〉

父昌久に師事、温かい風合いのある生地に三島や瀟洒な絵付けで上品な焼き物です。



M55409600-866 圭司窯 ことほぎ 組飯碗
6,600円(本体価格6,000円)
(京焼・清水焼) 大径 12×6.5cm 径小 11.5×6cm
紙箱 ① (◆3105)

M55408500-866 圭司窯 ことほぎ 組湯呑
5,500円(本体価格5,000円)
(京焼・清水焼) 大径 7.5×9cm (200ml)
小径 7×8.5cm (150ml) 紙箱 ① (◆3105)

●手作りのものですので、サイズや風合いに違いがある場合があります(納期に一ヶ月程かかる場合があります)。 ●すべて進物にも使えるお箱入りです。

〈光抱窯 こうほうがま〉

倉元 真佐夫

伝統的な染付を得意とし、山水絵、四君子絵、松竹梅絵等の焼物を製作しています。又祥瑞絵もよくこなし好評を博しています。

「かより」は、絵付けに西洋的な色合いやモチーフを大胆に取り入れて、京焼・清水焼の新しい愉しみ方を提案しました。新鮮な京の華やかさをお楽しみください。



T94999300-866 **カット**
かより 金彩七宝丸紋 石瓶
33,000円(本体価格30,000円)
(京焼・清水焼) 17.5×13.5×17.5cm (600ml)
化粧箱 (17.5×17.5×10cm) ① (3104) ●

T95000700-866 **カット**
かより 金彩七宝丸紋 汲出し碗(大)
7,700円(本体価格7,000円)
(京焼・清水焼) 径9.5×6cm (200ml)
化粧箱 (12×12×8.5cm) ① (3104)

T95001700-866 **カット**
かより 金彩七宝丸紋 湯呑
7,700円(本体価格7,000円)
(京焼・清水焼) 径6.5×9cm (220ml)
化粧箱 (12.5×10×9cm) ① (3104) ●

T95002100-866 **カット**
かより 金彩七宝丸紋 マグ
11,000円(本体価格10,000円)
(京焼・清水焼) 11.5×8.5×8.5cm (330ml)
化粧箱 (13×11×10.5cm) ① (3104)

〈喜信窯 よしのぶがま〉

坂口三楽窯・小峠丹山窯において技法を学び、年義父河島浩三のもと宇治炭山芸村にて作陶に専念。土味を活かした柔らかい雰囲気で見深い。

河島 喜信



M55403720-866 喜信窯 志野更紗 組飯碗
7,920円(本体価格7,200円)
(京焼・清水焼) 大径 12×6.5cm 小径 11.5×6cm
紙箱 ① (◆3105)

M55402660-866 喜信窯 志野更紗 組湯呑
7,260円(本体価格6,600円)
(京焼・清水焼) 大径 7.5×9cm (220ml)
小径 7×8.5cm (170ml) 紙箱 ① (◆3105)



- ① S38069350-866827 河島喜信 花袖三島 飯碗 [Hit!]
② S38039350-866832 河島喜信 青袖三島 飯碗
各 3,850円(本体価格3,500円)
(京焼・清水焼) 11.5×5.5cm
紙箱 ① (3104) 土 ●
- ③ S38177350-866837 河島喜信 花袖三島 湯呑 ●
- ④ S38160350-866836 河島喜信 青袖三島 湯呑
各 3,850円(本体価格3,500円)
(京焼・清水焼) 7×8cm (200ml)
紙箱 ① (3104) 土
- ⑤ S38114400-866839 河島喜信 花袖三島 マグ
- ⑥ S38125400-866840 河島喜信 青袖三島 マグ
各 4,400円(本体価格4,000円)
(清水焼) 8.3×9cm (300ml)
化粧箱 ① (3104) 土
- ⑦ S38145700-866835 河島喜信 花袖三島 急須
- ⑧ S38144700-866835 河島喜信 青袖三島 急須
各 7,700円(本体価格7,000円)
(京焼・清水焼) 350ml 紙箱 ① (3104) 土

京焼・清水焼 〈壹楽窯 いちらくがま〉



山本 壹楽

二代目壹楽は、先代のもとで約10年間修業を重ね、平成2年壹楽窯を継承する。磁器を主とし、湯呑や酒器を中心に、京焼の伝統と機能性の一体化を目指し続けている。先代の作風を踏襲する、彫の上に重厚な染付を施した力強い作風を追求している。



M55411250-867

壹楽窯 彩花鳥 組飯碗
27,500円(本体価格25,000円)
(京焼・清水焼) 大径12×5.5cm 小径11.5×5cm
紙箱 (◆3105)

M55410250-867

壹楽窯 彩花鳥 組湯呑
27,500円(本体価格25,000円)
(京焼・清水焼) 大径8×9cm 小径7×8cm
木箱 (◆3105)

京焼・清水焼

〈花月窯 かげつよう〉



花月窯 (京焼・清水焼) ① (◆3105)

〈賀峰窯 かほうがま〉



賀峰窯 (京焼・清水焼) ① (◆3105)

〈秀峰窯 しゅうほうがま〉



①

②

M55151130-867⁸³⁷

秀峰窯 花波唐草 ペアフリーカップ
14,300円(本体価格13,000円)
(京焼・清水焼) 8.5×8.5cm (260ml)
紙箱 ① (◆3105)

① S38181650-867⁸³⁷
秀峰窯 花波唐草(青) フリーカップ

② S38202650-867⁸³⁷
秀峰窯 花波唐草(紫) フリーカップ
各 7,150円(本体価格6,500円)
(京焼・清水焼) 紙箱 ① (◆3105)

M55152135-867 花月窯 櫛目印華 陸揃
14,850円(本体価格13,500円) 紙箱 (22×26.5×9cm)

S38650375-867 花月窯 櫛目印華 飯碗(大) **Hit!**
径12×6.5cm 紙箱 (13×13×7cm) ●

S38071375-867⁸²⁷ 花月窯 櫛目印華 飯碗(小)
径10.5×6 紙箱 (13×13×7cm) **Hit!** ●
各 4,125円(本体価格3,750円)

S38193300-867⁸³⁷ 花月窯 櫛目印華 湯呑(大)
径7.5×8.5cm (190ml) 紙箱 (11.5×9×8.5cm)

S38155300-867⁸³⁶ 花月窯 櫛目印華 湯呑(小)
径7×8cm (140ml) 紙箱 (11.5×9×8.5cm)
各 3,300円(本体価格3,000円) **Hit!** ●

〈花月窯〉原 花月
父より高麗時代から李朝にかけての茶陶技術を受け継ぎ、また、独自の新たな表現を見出す。



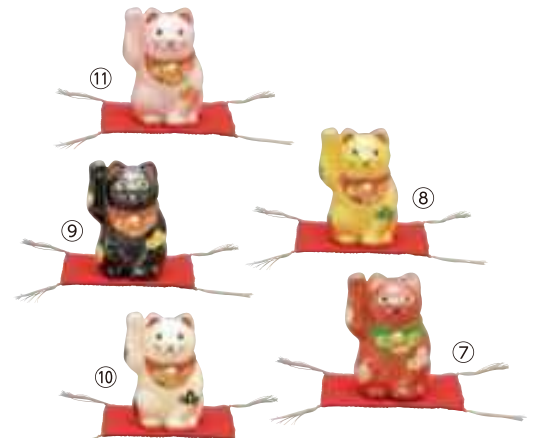
M55153270-867 賀峰窯 染赤濃吉祥 陸揃
29,700円(本体価格27,000円) 紙箱 (22×26.5×9cm)

S38653750-867 賀峰窯 染赤濃吉祥 飯碗(大)
径11.5×5.5cm 紙箱 (13×13×7cm)

S38522750-867⁸²⁷ 賀峰窯 赤濃吉祥 飯碗(小)
径11×5cm 紙箱 (13×13×7cm)
各 8,250円(本体価格7,500円)

S38651600-867 賀峰窯 染赤濃吉祥 湯呑(大)
径7×9cm (230ml) 紙箱 (11.5×9×8.5cm)

S38652600-867 賀峰窯 赤濃吉祥 湯呑(小)
径6.5×8.5cm (200ml) 紙箱 (11.5×9×8.5cm)
各 6,600円(本体価格6,000円)



⑪

⑨

⑩

M55150800-867⁸⁴⁰
花月窯 櫛目印華 ペアマグカップ
8,800円(本体価格8,000円)
(京焼・清水焼) 7.5×9cm (200ml)
紙箱 ① (◆3105) 土

③ S38132400-867⁸⁴⁰
花月窯 櫛目印華(黒) マグ

④ S38124400-867⁸⁴⁰
花月窯 櫛目印華(白) マグ

各 4,400円(本体価格4,000円)
(京焼・清水焼) 紙箱 ① (◆3105) 土



③

④

〈花月窯 かげつよう〉



M55020100-867
花月窯 雅桜 香炉 **カット**
11,000円
(本体価格10,000円)
(京焼・清水焼) 7.5×8cm
紐木 (10.5×10.5×11.5cm)
① (◆3105)



⑭

⑫

⑬

⑮

〈陶葺窯 とうあんがま〉

⑤ M54937850-867 **9,350円**
陶葺窯 福黒染 抹茶碗 (本体価格8,500円)

⑥ M54938750-867
陶葺窯 福赤染 抹茶碗
8,250円(本体価格7,500円)
(京焼・清水焼) 径12×8cm ①
(◆3105) 土

〈陶葺窯 とうあんがま〉

⑫ S38517600-867 陶葺窯 星雲天目 盃
⑬ S38518600-867 陶葺窯 青霞天目 盃
⑭ S38519600-867 陶葺窯 赤霞天目 盃
⑮ S38521600-867 陶葺窯 松皮天目 盃
各 6,600円(本体価格6,000円)
(京焼・清水焼) 径8.3×4.5cm (90ml)
木箱 (10×10×6.7cm) ① (◆3105) ●

〈楽入窯 らくにゅうがま〉

招き猫(敷物付き) 茶置物
⑦ M55024430-867 松竹梅(赤)
⑧ M55025430-867 松竹梅(黄)
⑨ M55026430-867 松竹梅(黒)
⑩ M55027430-867 松竹梅(白)
⑪ M55028430-867 松竹梅(ピンク)
各 4,730円(本体価格4,300円)
(京焼・清水焼) 7×7×10.5cm
紙箱 (14×11×11cm) ① (◆3105)



⑬

⑭

〈楽入窯 らくにゅうがま〉

⑬ M54939900-867
楽入窯 黒染瑞祥 利休茶碗
9,900円(本体価格9,000円)
(京焼・清水焼) 径10×7cm ① (◆3105) 土

⑭ M54940750-867
楽入窯 赤染瑞祥 利休茶碗
8,250円(本体価格7,500円)
(京焼・清水焼) 径10×7cm ① (◆3105) 土

〈桜谷窯 さくらだにがま〉



M55022720-867
桜谷窯 仁清花桜 抹茶器
7,920円
(本体価格7,200円)
(京焼・清水焼) 12×8cm
紙箱 (14.5×14.5×11cm)
① (◆3105)

〈香菊窯 かぎくがま〉



M55023950-867
香菊窯 天目覆輪 抹茶器
10,450円
(本体価格9,500円)
(京焼・清水焼) 13×7cm
紙箱 (14.5×14.5×11cm)
① (◆3105)

〈陶葺窯 とうあんがま〉



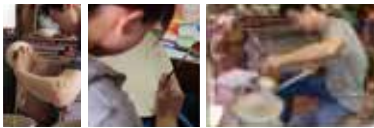
M55021900-867
陶葺窯 花結晶(銀睡) 抹茶器
9,900円
(本体価格9,000円)
(京焼・清水焼) 13×7cm
紙箱 (14.5×14.5×11cm)
① (◆3105)

●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。

京焼・清水焼

〈嘉峰窯 かほうがま〉

釉薬表現だけに留まらず、華やかな草花や、可愛い鳥や動物の絵付けをした器を制作し人気を集めています。



ふくろう
(英中韓語)

M50061720-868 **Hit!**
嘉峰窯 粉引ふくろう 組飯碗
7,920円(本体価格7,200円)
(京焼・清水焼) 12.5×6cm 紙箱 (26×14.5×8cm)
① ●(◆3105) 土

M50060600-868 **Hit!**
嘉峰窯 粉引ふくろう 組湯呑
6,600円(本体価格6,000円)
(京焼・清水焼) 7.5×9cm 紙箱 (16×11.5×8.5cm)
① ●(◆3105) 土



伊藤嘉峰 〈嘉峰窯〉

泉涌寺に嘉峰窯を帰來し四十余年、昭和五十一年に窯を宇治市炭山に移し、伝統と新しい感覚をクロスオーバーさせ調和ある作品の制作探求に励んでいます。

〈嘉峰窯 かほうがま〉



M54306600-868 **Hit!**
嘉峰窯 六瓢 組湯呑
6,600円(本体価格6,000円)
(京焼・清水焼) 大径7.2×8.7cm (160ml)
小径6.7×8.2cm (150ml)
化粧箱 ① ●(3102)

M54305720-868 **Hit!**
嘉峰窯 六瓢 組飯碗
7,920円(本体価格7,200円)
(京焼・清水焼) 大径12×6.2cm
小径11.5×5.9cm
化粧箱 ① ●(3102)



京焼・清水焼
(英中韓語)



① M54888720-868 嘉峰窯 鶴亀 組飯碗
7,920円(本体価格7,200円)
大径12.4×6cm 小径11.6×5.5cm 化粧箱

② M54889600-868 嘉峰窯 鶴亀 組湯呑
6,600円(本体価格6,000円)
大径7.5×9cm (157ml) 小径6.9×8.5cm (140ml) 化粧箱

③ M54890350-868 嘉峰窯 鶴絵 マグカップ
④ M54891350-868 嘉峰窯 亀絵 マグカップ
各 3,850円(本体価格3,500円) **カット**
径8.2×9.3cm (200ml) 化粧箱 (12.8×12.8×11cm)

嘉峰窯(京焼・清水焼) ① (3102)

〈京泉窯 きょうせんがま〉

伊藤春晃
初代春晃の歴史を継ぎ且つ研究を重ね現在に至る。特に中国元、明、時代の古染付、祥瑞、古赤絵の写しを秘技とする様製作に専念している。



M55265100-868 京泉窯 青赤唐草祥瑞 組飯碗
大径12.6×6cm 小径11.9×5.5cm
化粧箱 (26×14×7.5cm) **カット**

M55266100-868 京泉窯 青赤唐草祥瑞 組湯呑
大径7.3×9cm (180ml) 小径7×8.3cm (150ml)
木箱 (18×12.5×10cm)
各 11,000円(本体価格10,000円)



M55268150-868 京泉窯 青赤唐草祥瑞 組飯碗
16,500円(本体価格15,000円) **Hit!** ●
大径12.3×6cm 小径11.8×5.4cm 木箱 (28×14×9cm)

M55269150-868 京泉窯 青赤唐草祥瑞 組湯呑
16,500円(本体価格15,000円) **Hit!** ●
大径7.3×8.9cm (200ml) 小径7×8.8cm (160ml)
木箱 (18.8×12.3×10cm)

京泉窯(京焼・清水焼) ① (3102)

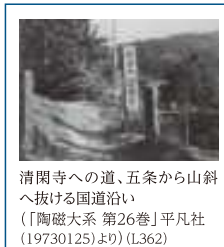
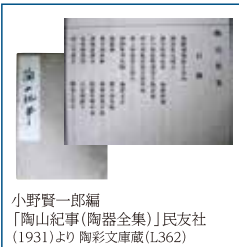
〈芳山窯 ほうざんがま〉



伊藤春晃
京都府立陶工訓練校にて、ろくろ成型を習得、専攻科にて技術を磨く。その後、家業の芳山窯を継承。



M54895350-868 芳山窯 八つ橋絵変り 箸置揃
3,850円(本体価格3,500円) **カット**
(京焼・清水焼) 3×3×1.1cm 化粧箱 (18×4×2cm) ① (3102)



●手作りものですので、サイズや風合いに違いがある場合があります(納期に一ヶ月程かかる場合があります)。 ●すべて運物にも使える お箱 入ります。

8月21日は、「献血の日」、1964年全ての輸血用血液を献血によって確保することになりました。



京焼・清水焼 〈敏也窯 としやがま〉

美山川最上流、芦生原生林の地にて『土』のもつ温かさ、やさしさを純粋に表現しながら、季節の色を風情に織り込み、ひとつひとつ心を込めて作りあげております。



井原 敏也

1962年 京都府美山町芦生に生まれる
1979年 京都府立陶工訓練校専攻科卒業
河島浩三氏に師事
1984年 京都府美山町芦生にて開窯



(L310)

御室・仁和寺(仁和寺は、京都右京区御室にあり山号を大内山と称する。本尊は阿彌陀如来、開基は宇多天皇。「古都京都の文化財」として世界遺産に登録されている。皇室とゆかりの深い寺(門跡寺院)で、「御室御所」と称されました。江戸初期、京焼の大成者、野々村仁清が、この門前に窯を開き、「御室焼」と称されました)

M54659800-869 **カット**
敏也窯 彩姫くぐり 組湯呑
8,800円(本体価格8,000円)
大径6.5×8cm (200ml) 小径6×7.5cm (160ml)
化粧箱 (12×17×9.3cm)

M54660800-869 **カット**
敏也窯 彩姫くぐり 組飯碗
8,800円(本体価格8,000円)
大径12×5.5cm 小径11×4.5cm
化粧箱 (15×28.5×7.7cm) ●

M54661900-869 **カット**
敏也窯 彩姫くぐり ペアーマグカップ
9,900円(本体価格9,000円)
径7.5×9cm (240ml) 化粧箱 (13×22×11.7cm)

M54786800-869 **カット**
敏也窯 御本彩六瓢汲出し揃
8,800円(本体価格8,000円)
径8×5cm (130ml) 紙箱 (35.8×11×10.2cm)

M54656400-869 **Hit!**
敏也窯 南蛮三島詰 組湯呑
4,400円(本体価格4,000円)
大径6.5×8cm (200ml) 小径6×7.5cm (160ml)
化粧箱 (12×17×9.3cm) ●

M54657500-869 **Hit!**
敏也窯 南蛮三島詰 組飯碗
5,500円(本体価格5,000円)
大径12×5.5cm 小径11×4.5cm
化粧箱 (15×28.5×7.7cm) ●

M54658600-869 **Hit!**
敏也窯 南蛮三島詰 ペアーフリーカップ
6,600円(本体価格6,000円)
径10×9.5cm (350ml)
化粧箱 (13×22×11.7cm) ●

M54785100-869
敏也窯 南蛮三島詰 汲出し揃
11,000円(本体価格10,000円)
径8.5×4.5cm (140ml) 紙箱 (35.8×11×10.2cm)

敏也窯(京焼・清水焼) ① (3104)

京焼・清水焼 〈貞雲 ていうん〉



T94992500-869
貞雲 染付桜詰 石瓶
55,000円(本体価格50,000円)
17.5×13.5×15cm (600ml) 化粧箱



T94993140-869
貞雲 染付桜詰 汲出し碗
15,400円(本体価格14,000円)
径8.7×5.5cm (200ml) 化粧箱



T94994150-869
貞雲 染付桜詰 湯呑
16,500円(本体価格15,000円)
径6.5×8cm (200ml) 化粧箱



T94995200-869
貞雲 染付桜詰 飯碗
22,000円(本体価格20,000円)
径11.5×4.5cm (250ml) 化粧箱



T94996100-869
貞雲 染付桜詰 ぐい呑
11,000円(本体価格10,000円)
径6.5×5cm (100ml) 化粧箱

貞雲(京焼・清水焼) ① (3104)



T94997550-869
貞雲 染付桜詰 酒器揃
60,500円(本体価格55,000円)
徳利径7×12cm (220ml)
盃6.3×3cm (30ml) 化粧箱



T94998300-869
貞雲 染付桜詰 抹茶器
33,000円
(本体価格30,000円)
(京焼・清水焼)
径12.6×7.6cm (480ml)
化粧箱

清水焼・南部鉄器 〈貞雲 ていうん〉



京焼・清水焼を代表する描き詰め(かきづめ)。熟練の職人による



精緻を極めた絵付は、まさに古都京都が育んできた技術であり、伝統そのものです。揺るぎなさと軽やかさを兼ね備えた上質な使い心地は、飽きがこず、未永くお付き合いいただけます。また、ご贈答品としても大変喜ばれる逸品です。

T91281200-869 **カット**
貞雲 染付桜詰 鉄瓶急須(小)
22,000円(本体価格20,000円)
(清水焼)・南部鉄器 径14×12cm (400ml)
化粧箱 (15×15×8.5cm) ① (3104)



曜変 此心ニ星アリ



東都書肆「和漢陶器鑑定便覧」松山堂(1694)より 陶彩文庫蔵 (L386)



民友社「陶器全集 第10巻 森田久右衛門日記」(1932)より 陶彩文庫蔵 (L373)



佐々木三味著「茶盤の心得」河原書店(1939)825より 陶彩文庫蔵 (L350)

清水焼・南部鉄器 〈道仙・宝生堂 どうせん・ほうしょうどう〉

〈亀幸窯 きっこうがま〉
カット
M50571100-869
亀幸窯 黄三彩木の葉彫 花瓶
11,000円
(本体価格10,000円)
(京焼・清水焼) 高さ22cm
紙箱 (19.8×19.8×25.5cm)
① (3104) 土

カット
T93984250-869
見立て 金銀彩鶴 鉄瓶急須
27,500円(本体価格25,000円)
(清水焼)・南部鉄器
510ml(ステンレス茶こし・74mm)
紙箱 (17.2×29.2×9.7cm) ①
● (3104)

●手作りものですので、サイズや風合いに違いがでる場合があります(納期に1ヶ月程かかる場合があります)。●すべて進物にも使えるお箱入りです。●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。

九谷焼 〈宗秀窯 そうしゅうがま〉

古九谷以来300有余年各時代の要求に応じて
て各々の時代の名品が遺されてきました。現
在その最も新しい手法として「銀彩」が生ま
れました。九谷宗秀は、現代陶芸家であり通
産省指定の伝統工芸士である叔父の竹風、
義正二氏の指導の下で長年研究の末ようや
く完成したものです。



九谷焼
(英中韓語)



①~⑥ 宗秀窯 (九谷焼) ① (3201)

- ① M55383**650**-870 宗秀窯 袖裏銀彩 組飯碗 **Hit!**
7,150円(本体価格**6,500**円)
大径11×6.5cm 小径10.3×6cm 紙箱 (14×26.5×7.5cm) ●
S38876**325**-870 宗秀窯 袖裏銀彩 飯碗(BL) ●
S38877**325**-870 宗秀窯 袖裏銀彩 飯碗(RD) ●
各 **3,575**円(本体価格**3,250**円) 紙箱 一客箱入 **Hit!**
- ② M55382**550**-870 宗秀窯 袖裏銀彩 組湯呑 **Hit!**
6,050円(本体価格**5,500**円) 大径7.3×8cm (150ml)
小径7.1×7.5cm (140ml) 紙箱 (11×16×8cm) ●
S38874**275**-870 宗秀窯 袖裏銀彩 湯呑(BL) ●
S38875**275**-870 宗秀窯 袖裏銀彩 湯呑(RD) ● **Hit!**
各 **3,025**円(本体価格**2,750**円) 紙箱 一客箱入
- ③ M55423600-870 宗秀窯 袖裏銀彩 ポット急須 **Hit!**
6,600円(本体価格6,000円)
10.2×9.7cm (400ml) (カップアミ) 紙箱 (12×12×8.5cm) ●
- ④ M54206**500**-870 宗秀窯 袖裏銀彩 ペアコップ **Hit!**
5,500円(本体価格**5,000**円)
6.8×11.5cm (170ml) 紙箱 (13×16×8cm) ●
- ⑤ M54947**600**-870 宗秀窯 袖裏銀彩 ペアマグカップ **Hit!**
6,600円(本体価格**6,000**円)
8×8.5cm (180ml) 紙箱 (11.5×21.5×9cm) ●
- ⑥ M54414**900**-870 宗秀窯 袖裏銀彩 ペアカップ **Hit!**
9,900円(本体価格**9,000**円)
径8.5×12.3cm (300ml) 紙箱 (14×19.5×9.5cm) ●



S38607**260**-870
宗秀窯 袖裏銀彩 汲出 (BL) 一客
2,860円(本体価格**2,600**円)
径8.5×5.5cm (150ml)
ダンボール (9×10×9cm) ① (3201)

M54380**130**-870 **Hit!**
宗秀窯 袖裏銀彩 汲出揃 (BL) 五客
14,300円(本体価格**13,000**円)
紙箱 (31×11×10.2cm) ① ●(3201)



S38590400-870
宗秀窯 袖裏銀彩 蓋付汲出 (BL) 一客
4,400円(本体価格4,000円)
径8.2×5.3cm (150ml)
ダンボール (11×11×10cm) ① ●(3201)

M54936200-870
宗秀窯 袖裏銀彩 蓋付汲出揃 (BL) 五客
22,000円(本体価格20,000円)
紙箱 (35×11×10cm) ① (3201)



M54862120-870 宗秀窯 袖裏銀彩 酒器揃
13,200円(本体価格12,000円)
徳利250ml <小>呑径5.8×3.6cm (50ml)
紙箱 (25×18×9cm) ① (3201)



M54861100-870
宗秀窯 袖裏銀彩 晚酌揃
11,000円(本体価格10,000円)
徳利270ml <小>呑径6×5cm (50ml)
① (3201)



M54946**120**-870
宗秀窯 銀彩双鶴 5.5号花瓶
13,200円(本体価格**12,000**円)
(九谷焼) 径17.5×高さ16.5cm
化粧箱 (23.5×19×19cm) 花台
① (3216)



M54734550-870
宗秀窯 黄銀彩 花瓶
6,050円(本体価格5,500円)
(九谷焼) 17×高さ16cm
紙箱 (18.5×18.5×17cm)
① (3202)



M54393**680**-870
宗秀窯 袖裏銀彩 丸花瓶
7,480円
(本体価格**6,800**円)
高さ15cm 紙箱 ①
(3201)



Hit!
M50239110-870
宗秀窯 袖裏銀彩 花瓶
12,100円
(本体価格11,000円)
高さ24cm 紙箱 ①
●(3201)



M50690120-870
宗秀窯 袖裏銀彩 木甲型花瓶
13,200円
(本体価格12,000円)
高さ24cm 紙箱 ①
●(3201)



M54388**150**-870
宗秀窯 銀彩金ちらし 花瓶
16,500円
(本体価格**15,000**円)
高さ24.7cm 化粧箱 ① (3202)



M55323**110**-870
宗秀窯 銀彩ひびき 8号花瓶
12,100円
(本体価格**11,000**円)
(九谷焼) 径8.3×24cm
化粧箱 (27×11.5×11cm)
① (3202)



M55399**120**-870
宗秀窯 銀彩 ピンク 花器
13,200円
(本体価格**12,000**円)
(九谷焼) 径11×24.5cm 化粧箱
① (3202)



M55400**120**-870
宗秀窯 銀彩 ホワイト 花器
13,200円
(本体価格**12,000**円)
(九谷焼) 径11×24.5cm 化粧箱
① (3202)

九谷焼のご紹介
成形



KAM能美市九谷焼美術館



若杉:本多貞吉慰霊碑 加賀八幡神社(L.318)

●手作りものですので、サイズや風合いに違いがでる場合があります(納期に一ヶ月程かかる場合があります)。 ●すべて進物にも使える **お箱** 入りです。

8月22日は、1864年、赤十字条約(ジュネーブ条約)が調印され、国際赤十字が発足しました。



TOHSAI
陶彩

九谷焼 〈多田 利子〉

愛知県瀬戸市生まれ、九谷焼技術研修所で勉強し、ご主人と共に作陶。絵のモチーフは必ず紙の上のデッサンからおこない、焼いた後の色も出来るだけ思った色が出せるよう努力している。



多田利子

- ① M55417450-871 赤帯 組飯碗 4,950円(本体価格4,500円)
- ② M55420500-871 花菱 組飯碗 5,500円(本体価格5,000円)
①②共通 大径11×6.5cm 小径10.3×6cm 紙箱 (14×26.5×7.5cm)
- ③ M55418400-871⁸⁴³ 赤帯 組湯呑 4,400円(本体価格4,000円)
- ④ M55421450-871⁸⁴³ 花菱 組湯呑 4,950円(本体価格4,500円)
③④共通 大径7.3×8cm 小径7.1×7.5cm 紙箱 (11×16×8cm)
- ⑤ M55419400-871 赤帯 ポット 4,400円(本体価格4,000円)
- ⑥ M55422450-871 花菱 ポット 4,950円(本体価格4,500円)
⑤⑥共通 径5.8cm (380ml) (茶こしアミ付)

多田利子 (九谷焼) ① (3201)



前田利治碑 後藤才次郎碑

九谷:「大聖寺藩主前田利治・後藤才次郎」碑 (L318)

日本遺産認定
「珠玉と歩む物語」
小松～時の流れの中で
磨き上げた石の文化～



<http://www.komatsuguide.jp/komatsu-stone/index.html>



小松市立立業展示館 (L318)



雄山閣編輯部編「趣味の陶磁器」雄山閣(19381230)より
陶彩文庫蔵 (L383)

九谷焼 〈山本 長左〉

「器は使ってこそ生きてくる」という考えで、素材、デザインはもちろん、サイズ感や使いやすさといった点まで、こだわりを持って作陶。繊細な染付のラインで穏やかで優雅な器を描き、「型打ち」という数少ない伝統技法で制作される器は、驚くほどに軽量です。宮内庁からもその確かな技術を評価され、数多くの依頼を受ける作品を、是非手に取ってご覧ください。

M55284280-871
山本長左 双輪文松竹梅 組飯碗
30,800円(本体価格28,000円) ●
大径11.7×5.6cm 小径10.6×5.1cm
木箱 (13.4×26.5×8.5cm)

カット

M55285220-871
山本長左 双輪文松竹梅 組湯呑
24,200円(本体価格22,000円)
大径7.1×9cm 小径6.7×8.2cm
木箱 (10.6×16.5×9cm)

カット

M55286650-871
山本長左 双輪文松竹梅 菊型小鉢揃
71,500円(本体価格65,000円)
径10.5×4.5cm 木箱 (14×28.7×13.5cm)

カット

山本長左 (九谷焼) ① (3202)

九谷焼



M54448550-871 辻本永芳 花文 組飯碗
6,050円(本体価格5,500円)
(九谷焼) 大径11×6.5cm 小径10.3×6cm
紙箱 (14×26.5×7.5cm) ① ● (3201)

M54449450-871 辻本永芳 花文 組湯呑
4,950円(本体価格4,500円)
(九谷焼) 大径7.3×8cm (150ml) 小径7.1×7.5cm (140ml)
紙箱 (11×16×8cm) ① ● (3201)



M54865600-871 6,600円(本体価格6,000円)
辻本永芳 花文 ペアフリーカップ
径8×10.5cm (250ml) 化粧箱 (8.7×18.6×9cm)

M54866550-871
辻本永芳 花文 ペアマグカップ
径8×8.5cm (180ml) 化粧箱 (21.5×11.5×9.5cm)
辻本 永芳 6,050円(本体価格5,500円)
(九谷焼) 紙箱 ① (3201)



M54451800-871⁸¹⁶
山近泰 さくら 7寸平皿
8,800円(本体価格8,000円)
(九谷焼) 径21×2.4cm
化粧箱 (24×24×4cm) ① (3201)

M54452700-871
山近泰 さくら 組飯碗
7,700円(本体価格7,000円)
(九谷焼) 大径11×6.5cm 小径10.3×6cm
化粧箱 (14×26.5×7.5cm) ① (3201)



陶磁器のしおり



(英中韓語)



宮本 暁 (本名 晃)
石川県陶芸協会会員
日本現代工芸本会員
伝統工芸士



Hit!

M54854700-871⁸⁷² 宮本暁 風船かざら 組飯碗
7,700円(本体価格7,000円)
(九谷焼) 大径11.2×6.5cm 小径10.6×6cm
化粧箱 (14×26.5×7.5cm) ① ● (3201)

S38078350-871⁸²⁹ 咲葉 風船かざら 飯碗(小)
3,850円(本体価格3,500円) Hit!
(九谷焼) 10.6×6cm 紙箱 ① (3201) ●

M54855700-871 宮本暁 風船かざら 組湯呑
7,700円(本体価格7,000円)
(九谷焼) 大径7.5×9cm (155ml) 小径7.1×7.5cm (140ml)
化粧箱 (11×16×8cm) ① ● (3201)

S38186350-871⁸³⁷ 咲葉 風船かざら 湯呑(小)
3,850円(本体価格3,500円)
(九谷焼) 7.1×7.5cm (140ml) 紙箱 ① (3201)

⑦ S38854350-871⁸³⁶
山近泰 アネモネ 湯呑

⑧ S38180350-871⁸³⁷
山近泰 ポピー 湯呑 Hit! ●
各 3,850円(本体価格3,500円)
(九谷焼) 径7.1×7.5cm (140ml)
紙箱 ① (3201) 土



⑨ S38855380-871⁸²⁷
山近泰 アネモネ 飯碗 ●

⑩ S38026380-871⁸²⁷
山近泰 ポピー 飯碗 Hit! ●
各 4,180円(本体価格3,800円)
(九谷焼) 径10.3×6cm
紙箱 ① (3201)



●手作りものは、サイズや風合いに違いがある場合があります(納期には一ヶ月程かかる場合がありますので、ご注文の際には必ず納期確認をお願いします。)



M54989100-872 九谷正峰窯 名品六選 4号皿(6P)揃
 11,000円(本体価格10,000円)
 (九谷焼) 径12.3cm
 化粧箱 (25.7×13.2×5.9cm)
 ① ●(3216)



M55374600-872⁸⁰⁶
 九谷正峰窯 古九谷花鳥 9号皿
 6,600円(本体価格6,000円)
 (九谷正峰焼) 径27×3.5cm
 化粧箱 (30×5cm) ① (3216)

お茶漬けのおもてなし



北陸の人々の心情や生活を映し出す

九谷焼発祥の地は、雪深い山あいの里、大聖寺川の上流にある石川県江沼郡山中町九谷。冬になると、雪に閉ざされ交通も途絶えるような村です。この一種閉ざされた風土が、九谷独特の美しさを醸し出したと言われています。現在の九谷焼の特徴は上絵にあるため、仕事は窯元、上絵師、問屋と完全に分業化されていますが、作品の大部分は職人の手作業によって製作されています。雪に閉ざされた長い時を忍ぶがごとく、丹精込めて描き込んでいく絵付け、さらには日本海の荒波に挑むがごとく力強い線の鋭さが九谷焼の魅力です。

こんな漬のお茶漬け

サバのこんか漬け(めか漬け)・・・お好みで適量
 ごま・・・お好みで適量
 三つ葉・・・お好みで適量
 椿茶(茶色のお茶)・・・お好みで適量



陶器の日「お茶漬けを食べる日」事業実行委員会資料より転載

- ① M54854700-872⁸⁷¹ **Hit!**
 宮本咲 風船がずら 組飯碗
 7,700円(本体価格7,000円) (九谷焼) 大径11.2×6.5cm
 小径10.6×6cm 化粧箱 (14×26.5×7.5cm) ① ●(3201)
- ② M55373550-872⁸¹²
 青郊窯 縁起絵入り 豆皿揃
 6,050円(本体価格5,500円) (九谷焼) ① ▲(3202)



おかめ・ひよっとこ (双鳩窯)

- ③ S38805200-872
 ひよっとこ 飯碗(大) 径11×6.5cm
- ④ S38804200-872
 おかめ 飯碗(小) 径10.3×6cm
- ⑤ S38803200-872
 ひよっとこ 湯呑(大) 径7.3×8cm (200ml)
- ⑥ S38802200-872
 おかめ 湯呑(小) 径7.1×7.5cm (190ml)
 各 2,200円(本体価格2,000円)
 (九谷焼) ① (3202)
- ⑦ M55273330-872
 おかめひよっとこ ペアカップ
 3,630円(本体価格3,300円)
 (九谷焼) 径8×6.5cm (200ml)
 化粧箱 (9.7×18.8×8cm)
 ① 梱20入 (3202) **お箱**



〈佐藤 剛志〉

1988年 文吉窯入社。九谷焼技術研修所にて陶技を学ぶ
 1993年 小松市水墨画協会 最高賞 協会長賞
 2001年 石川県水墨画協会 最高賞 県知事賞
 2013年 独立し、創楽庵 創設



S38886⁵⁰⁰-872⁸⁴⁴
 佐藤剛志 色華小紋 飯碗(小・赤) ●
 S38887⁵⁰⁰-872⁸³⁰
 佐藤剛志 色華小紋 飯碗(大・黄)
 各 5,500円(本体価格5,000円)
 (九谷焼) 大径12.2×6.4cm
 小径11.3×5.7cm 化粧箱 (3202)

S38888⁴⁵⁰-872⁸³⁷
 佐藤剛志 色華小紋 湯呑(小・赤) ●
 S38889⁴⁵⁰-872⁸⁴⁴
 佐藤剛志 色華小紋 湯呑(大・黄)
 各 4,950円(本体価格4,500円)
 (九谷焼) 大径12.2×6.4cm (230ml)
 小径11.3×5.7cm (200ml) 化粧箱 (3202)



S38890⁶⁰⁰-872⁸⁴⁴
 佐藤剛志 色華小紋 焼酎カップ(赤)
 S38891⁶⁰⁰-872⁸⁴⁴
 佐藤剛志 色華小紋 焼酎カップ(黄)
 各 6,600円(本体価格6,000円)
 (九谷焼) 径10×8.2cm (230ml)
 化粧箱 (11.3×11.3×10.2cm)
 (3202)



存在感のある
 日々の生活の色絵磁器
 今、注目の九谷焼女流作家 田中由紀(画号 柚枝)。2011年に通商産業大臣より九谷焼伝統工芸士に認定され、創造美術展では度重なる入選を果たすなど、実力派の作家として近年頭角を現しています。
 「料理と器がお互いを引き立たせ合いながらも、日々の生活の中でさりげなく存在感が持てる器」の創作を目指し、丁寧に作陶をしています。繊細で美しい女流作家をどうぞご覧ください。



- ⑧ S38863350-872⁸²⁷
 田中柚枝 パラ 飯碗
 径11.1×5.6cm ●
- ⑨ S38866350-872
 田中柚枝 小花帯紋 飯碗
 径10.8×5.5cm
 各 3,850円(本体価格3,500円)
 化粧箱 (13.5×13.5×7.4cm)
- ⑩ S38864380-872
 田中柚枝 パラ マグカップ
 径8.2×8.5cm (240ml) ●
- ⑪ S38867380-872 **カット**
 田中柚枝 小花帯紋 マグカップ
 径8.8×8.7cm (290ml)
 各 4,180円(本体価格3,800円)
 化粧箱 (11.4×11.4×10.3cm)

Voice! 一客箱入 田中柚枝 (九谷焼) ① (3202)

九谷焼のご紹介
 加飾

KAM能美市九谷焼美術館



本焼窯 再興九谷
 九谷焼窯跡展示館(L318)

カット

M55324600-872
 明山窯 金箔彩 6号一輪生
 6,600円(本体価格6,000円)
 (九谷焼) 5.7×5.7×18.5cm
 化粧箱 (21×8.4×7.5cm)
 ① (3202)



M54945¹⁵⁰-872⁸⁴⁵
 博峰窯 釉彩 6号寸銅花瓶
 16,500円(本体価格15,000円)
 (九谷焼) 径8.5×高さ19cm
 木箱 (12×21.5×11cm)
 花台 ① (3216)



M54421²⁵⁰-872
 博峰窯 釉彩 8号寸銅花瓶
 27,500円(本体価格25,000円)
 (九谷焼) 径11×高さ25.5cm
 木箱 (27.5×15×14.5cm)
 花台、立て札 ① (3216) ●

●手作りものは、サイズや風合いに違いがある場合があります(納期には一ヶ月程かかる場合がありますので、ご注文の際には必ず納期確認をお願い致します。)

信楽焼



〈古谷製陶所 ふるたにせいとうしょ〉

どのような料理も引き立て、自由におおらかに使うことが出来るのが『白い器』です。私たちは、品があり、温かみのある『粉引きの白い和食器』の陶器作りに日々取り組んでいます。



滋賀県：うずくまる(生菓子)

M55006130-873⁸⁰⁸ 古谷製陶所 荒瀬粉引 銘々皿揃
14,300円(本体価格13,000円)
(信楽焼) 16×16×2cm 化粧箱 (17.5×17.5×9.5cm) ① (3402) 土

〈明山窯 めいざんがま〉



滋賀県：茂兵衛(とうふこんにやく)

M54988⁸⁰⁰-873⁸⁰² 和be Angel 取分け皿揃
8,800円(本体価格8,000円)
(信楽焼) 12.5×15.5×2.5cm 化粧箱 ① (3405) 土

信楽焼 〈正祥窯 せいしょうがま〉



富田 正

金属的な輝きが特長です。土の器に、薬灰を溶かして作った釉薬をかけ焼きます。



M50584700-873 富田正 銀結晶 ペアカップ 7,700円(本体価格7,000円)
7.3×11.3cm (280ml) 化粧箱 (19×13×9.5cm) ●
M55365¹⁰⁶-873 富田正 銀結晶そぎ ペアピアカップ 11,660円(本体価格10,600円)
径7.5×13.5cm (300ml) 化粧箱 (21×15×10cm)

M50586800-873 富田正 黒金彩 酒器揃
8,800円(本体価格8,000円)
注器260ml ぐい呑み径6×3cm (60ml)
化粧箱 (24×15×10cm)

M54238⁴⁰⁰-873⁸¹⁶ 富田正 黒金彩 オールド
4,400円(本体価格4,000円)
径10×8cm (340ml)
化粧箱 (10×10×10cm)

富田正 (信楽焼) ① (3402) 土

信楽焼 〈遊楽窯 ゆうらくがま〉



滋賀県信楽にて、三兄弟で営む遊楽窯。繊細な作りと、大胆で力強い雰囲気のが特徴です。

Hit!

M54912⁶⁶⁰-873 遊楽窯 青彩釉酒器セット
7,260円(本体価格6,600円)
ぐい呑み径5.5×5cm (70ml) 注器300ml
化粧箱 (18×14×10.5cm)



信楽焼 (英中韓語)



新宮神社(左)・陶器神社(右) (L321)

土 陶器製(土もの)の食器です。

M55008100-873⁸⁰⁸ 遊楽窯 青彩釉 銘々皿揃
11,000円(本体価格10,000円)
12×12×2.5cm
化粧箱 (17.5×17.5×9.5cm)



S38830³⁰⁰-873 Hit! 遊楽窯 青彩くし目 マグカップ
3,300円(本体価格3,000円)
径10×8cm (380ml)
化粧箱 (11×11×11.5cm) ●

遊楽窯 (信楽焼) ① (3402) 土

S38829³³⁰-873 遊楽窯 青彩釉 茶碗
3,630円(本体価格3,300円)
径12×8cm (500ml) 化粧箱 (14×14×8cm)



〈紫水窯 すいがま〉

日に映じて山は紫に澄んだ水は清くはつきりとしている。そんな信楽の自然を生かして製陶しています。

M55005100-873 紫水窯 緑釉金彩 ナツメ花瓶(黒板付)
11,000円(本体価格10,000円)
21×21×高さ24.5cm
化粧箱 (26×22.5×26cm)
黒板付き 梱8入 土 ●

信楽焼 〈巖陶房 いわおとろぼう〉



鈴木 利明
信楽の山間の工房で、秘伝の紅色釉薬をつむいでいます。



M55362⁵⁰⁰-873 巖陶房 さくらんぼ 酒器セット
5,500円(本体価格5,000円)
注器250ml
ぐい呑み径6.5×3.5cm (50ml)
化粧箱 (18×14×10cm) ●

巖陶房 (信楽焼) ① (3402) 土



M55363⁴⁶⁰-873 巖陶房 さくらんぼ 陶コップペア
5,060円(本体価格4,600円)
径9×8cm (250ml)
化粧箱 (21×12.5×10cm)



M55364³⁴⁰-873 巖陶房 さくらんぼ スープマグ
3,740円(本体価格3,400円)
径11.5×6.5cm (360ml) ダンボール



M55003350-873 紫水窯 晴嵐 面取花入
3,850円
(本体価格3,500円)
8.5×8.5×高さ22.5cm
化粧箱 (12×12×27.5cm) ●



M55004400-873 紫水窯 御影白 面取花入
4,400円
(本体価格4,000円)
8.5×8.5×高さ25.5cm
化粧箱 (11×11×28.5cm)



M54915600-873 紫水窯 万寿 長花瓶
6,600円
(本体価格6,000円)
径13×高さ29cm 化粧箱 (15×15×31.5cm) ●

紫水窯 (信楽焼) ① (3402) 土

●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。

常滑焼



Hit!

M55306650-874
北龍 朱泥松皮 急須 **カット**
7,150円(本体価格6,500円)
320ml (セラメッシュ)
ダンボール ① ●(3603) 土



復活

M55361710-874⁸⁴³
玉光 茜絞丸形干段急須
7,810円(本体価格7,100円)
230ml (セラメッシュ)
ダンボール ① (3603) 土 ●



Voice! **Hit!** **カット**

M55305700-874⁸⁴³
北龍 黒泥浅袋松皮 棚切急須
7,700円(本体価格7,000円)
300ml (セラメッシュ茶こし)
ダンボール ① ●(3603) 土



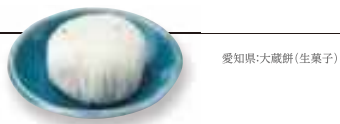
M54777800-874
玉光 黒泥桜と富士山絵柄 急須
8,800円(本体価格8,000円)
290ml (セラメッシュ)
ダンボール ① (3603) 土



カット

M54920150-874⁸³⁵
昭刻 朱泥桜彫急須
16,500円(本体価格15,000円)
230ml (セラメッシュ)
ダンボール ① (3603) 土

常滑焼 〈山源窯 やまげんがま〉



M55303380-874⁸⁰⁷
山源窯 小皿5枚揃 トルコ青
4,180円(本体価格3,800円)
(常滑焼) 径8.5cm
ダンボール ① (3603) 土



常滑焼
(英中韓語)

常滑焼のご紹介



愛知県産業振興課
あいちの地場産業

常滑焼 〈佳窯 けいがま〉



M55394330-874
佳窯 織部釉 盛皿
3,630円(本体価格3,300円)
(常滑焼) 径22×4.8cm ダンボール
① (3603) 土



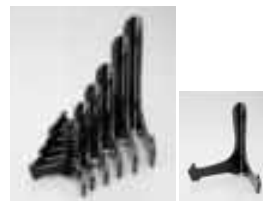
M55395330-874
佳窯 トルコ青 盛皿
3,630円(本体価格3,300円)
(常滑焼) 径22×4.8cm ダンボール
① (3603) 土

M55396280-874
佳窯 トルコ青 サラダ皿
3,080円(本体価格2,800円)
(常滑焼) 径19×4.5cm ダンボール
① (3603) 土



M55397280-874
佳窯 黒結晶釉 サラダ皿
3,080円(本体価格2,800円)
(常滑焼) 径19×4.5cm ダンボール
① (3603) 土

常滑天神山「鯉江方寿」像・「上村白鷗」碑
(常滑は平安時代このかたの陶業地で古く磁や壺などを生産していたのですが、江戸中期に至り、稲葉高道が遠州の秋葉山に伝えられていた「足利家茶瓶四十三品図録」の古写本を譲り受けてきて、此の図によって茶器の製作を始めたと申します。やがて、文久年間に常滑の医家平野忠司の指導により杉江壽門、片岡二光が初めて朱泥の急須をつくり出し、明治十一年には鯉江方寿が清人金士恆を招聘してきて寿門、長三らに中国風の茶注の製法を伝習させ、ここに宜興窯の古名品に劣らぬ急須が製作されるようになりました。)(L319)



- 木製黒塗り皿立て
- ④② T94818**300**874¹¹³⁹ (特大)
3,300円(本体価格3,000円)
21×28cm PP袋
 - ④③ T94819**260**874¹¹³⁹ (大)
2,860円(本体価格2,600円)
19.5×25cm PP袋
 - ④④ T94820**220**874¹¹³⁹ (中)
2,420円(本体価格2,200円)
16×20.5cm PP袋
 - ④⑤ T94821**200**874¹¹³⁹ (小)
2,200円(本体価格2,000円)
14×17.5cm PP袋
 - ④⑥ T94822**180**874¹¹³⁹ (特小)
1,980円(本体価格1,800円)
12×15.5cm PP袋
 - ④⑦ T94823**150**874¹¹³⁹ (極小)
1,650円(本体価格1,500円)
10.5×12.5cm PP袋



- 木製黒塗り敷板
- ④⑧ T94824**250**874¹¹³⁹ (6寸)
2,750円(本体価格2,500円)
18×18×1.2cm
化粧箱 (18.5×18.5×1.7cm)
 - ④⑨ T94825**350**874¹¹³⁹ (7寸)
3,850円(本体価格3,500円)
21×21×1.2cm
化粧箱 (21.5×21.5×1.7cm)
 - ⑤⑩ T94826**450**874¹¹³⁹ (8寸)
4,950円(本体価格4,500円)
24×24×1.2cm
化粧箱 (24.5×24.5×1.7cm)
 - ⑤⑪ T94827**500**874¹¹³⁹ (9寸)
5,500円(本体価格5,000円)
27×27×1.2cm
化粧箱 (27.5×27.5×1.7cm)

④②～⑤⑪ (日本製(会津))
① (◆8774)

萬古焼 〈洙山窯 しゅざんがま〉



誰かのためにお茶を淹れてあげる、そんな日常生活のひとつこそ大事なのだから。そんなちょっとした時間に洙山の急須を使ってもらえたらうれしいです。



M55389**420**-874
陶山急須 1.5号梅彫り
4,620円(本体価格4,200円)
(萬古焼) 径8×13.5×8.5cm
(240ml) ボール箱 ① (3305)



M55390**370**-874
陶山急須 1.5黒泥吹 無地
4,070円(本体価格3,700円)
(萬古焼) 径8×13.5×8.5cm
(240ml) ボール箱 ① (3305)



M55391**420**-874
陶山急須 1.5黒泥吹 円水玉
4,620円(本体価格4,200円)
(萬古焼) 径8×13.5×8.5cm
(240ml) ボール箱 ① (3305)



萬古焼
(英中韓語)

萬古焼のご紹介
萬古急須の作り方



ばんこの里会館

萬古焼のご紹介
おいしいお茶の淹れ方



ばんこの里会館

土 陶器製(土もの)の食器です。

●撮影に使用したお料理は食器の産地、郷土で味わえる伝統食をイメージしたものです(店名は購入店を偽装するため、その器をお薦めいただいたものではなく、また販売期間等限られたものもあります)。
●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。

歴史と文化に旅、そして器

風土記... 各地に風土があるように、それぞれ違った風合いの器があり、その伝統と文化は引き継がれています。その歴史と文化にふれつつ、各地を旅するように器にふれると、心地良い風が吹きます。

ユネスコ無形文化遺産に登録された和食

「和食とは何か」(熊倉功夫・江原洵子著「和食文化国民会議」監修(20151124))から引用、要約いたします。

2013年12月04日、アゼルバイジャンで開かれたユネスコの政府間委員会で日本が提案していた「和食：日本人の伝統的な食文化」を代表一覧表に記載することが承認されました。登録はゴールではなく、困難さわまりない運動の出発点。2011年07月05日「日本食文化の世界無形遺産登録に向けた検討会」が始まり、2011年11月04日第4回検討会では「日本食文化のユネスコ無形文化遺産化推進協議会」への団体登録が188件(日本陶彩も登録しました)あり、広汎な国民的同意が得られていると判断されました。そして、2012年09月25日文化審議会の決定で2013年日本の最優先案件とされました。なぜ急いだかという、それは東日本大震災との関連で、「東日本大震災

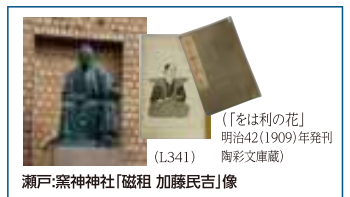
による原発事故により風評被害を受けている日本食に対する信頼を回復するとともに、日本全体に関わるものである和食(日本食文化)を、日本全体の震災からの復興のシンボルとして世界にアピールする」ことが念頭にあり、多彩な食材とか家庭の食事という要素に加えて年中行事を中心に社会的慣習を強調し、その名称は、「和食：日本人の伝統的な食文化(正月を例にして)」とし、提案されました。その和食文化の特徴は、(1)自然と異文化が融和した食文化、(2)持続可能な資源の利用(調理と加工)、(3)自然の尊重と行事、(4)和食を楽しむ(器と季節)、(5)健康的な食生活への貢献です。そして、登録により、これから和食文化の保護と継承には、和食文化国民会議(=日本陶彩は賛助会員)が推進母体であるといっても、提案書には和食文化の実践者は全ての日本人であるとしていますから、日本人一人ひとりがその担い手になります。そのためには、(1)日々の体験をおとして習得する、(2)学校をおとして和食文化を伝える、(3)地域の伝統食(郷土食)を見直すことがまず必要でしょう。



- ① S38487400-875 陶工房楽 黄彩紅白梅紋 碗(小) 径11×6.5cm
- ② S38490400-875 陶工房楽 黄彩紅白梅紋 湯呑 径8×7cm (170ml) 各 4,400円(本体価格4,000円) (波佐見焼) トムソン ① (2208)
- ③ S38488400-875 陶工房楽 京紅白梅紋 碗(小) 径11×6.5cm
- ④ S38491400-875 陶工房楽 京紅白梅紋 湯呑 径8×7cm (170ml) 各 4,400円(本体価格4,000円) (波佐見焼) トムソン ① (2208)
- ⑤ S38489400-875 陶工房楽 黄彩あやめ紋 碗(小) 径11×6.5cm
- ⑥ S38492400-875 陶工房楽 黄彩あやめ紋 湯呑 径8×7cm (170ml) 各 4,400円(本体価格4,000円) (波佐見焼) トムソン ① (2208)



〈神となった陶工〉



加藤 唐三郎



瀬戸の“やきもの文化”は1300年の歴史があります。裏付けられた伝統と、“愛・地球博”・“自然との共生”を題材として器と取り組んでみました。

- 1974年 東海伝統工芸展初入選 以後連続入選
- 1978年 日本伝統工芸展初入選 以後23回入選
- 1991年 31世、加藤唐三郎を襲名

〈加藤唐三郎の家譜〉

- 初世 景正 藤ノ四郎兵衛 貞応2年3月道元禪師に隨いに渡り、陶技を練修、安貞2年8月帰朝後瀬戸に窯を築く、時任三千一寅年なり、瀬戸陶業の祖なり。
- 19世 景貞 利右衛門 初世景正より19代の直系に当たる。慶長13年美濃國郡之木に移り陶業を営んでいたところ、慶長15年2月5日、景正の直系の家系の者として、徳川家康公の命により召出され、赤津に於て家康公並びに尾張徳川家の御用を勤むべく命ぜられた。この時景正名を唐三郎と改めた。
- 20世 景康 唐三郎 慶安3年尾張藩主徳川義直公の御恩召により御城下お庭に窯を築き御庭焼をはじめ、世に之を御深井焼と云う。
- 31世 唐三郎 平成3年4月 襲名 <http://www.touzaburougama.com/http://www.geocities.jp/tohزابuro/> より

金ヶ江悦子さん
2010年度ミス・インターナショナル日本代表、世界大会第4位入賞とミスエレガント賞をW受賞。現在、モデル・タレント・MC・トータルビューティーインストラクターとして活躍しています。有田焼の陶祖[李参平]の子孫にあたります。陶山神社にあります「陶祖李参平碑」の前で、陶祖李参平の十四代金ヶ江三兵衛である陶工、金ヶ江省平さんとツーショットです。(L312)



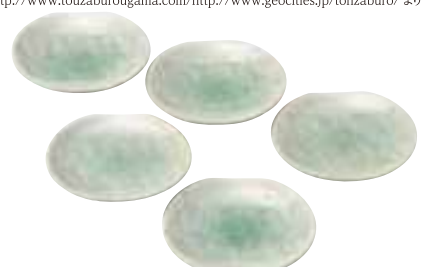
陶祖李参平窯



T92835100-875 14代金ヶ江三兵衛 佛手相文山水 皿 110,000円(本体価格100,000円) 径21×5cm ① 受注生産



M54746380-875 31世加藤唐三郎 御深井安南手 湯呑揃 41,800円(本体価格38,000円) 径8.9×5.2cm (140ml) 木箱 (11.2×11.2×17.4cm)



M54747160-875 31世加藤唐三郎 御深井彫文 小皿揃 17,600円(本体価格16,000円) 径10×9.5×1.7cm 木箱 (12.1×12.1×10.4cm)



- ① T92836200-875 14代金ヶ江三兵衛 天狗谷 小瓶「松」 22,000円(本体価格20,000円) 径5×8.5cm ① 受注生産
- ② T92837200-875 14代金ヶ江三兵衛 初期伊万里「うつつ福字錦文」くい呑 22,000円(本体価格20,000円) 径6.5×4cm ① 受注生産

陶祖李参平窯(有田焼) 木箱 ① (◆2101) 3ヶ月かかる場合があります。



カット M54744230-875 31世加藤唐三郎 御深井 くい呑 25,300円(本体価格23,000円) 径6.6×5.5cm (85ml) 木箱 (8.8×8.8×8.8cm)



M54745200-875 31世加藤唐三郎 御深井安南手 湯呑 22,000円(本体価格20,000円) 径7.9×9.5cm (260ml) 木箱 (10.5×10.5×13.5cm)

作家・窯の都合により、お届けにお時間がかかる場合があります。

31世加藤唐三郎(瀬戸焼) 受注生産 ① ▲(◆1112) 土

●手作りものですので、サイズや風合いに違いがある場合があります(受注生産は窯焼きの都合で3ヶ月かかる場合があります)。●受注生産とあるものは、事前に納期確認ください。

堤焼 乾馬窯 堤焼(つつみやき)は仙台市にて焼かれる陶器。民芸運動の代表者、柳宗悦が「東北を代表する民窯」と誉め称えたが、今日では江戸末期から続く乾馬窯が300年の歴史を守り続けている。特徴は、野趣溢れる釉薬にあり、特に黒と白のなまこ釉を同時に掛け流す流し掛けなまこ釉は堤焼独自の特色である。二重に流し掛けることによって、2つとしてない何とも味わいのある斑紋、流紋です。

- なまこ釉
 ① T72624800-876150
 組湯呑
 大径8×9.5cm (325ml)
 小径7.5×9cm (245ml)
 化粧箱
 ② T72625800-876150
 組飯碗
 大径12×5.7cm
 小径1.3×5.3cm 化粧箱
 各 **8,800**円(本体価格**8,000**円)



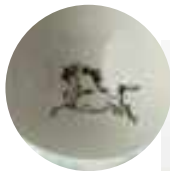
- ③ T72628150-876150 なまこ釉 酒器揃
16,500円(本体価格**15,000**円)
 徳利450ml ぐいのみ径7×5cm (85ml) 化粧箱
 ④ T72627380-876150 なまこ釉 向付 **カット**
4,180円(本体価格3,800円) 径11.3×5.7cm 化粧箱
 ⑤ T72626300-876150 なまこ釉 焼酎カップ
3,300円(本体価格3,000円) 径9×9.5cm (275ml) 化粧箱
 ⑥ T72629350-876150 なまこ釉 マグカップ
3,850円(本体価格**3,500**円) 径8.5×8.5cm (250ml) 化粧箱
 ⑦ T72623170-876150 なまこ釉 鶴首花入 **カット**
18,700円(本体価格17,000円)
 径10×21.5cm (400ml) 化粧箱

乾馬窯(堤焼) ①▲(◆8802) 土 ▼

松永窯



ふくしまから
はじめよう。



T92498300-876150
 相馬焼 馬九行久 たっぶり碗
3,300円(本体価格**3,000**円)
 径10×7.7cm (170ml)
 トムソン (7.9×14.1×13.2cm)



左馬



T92493280-876150
 相馬焼 馬九行久 湯呑
3,080円
 (本体価格**2,800**円)
 径7.2×9cm (150ml)
 トムソン (9.5×7.7×7.7cm)

T92494450-876150
 相馬焼 馬九行久
 二重マグカップ
4,950円
 (本体価格**4,500**円)
 径8.4×8.8cm (150ml)
 トムソン (10.3×11×9.2cm)

T92495800-876150
 相馬焼 馬九行久 夫婦湯呑揃
8,800円(本体価格**8,000**円)
 大径7.5×9.5cm (145ml)
 小径6.7×9cm (100ml)
 木箱 (9.2×18.8×11.7cm)

T92496900-876150
 相馬焼 馬九行久 酒器揃
9,900円(本体価格**9,000**円)
 徳利250ml ぐいのみ径5×4.8cm (40ml)
 化粧箱 (9.5×17.2×12.6cm)

T92497300-876150
 相馬焼 馬九行久 長カップ
3,300円(本体価格3,000円)
 径12.6×6.9cm (170ml)
 トムソン (14×9.8×9.8cm)

松永窯(大塚相馬焼) ①▲(◆8802) 土 ▼

なれずし・早ずし

日本遺産認定の鯖街道でもたらされた鯖(もちろん鯖に限らないけれど)は、特に、京料理の一つにもかぞえられる鯖寿司(さばずし)は有名で、サバを用いて作られる棒寿司の一種、または鯖のなれ寿司です。なれ寿司は主に魚を塩と米飯で乳酸発酵により酸味を生じさせるもので、にぎり寿司を中心とした早ずし(江戸前)とは全く違う鮓(鮓)です。

また、さまざまな鯖を愉しむ料理が発展しました。

平安「さばずし」

京都の祭りや慶事に欠かせない。京都は新鮮な魚を手にするには海から遠すぎて、若狭湾の魚を一塩して運ばなければならなかった歴史が生み出しました。



S38852110-876
 秀峰窯 御深井十草 深小皿
1,210円(本体価格1,100円)
 (瀬戸焼) 径10.8×2.7cm
 ポール箱 ① (1112) 土



若狭「へしこ」

脂ののった鯖を塩漬けにして、2~3週間おき、糠・唐辛子などを加え、上に重石をのせ、半年間もの間眠りつつけて鯖のへしこが出来上がります。



S38853090-876
 初平窯 白うのぶ花形 小皿
990円(本体価格900円)
 (瀬戸焼) 径11.2×2.6cm
 ポール箱 ① (1112) 土



紀州「ささずし」

和歌山で鯖ずしと呼ばれるお寿司。酢飯の上に、甘酢漬けの生姜と、同じく甘酢に漬けた鯖をのせ、笹の葉で巻いた、食べやすい大きさで甘酸っぱいお寿司。



S38563090-876
 秀峰窯 御深井 花形小皿
990円(本体価格900円)
 (瀬戸焼) 径11.2×2.8cm
 ポール箱 ① (1112)



丹後「ばらずし」

丹後地方にのみ古くから伝わる独特のお寿司。「鯖のおぼろ」をはじめ、椎茸・干瓢・たけのこ・かまぼこなどの具材を折にすし飯を詰め、盛り付けます。



S38859100-876
 秀峰窯 御深井鉄彩 小判皿
1,100円(本体価格1,000円)
 (瀬戸焼) 径12.6×10.2×1.7cm
 ポール箱 ① (1112)



Recommend
 粋(いき)と粋(すい)
 名窯カタログ巻末P83-R543参照

歴史と文化に旅、そして器

●撮影に使用したお料理は食器の良さを引き出すイメージのために使用したものです(店名は購入店を備忘するため、その器をお薦めいただいたものではなく、また販売期間等限られたものもあります)。
 ●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。



毎日の食卓に
ちよつとしたわくわくを。
こころがはずむ、
ハレクタニの食器。



あなたの晴レの日へ贈る九谷の焼物。

使って明るい気持ちになれる、晴れやかな暮らしを届けたい。
あなたの生活に新しい彩りを。華めく晴レの日「HAREKUTANI」
長年にわたって受け継がれた伝統を守りつつ、
現代のライフスタイルに合わせて、
より使いやすいカタチとデザインを考え作られました。
みなさまの食卓にちよつとした彩りが演出できますように。



RD



YE



GR



RD



YE



GR

- ① S38892100-877 ハレクタニ 春花 銘々皿 RD
 - ② S38893100-877 ハレクタニ 春花 銘々皿 YE
 - ③ S38894100-877 ハレクタニ 春花 銘々皿 GR
- 各 1,100円(本体価格1,000円)
(九谷焼) 径12×1.8cm 紙箱 ① (3202)

- ④ S38895150-877 ハレクタニ 春花 カップ RD
 - ⑤ S38896150-877 ハレクタニ 春花 カップ YE
 - ⑥ S38897150-877 ハレクタニ 春花 カップ GR
- 各 1,650円(本体価格1,500円)
(九谷焼) 径7.9×6.5cm (200ml) 紙箱 ① (3202)

美と食の追求

北大路魯山人



1883年3月23日京都上賀茂生まれ。幼い頃から書道、西洋看板に親む。東京に移り、日本美術展覧会に書を出品して一等賞を受賞。書道、篆刻、陶芸、漆芸などで活躍。大正に入り、会員制「美食倶楽部」を発足、後に「星岡茶寮」を創業。「食器は料理の着物である」の信念で、自らの作品でもてなされた。

T94945300-8811175
魯山人写しの器 三ツ組鉢(細密飾り木箱入)
3,300円(本体価格3,000円)
(日本製) 径16.8×4.8cm
細密飾り木箱 (20×20×9.6cm) ① 梱16入 (Q218)



監修: かわりべ魯文
野寺文雄氏
昭和21年生まれ

食器、陶器メーカー勤務を経て、魯山人に関する著書の発行、魯山人に関するイベントや展示会を企画。「魯山人写しの器」を企画。

待味とまかせ

「茶碗の日」

11月23日。勤労を尊び、生産を祝い、国民が互いに感謝し合うとの趣旨で制定された祝日。茶碗(飯碗)に、出回り始めた新米は、いかに美味しくして。11月23日を「茶碗の日」として、あらためて新米と茶碗を愉しみにしたいと日本陶彩(株)は考えました。

TOISAI 11月23日
http://www.tohsai.com/

11月24日は「和食の日」



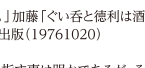
和食文化国民会議
Washoku JAPAN
日本陶彩は、一般社団法人和食文化国民会議(略称:和食会議)の会員です。

和食文化国民会議

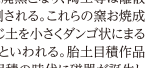
- R479 <創刊> 陶磁の世界の現状は、芸術としての作品から、日常雑器の生産、そしてアマチュアの手づくりに至るまでの大きな陶芸の流れと、建築からニューセラミックスまで広がった産業面への流れというように、無限の可能性が約束されています。
R480 <豊草原の瑞穂国> 「古事記」や「日本書紀」がわが国土の創生をもつて「豊草原の瑞穂国」と美称したのは、神話的虚構にすぎない。
R481 <轆轤の痕跡> 轆轤の痕跡のある所謂祝部土器(須恵器)は、朝鮮南部の古墳から発見せられる土器と多くの類似を有する。
R482 <豊富な意匠> 縄文式土器の、こうした豊富な意匠の展開は、硬玉にあなをうがった石工技術の発達とあわせて、日本文化史の一つの特色をなす工芸的技術の熟達で、すでにこの段階からあらわれていることを考えさせるに足りよう。
R483 <古田織部享年七十二歳> 家康により織部は大坂夏の陣にて、敵方と内通したという濡れのない罪によって切腹を申しつけた。
R484 <お菓子と風土> 和菓子は日本の風土とともにあると語っていいでしょう。
R485 <陶山之争> 三代實録巻二、「貞観元年三月癸四日庚申遣左衛門少尉正六位下紀朝臣景。右衛門大志從六位上櫻井田連貞雄麻呂河内。和泉兩國。豐後陶山之事。...



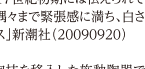
長坂金指輪「陶器講座」
藤山園(19351110)より
陶彩文庫蔵(L360)



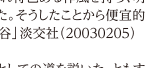
白鳥の御用
陶彩文庫蔵(L360)



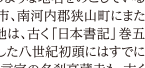
寛文デザイン
陶彩文庫蔵(L360)



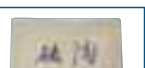
毛利氏の御用
陶彩文庫蔵(L360)



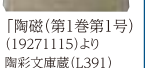
再興九谷の時代
陶彩文庫蔵(L360)



白い焼き物への憧れ
陶彩文庫蔵(L360)



さえずり
陶彩文庫蔵(L360)



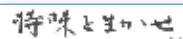
茶碗の歴史
陶彩文庫蔵(L360)

美と食の追求

「うまいものを食べて、暮らしたい。」それは、幼い頃の魯山人の言葉です。美食好きは、多大なエネルギーと美的感覚を磨きすぎて、自ら美味しいものを求めて作り、器に盛り、食し、人に供しました。魯山人主催の美食倶楽部、星岡茶寮では自ら美食を愉しむための器を作り上げます。その自由で奔放な魯山人の魅力をかたけ魯文氏に監修していただき写しの器に再現してみました。



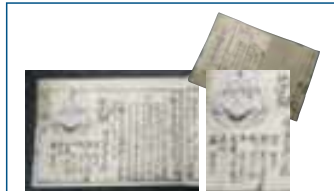
T92855500-8851183
魯山人写しの器 料理揃
5,500円(本体価格5,000円)
(美濃焼) 盛鉢16×6.7cm
小皿9.8×11×3cm
木箱(15.7×17.8×17.4cm)
① 箱12入(O218)



備前国に於て
陶器を製するに
遠く雄略の朝をこし

古賀静修編「陶器小志」
飯田邦彦(19220712)より
陶彩文庫蔵(L387)

- R599 <神仏や仏前に伝わるカワラケ> 小皿がおかず、あるいは肴を取りわけのるに古くから重用された、という史実を物語るもうひとつの史料は、神前や仏前に供えるカワラケの存在である。「瓦筒」と記す。瓦質の器、つまり素焼土器の小皿にはかならない。現在、一般的に出まわっているのは、白い磁器のそれである。が、ほんの四半世紀前までは、各地に土器の器が残存していた。たとえば、堀(宮城)、今戸(東京)、高浜(愛知)、大原(岡山)、佐野(山口)など、昭和30年代のころまでは素焼土器を専門に焼く窯場も存在していたのである。出典：神崎宣武著「うづわを食う」日本放送出版協会(19960220)
- R600 <式正の料理> ちなみに、本膳とは、もともとは式正の料理の中央にすえられる膳のことをいう。それは、精進料理を源流とし、武家社会で定型的化した。今日に伝わるハレの日本料理の原型となる。その本膳料理の形式を省略したかたちで広まったのが、うちの江戸時代という会席料理である。いわゆる白丁の膳に盛りこんだ形式の宴会料理である。出典：神崎宣武著「日本のうづわ 一食の文化を探る」河出書房新社(19981208)
- R601 <旅先のお茶室> 宿やお店で、あるいは訪れた一般の家庭で、まず出されるのが抹茶だった、というのは金沢では普通のこと。ごく日常に、茶道の世界が垣間見えるのです。出典：今田龍子編「改訂版 茶事・茶会文庫帖」ハースト婦人画報社(2021217)
- R602 <縄文文化> 旧石器時代の後に成立した、縄文土器を使用する文化。北海道から沖縄まで、日本列島のほぼ全域に展開した。出典：田端宏/委原真人監修「アイヌ民族の歴史と文化 教育指導の手引」山川出版社(20000815)
- R603 <そばつゆのいろいろ> この本では、そばに添えたり、かけたりする汁のことをそばつゆと呼んでいるが、「汁」「つゆ」、山陰道の一部において「たれ」というのは「味噌だれ」の名残である。同一のものを呼名だけ変えているようにみえるが、必ずしもそうではない。「そばつゆ」と呼んでいるものを分けてみると、3つ系統がある。一つはそばにからみつけ要素に重点をおいた「汁」である。もう一つは薄味で、そばつゆの中にそばを入れて、かきまわつたて、あるいは小さな椀などに入れて、上からかけて食べる汁で「つゆ」の言葉のあはれるもの。この二つの間、味はわりあい濃い、とろみを持たない、あっさりしたからい「汁」がある。出典：植原路郎/藤原一著「そばの本」楽田書店(19820201)
- R604 <箸の習俗行事> 食事中、日本人が離すことのない箸は食器の王者として神聖視され、食前に「いただきます」と箸を「いただく」風習を生んだ。奈良時代に箸が一般化した著者は、箸は大切な御器と呼ばれ、日本人の祈りが込められてきた。それは、生命永遠、生命更新、五穀豊穡、大自然すなわち神々への感謝の祈りでもあった。それゆえ人々は神々からの賜物をおいたどようになり、それを形に表したのが朝夕の箸をいっただいで食べることであった。出典：本田郷一郎著「箸の本」楽田書店(19811101)
- R605 <川中時四郎> 一年、二年、三年、土を練り、形を作り、絵を描き、軸を掛け、焼き上げてはたたき割るという壮絶な日々が続きました。しかし、ついにその日は来ました。いつもの通り、真っ赤に焼けた茶碗を窯から鉄棒で取り上げ、ジュッと水に浸けた後、時四郎は艶のある真っ黒に焼き上がった織部藍の茶碗を手に乗せてつくづく眺め、小さく頷きました。「時の外になぞつく」と言った。仙人の言葉を時四郎は受けつらに聞かされた。彼は、黄瀬戸、志野、そして、織部と時代を越えて心を通わせる自らの作品を作り上げていたのです。その美濃焼の作品は、やがて京の公家衆や茶人の垂涎的になったということです。出典：堀貞一郎著「多治見ものがたり」余暇通信社(20090901)
- R606 <道光庵草をなめたひかおばか> 座敷は、奥が深いしと出物を配膳する時お遊びさんはいちいち履物をぬがねばなりませんので、そこに眼を留めます。また、蕎麦屋の椅子はたいがいは大きいです。店が狭いし、せかちなお客が多いので、ゆとりゆとりはなくなっていません。蕎麦屋のお客は、たいがい「3分」で召し上がり終わります。テーブルが多い、蕎麦屋のテーブルは洋食店のものより7、8センチ低くなっています。これは、「長もの」をつまみ上げることでテーブルが高いと食べにくいからです。椅子も高めで膝がつかぬきように工夫してあるのですが、お気付きになりましたでしょうか。そのかわり座り心地は良くありません。本心は壊れないようにできているのです。なしる単価は低いのです。出典：藤村夫著「蕎麦屋のしきたり」日本放送出版協会(20011110)
- R607 <和食作法> 和食での決まりごとは、和室での所作と向き合っていく。きちんとした理由があるもの。決まりごとを守ることで、そばにいての気持ちや保ち、守らなければならない周りの人の気分を害することもあります。箸遣いに限らず、食事の繊細な作法も、その背景には大きな祝座や発想があるのが特徴です。出典：広田千穂子著「ほんとうの「和」の語文鑑考(20130130)
- R608 <そば切り> 用途の常として、実際にはそばのつけ汁を入れるだけの用ではないかもしれないが、少なくとも、この逆の形勢が、生産増大の背景にはやはりそばの流行があったという。杉浦氏が「江戸で蕎麦煎り」といえば清酒のこと。そばが飛ぶ前、一杯や二杯と待つ」と述べて「口」と、こうた逆形状の口で酒を飲んだことも想像できる。「猪口」という言葉の持つ用途の一つに、酒の杯が加わっていたのがやはり18世紀からとすればなおさらのことである。出典：大橋康二監著「文様別 そば猪口図鑑」青幻舎(20110510)
- R609 <八十八夜は新茶の季節> 新茶の煎じかたはお湯の温度がポイント。熱過ぎるお湯だと渋みが出てしまうので、冷ましてから急須にそそぎます。だいたい60度くらいがベスト。お茶碗に手をあててみて、気持ちよと感じるくらいの温度が50〜60度くらいです。出典：広田千穂子著「おうちで楽しむ日本の行事」三笠書房(20061117)
- R610 <正倉院宝物の文様> ①パルティアンショット:銀盃などに見られる、振り返りざまに弓を射る騎馬像、騎馬狩りの文様が西アジア美術における伝統的な主題である「帝王狩猟図」を縮したものである。②樹下対鹿文:鹿馬本尊羅摩像の頭・木の木の下に鹿が対立する文様。生命の象徴である聖樹を中央に置き、これに相対する2頭の聖獣(獅子・牛・羊)などを配した図様は、聖メソポタミアを中心とする地域に見られる。③下人図:いわゆる鳥毛立女屏風で動物文に記載されている曲裾の聖武天皇遣使の扉画。6扇のそれぞれに樹木の傍に美女が描かれる。④葡萄唐草文:葡萄の葉を組み合わせる葡萄唐草文は、細長い空間を美しく装飾できる。多くの美術品に用いられた。⑤鳥文:紋章文や花鳥文を合わせた唐草文という。正倉院の螺鈿紫壇城や金銀平脱背八角鏡、東大寺の金銅柱太刀などに見られる。⑥連珠文:最も初期の連珠文は、獅鳳文や獅子狩文などで、ときおりに伝来した船載品の影響を受けて、だいたいの形が複雑なものへ発展し、8世紀には正倉院文様に育っていった。出典：北啓密大監修「別冊太陽 正倉院の世界」平凡社(20060922)
- R611 <食卓が華やかに変わる> 和食器の中で、もっとも多く使われるのが陶磁器。皿や鉢などはじめ、あらゆる種類の食器が揃っている。種分けの方法は、大きさ、形、用途などさまざまだが、ここでは大きさを目安に分類してみた。やきもの世界では、今でも大きさを尺貫法で表わることが多い。皿といふのは、昔から尺皿と呼ばれる直径30センチ前後のものを指す。このくらい大きさがあって、料理がのって盛り、また何品か盛り合わせて豪華な雰囲気も出せるので、お客さまもめでたい人々で取り回しにびつり。旬のものを彩りよく盛り込んだ大皿が一つつまれば、食卓が華やかに演出される。出典：山村浩編「やきもの知識百科」主婦と生活社(19910101)
- R612 <ハンという言葉> ハン(著)は「はさむ・つまむ・支える・運ぶ・切る・裂く」などの多彩な機能を持つ、食物を口に運ぶ道具です。このように多彩な「ハン」の語源は「食と口の結合の意」「間にはさむ」「はしは柱なり」神や仏が宿る小の柱であり神木であること。また「はしは端なり」これは細かく削った竹、または木の中道を折って、その端と端とを合わせた食器ははさむこと。などの多くがみられます。出典：一色八郎著「日本人はなぜ箸を使うか」大月書店(19870706)
- R613 <磁器生産の開始> そこで、文化元(1804年)、先進の磁器生産技術を学ぶため、後に磁相とあがめられる加藤民吉が肥前へ分立ちます。そして同4(1808)年に民吉が瀬戸に戻ると、民吉が肥前で学んだ原土の精製法、釉薬の割合法、丸瀬、分製などが伝えられ、瀬戸の磁器生産技術は飛躍的に向上していききました。そして、陶業を営むことのできたのは長門戸主に限られていたものが、新製法に関しては二男・三男でも開業できたこと、本業から新製法への転業が相続したことなどによって、すでに磁器生産は陶器生産へと大きく変わります。出典：せとものフェスタ99実行委員会/瀬戸市歴史民俗資料編「せとものフェスタ99瀬戸焼1300年の伝統と技術」大せともの祭協賛会(19990417)



菊木嘉保編「萬宝全書(巻六)」(1694(元禄7)上梓)陶彩文庫蔵(L398)



大西林五郎著「鑑定備考 日本陶誌」松山堂書店(19190601)より陶彩文庫蔵(L395)

真心のかけは 陶彩

色鮮やかな日本の自然のなか、豊かな食卓を「器(うつわ)」で彩りよく演出し、より美味しく食して欲しいと希望をふくらませています。
真心のかけはしとなる器をご提案いたします。



S38736 **150**-887⁸¹³
陶窯窯 花結晶(茶) 三寸皿
1,650円(税込価格)
9.5×1cm



S38745 **150**-887⁸¹³
陶窯窯 花結晶(緑) 三寸皿
1,650円(税込価格)
9.5×1cm



S38750 **150**-887⁸¹³
陶窯窯 花結晶(黄) 三寸皿
1,650円(税込価格)
9.5×1cm



S38528 **150**-887⁸¹³
陶窯窯 花結晶(白) 三寸皿
1,650円(税込価格)
9.5×1cm



S38944 **150**-887⁸¹⁴
陶窯窯 花結晶(青) 三寸皿
1,650円(税込価格)
9.5×1cm



S38743 **200**-887⁸¹³
陶窯窯 染付桜 三寸皿
2,200円(税込価格)
9.5×1cm



S38748 **200**-887⁸¹³
陶窯窯 染付牡丹 三寸皿
2,200円(税込価格)
9.5×1cm



S38758 **200**-887⁸¹³
陶窯窯 染付鉄線 三寸皿
2,200円(税込価格)
9.5×1cm



S38766 **200**-887⁸¹⁴
陶窯窯 染付山葡萄 三寸皿
2,200円(税込価格)
9.5×1cm



S38783 **200**-887⁸¹⁴
陶窯窯 染付椿 三寸皿
2,200円(税込価格)
9.5×1cm



S38738 **150**-887⁸¹³
匠窯 粉引 丸小皿
1,650円(税込価格)
9×1.5cm



S38776 **160**-887⁸¹⁴
喜信窯 志野十草 三寸皿
1,760円(税込価格)▼
9×2cm



S38942 **200**-887⁸¹⁴
匠窯 黒釉金彩 丸小皿
2,200円(税込価格)
9×1.5cm



S38774 **200**-887⁸¹⁴
匠窯 黒釉銀彩 丸小皿
2,200円(税込価格)
9×1.5cm



S38733 **300**-887⁸¹³
陶窯窯 四季の花(紅白梅) 三寸皿
3,300円(税込価格)
9.5×1cm



S38526 **300**-887⁸¹³
陶窯窯 四季の花(桜) 三寸皿
3,300円(税込価格)
径9.5×1cm



S38755 **300**-887⁸¹³
陶窯窯 四季の花(紫陽花) 三寸皿
3,300円(税込価格)
9.5×1cm



S38761 **300**-887⁸¹³
陶窯窯 四季の花(鉄線) 三寸皿
3,300円(税込価格)
9.5×1cm



S38768 **300**-887⁸¹⁴
陶窯窯 四季の花(山葡萄) 三寸皿
3,300円(税込価格)
9.5×1cm



S38773 **300**-887⁸⁰⁹
陶窯窯 花結晶(茶) 銘々皿
3,300円(税込価格)
12.5×2cm



S38718 **300**-887⁸¹⁰
陶窯窯 花結晶(緑) 銘々皿
3,300円(税込価格)
12.5×2cm



S38754 **300**-887⁸¹³
陶窯窯 花結晶(白) 銘々皿
3,300円(税込価格)
12.5×2cm



S38721 **300**-887⁸¹⁰
陶窯窯 花結晶(青) 銘々皿
3,300円(税込価格)
12.5×2cm



S38206 **350**-887⁸⁰⁹
陶窯窯 染付草花(桜) 四寸丸皿
3,850円(税込価格)
13×1.5cm



S38906 **300**-887⁸¹³
陶窯窯 花結晶(黄) 銘々皿
3,300円(税込価格)
12.5×2cm



S38730 **550**-887⁸⁰⁶
陶楽窯 紫彩華彩 銘々皿
6,050円(税込価格)
14×2cm



S38752 **600**-887⁸¹³
陶楽窯 紫翠紋 銘々皿
6,600円(税込価格)
13×2cm



S38701 **100**-887⁸⁰⁹
昭阿弥窯 祥瑞山水 四寸皿
11,000円(税込価格)
12×2cm



S38712 **220**-887⁸⁰⁹
匠窯 粉引 五寸丸皿
2,420円(税込価格)
15×2cm



S38747 **240**-887⁸¹³
匠窯 粉引 五寸角皿
2,640円(税込価格)
16×16×3cm



S38715 **300**-887⁸⁰⁸
大日窯 灰砂三彩 五寸皿
3,300円(税込価格)
15.5×3cm



S38722 **300**-887⁸¹⁰
大日窯 鉛釉 五寸皿
3,300円(税込価格)
15.5×3cm



S38771 **320**-887⁸¹⁴
嘉郎窯 灰緑丸 五寸皿
3,520円(税込価格)
15×2.5cm



S38727 **280**-887⁸¹⁰
匠窯 黒釉銀彩 五寸丸皿
3,080円(税込価格)
15×2cm



S38940 **280**-887⁸¹⁴
匠窯 黒釉金彩 五寸丸皿
3,080円(税込価格)
15×2cm



S38778 **400**-887⁸¹⁴
陶窯窯 花結晶(白) 楕円鉢(小)
4,400円(税込価格)
23×19×4cm



S38765 **400**-887⁸¹⁴
陶窯窯 花結晶(銀藤) 楕円鉢(小)
4,400円(税込価格)
23×19×4cm



S38757 **400**-887⁸¹³
大日窯 碧彩 五寸皿
4,400円(税込価格)
15×3cm



S38709 **300**-887⁸⁰⁹
喜信窯 志野十草 五寸皿
3,300円(税込価格)▼
15×3.5cm



S38740 **350**-887⁸¹³
幹窯 吉祥桜 五寸角皿
3,850円(税込価格)
15.5×15.5×2.5cm



S38763 **350**-887⁸¹⁴
幹窯 吉祥秋草 五寸角皿
3,850円(税込価格)
15.5×15.5×2.5cm



S38781 **360**-887⁸¹⁴
幹窯 めでたい(赤) 中皿
3,960円(税込価格)
17×1.5cm

「陶彩の日」
日本陶彩株式会社は、色鮮やかな日本の自然のなか、豊かな食卓を「器(うつわ)」で彩りよく演出し、より美味しく食して欲しいという願いを込めて、10月31日を「陶彩の日」(「10(とう)」「31(さい)」の日)と致しました。
【日本記念日協会認定】
TOISAI 10月31日 陶彩
http://www.tohsai.com/

和食文化国民会議
Washoku JAPAN

伝えよう、和食文化を。
http://washoku-japan.jp/
「食」と「器」は密接不可分です。
「和食」をいただきます。

日本陶彩は、一般社団法人和食文化国民会議(略称：和食会議)の会員です。

京焼・清水焼
陶窯窯

facebook

音羽の滝
京都府山科

NihonThosai



S38900**300**-888⁸⁰⁹
花月窯 白印華 お茶呑茶碗
3,300円(税込価格)
9×6.5cm (170ml)



S38700**200**-888⁸⁰⁹
鳳山窯 染花紋 お茶呑茶碗
2,200円(税込価格)
9×6cm (180ml)



S38717**240**-888⁸¹⁰
柳窯 本粉引 お茶呑茶碗
2,640円(税込価格)
9.5×5.5cm (210ml)



S38726**300**-888⁸¹⁰
花月窯 釉彩点紋 タル型湯呑
3,300円(税込価格)
6.5×7cm (175ml)



S38847**400**-888⁸⁰⁹
陶舜窯 花結晶(黄) お茶呑茶碗
4,400円(税込価格)
9×7cm (260ml)



S38720**400**-888⁸¹⁰
陶舜窯 花結晶(白) お茶呑茶碗
4,400円(税込価格)
9×7cm (260ml)



S38844**350**-888⁸¹⁰
讓司窯 黒柿釉 湯呑
3,850円(税込価格)
8×8cm (225ml)



S38191**375**-888⁸¹⁰
清泉窯 萩がさね 湯呑(小)
4,125円(税込価格)
7×8cm (220ml) 土



S38729**500**-888⁸¹⁰
陶楽窯 紫彩華紋 お茶呑茶碗
5,500円(税込価格)
8×6.5cm (195ml) ●



S38904**800**-888⁸⁰⁹
陶舜窯 花揃え(すみれ) お茶呑茶碗
8,800円(税込価格)
9×7.5cm (260ml)



S38706**800**-888⁸⁰⁹
陶舜窯 花揃え(桜) お茶呑茶碗
8,800円(税込価格)
9×7.5cm (260ml)



S38902**110**-888⁸⁰⁹
壹楽窯 ヒワ花雲 お茶呑茶碗
12,100円(税込価格)
9.5×5cm (165ml)



S38705**300**-888⁸⁰⁹
陶舜窯 白掛桜 急須
33,000円(税込価格)
12×9.5cm (280ml)



S38905**400**-888⁸⁰⁹
陶舜窯 白掛彩草花 急須
44,000円(税込価格)
12×9.5cm (440ml)



S38843**440**-888⁸¹⁰
浩三窯 わら釉 急須
4,840円(税込価格)
11.5×6.5cm (230ml)



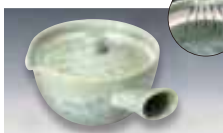
S38147**470**-888⁸¹⁰
浩三窯 花透し 急須
5,170円(税込価格)
11×9.5cm (230ml)



S38140**850**-888⁸¹⁰ 清泉窯 萩がさね 急須
9,350円(税込価格) 12×9cm (270ml) 土



S38719**120**-888⁸¹⁰
陶舜窯 花結晶(白) 急須
13,200円(税込価格)
11.5×8.5cm (260ml)



S38846**120**-888⁸⁰⁹
陶舜窯 花結晶(緑) 急須
17,600円(税込価格)
11.5×8.5cm (260ml)



S38716**100**-888⁸¹⁰
花月窯 白印華 急須
11,000円(税込価格)
13×10cm (490ml)



S38901**120**-888⁸⁰⁹
清泉窯 四季印華 急須
13,200円(税込価格)
11×10cm (420ml)



S38728**160**-888⁸¹⁰
陶楽窯 紫彩華紋 急須
17,600円(税込価格)
11×8cm (400ml)



S38699**200**-888⁸⁰⁹
陵泉窯 彫赤絵花鳥 急須(小)
22,000円(税込価格)
10.5×8.5cm (390ml)



S38741**250**-888⁸¹³
嘉峰窯 グローバー 飯碗(小)
2,750円(税込価格) ▼ **カット**
11.5×5.5cm



S38759**350**-888⁸¹³
大日窯 碧彩 飯碗(大)
3,850円(税込価格)
11×6.5cm



S38911**250**-888⁸¹⁴
昌久窯 粉引鶴亀 飯碗(大)
2,750円(税込価格)
12×5.5cm



S38734**310**-888⁸¹³
喜信窯 志野印華 飯碗(小)
3,410円(税込価格)
11.5×6cm



S38907**360**-888⁸¹³
嘉峰窯 花おしどり 飯碗(大)
3,960円(税込価格)
12.5×6cm



S38739**350**-888⁸¹³
俊山窯 彩さくら 飯碗(小)
3,850円(税込価格)
11.5×5cm



S38848**350**-888⁸¹⁴
俊山窯 京の秋 飯碗(大)
3,850円(税込価格)
11.5×6cm



S38772**360**-888⁸¹⁴
花月窯 黒輪線紋 飯碗
3,960円(税込価格)
10.5×6.5cm



S38650**375**-888⁸¹⁴
花月窯 櫛目印華 飯碗(大)
4,125円(税込価格)
12×6.5cm ● **#H!**



S38777**325**-888⁸¹⁴
俊山窯 吉祥富士 飯碗(大)
3,575円(税込価格)
11.5×6cm



S38845**360**-888⁸¹⁴
花月窯 釉彩点紋 飯碗
3,960円(税込価格)
10.5×6.5cm



S38770**380**-888⁸¹⁴
大日窯 釉彩 飯碗
4,180円(税込価格)
11×6cm



S38908**350**-888⁸¹³
喜信窯 鉄絵三島 飯碗(大)
3,850円(税込価格)
12.5×6cm



S38775**350**-888⁸¹⁴
喜信窯 志野十草 飯碗(小)
3,850円(税込価格)
12×5.5cm



S38746**700**-888⁸¹³
陶舜窯 交趾唐草 飯碗(大)
7,700円(税込価格)
12×6.5cm



S38909**375**-888⁸¹⁴
北哉窯 花六瓢 飯碗(小)
4,125円(税込価格)
11×5.5cm



S38767**400**-888⁸¹⁴
清泉窯 萩がさね 飯碗(大)
4,400円(税込価格)
13×6cm



S38910**400**-888⁸¹⁴
北哉窯 鶴松竹梅 飯碗(大)
4,400円(税込価格)
12×6.5cm



S38749**450**-888⁸¹³
陶楽窯 舞い唐草 飯碗(小)
4,950円(税込価格)
12×6cm



S38753**600**-888⁸¹³
昇峰窯 涼 飯碗(大)
6,600円(税込価格)
12×5.5cm



S38762**600**-888⁸¹⁴
昇峰窯 紫野 飯碗(大)
6,600円(税込価格)
12×5.5cm



S38731**100**-888⁸¹³
陶舜窯 紅白梅 飯碗(小)
11,000円(税込価格)
12×5.5cm



S38756**120**-888⁸¹³
陶舜窯 織部芙蓉 飯碗(小)
13,200円(税込価格)
12×5.5cm



S38744**140**-888⁸¹³
陶舜窯 白掛紫草花 飯碗(大)
15,400円(税込価格)
12×6cm



幸祥窯

- ① S38364500-834 幸祥窯 白虎(びゃっこ) 飯碗 ●
 - ② S38363500-834 幸祥窯 朱雀(すざく) 飯碗 ●
 - ③ S38109500-834 幸祥窯 染付竜 飯碗 ●
 - ④ S38365500-834 幸祥窯 玄武(げんぶ) 飯碗 ●
 - ⑤ M54359500-834 幸祥窯 染付左馬 飯碗
- 各 5,500円(税込価格)
(波佐見焼) (2203)



M55412300-857
ハンドメイド・テイスト 秀峰窯 志野野の花 組飯碗
3,300円(税込価格)(瀬戸焼) (1112)

S38917150-857(V)
ハンドメイド・テイスト 秀峰窯 志野野の花 飯碗(小)

S38918150-857(V)
ハンドメイド・テイスト 秀峰窯 志野野の花 飯碗(大)

各 1,650円(税込価格)(瀬戸焼) (1112)



S38373200-842(V)
陶彩「純」黒織部 飯碗
2,200円(税込価格)
(瀬戸焼) ●(1112)

⑥ S38569200-826
与山窯 更紗唐草文 飯碗

⑦ S38570200-826
与山窯 更紗花卉文 飯碗

⑧ S38571200-826
与山窯 更紗赤花文 飯碗
各 2,200円(税込価格)
(有田焼) (2101)



M54875350-861 椿秀窯 萩むらさき 組飯碗
3,850円(税込価格)(萩焼) ●(3805) Hit!

S38694175-861 椿秀窯 萩むらさき 飯碗(大)

S38695175-861 椿秀窯 萩むらさき 飯碗(小) ●

各 1,925円(税込価格)(萩焼) (3805)



S38806140-856(V)
芝苑 黒釉白ながし 飯碗
1,540円(税込価格)
(瀬戸焼) (1112)

S38807130-856(V)
芝苑 黒釉白ながし 湯呑
1,430円(税込価格)
(瀬戸焼) (1112)



S38796200-864 天龍窯 ソライロ飯茶碗

S38797200-864 天龍窯 モモイロ飯茶碗

各 2,200円(税込価格)(萩焼) ●(3806) Hit!



S38052220-830 陶翠窯 白釉トチリ 飯碗
2,420円(税込価格)
(瀬戸焼) (1112)

S38554230-826 小春花 赤染麦わら手 飯碗
2,530円(税込価格)
(瀬戸焼) (1112) ●

S38631250-850 定山窯 瓔珞紋 飯碗(大)
2,750円(税込価格)
(有田焼) (2101)



S38873250-831 長江作 赤絵小花 飯碗
2,750円(税込価格)
(瀬戸焼) (1112)



S38496250-833 カット
清玩 御本手 飯茶碗
2,750円(税込価格)
(萩焼) (3805)



S38495250-830 カット
山根清玩 青秋 飯茶碗
2,750円(税込価格)
(萩焼) (3805) ●



S38675180-833 秀窯 黒三島 飯碗(大)
1,980円(本体価格1,800円)
(美濃焼) 径12.5×7cm
紙箱 ① (0202) 土



S38038260-832 幸祥窯 丸紋 飯碗 Hit!

2,860円(税込価格)
(波佐見焼) (2203) ●



S38926280-842 惣太窯 染錦唐草 茶碗(大)
3,080円(税込価格)
(有田焼) (2104)



S38020300-831 Hit!
川合孝知 いちご 飯碗
3,300円(税込価格)
(九谷焼) (3202) ●



M50442300-844 岡田綱代 十草 飯碗
3,300円(税込価格)
(九谷焼) (3202)



S38083280-830 Hit!
幸祥窯 朱濃唐草 飯碗
3,080円(税込価格)
(波佐見焼) (2203) ●



S38061300-833 清和窯 白釉そぎ 飯碗(小)
3,300円(税込価格)
(京焼・清水焼) (3102)



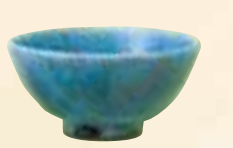
S38076280-828 Hit!
染峰窯 白磁そぎ 飯碗(小)
3,080円(税込価格)
(清水焼) (3102) ●



S38108320-834 Hit!
一真窯 白磁手彫り 飯碗
3,520円(税込価格)
(波佐見焼) (2201)



S38635300-850 定山窯 外呉須花弁十草 反飯碗(中)
3,300円(税込価格)
(有田焼) (2101) ●



S38072360-828 Hit!
佳窯 トルコ釉 小飯碗
3,960円(税込価格)
(常滑焼) (3603) ●



S38545300-826 カット
玉山窯 藍十草 飯碗
3,300円(税込価格)
(美濃焼) (0202)



⑨ S38099300-834 敏也窯 御本彩駒筋 飯碗(赤) Hit!

⑩ S38101300-834 敏也窯 御本彩駒筋 飯碗(青)

各 3,300円(税込価格)
(京焼・清水焼) (3104) ●

カット



②

Hit!

①

- ① S38091300-834 万作窯 十草 飯碗(大)
 - ② S38092300-834 万作窯 十草 飯碗(小)
- 各 3,300円(税込価格)
(九谷焼) (3201) ●



Hit!

S38075300-828
玉山窯 鼠志野ひまわり 飯碗
3,300円(税込価格)
(美濃焼) (0202) ●



カット

S38035300-831
河島喜信 緑袖花唐草 飯碗
3,300円(税込価格)
(京焼・清水焼) (3104)



カット

S38036300-832
玉山窯 朱十草 飯碗
3,300円(税込価格)
(美濃焼) (0202) ●



カット

S38849300-830
春草(中島満久) 黒織部十草 飯碗(小)
3,300円(税込価格)
(瀬戸焼) (1112) 土



Hit!

S38066370-833
佳窯 黒結晶 飯碗
4,070円(税込価格)
(常滑焼) (3603) ●



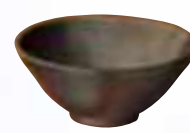
Hit!

S38071375-827
花月窯 櫛目印華 飯碗(小)
4,125円(税込価格)
(清水焼) (◆3105) ●



Hit!

S38103350-834
太一窯 かいらぎ 飯碗
3,850円(税込価格)
(波佐見焼) (2201) ●



Hit!

S38079300-829
夢幻工房 棧切焼 飯碗
3,300円(税込価格)
(備前焼) (3807)



S38556300-833
梅村知弘 黄瀬戸 飯碗
3,300円(税込価格)
(瀬戸焼) (1112)



S38558300-832
梅村知弘 赤染十草 飯碗
3,300円(税込価格)
(瀬戸焼) (1112)



S38048330-833
玉山窯 黒織部 飯碗
3,630円(税込価格)
(美濃焼) (0202) ●



Hit!

S38074330-828
岡田絹代 水玉 飯碗(小)
3,630円(税込価格)
(九谷焼) (3202) ●



S38557300-833
梅村知弘 織部 高台飯碗
3,300円(税込価格)
(瀬戸焼) (1112)



M54216380-844
岡田絹代 桜十草 飯碗
4,180円(税込価格)
(九谷焼) (3202)



Hit!

S38026380-831
山近泰 ポビー 飯碗
4,180円(税込価格)
(九谷焼) (3201) ●



S38855380-827
山近泰 アネモネ 飯碗
4,180円(税込価格)
(九谷焼) (3201) ●



Hit!

S38078350-829
眺窯 風船かざら 飯碗(小)
3,850円(税込価格)
(九谷焼) (3201) ●



S38039350-832
河島喜信 青釉三島 飯碗
3,850円(税込価格)
(京焼・清水焼) (3104) ●



Hit!

S38913400-842
しん窯 江戸紋 3.8寸丸飯碗
4,400円(税込価格)
(有田焼) (2101) ●



Hit!

S38069350-827
河島喜信 花釉三島 飯碗
3,850円(税込価格)
(京焼・清水焼) (3104) ●



M50438380-831
岡田絹代 花木 飯碗(小)
4,180円(税込価格)
(九谷焼) (3202)



S38540360-843
三浦繁久 粉引 飯碗
3,960円(税込価格)
(美濃焼) (0202)



S38034380-832
岡田絹代 花木 飯碗(大)
4,180円(税込価格)
(九谷焼) (3202) ●



S38080400-829
清泉窯 萩がさね 飯碗(小)
4,400円(税込価格)
(京焼・清水焼) (◆3105) ●



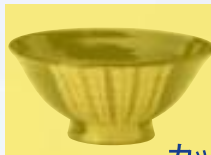
Hit!

S38081380-829
鉦則 織部 飯碗
4,180円(税込価格)
(瀬戸焼) (1112) ●



カット

S38851380-832
春草(中島満久) 黄瀬戸 お好み飯碗
4,180円(税込価格)
(瀬戸焼) (1112)



カット

S38310380-833
春草(中島満久) 黒織部 飯碗
4,180円(税込価格)
(瀬戸焼) (1112) ●



S38025400-831
銀舟窯 ロマンズ 飯碗(小)
4,400円(税込価格)
(九谷焼) (3202)



M55356400-833
三戸逸雄 白萩 飯碗
4,400円(税込価格)
(萩焼) (3806) ●



S38070450-827
銀舟窯 花ロマン 飯碗(小)
4,950円(税込価格)
(九谷焼) (3202)



S38058400-833
夢幻工房 ひだすき焼 飯碗
4,400円(税込価格)
(備前焼) (3807) ●



S38887500-844
佐藤剛志 色華小紋 飯碗(大・黄)
5,500円(税込価格)
(九谷焼) (3202)



カット

S38431450-831
遊窯 花詰 飯碗
4,950円(税込価格)
(九谷焼) (3202)



S38030480-831
銀舟窯 福寿紋 飯碗
5,280円(税込価格)
(九谷焼) (3202)



S38332480-831
銀舟窯 陽だまり 飯碗
5,280円(税込価格)
(九谷焼) (3202)



カット

S38429480-831
遊窯 ベルシヤ 飯碗
5,280円(税込価格)
(九谷焼) (3202)

●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。

12月9日は、「障害者の日」。1980年厚生省国際障害者年推進本部が決定。日本陶彩は日本障害者協議会の賛助会員です。



TOHSAI 陶彩



S38029**480**-831
銀舟窯 舟出 飯碗
5,280円(税込価格)
(九谷焼) (3202)



S38331**480**-829
銀舟窯 華月夜 飯碗
5,280円(税込価格)
(九谷焼) (3202) ●



S38535500-830
幸祥窯 錦二色花紋 飯碗
5,500円(税込価格)
(波佐見焼) (2203)



S38073500-828
三浦繁久 呉須十草 飯碗
5,500円(税込価格)
(常滑焼) (0202) ●

Hit!



S38912550-860
陶峰窯 胡麻焼 飯碗
6,050円(税込価格)
陶峰窯 (備前焼) (3701)



S38453600-826
黒川正樹 黒金彩蒼袖飯碗
6,600円(税込価格)
(京焼・清水焼) (3104) ●



S38522750-827
賀峰窯 赤濃吉祥 飯碗
8,250円(税込価格)
(京焼・清水焼) (◆3105)



- ① S38321350-841 梅鉢草 湯呑(大)
3,850円(税込価格) (萩焼) (3806)
- ② S38322300-841 梅鉢草 湯呑(小)
3,300円(税込価格) (萩焼) (3806)
- ③ S38323320-841 梅鉢草 飯茶碗(大) ●
3,520円(税込価格) (萩焼) (3806)
- ④ S38324280-841 梅鉢草 飯茶碗(小)
3,080円(税込価格) (萩焼) (3806)



秀峰窯 御深井藍染

- ⑤ S38937160-857 マグ(青)
- ⑥ S38936160-857 マグ(蒼)
- 各 **1,760**円(税込価格)
- ⑦ S38939250-857 碗皿(青)
- ⑧ S38938250-857 碗皿(蒼)
- 各 **2,750**円(税込価格)
- ⑨ S38935140-857 飯碗(青)
- ⑩ S38934140-857 飯碗(蒼)
- 各 **1,540**円(税込価格)

Voice!

(瀬戸焼) (1112)



S38272500-855

- 明楽寺窯 三浦繁久 三色十草(赤)飯碗 ●
- S38273500-855
- 明楽寺窯 三浦繁久 三色十草(赤)湯呑 ●
- 各 **5,500**円(税込価格)
(美濃焼) (0202)

S38274500-855

- 明楽寺窯 三浦繁久 三色十草(緑)飯碗 ●
- S38275500-855
- 明楽寺窯 三浦繁久 三色十草(緑)湯呑 ●
- 各 **5,500**円(税込価格)
(美濃焼) (0202)



- ⑪ S38642400-832
空明工房 染錦梅十草 飯碗
- ⑫ S38643400-832
空明工房 染錦梅十草 湯呑
- 各 **4,400**円(税込価格)
- ⑬ S38644700-832
空明工房 染錦梅十草 豆急須
- 7,700**円(税込価格)
- ⑭ S38645300-832
空明工房 染錦梅十草 姫仙茶
- 3,300**円(税込価格)

(波佐見焼) (2208)



- M50252850-856
陶房淳 黄瀬戸 組湯呑
- M5155850-856
陶房淳 古瀬戸 組湯呑
- 各 **9,350**円(税込価格)
(瀬戸焼) (1112)



Hit!

- M54875**350**-861
椿秀窯 萩むらさき 組飯碗
- M54881**350**-861
椿秀窯 萩むらさき 組湯呑
- 各 **3,850**円(税込価格)
(萩焼) ●(3805)

- M54742250-851
敏彩窯 富士覗き(寿) ぐい呑
- M54743250-851
敏彩窯 富士覗き(福) ぐい呑
- 各 **2,750**円(税込価格)
(波佐見焼) (2208)

- M54740350-851
敏彩窯 富士覗き(呉) カップ
- M54741350-851
敏彩窯 富士覗き(朱) カップ
- 各 **3,850**円(税込価格)
(波佐見焼) (2208)

- M54818**380**-855 春山窯 もえぎ 組茶碗 ●
- M54819**380**-855 春山窯 もえぎ 組湯呑
- 各 **4,180**円(税込価格)
(美濃焼) (0107)



- M54492650-848
北哉窯 春の風 組湯呑
- 7,150**円(税込価格)
(京焼・清水焼) (◆3105)



- M54921**400**-849 与山窯 聖果 対飯碗
- M54922**400**-849 与山窯 聖果 対湯呑
- 各 **4,400**円(税込価格)
(有田焼) (2101)



- M54493680-848
北哉窯 春の風 組飯碗
- 7,480**円(税込価格)
(京焼・清水焼) (◆3105)



Voice!

- ⑮ S38863**380**-872 田中袖枝 パラ 飯碗 ●
- ⑯ S38866**380**-872 田中袖枝 小花帯紋 飯碗
- 各 **4,180**円(税込価格) (九谷焼) (3202)
- ⑰ S38864**400**-872 田中袖枝 パラ マグカップ
- ⑱ S38867**400**-872 田中袖枝 小花帯紋 マグカップ
- 各 **4,400**円(税込価格) (九谷焼) (3202)

カット



宮城県

- T72624**800**-876 乾馬窯 組湯呑
- T72625**800**-876 乾馬窯 組飯碗
- 各 **8,800**円(税込価格)
(堤焼) ▲(◆8802) ▼



M55329400-864
天龍窯ガラス釉
ソライロ夫婦茶碗
4,400円(税込価格)
(萩焼) (3806)



M54923500-850
定山窯 瓔珞紋 対飯碗
5,500円(税込価格)
(有田焼) (2101)



文山窯

M54467660-850 ラスター山茶花 対飯碗
7,260円(税込価格) (有田焼) ●(2101)



M54452700-871
山近泰 さくら 組飯碗
7,700円(税込価格)
(九谷焼) (3201)



秀窯

M50268350-854 黒三島 組湯呑
M50269350-854 黒三島 組飯碗
各 3,850円(税込価格)
(美濃焼) (0202) **カット**



辻本永芳 花文

M54448550-871 組飯碗
6,050円(税込価格) (九谷焼) ●(3201)
M54449450-871 組湯呑
4,950円(税込価格) (九谷焼) ●(3201)



辻本永芳 花文 **6,600円**(ヘアフリーカップ
税込価格)
M54865600-871 ペアフリーカップ
M54866550-871 ペアマグカップ
6,050円(税込価格)
(九谷焼) ●(3201)



Hit!

M54656400-869 敏也窯 南蛮三島詰 組湯呑
4,400円(税込価格) (京焼・清水焼) ●(3104)



Hit!

M54657500-869 敏也窯 南蛮三島詰 組飯碗
5,500円(税込価格) (京焼・清水焼) ●(3104)



M55409600-866 圭司窯 ことほぎ 組飯碗
6,600円(税込価格) (京焼・清水焼) (◆)3105
M55408500-866 圭司窯 ことほぎ 組湯呑
5,500円(税込価格) (京焼・清水焼) (◆)3105



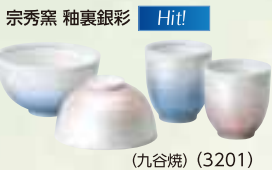
Hit!

M54412800-862 清玩 青萩 組湯呑 **8,800円**(税込価格)
M54189650-862 清玩 青萩 組飯碗 **7,150円**(税込価格)
(萩焼) ●(3805)



Hit!

M50260600-853 玉山窯 彩りぶどう 組飯碗 ●
M54407600-853 玉山窯 彩りぶどう 組湯呑 ●
6,600円(税込価格) (美濃焼) (0202)



宗秀窯 釉裏銀彩 Hit!

M55383650-870 組飯碗
7,150円(税込価格) ●
M55382550-870 組湯呑
6,050円(税込価格) ●



嘉峰窯 鶴亀

M54888720-868 組飯碗
7,920円(税込価格)
M54889600-868 組湯呑
6,600円(税込価格)



嘉峰窯 粉引ふくろう Hit!

M50061720-868 組飯碗
7,920円(税込価格) (清水焼) ●(◆)3105
M50060600-868 組湯呑
6,600円(税込価格) (清水焼) ●(◆)3105



嘉峰窯 六瓢 Hit!

M54306600-868 嘉峰窯 六瓢 組湯呑
6,600円(税込価格) (京焼・清水焼) ●(3102)
M54305720-868 嘉峰窯 六瓢 組飯碗
7,920円(税込価格) (京焼・清水焼) ●(3102)



M54801500-863
天龍窯 萩藍珈琲器2客
5,500円(税込価格)
(萩焼) ●(3806)



M55230300-863
天龍窯 萩藍 ペアカップ
3,300円(税込価格)
(萩焼) (3806)



M55231400-863
天龍窯 萩藍 組飯碗
4,400円(税込価格)
(萩焼) (3806)



幸祥窯 色絵花唐草

M54668600-852 組飯碗
M54669600-852 組コップ
各 6,600円(税込価格) (波佐見焼) (2203)



陶葺窯 花結晶(緑・茶) Hit!



M54899700-848
俊山窯 京の秋 組飯碗
M54900700-848
俊山窯 京の秋 組湯呑
各 7,700円(税込価格)
(京焼・清水焼) (◆)3105



宮本咲

M54854700-871
風船かずら 組飯碗
M54855700-871
風船かずら 組湯呑 Hit!
各 7,700円(税込価格)
(九谷焼) ●(3201)



Hit!

M54643700-853
玉山窯 黒織部 組湯呑 ●
M54642700-853
玉山窯 黒織部 組飯碗 ●
各 7,700円(税込価格)
(美濃焼) (0202)



M54245800-865
陶葺窯 花結晶(緑・茶) 組飯碗
M54244800-865
陶葺窯 花結晶(緑・茶) 組湯呑
各 8,800円(税込価格)
(京焼・清水焼) ●(◆)3105



(京焼・清水焼) (◆)3105

M50019800-866
清泉窯 萩がさね 組飯碗
8,800円(税込価格)

M50020750-866
清泉窯 萩がさね 組湯呑 ●
8,250円(税込価格)



M55152135-867 花月窯 欄目印華 陸揃
14,850円(税込価格) (京焼・清水焼) (◆)3105



M55153270-867 賀峰窯 染赤濃吉祥 陸揃
29,700円(税込価格) (京焼・清水焼) (◆)3105

●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。

「全ての人に美味しい食卓、そして笑顔を」、日本陶彩は誰もが美味しく食べれることに努めます。😊 Your Smile on the Table

TOISAI
陶彩



M54660800-869 敏也窯 彩姫<ぐり>組飯碗
M54659800-869 敏也窯 彩姫<ぐり>組湯呑 ●
各 8,800円(税込価格) (京焼・清水焼) (3104)

カット



M55265100-868 京泉窯 青赤花唐草 組飯碗
M55266100-868 京泉窯 青赤花唐草 組湯呑 ●
各 11,000円(税込価格) (京焼・清水焼) (3102)

カット



M54502100-848 昇峰窯 涼 組湯呑
M54501100-848 昇峰窯 涼 組飯碗 ●
各 11,000円(税込価格) (京焼・清水焼) (◆3105)

カット



M50254120-856 陶房淳 織部 組飯碗
13,200円(税込価格)
(瀬戸焼) (1112)

M50251850-856 陶房淳 織部 組湯呑
9,350円(税込価格)
(瀬戸焼) (1112)



M50489140-855 快山窯 水仙文 組飯碗 ●
M50490140-855 快山窯 水仙文 組湯呑 ●
各 15,400円(税込価格) (美濃焼) (0107)



M55268150-868 京泉窯 青赤唐草祥瑞 組飯碗
M55269150-868 京泉窯 青赤唐草祥瑞 組湯呑 ●
各 16,500円(税込価格) (京焼・清水焼) (3102) **Hit!**



M50566160-866 昇峰窯 黄交趾ふくろう 組飯碗
17,600円(税込価格) (京焼・清水焼) (◆3105) **カット**

M50567150-866 昇峰窯 黄交趾ふくろう 組湯呑
16,500円(税込価格) (京焼・清水焼) (◆3105)



M50011240-865 陶葵窯 白掛雲錦 組飯碗
26,400円(税込価格) (京焼・清水焼) ●(◆3105)

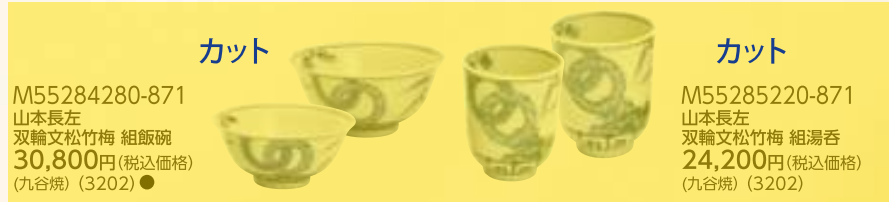
M50010200-865 陶葵窯 白掛雲錦 組湯呑
22,000円(税込価格)
(京焼・清水焼) (◆3105)



M50563280-865 陶葵窯 花移ろい 組飯碗
M50564280-865 陶葵窯 花移ろい 組湯呑 ●
各 30,800円(税込価格) (京焼・清水焼) (◆3105)



M55411250-867 豊楽窯 彩花鳥 組飯碗
M55410250-867 豊楽窯 彩花鳥 組湯呑 ●
各 27,500円(税込価格) (京焼・清水焼) (◆3105)



カット

M55284280-871 山本長左 双輪文松竹梅 組飯碗
30,800円(税込価格)
(九谷焼) (3202) ●

カット

M55285220-871 山本長左 双輪文松竹梅 組湯呑
24,200円(税込価格)
(九谷焼) (3202)



M55020100-867 花月窯 雅桜 香炉
11,000円(税込価格)
(京焼・清水焼) (◆3105) **カット**



M55022720-867 桜谷窯 仁清花桜 抹茶盃
7,920円(税込価格)
(京焼・清水焼) (◆3105)



M55023950-867 香菊窯 天目覆輪 抹茶盃
10,450円(税込価格)
(京焼・清水焼) (◆3105)



M55021900-867 陶葵窯 花結晶(銀藤) 抹茶盃
9,900円(税込価格)
(京焼・清水焼) (◆3105)



M54504700-848 俊山窯 京の秋 抹茶碗
7,700円(税込価格)
(京焼・清水焼) ●(◆3105)



M50469150-851 つつえ窯 朝鮮唐津 抹茶盃
16,500円(税込価格)
(唐津焼) ▲(2208)

M50195550-860 陶峰窯 胡麻焼 組湯呑
6,050円(税込価格)
(備前焼) ●(3701)



M54510750-848 北哉窯 鶴松竹梅 組湯呑
8,250円(税込価格)
(京焼・清水焼) (◆3105)



M54795100-859 柴岡宏和 棧切焼 組杯
11,000円(税込価格)
(備前焼) ●(8801)



M54797120-859 中居靖 棧切焼 組湯呑
13,200円(税込価格)
(備前焼) ●(8801) **Hit!**



M54316400-861
椿秀窯 姫土 汲み出し揃
4,400円(税込価格)
(萩焼) (3805)



M54879450-861
椿秀窯 萩むらさき 汲出揃
4,950円(税込価格)
(萩焼) (3805)



M54328500-861
椿秀窯 姫土 茶の間揃
5,500円(税込価格)
(萩焼) (3805)



M54329500-863
天龍窯 茶こし付茶器揃
5,500円(税込価格)
(萩焼) (3806)



M54925900-850
定山窯 染付花弁十草 仙茶揃
9,900円(税込価格)
(有田焼) (2101)



M54786800-869
敏也窯 御本彩六瓢汲出し揃
8,800円(税込価格)
(京焼・清水焼) (3104)



M54785100-869
敏也窯 南蛮帯三島汲出し揃
11,000円(税込価格)
(京焼・清水焼) (3104)



M54337100-863 原節夫 白萩 汲出し揃
11,000円(税込価格) (萩焼) (3806)



M54380130-870 Hit!
宗秀窯 袖裏銀彩 汲出揃 (BL) 五客
14,300円(税込価格)
(九谷焼) ●(3201)



M54936200-870
宗秀窯 袖裏銀彩 蓋付汲出揃 (BL) 五客
22,000円(税込価格)
(九谷焼) (3201)



M54240200-865
陶舜窯 花結晶 お茶呑茶碗
22,000円(税込価格)
(京焼・清水焼) (◆)3105●



M54185150-862 Hit!
清玩 萩だるま 小茶器揃
16,500円(税込価格)
(萩焼) ●(3805)



M50291160-855
快山窯 唐草 湯呑揃
17,600円(税込価格)
(美濃焼) (0107)



M54662130-852
幸祥窯 色絵花唐草 煎茶揃
14,300円(税込価格)
(波佐見焼) ●(2203)



M54663180-852
幸祥窯 色絵兎唐草 汲出揃
19,800円(税込価格)
(波佐見焼) (2203)



日本陶彩株式会社は、TALKの考え方を引き継ぎ、経済産業省のご協力のもとに、わが国の心豊かな食空間と生活文化の向上のための幅広い活動をおこなっている内閣府認定NPO法人「食空間コーディネート協会」の活動に賛同し、企業会員として活動いたしております。(L303)

和食文化 国民会議
Washoku JAPAN

伝えよう、和食文化を。
<http://washokujapan.jp/>

「食」と「器」は密接不可分です。
「和食」をいただきます。

日本陶彩は、一般社団法人和食文化国民会議(略称:和食会議)の会員です。
食文化の未来は陶彩

- 価格は2019年10月01日時の消費税を含む総額にて表示しております。
- 写真撮影、印刷等の条件により実際の商品と色が異なることがあります。予めご了承ください。
- やきものの特性上、一時的な品切れ、多少の寸法・色違いはご容赦ください。
- 掲載商品の仕様、価格、デザイン等は予告なく変更したり、やむをえず廃番の場合がございます。
- 撮影に使用したお料理は食器の良さを引き出すイメージのために使用としたものです(店名は購入店を備忘するため、その器をお薦めいただいたものではなく、また販売期間等限られたものもあります)。
- 品番のない商品は参考商品の場合があります。撮影用備品も含まれております。
- 印数字は内箱入り数です。欄の数字は外箱入り数です。
- 「食」と「器」の関係は密接不可分です。和食とその器にまつわる「ちょっとした」情報を、作者の思いをそのままに改変、要約せず、その出典と共に紹介します。
- 文中の引用はその囲み内に、出典元を記しています。ぜひ、原本をご覧くださいませ。

- 土 陶器製(土の、吸水性有り)の食器です。
- ガラス ガラス製の食器です。
- 直火 直火で使用できる調理器具です。
- オープン オープンで使用できる調理器具です。
- 電子レンジ 電子レンジで使用できる調理器具です。
- Hybrid Hybrid 直火・IH、どちらでもお使いいただけます。
- 「四つ葉」のクローバーのタネをセットしました。
- IH IHクッキングヒーターで使用できる調理器具です。
- 軽量 軽量タイプの食器、調理器具です。
- 食洗機対応 食器洗浄機対応です。
- 耐熱ガラス 耐熱ガラスです(耐熱温度は商品によって異なります)。
- お箱 進物にも使えるお箱入りになります。
- 一客箱入り 一客で箱入りになります。
- Voice! お客様の声から考えました。

●イメージ撮影したシーン画像には撮影用備品も含まれております。

Sustainable Gastronomy Day 18 June
The United Nations has designated 18 June as an international observance.

国連は6月18日を
“Sustainable Gastronomy Day”
としています。
持続可能な美食の日、若しくは
持続可能な食文化の日と訳されています。

日本陶彩(株)はこの「06月18日「持続可能な食文化」の日」に自国・世界の食文化に思いをよせ、健康と福祉の確保を目指し、食育等の機会でもユネスコ無形文化遺産である“和食”の文化を届けたい、伝えたい。ユネスコ「食文化」創造都市である山形鶴岡市・大分臼杵市の活動に学び、美食倶楽部の北大路魯山人「食器は料理の着物」のように料理全般、食文化から食器を語りたいと思います。

SUSTAINABLE GOALS
3 3 4 4

虫明焼と与平
岡山藩の筆頭家老であり、茶人の伊木忠澄(いぎただすみ)=伊木三猿斎(いぎさんえんさい)1818~1861年)は、備前焼と異なる、京都風の釉薬(ゆうやく)の掛かった焼ももの、虫明で造らせようとした。伊木三猿斎は、弘化4年(1847年)に、清風与平(せいふうよへい)1803~1861年)を、京都から、虫明によんでいきます。初代の清風与平です。名工です。清風与平は、弟子二人と虫明に窯を築いて、主に茶器を制作しました。清越な、味をもったものを造りました。これが、茶陶としての虫明焼のはじまりです。

M54976120-8941174
山崎春泉 丸皿3客組
13,200円(本体価格12,000円)
(虫明焼) 16×8cm ① (3807)▼

初代清風与平:1803年に加賀金沢に生まれ、1861年に没。二代高橋(仁阿弥)道八に入門した後、京都の五条坂に店を構え、青磁、金襴彩画等を得意とし、号を梅實といたしました。御庭焼の指導にもあたり、備前藩筆頭家老伊木忠澄(三猿斎)に招かれ、虫明焼の指導をしています。

二代清風与平:1844年に初代与平の子として生まれ、五溪と号したが、1878年35歳の若さで没。

三代清風与平:1866年、清風家に養子入り。1872年、製陶家として独立。1878年、清風家を三代目として継ぎ、その独立から終生にいたるまで、海外・国内の博覧会に参加し、その作品に高い評価を得ました。1893年、42歳の若さで帝室技芸員に任命され、名実ともに陶芸世界の頂点へ。淡黄手白磁が与平白磁の代名詞で、袖下彩作品を生み出した。

四代清風与平:1871年三代与平の次男として出生。1914年、四代を継ぐ。世襲前、与平作陶に従事し、その死後も与平スタイルを守り、京焼陶芸家として活躍しました。

五代清風与平:1921年出生、1992年没。与平スタイルを受け継ぐだけでなく、極彩色で描かれる作品等、独自の世界を創りました。

出典:関和男著「3代清風与平」創樹社(201203)・黒田和哉著「近世近代の茶陶」淡交社(20114)・「陶器講座第19巻・21巻」雄山閣(193709)などを参照
「やきもの読本」(水野民也代表 滝藤四郎編集 百陶会(19680901))により、「焼きものの墨絵」は四代与平書で日本陶彩は設立以来、使用させていただいております。

本の紹介

真心のかけは 陶彩



色鮮やかな日本の自然のなか、豊かな食卓を「器(うつわ)」で彩りよく演出し、より美味しく食べて欲しいと希望をふくらませています。真心のかけはとなる器をご提案いたします。

「陶彩の日」

日本陶彩株式会社は、色鮮やかな日本の自然のなか、豊かな食卓を「器(うつわ)」で彩りよく演出し、より美味しく食べて欲しいという願いを込めて、10月31日を「陶彩の日」(「10(とう)」「31(サイ)」の日)と致しました。

「日本記念日協会認定」

TOHSAI 陶彩 10月31日
<http://www.tohsai.com/>



伝えよう、和食文化を。

<http://washokujapan.jp/>

「食」と「器」は密接不可分です。

「和食」をいただきます。

日本陶彩は、一般社団法人和食文化国民会議(略称:和食会議)の会員です。

真心のかけは 陶彩

社員用

(店頭配布は原則不可とします)

2024年1月21日改訂版

本冊は更新発刊ではなく、既刊の訂正箇所を示したものになります。(よって商品以外の語彙・文意が現状と相違する場合があります。)

- 価格は2019年10月01日時の消費税を含む総額にて表示しております。
- 写真撮影、印刷等の条件により実際の商品と色が異なることがあります。予めご了承ください。
- やきものの特性上、一時的な品切れ、多少の寸法・色違いはご容赦ください。
- 掲載商品の仕様、価格、デザイン等は予告なく変更したり、やむをえず廃番の場合がございます。
- 品番のない商品は参考商品の場合があります。撮影用備品も含まれております。
- 印数字は内箱入り数です。□の数字は外箱入り数です。
- 文中の引用はその囲み内に、出典元を記しています。ぜひ、原本をご覧くださいませ。

日本陶彩株式会社は、わが国の心豊かな食空間と生活文化の向上を目指すNPO法人「食空間コーディネート協会」の企業会員として活動すると共に、人が中心の豊かな「暮らし」のため日本赤十字社や日本障害者協議会の活動資金への支援活動をおこなっております。



わたしたちは日本赤十字社の活動を支援しています。

TOHSAI 陶彩
Human Centric Innovation

企画制作 / 日本陶彩株式会社
カタログ発行年月日: 2022年07月21日
ホームページ <http://www.tohsai.com>